

取扱説明書

入退室管理システム

管理ソフトウェア

品番 **BM-ES200**

このたびは、入退室管理システム 管理ソフトウェアをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 本書は、入退室管理システム管理者による管理をお勧めします。一般の利用者に開示するとセキュリティが損なわれる可能性があります。

管理ソフトウェアの概要

概要

管理ソフトウェア（以降、本ソフトウェアと略します）は、市販のパーソナルコンピュータ（以降、パソコンと略します）上にインストールして使用します。

人間の瞳にある「虹彩」情報を用いて本人認証を行う「虹彩カメラ」（品番：BM-ET200）（以降、カメラと略します）に対して、カメラの動作情報を設定したり、個人がカメラで認証を受けるための認証情報を登録したり、またそれをカメラに対して配信したりすることができます。

さらに、カメラの運用状態を監視し、異常が発生した場合はシステム管理者に通知する機能や、ログ情報などの管理を行う機能を提供します。

本書は本ソフトウェアの操作について説明しています。なお、本ソフトウェアをインストールしたパソコンのことを虹彩管理サーバーと略します。

カメラの「設定方法」、「認証のしかた」についてはカメラに付属の取扱説明書をお読みください。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel および Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

・この製品は虹彩情報を利用して個人を認証するものであり、この製品単体で盗難などを未然に防止するものではありません。

・弊社は、いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本製品の損傷など
- ③ お客様による本製品の逆コンパイル、逆アセンブルが行われた場合
- ④ 本製品の故障・不具合以外の何らかの理由または原因により、登録または登録してあるにもかかわらず認証できない不便または損害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムにおける不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

（例：本製品と電気錠などを組み合わせた入退室管理システムにおいて、前記①～④のいずれかの理由または入退室管理システムとしての何らかの不具合によりドア開閉管理が適切になされない場合）

- ⑥ 虹彩データなどの虹彩管理サーバーにおける消失、あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど（虹彩情報は個人情報です。虹彩管理サーバーに登録された虹彩データはお客様の責任にて管理していただきます。）
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※ 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- (1) 本商品を経由した情報の漏えいや流出
- (2) 悪意を持った第三者による本商品の不正操作
- (3) 悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ・ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- ・パソコンが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- ・不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- ・虹彩情報、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

本書の読みかた

本書の構成

本書の構成と内容は以下のとおりです。



構成	内容
はじめてお使いになる場合	本ソフトウェアをはじめてお使いになる場合の注意事項、本ソフトウェアの概要などを説明しています。(9 ページ)
システム導入編	システムを構成する機器を相互接続して、システムの立ち上げに必要な設定などについて説明しています。(19 ページ)
運用編	ユーザー情報、カメラ情報、各種設定情報などの登録、参照など、本ソフトウェアの操作について、説明しています。(44 ページ)
付録	エラーメッセージや、CSV ファイルの書式などについて説明しています。(166 ページ)

対象読者と前提知識

本書を読むためには以下の知識が必要です。







- ・ Windows® の操作方法に関する基本的な知識
- ・ カメラの設定方法に関する知識

本書で使用しているマーク

マーク	内容
 ご注意	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記載しています。必ずお読みください。
 ヒント	関連する情報を記載しています。必要に応じてお読みください。

本書では、管理者の権限について、次の表中のマークを使用して表示します。管理者の権限については、本書の「管理者の権限について」(54 ページ)をお読みください。

また、該当する権限が設定されていない管理者では、基本的に情報の参照のみを行うことができます。

マーク	操作できる内容
 ユーザー情報	「ユーザー情報」権限が設定されている管理者のみが行える機能を示します。
 カメラ設定/保守	「カメラ設定/保守」権限が設定されている管理者のみが行える機能を示します。
 ログ情報	「ログ情報」権限が設定されている管理者のみが行える機能を示します。
 バックアップ/リストア	「バックアップ/リストア」権限が設定されている管理者のみが行える機能を示します。
 環境設定	「環境設定」権限が設定されている管理者のみが行える機能を示します。
 管理者情報	「管理者情報」権限が設定されている管理者のみが行える機能を示します。

本書での略称

本書では、Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® XP Professional および Microsoft® Windows Server® 2003 を総称して Windows® と略記しています。

本書中の表示、表現について

本書で掲載している画面の表示、文書中の表現、用語などは、本ソフトウェアを Windows® 2000（日本語版）がインストールされたパソコンにインストールした場合に表示されるものを使用しています。また、表示される画面は、管理者の全権限が使用できる管理者でログインした場合の画面を使用しています。管理者の権限によって、表示される画面が異なる場合があります。

用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

用語	説明
IC カードライター	IC カードにユーザー情報、虹彩情報を書き込むための機材です。 虹彩管理サーバーに接続して、本ソフトウェアから操作が可能です。
虹彩オンカード	IC カードに書き込まれた虹彩情報と、そのカードの所有ユーザーの虹彩を 1：1 で認証を行う認証方法です。
Wiegand	入退室管理システムのインターフェースとして使用されている通信方式のことです。
カードリーダー	IC カードからユーザー情報、虹彩情報などを読み込む機材です。 カメラまたはドア制御ボックスと接続して使用します。 本書では、Wiegand 通信方式で接続されたカードリーダー（標準用）を「カードリーダー(W)」と表記します。また、RS-485 通信方式で接続されたカードリーダー（虹彩オンカード用）を「カードリーダー(I)」と表記します。
管理者	本ソフトウェアにログインして操作、設定を行うためのアカウントです。 設定される権限により本ソフトウェアで利用できる機能範囲が異なります。 Windows®を操作するためのユーザーアカウントとは異なります。
管理者の権限	本ソフトウェアでは、各種情報の登録、更新、削除が行える機能が細分化されています。これらの機能を行うために個別に必要な設定が「管理者の権限」です。 例えば、「ユーザー情報」の権限のみが設定されている管理者では、ユーザー情報の登録、編集、削除などの操作を行うことができますが、カメラ情報の登録、編集、削除などは行えません。参照のみとなります。
管理ソフトウェア	品番：BM-ES200 の名称。または、虹彩管理サーバーにインストールされたアプリケーション。本書では、本ソフトウェアと略して記述しています。
虹彩カメラ	品番：BM-ET200 の名称。本書では、カメラと略して記述しています。
虹彩管理サーバー	本ソフトウェア、ユーザーライセンス追加ソフトウェア（品番：BM-EU30000 シリーズ）がインストールされたパソコンの総称です。
虹彩データ （虹彩情報）	撮影した目の画像から虹彩の模様を抽出し、決められた規則に従ってコード化されたデータのことです。
虹彩認証	人間の目の中にある虹彩の複雑な模様が個人によって異なることを利用して、個人を特定する認証方式のことです。
登録カメラ	登録用に設定されているカメラです。
入退室管理システム	虹彩認証技術を用いて、虹彩カメラ、虹彩管理サーバーなどと、ドア制御ボックスやカードリーダー、電気錠などを組み合わせて入退室の管理を行うシステムのことで。
認証カメラ	認証用に設定されているカメラです。
ユーザーライセンス 追加ソフトウェア	品番：BM-EU30100、BM-EU31000、BM-EU33000、BM-EU35000 の総称。
e-SG	松下電工株式会社 統合型セキュリティシステム e-SG の名称。 詳細は、e-SG に付属の取扱説明書をお読みください。

目次

管理ソフトウェアの概要	2	本書の構成	4
概要	2	対象読者と前提知識	4
商標および登録商標について	2	本書で使用しているマーク	4
免責について	2	本書での略称	5
個人情報保護について	3	本書中の表示、表現について	5
ネットワークに関するお願い	3	用語について	6
本書の読みかた	4		

はじめてお使いになる場合

本ソフトウェアを利用する場合の注意事項	9	虹彩管理サーバーについて	17
システム構築について	11	対応機器について	18
システム構成	11		
認証のしくみ	13		

システム導入編

はじめに	19	カメラ情報を登録する	38
各機器の接続／設定を行う	20	虹彩管理サーバーにカメラを接続する	40
虹彩管理サーバーの設定を行う	20	登録したカメラ情報を確認する	40
本ソフトウェアをインストールする	21	登録カメラを設定する	42
管理者初期登録を行う	26		
カメラ情報の登録を行う	28		
条件に合わせてシステムを選択する	28		
カメラ初期値設定を行う	30		

運用編

はじめに	44	ユーザーを登録する	102
起動する	46	ユーザー情報画面について	102
起動する	46	ユーザーを登録する	108
ログインする	47	ユーザーを更新する、削除する	116
メインメニュー画面について	49	ユーザー情報をファイルに出力する	119
環境設定画面について	51	ユーザー情報を移行する	120
終了する	52		
バージョン情報について	53	虹彩撮影を行う	122
管理者情報を操作する	54	虹彩撮影	122
管理者の権限について	54	虹彩情報をカメラに配信する	128
管理者情報画面について	55	自動配信について	128
管理者を登録する	57	手動で配信する	129
管理者を更新する、削除する	61	運用設定を行う	131
カメラ情報を編集する	63	カメラの監視設定を行う	131
カメラ設定／保守画面について	63	共有鍵管理の設定を行う	132
カメラ情報を登録する	73	自動リポートの設定を行う	134
カメラを更新する、削除する	74	メール送信設定を行う	135
カメラ情報をファイルに出力する	82	バックアップ／リストア	137
登録カメラ、認証カメラを切り替える	83	運用状態を確認する	145
カメラを確認する、操作する	85	本ソフトウェアにおける運用時の情報について	145
カメラの状態を確認する	85	アラーム情報を確認する	145
カメラの登録者を確認する	86	ログ情報を確認する	149
カメラを再起動する	87	ICカードライターの設定を行う	162
カメラを開始する、停止する	88	ICカードライターの設定を行う	162
カメラにソフトウェアをダウンロードする	88	鍵の更新を行う	164
カメラに音声ファイルをダウンロードする	90	鍵の更新を行う	164
カメラ機能を拡張する	91		
配布グループを登録する	95		
配布グループ設定画面について	95		
配布グループを登録する	97		
配布グループ情報を更新する、削除する	100		

付録

e-SG に接続する	167	ファイル形式	184
カメラ情報の登録を行う	167	本ソフトウェアで扱う CSV ファイルについて	184
カメラ拡張機能の設定を行う	169	カメラ情報 CSV ファイル	185
ユーザーを登録する	169	ユーザー情報 CSV ファイル	190
ログ情報 CSV ファイル		ログ情報 CSV ファイル	192
エラーメッセージ一覧	171	トラブルシューティング	194
インストール時のエラーメッセージ	171		
本ソフトウェアのエラーメッセージ	172		
情報表示ウィンドウのメッセージ	183		

はじめてお使いになる場合

本ソフトウェアを利用する場合の注意事項 ……………

本ソフトウェアをパソコンにインストールして利用するときは、以下のことに注意してください。

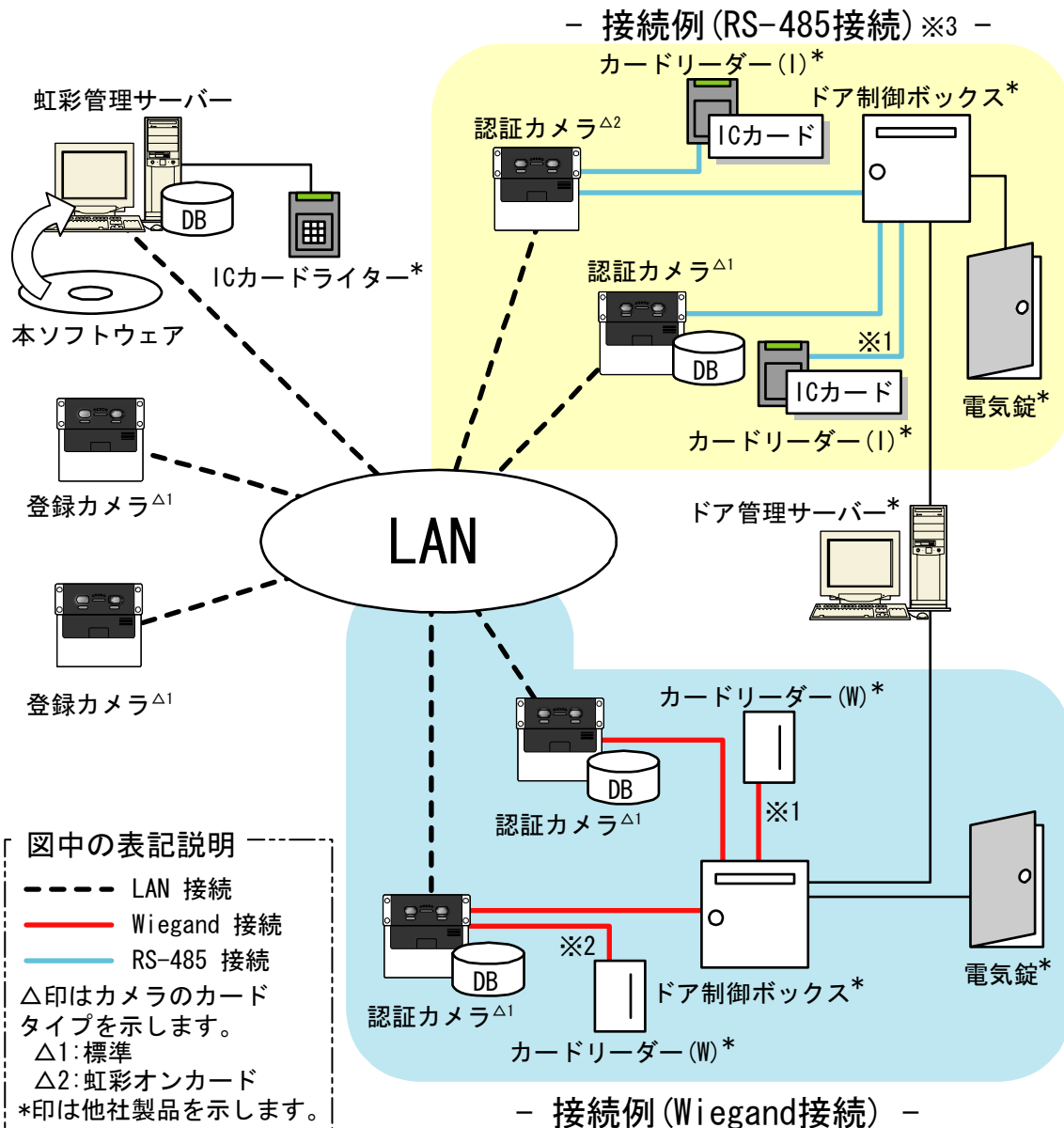
- ・虹彩管理サーバーおよび本ソフトウェアから出力するファイルには個人情報が保存されます。十分に管理の行き届く安全な場所に設置されていることをご確認ください。
- ・虹彩管理サーバーの操作中、画面には個人情報が表示されます。不正に閲覧されることがないようにご注意ください。
- ・虹彩管理サーバーの設定を誤って行った場合、カメラは正常に動作しないことがあります。十分ご注意の上、設定を行ってください。また、Windows®のサスペンドモード、休止状態機能はオフにしてください。
- ・虹彩管理サーバーとカメラの間はLANを通じて個人情報が配信されます。LANケーブルが安全な場所に設置されていることをご確認ください。またセキュリティの向上を図るため、他システムのLANとは共存させず、独立したLAN上で運用されることをお勧めします。またご使用のLAN環境によっては、カメラが他の機器から送信されたブロードキャストパケットの影響を受けて、「虹彩撮影」、「虹彩情報配信」処理などが正常に終了しない場合があります。カメラと虹彩管理サーバー間のLANはブロードキャストパケットが毎秒500パケット以下になるように構築してください。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・虹彩管理サーバー上で本ソフトウェア以外のアプリケーションソフトを動作させると、本ソフトウェアの動作が不安定になる可能性があります。他のアプリケーションソフトはインストールしないでください。
- ・虹彩管理サーバーは定期的にリポートすることをお勧めします。本ソフトウェアは虹彩管理サーバーを自動的にリポートする機能を提供します。設定方法については「自動リポートの設定を行う」（134ページ）をお読みください。
- ・虹彩管理サーバーとカメラの間は、個人情報などを暗号化して送信しています。本ソフトウェアは、暗号化を実施する際の暗号鍵を定期的に変更する機能を提供します。設定方法については「共有鍵管理の設定を行う」（132ページ）をお読みください。
- ・虹彩管理サーバーとカメラの間は、以下のリソースを使用して通信します。
 - － プロトコル：TCP/IP
 - － ポート方向：送信、受信
 - － ポート番号：8030
- ・本ソフトウェアでは、データベースにSQL Server™ 2000 Desktop Engine (MSDE2000) を使用しています。それ以外のバージョンのSQL Server™ Desktop Engine をインストールするとデータベースが壊れて、正常に動作しないことがあります。SQL Server™ Desktop Engine およびSQL Server™ Desktop Engine を使用しているアプリケーションソフトウェアのインストールは行わないでください。
- ・本ソフトウェアはダイヤルアップでネットワークに接続する環境では使用できません。

- ・カメラの電源が投入されていないか、または電源投入後 15 分以内（カメラの設定によります）に虹彩管理サーバーで以下の操作を行うと、「カメラへの接続に失敗しました」というエラーメッセージが表示されて、カメラへの操作が実行できない可能性があります。
 - － カメラを更新する、削除する（74 ページ）
 - － カメラを確認する、操作する（85 ページ）
 - － 虹彩情報をカメラに配信する（128 ページ）
- ・虹彩管理サーバー上で以下の操作を行うと、カメラは一時的に認証動作を停止します。カメラの認証動作を停止させたくない場合は、システムの運用状態を考慮して以下の操作を行ってください。
 - － 虹彩情報をカメラに配信する（128 ページ）
 - － カメラを更新する、削除する（74 ページ）
 - － カメラにソフトウェアをダウンロードする（88 ページ）
 - － カメラに音声ファイルをダウンロードする（90 ページ）
 - － カメラを開始する、停止する（88 ページ）
 - － カメラを再起動する（87 ページ）
- ・虹彩管理サーバーの故障時に備え、保存情報を定期的にバックアップすることをお勧めします。本ソフトウェアは保存情報を定期的にバックアップする機能を提供します。設定方法については「バックアップ/リストア」（137 ページ）をお読みください。また、本ソフトウェアを再インストールする場合に備え、CD-ROM および CD-ROM に添付されているプロダクトキーは大切に保管してください。
- ・本ソフトウェアは、以前のバージョンの管理ソフトウェア（品番：BM-ES300、BM-ES330）で出力した、システムのバックアップデータ、ユーザー情報のエクスポートファイル（cab 形式）をリストア、インポートできますが、本ソフトウェアから出力したこれらのデータファイルは、以前のバージョンの管理ソフトウェアでリストア、インポートを行うことはできません。また、以前のバージョンの管理ソフトウェアで出力した、ユーザー情報のエクスポートファイル（csv 形式）、カメラ情報のエクスポートファイル（csv 形式）から情報をインポートすることはできません。
- ・本ソフトウェアで、品番：BM-ET300 のカメラを動作させることはできません。
- ・VPN 環境でご使用になる場合、カメラ～虹彩管理サーバー間の通信が正常に行えない場合があります。ご使用にあたっては、専用回線および専用機器などをご用意の上、運用前にシステムでの動作確認を十分に行い、専門の知識、不具合時の対応が行える管理者により管理、運用を行ってください。
- ・本ソフトウェアでは、ユーザー情報、カメラ情報、配布グループ情報を関連付けることにより、複雑な設定条件の場合でも虹彩情報配信などの処理ができるように情報の管理を行っています。このため、各情報で多数の処理対象を一括選択して操作する場合、ご使用の虹彩管理サーバーのシステムスペックによって異なりますが、フリーズしたように見える場合があります。場合によっては（各情報の最大数を処理した場合）数時間に及ぶ場合もあります。
- ・本ソフトウェアに、Ver.4.00 以前のユーザーライセンス追加ソフトウェアをインストールして使用することができます。この場合、ユーザーライセンス追加ソフトウェアをインストールする際に表示されるファイルコピー画面中の合計ライセンス数が少なく表示されることがあります。しかし、本ソフトウェアのバージョン情報画面に表示される合計ライセンス数は、「25 ライセンス＋ユーザーライセンス追加ソフトウェアでインストールしたライセンス数」になります。また、このライセンス数までユーザー情報を登録することができます。ユーザーライセンス追加ソフトウェア Ver.4.00 以降では、実際に登録できるユーザー数が合計ライセンス数に表示されます。
- ・本書に記載されていない操作を行った場合、システムが正常に動作しない、あるいはデータが失われる可能性があります。

システム構築について

システム構成

カメラおよび本ソフトウェアを利用して、入退室管理システムを構築する場合のシステム構成例を下図に示します。



※1: カメラによる本人認証は、万人が利用できるとは限りません。ドア制御ボックスにカードリーダーを接続することで、カメラまたはカードによる認証が可能になり、虹彩認証が利用できない場合の対処方法とすることができます。

※2: カメラにカードリーダーを直接接続することも可能です。この場合カードでの認証と虹彩での認証が二重に行われた上で認証結果を出すこととなるため、システム全体のセキュリティをより向上させることができます。

※3: 統合型セキュリティシステム e-SG へ接続する際は、付録 (167 ページ) をお読みください。

この図のシステムでは以下の方法で扉の制御をします。

● カードリーダー(W)の場合

1. 本ソフトウェアにユーザーの虹彩情報を登録カメラで撮影し、登録します。
2. 本ソフトウェアは設定情報に基づき、個人情報、虹彩情報を認証カメラに配信します。
3. 扉付近の認証カメラに人が立ち目を近づけるか、カードリーダー(W)に IC カードをかざすと、認証カメラは虹彩を撮影し、あらかじめ配信されている虹彩情報と照合します。
4. 虹彩情報が一致すればその個人に対して付与されている ID データ^{▲1}をドア制御ボックスに対して送信します。
5. ドア制御ボックスおよびドア管理サーバーが認証カメラから送信された ID データに基づき、電気錠の制御を行います。

● カードリーダー(I)の場合

1. 本ソフトウェアにユーザーの虹彩情報を登録カメラで撮影し、登録します。
2. 本ソフトウェアで登録したユーザーの虹彩情報、カード ID などを IC カードに書き込みます。
3. IC カードをカードリーダー(I)にかざし、虹彩情報を認証カメラに読み込みます。
4. 認証カメラで虹彩を撮影し、IC カードの虹彩情報と照合します。
5. 虹彩情報が一致すればその個人に対して付与されている ID データ^{▲1}をドア制御ボックスに対して送信します。
6. ドア制御ボックスおよびドア管理サーバーが認証カメラから送信された ID データに基づき、電気錠の制御を行います。

▲1 ID データ：電気錠を開錠するために、ドア制御ボックスおよびドア管理サーバーに対して設定されている認証情報

認証のしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

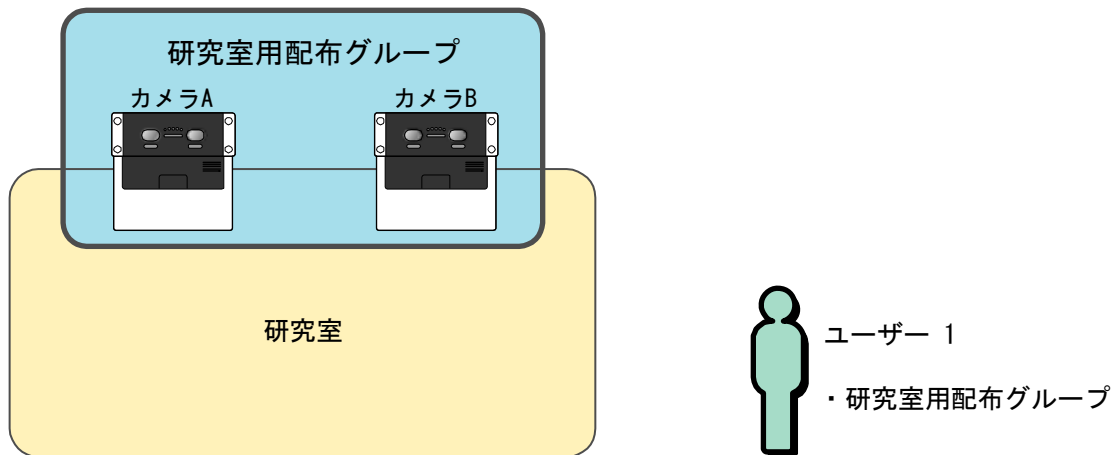
■ 配布グループによる管理

⚠️ ご注意

- ・虹彩オンカードでご使用になる場合には、配布グループの設定は適用されません。

本ソフトウェアでは、カメラとユーザーを管理する際に、配布グループという概念を用いることで、カメラとユーザーをより簡単に管理できるようになります。

次の図のように研究室に入室するための入り口が2か所あり、入室するためには虹彩認証を受ける必要がある場合を例にして、カメラ、配布グループ、ユーザーの3つの概念を説明します。



研究室の入り口2か所に設置したカメラを、それぞれカメラA、カメラBとして、本ソフトウェアに登録します。

続けて、研究室に入るためのカメラ（カメラAとカメラB）を一括で管理するために、「研究室用配布グループ」を作成し、その「研究室用配布グループ」にカメラAとカメラBを登録します。

最後に、ユーザー1が研究室に入れるようにするために、ユーザー1に「研究室用配布グループ」を登録します。

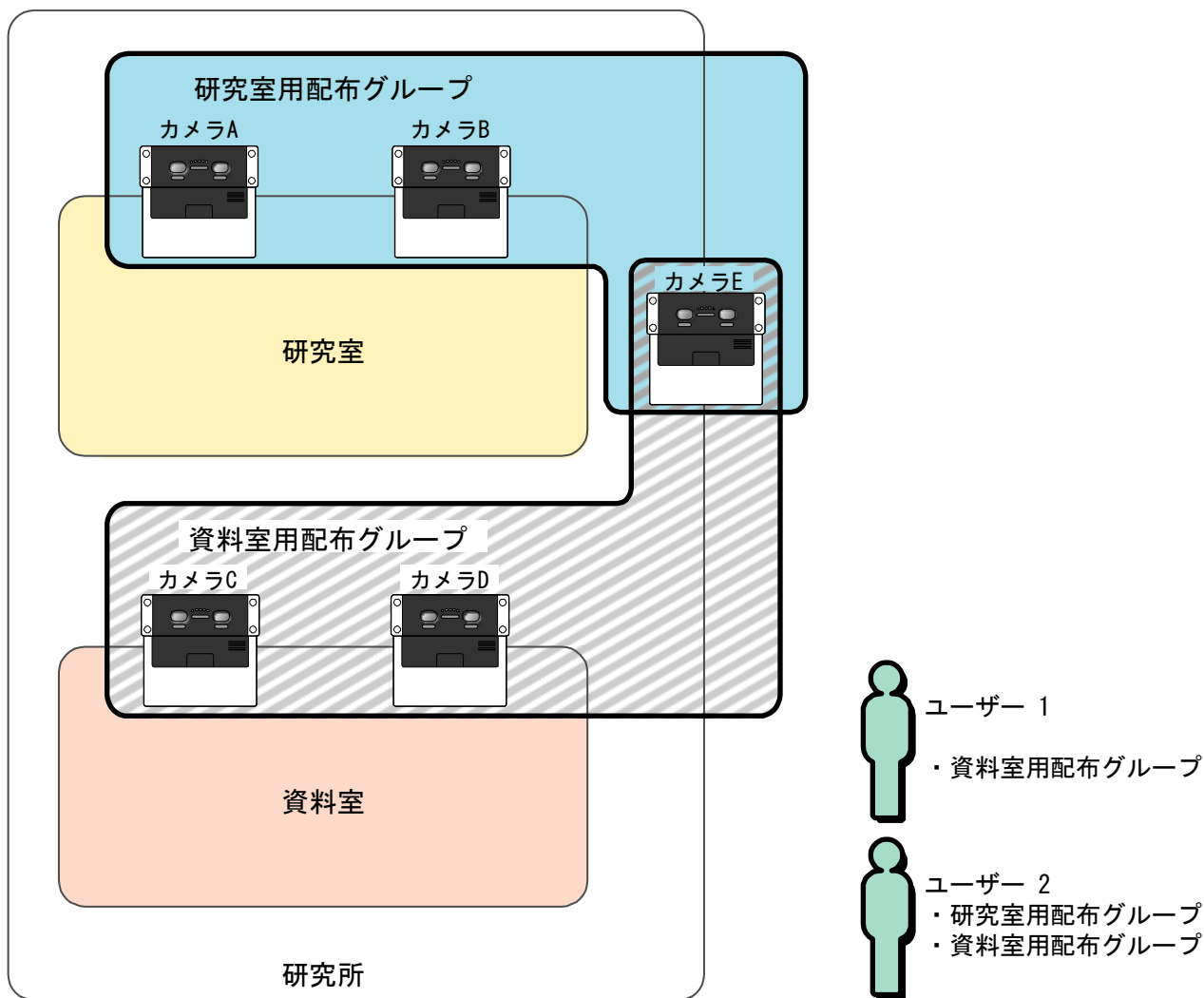
これでユーザー1は、カメラAでもカメラBでも虹彩認証を受けて研究室に入れるようになります。

📖 ヒント

- ・研究室に入れるユーザーが増えた場合は、そのユーザーに「研究室用配布グループ」を登録するだけで、カメラAでもカメラBでも虹彩認証を受けられるようになります。
- ・研究室に入り口が増えた場合などカメラが増えたときは、「研究室用配布グループ」に新しいカメラを追加するだけで、もともと研究室に入れるユーザーなら新しいカメラでも虹彩認証を受けられるようになります。

別の例も簡単に説明します。

研究所に研究室と資料室があり、研究室に入室できるユーザーと、資料室に入室できるユーザーを分けた場合は、次の図のように設定します。



このように設定すると、ユーザー1は、カメラC、カメラD、カメラEの3か所で虹彩認証を受けることができるため、資料室には入れますが、研究室には入れません。

ユーザー2は、5か所のカメラすべてで虹彩認証を受けることができるため、研究室にも資料室にも入ることができます。

■ 上位認証について

⚠️ ご注意

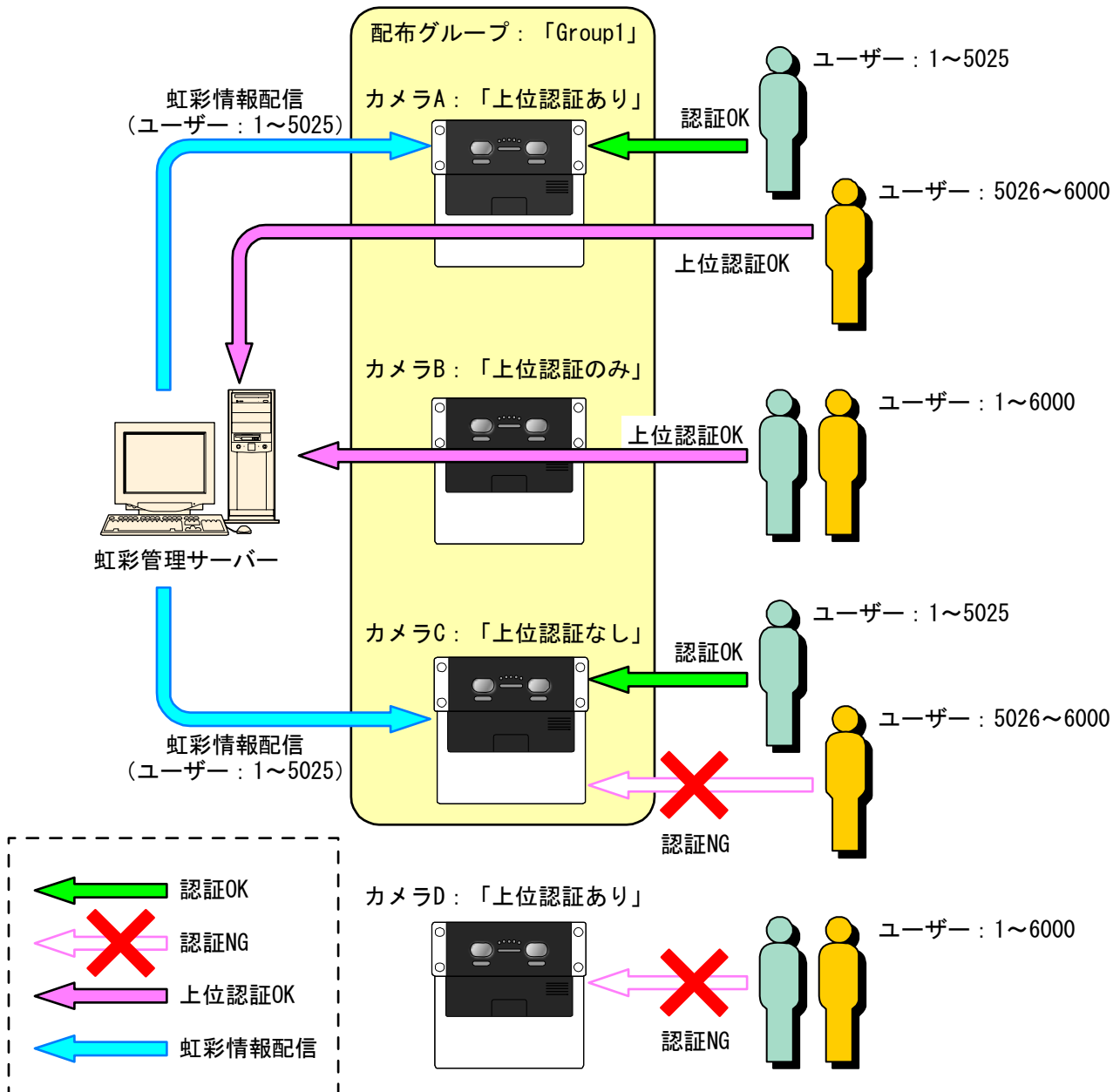
- ・虹彩オンカードでご使用になる場合には、上位認証の設定は適用されません。

カメラに登録できる虹彩情報の数には制限があり、1台のカメラ（品番：BM-ET200）には最大で5025人登録できます。一方、本ソフトウェアに登録できる虹彩情報の数は、ライセンスによって異なりますが、カメラよりも多くの虹彩情報を登録できます。

そのため、本ソフトウェアに登録されているものの、カメラには登録されていない虹彩情報が発生することがあります。この場合、カメラの設定を「上位認証あり」または「上位認証のみ」にすると、カメラに登録されていない虹彩情報については、虹彩管理サーバーに問い合わせるようになります。また、個々のユーザーに認証方法を割り当てることも可能です。

次の図は、虹彩管理サーバーに6000人分の虹彩情報が登録されている場合、カメラの上位認証設定、ユーザーの認証方法による動作の違いを説明しています。

カメラA、B、Cは、配布グループ「Group1」に登録されています。ユーザー1～6000には「Group1」が設定されています。



配布グループ「Group1」に登録されているカメラのうち、カメラAとCには、ユーザーIDの上位5025人分（ユーザー1～5025）の虹彩情報が配信されます。カメラBは「上位認証のみ」に設定されているため、誰が認証を行っても必ず上位認証により認証を行います。虹彩情報は配信されません。カメラDは「Group1」に属していないので、ユーザー1～6000は認証を行えません。カメラAで虹彩情報の配信された5025人は、カメラによって認証を行うことができます。虹彩情報の配信されていない残りのユーザー（ユーザー5026～6000）は、ユーザーの認証方法が「有効（カメラで認証）」、「有効（上位認証のみ）」どちらの設定でも必ず上位認証により認証が行われます。カメラCは「上位認証なし」の設定になっているため、虹彩情報の配信されたユーザー（ユーザー1～5025）だけが認証を行うことができます。カメラの設定に関係なく、ユーザーの認証方法で「無効」を選択した場合、カメラで認証を受けることができません。

■ 虹彩オンカードについて

配信された虹彩情報を使った認証、上位認証の他に、IC カードに書き込まれた虹彩情報と撮影した虹彩情報を 1 : 1 でマッチングを行い認証する方法が「虹彩オンカード」です。

虹彩オンカードによる認証では、IC カードに書き込まれたユーザーの虹彩情報をカードリーダー(II)から読み込み、その IC カードの所有者であるユーザーがカメラで撮影した虹彩情報と一致しないと認証 OK になりません。

本ソフトウェアから、登録したユーザー情報、虹彩情報を IC カードに書き込むことが可能です。虹彩オンカードを使用するには、専用の IC カードライター、カードリーダー(II)を別途用意する必要があります。

❗ ご注意

- ・虹彩オンカードは、カードリーダー(II)をカメラに接続した場合にのみ使用できます。
- ・IC カード書き込みを行うには、IC カードライターの設定が行われている必要があります。詳細は、「IC カードライターの設定を行う」(162 ページ)をお読みください。
- ・IC カードライターの接続、設定、使用方法などは、IC カードライターに付属の取扱説明書をお読みください。

■ カメラのセキュリティレベルについて

カメラの設定機能の 1 つに「セキュリティレベル」があります。この機能は、配信された虹彩情報をカメラの電源オフ時に「保持する」(普通)か、「消去する」(高)かを設定する機能です。

通常セキュリティレベルが「高」の場合、カメラの起動時に虹彩管理サーバーと接続が行われると、必要な虹彩情報が自動的に配信されます。カメラがリセット、電源オン/オフが行われた場合に、虹彩管理サーバーと接続ができない場合は、虹彩情報の配信が行われません。また、カメラも初期化状態で起動できないため、認証動作を行えません。

一方、セキュリティレベルを「普通」に設定した場合、カメラの起動時に 1 人以上の虹彩情報が配信済みの状態ならば、虹彩管理サーバーと接続できなくても起動を行い、認証動作も通常通り行うことができます。

しかし、セキュリティレベルが「普通」では、配信された虹彩情報が電源オフが行われた場合にも消去されないため、カメラの盗難などのトラブル発生時に虹彩情報が漏えいする恐れがあります。このようなトラブル時に虹彩情報の漏えいを防止するため、通常はセキュリティレベルの設定を「高」で運用してください。

虹彩オンカードでご使用の場合、セキュリティレベルを「高」に設定すると、カメラ起動時に虹彩管理サーバーと接続できないと起動できないため、認証動作を行えません。「普通」の設定では、カメラ起動時に虹彩管理サーバーと接続できない場合でも起動を行い、認証動作を行うことができます。

虹彩管理サーバーについて

■ 本ソフトウェアの主な仕様

本ソフトウェアの主な仕様は、次のとおりです。

項目	情報
登録可能なユーザー数	最大 10 025 人
登録可能なカメラ台数	最大 256 台
登録可能なグループ数	最大 256 グループ
ログ情報管理数	システムログ：最大 10 000 件 アクセスログ：最大 50 000 件
アラーム情報管理数	最大 1 000 件
自動バックアップファイル管理数	最大 3 世代
登録可能な管理者数	最大 100 人
虹彩情報配信数	最大 5 025 人 (10 050 目) (1 台のカメラにつき)
ネットワーク通信	プロトコル：TCP/IP ポート方向：送信、受信 ポート番号：8030

! **ご注意**

- ・登録可能なユーザー数は、ライセンスによって異なります。ライセンスをインストールするまでは 25 人です。ライセンスをインストールするためには別売りのユーザーライセンス追加ソフトウェア（品番：BM-EU30100、BM-EU31000、BM-EU33000、BM-EU35000）をご購入ください。
- ・ログ情報、アラーム情報、自動バックアップファイルは、管理数の上限を超えると、古い情報から自動的に削除されます。

■ インストールに必要なシステムについて

本ソフトウェアをインストールするために必要な、虹彩管理サーバーのシステムは以下のとおりです。

項目	情報
パソコン本体	CPU：Pentium® 4 (1.3 GHz 以上) メモリー：256 MB 以上 (推奨：384 MB) HDD：20 GB 以上の空き容量が必要 LAN カード (10 Base-T / 100 Base-TX)：1 CD-ROM ドライブ：1 IC カードライター接続用ポート：RS-232C ポート、または USB ポート ! ご注意 ・IC カードライター接続時に、USB ポート - RS-232C ポートの変換コネクタをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。
ディスプレイ	1 024×768 (65 000 色) 以上の高解像度ディスプレイ

項目	情報
対応 OS	Windows® 2000 Professional Service Pack 4、 Windows® 2000 Server Service Pack 4、 Windows® XP Professional Service Pack 2、 Windows Server® 2003 Standard Edition Service Pack 1 <div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;"> ! ご注意 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows® XP Professional Service Pack 2 を使用する場合は、コントロールパネルから Windows®ファイアウォール設定画面を開き、例外タブで TCP プロトコルのポート番号 8030 を追加してください。
ネットワークプロトコル	TCP/IP (カメラ - 本ソフトウェア間) SMTP (メール通知機能を使用する場合)

対応機器について

本ソフトウェアでは、以下の製品についてサポートしています。

対応製品	メーカー名	製品/品番
IC カードライター	HID 社	RWK400、RW400
	RFIDeas 社	RFID1356i (USB、RS-232C)
IC カード	HID 社	2001、2011、2021、2031、2041、2051、2061

! ご注意

- ・ IC カードライターおよび IC カードの詳細については、それぞれの製品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ・ IC カードライター接続時に、USB ポート - RS-232C ポートの変換コネクタをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。
- ・ USB 接続は Windows® XP のみ対応します。

システム導入編

はじめに

システム導入編では、システム構成図（11 ページ）にある虹彩管理サーバー、カメラ、カメラに接続するカードリーダーやドア制御ボックスなどの機器を相互接続し、本ソフトウェアにカメラ情報を登録して通信が行える状態にします。

■ 操作の流れ

システムを構成する各機器を接続し、設定などを行いシステムを立ち上げる操作の流れを示します。

システム起動までの流れ

各機器の接続／設定を行う

- ・カメラの初期設定を行う：20 ページ



本ソフトウェアをインストールする

- ・虹彩管理サーバーの設定を行う：20 ページ
- ・本ソフトウェアをインストールする：21 ページ
- ・管理者初期登録を行う：26 ページ



カメラ情報の登録を行う

- ・条件に合わせてシステムを選択する：28 ページ
- ・カメラ初期値設定を行う：30 ページ
- ・カメラ情報を登録する：38 ページ



虹彩管理サーバーにカメラを接続する

- ・登録したカメラ情報を確認する：40 ページ
- ・登録カメラを設定する：42 ページ



カメラを確認する、操作する
運用編（84 ページ）をお読みください。

各機器の接続／設定を行う

システムを構成する機器を相互接続してください。

各構成機器の詳細、操作、設定などは、それぞれの操作説明書、取扱説明書などをお読みください。

■ カメラの初期設定を行う

カメラ ID や IP アドレスなどの設定を変更したい場合は、カメラに付属の取扱説明書をお読みください。

❗ ご注意

- ・カメラがお買い上げ時の状態の場合は、以下の初期値が設定されています。
 - － カメラ ID : 1
 - － IP アドレス : 192.168.0.3
 - － サーバー IP アドレス : 192.168.0.2
 - － サブネットマスク : 255.255.255.0
 - － ゲートウェイ IP アドレス : 設定なし
- ・ご使用になるネットワーク環境での IP アドレスなどの設定が決まっている場合、これらの設定を変更してください。また、正しく設定されていない場合は、虹彩管理サーバーとの通信が正常に行えません。ネットワーク環境の設定については、ネットワーク管理者の指示により行ってください。

📖 ヒント

- ・カメラ ID、IP アドレスなどは、虹彩管理サーバーと正常に接続が行われた後に、本ソフトウェアから変更可能です。虹彩管理サーバーのネットワーク設定をカメラに合わせて設定し、登録後にカメラ ID、IP アドレスなどを変更することも可能です。

虹彩管理サーバーの設定を行う

虹彩管理サーバーの設定を行います。

【操作】

1. LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。
カメラと虹彩管理サーバーを LAN ケーブルで接続します。
2. 虹彩管理サーバーの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
虹彩管理サーバーの「ネットワークとダイヤルアップ接続」から、使用する接続の「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」にて、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

❗ ご注意

- ・虹彩管理サーバーの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定方法は、ネットワーク管理者に確認してください。また、ご使用になる LAN の環境によってその他に設定が必要な場合があります。ご使用になる環境にあわせて、必ずネットワーク管理者の指示を確認のうえ、設定してください。

本ソフトウェアをインストールする

虹彩管理サーバーに本ソフトウェアをインストールすると、登録可能ユーザー数が 25 人の状態でインストールされます。本ソフトウェアのインストール後にユーザーライセンス追加ソフトウェアをインストールすると、最大登録可能ユーザー数がライセンスに応じて増加します。

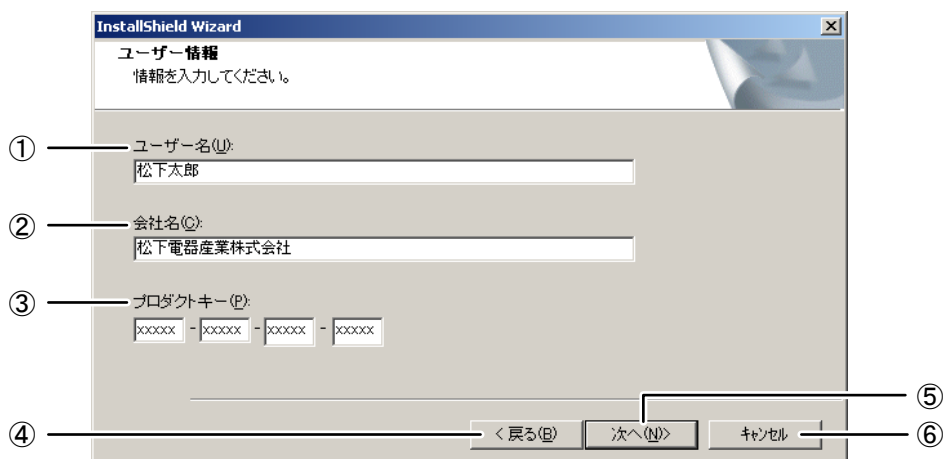
次の手順に従って本ソフトウェアをインストールします。

❗ ご注意

- ・ Windows® の Administrator あるいは同等の権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてインストールしてください。
- ・ インストールしたユーザーアカウントの削除およびユーザーアカウント名の変更は行わないでください。

【操作】

1. インストール用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [マイコンピュータ]→CD-ROM ドライブ→[ES200]→[Setup.exe]の順にダブルクリックします。
インストール準備中の画面が表示され、Administration Software InstallShield ウィザードへようこそ画面が表示されます。
3. [次へ]ボタンをクリックします。
ユーザー情報画面が表示されます。
4. ユーザー情報を入力します。

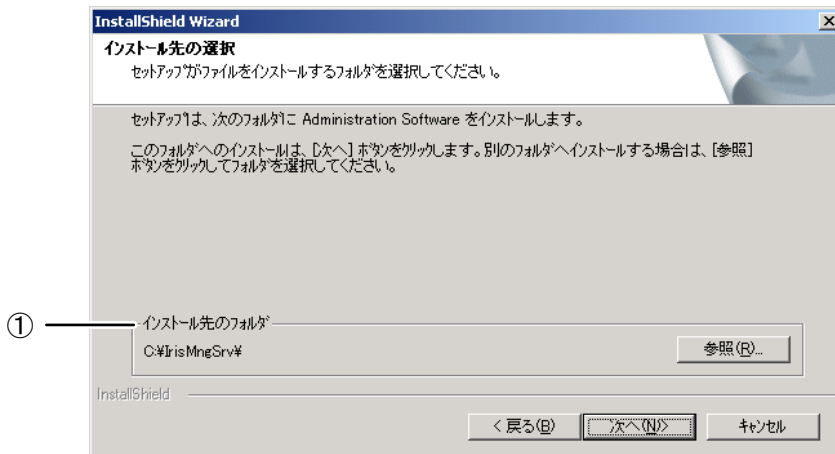


画面の項目	説明
① ユーザー名	ユーザー名を入力します。
② 会社名	会社名を入力します。
③ プロダクトキー	本ソフトウェアの CD-ROM に添付されているプロダクトキーを半角数字で入力します。
④ 戻る	前の画面に戻ります。
⑤ 次へ	次の画面に進みます。
⑥ キャンセル	インストールを中止します。

5. [次へ]ボタンをクリックします。

インストール先の選択画面が表示されます。

6. インストール先のフォルダを確認します。



画面の項目	説明
① インストール先のフォルダ	本ソフトウェアをインストールするフォルダが表示されます。フォルダを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックします。

※上記以外の画面の項目については、手順 4 をお読みください。

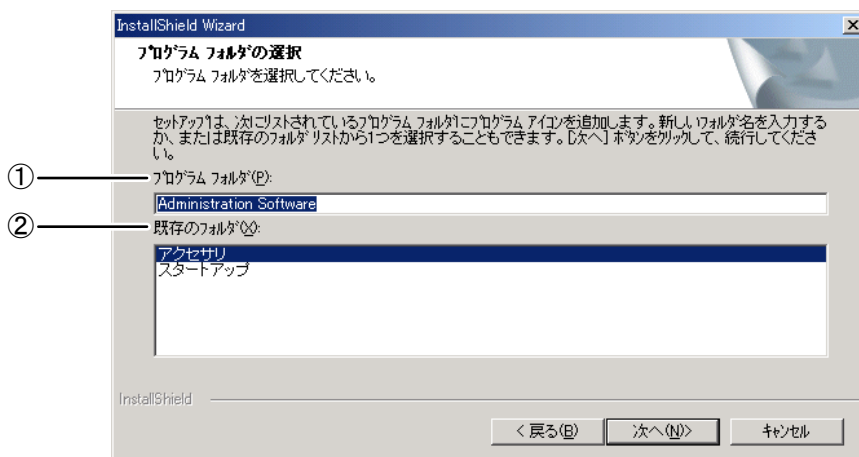
❗ ご注意

- ・インストール先のフォルダ名に、; (セミコロン) を使用しないでください。本ソフトウェアが正常に動作できなくなります。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

プログラムフォルダの選択画面が表示されます。

8. プログラムフォルダを確認します。



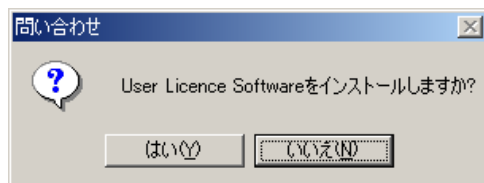
画面の項目	説明
① プログラムフォルダ	スタートメニューに新しいプログラムフォルダを作成するときは、フォルダの名前を入力します。
② 既存のフォルダ	スタートメニューにすでにあるフォルダにプログラムアイコンを追加するときは、フォルダを選択します。

9. [次へ]ボタンをクリックします。

ファイルコピーの開始画面が表示されます。

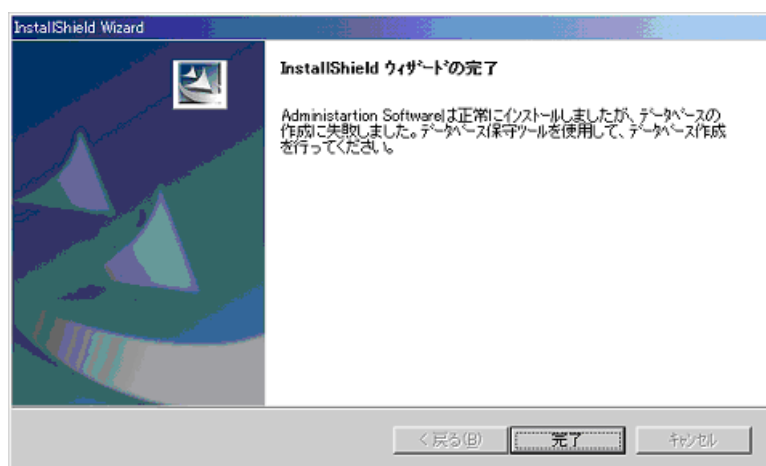
10. [次へ]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピーが完了すると、ユーザーライセンス追加ソフトウェアのインストールを行うかどうかの画面が表示されます。

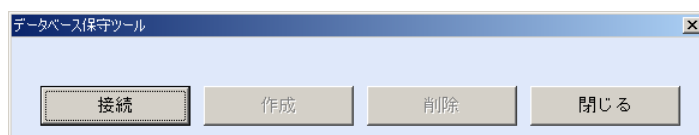


① ご注意

- ・インストール時、データベース作成に失敗すると下記の画面が表示されます。その場合はデータベース保守ツールを使用して、データベースの作成を行ってください。



- ・データベースの作成を行う前に虹彩管理サーバーを再起動してください。そのあと、[C¥IrisMngSrv¥bin]フォルダ内の IrisDBEnv.exe を起動させ、[接続]ボタンをクリックし、続いて[作成]ボタンをクリックするとデータベースの作成が完了します。データベースの作成完了後は必ず PC を再起動してください。
(上記[C¥IrisMngSrv¥bin]の表記は、本ソフトウェアを C ドライブにインストールした場合です。インストール先のドライブによって、表記と異なる場合があります。)



11. [はい]または[いいえ]をクリックして次に進みます。

[はい]を選択した場合、画面に従いユーザーライセンス追加ソフトウェアのCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。ユーザーライセンス追加ソフトウェアのインストールについてはユーザーライセンス追加ソフトウェアに付属の取扱説明書をお読みください。

[いいえ]を選択した場合、またはユーザーライセンス追加のインストールが終了すると、InstallShieldウィザードの完了画面が表示されます。

12. 再起動の有無を選択して、[完了]ボタンをクリックします。



画面の項目	説明
① はい、今すぐコンピュータを再起動します。	虹彩管理サーバーが再起動し、インストールが完了します。
② いいえ、後でコンピュータを再起動します。	虹彩管理サーバーを再起動せずに、インストーラーを終了します。後で再起動したときに、インストールが完了します。

⚠️ ご注意

- ・インストール後は、必ず再起動してください。

■ 本ソフトウェアをアンインストールする

本ソフトウェアをアンインストールする方法を記述します。必要に応じて行ってください。

⚠️ ご注意

- ・ Windows®の Administrator あるいは同等の権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてアンインストールを行ってください。また、本ソフトウェアのインストール時にログオンしたユーザーアカウント以外では、アンインストールが正常に行えない場合があります。
- ・ 本ソフトウェアをアンインストールした場合、ユーザーライセンス追加ソフトウェアで追加したライセンスはアンインストールされません。ユーザーライセンス追加ソフトウェアで追加したライセンスのアンインストールは別途行う必要があります。ライセンスのアンインストール方法は、ユーザーライセンス追加ソフトウェアに付属の取扱説明書をお読みください。

【操作】

1. 本ソフトウェアを終了します。
終了する手順については、「終了する」（52 ページ）をお読みください。
2. Windows®のタスクマネージャを表示して、情報表示ウィンドウ（タスク名：Information Display Window）を終了します。
3. Windows®のコントロールパネルを表示します。アプリケーションの追加と削除画面を表示します。
4. [Administration Software]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。
ファイル削除の確認画面が表示されます。
5. [OK]ボタンをクリックします。
アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると、InstallShield ウィザードの完了画面が表示されます。
6. 再起動の有無を選択して、[完了]ボタンをクリックします。

⚠️ ご注意

- ・ アンインストール後は、必ず再起動してください。
- ・ アンインストール後、必要に応じて以下のフォルダを手動で削除してください。
（下記表記は、本ソフトウェアをCドライブにインストールした場合です。インストール先のドライブによって、表記と異なる場合があります。）
－ C:¥IrisMngSrv

管理者初期登録を行う

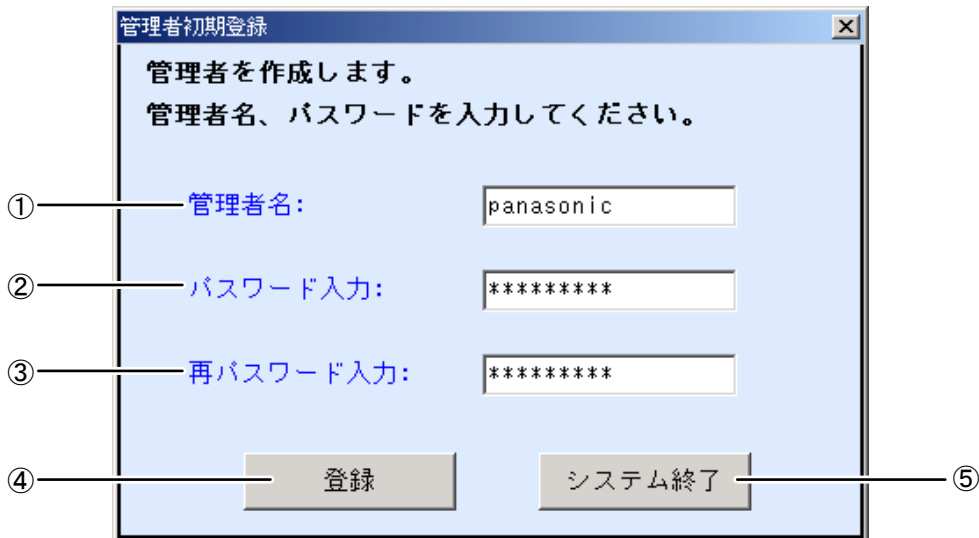
本ソフトウェアをインストール後の初回起動時に、管理者を登録するための管理者初期登録画面が表示されます。本ソフトウェアを操作するための管理者を登録しログインを行います。

ヒント

- ・管理者初期登録で登録した管理者には、すべての権限が設定されます。

【操作】

1. 管理者初期登録画面に、登録する管理者名とパスワードを入力します。



画面の項目	説明
① 管理者名	登録する管理者の名前を入力します。 半角英数字（0～9、a～z）で、16文字まで登録できます。半角英字（a～z）は大文字、小文字の区別はありません。
② パスワード入力	登録する管理者のパスワードを入力します。 半角文字で、16文字まで登録できます。 パスワードは、大文字、小文字で区別されます。
③ 再パスワード入力	[パスワード入力]に入力したパスワードと同じものを、もう一度入力します。
④ 登録	管理者を登録します。続けて、メインメニュー画面が表示されます。 [管理者名]、[パスワード入力]、[再パスワード入力]をすべて入力すると、[登録]ボタンをクリックできます。
⑤ システム終了	管理者を登録せずに、本ソフトウェアを終了します。次に本ソフトウェアを起動したときも、管理者初期登録画面が表示されます。

⚠️ ご注意

- ・パスワードには名前や誕生日、電話番号などの予測可能なものを避け、英字、数字を組み合わせた予測困難なものを設定することをお勧めします。またセキュリティ向上のため、定期的にパスワードを変更してください。
- ・パスワードが第三者に知られると、本ソフトウェアを不正に使用される恐れがありますので、厳重に管理してください。

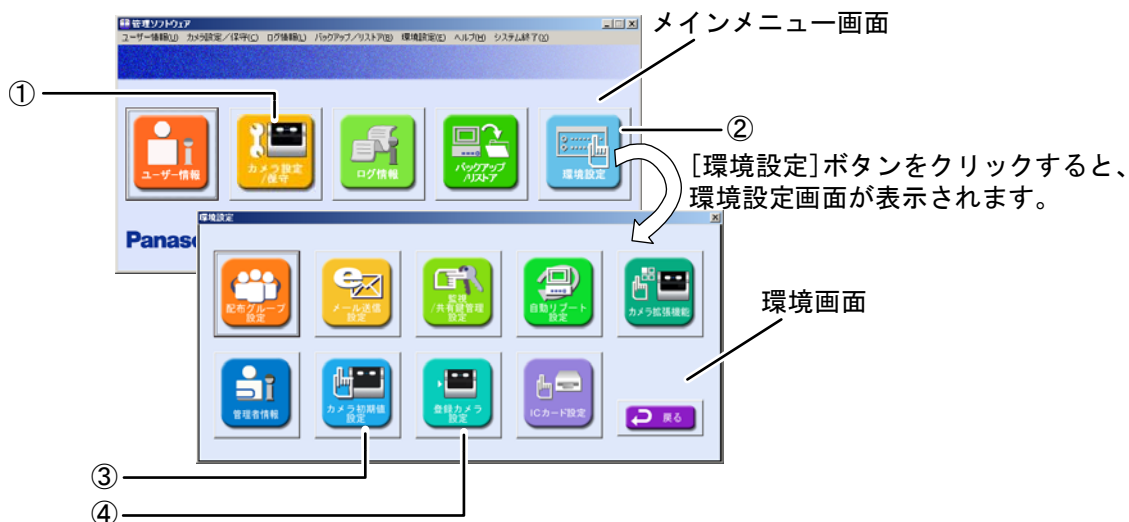
2. [登録]ボタンをクリックします。

管理者が登録され、メインメニュー画面が表示されます。

■ カメラ登録時の画面遷移

カメラ情報登録時の操作に必要な画面遷移について説明します。

後述の「カメラ情報の登録を行う」（28 ページ）、「虹彩管理サーバーにカメラを接続する」（40 ページ）で操作を行う場合の参考にしてください。



画面の項目	説明
① カメラ設定／保守	カメラ設定／保守画面（40 ページ）が表示されます。
② 環境設定	環境設定画面が表示されます。
③ カメラ初期値設定	カメラ初期値設定画面（30 ページ）が表示されます。
④ 登録カメラ設定	登録カメラ設定画面（42 ページ）が表示されます。

⚠️ ご注意

- 以降の操作「カメラ情報の登録を行う」（28 ページ）を行うには「カメラ設定／保守」権限と「環境設定」権限、「虹彩管理サーバーにカメラを接続する」（40 ページ）を行うには「カメラ設定／保守」権限が管理者に設定されている必要があります。

カメラ情報の登録を行う

カメラ情報の登録を行います。ご使用のシステム構成に合わせて、適切な設定を行う必要があります。

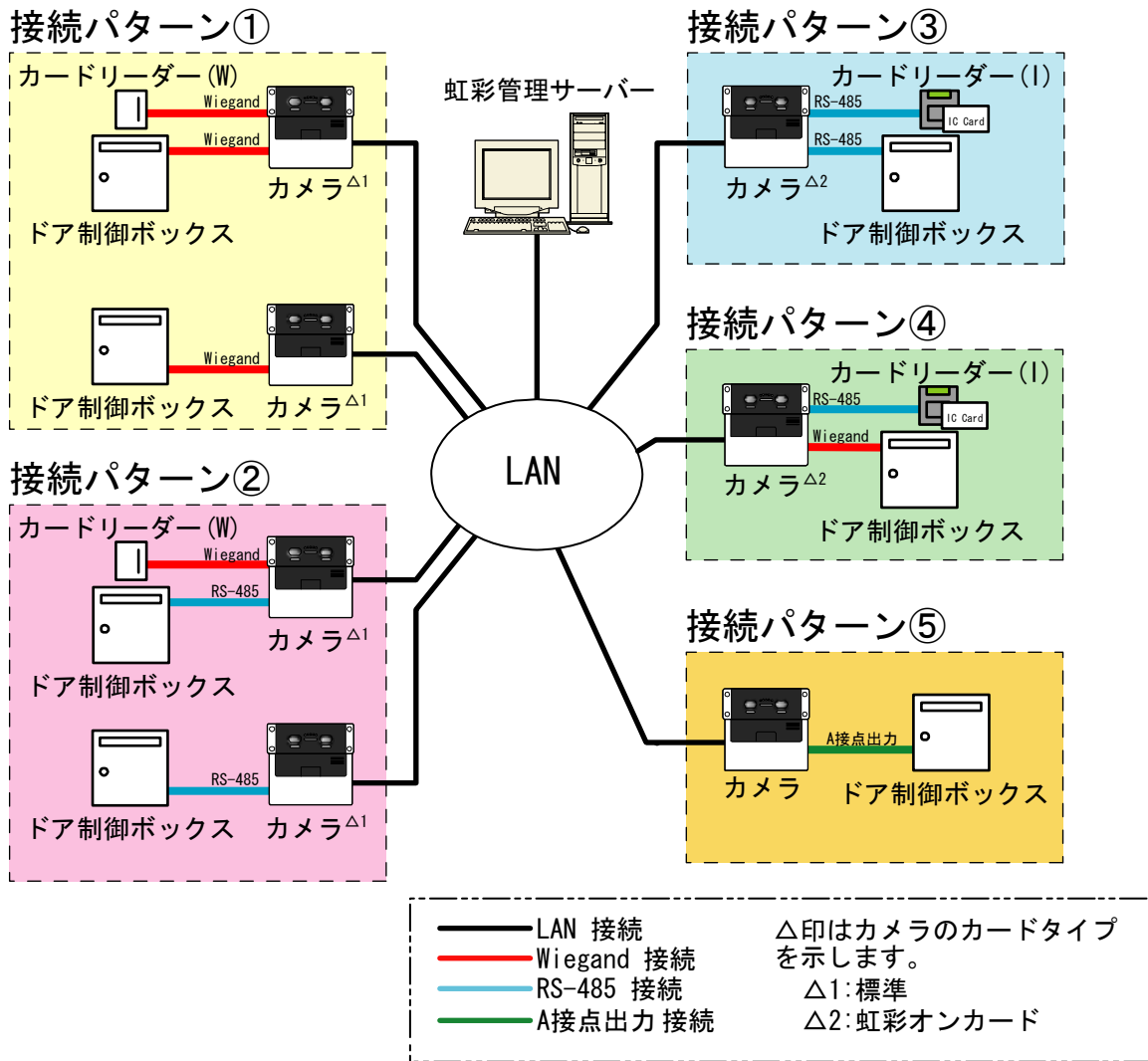
条件に合わせてシステムを選択する

カメラとカードリーダー、ドア制御ボックスの組合せ、または認証方法や設置環境などにより設定を変えることで、様々な構成でシステムを構築できます。

■ 接続パターンを選ぶ

カメラとカードリーダー、ドア制御ボックスの組合せにより、カメラ情報を登録する際の設定が異なります。

以下の図より、ご使用になる接続パターンを選び、次ページの接続パターン別の設定方法を確認のうえ、「カメラ初期値設定を行う」（30 ページ）の操作を行ってください。



⚠️ ご注意

- ・上記図の接続パターンは、カードリーダー、ドア制御ボックスの接続方法により大別しています。構築するシステム内の構成がすべて同じパターンである必要はありません。

- ・複数の接続パターンを設定するには、「カメラ情報を編集する」（63 ページ）以降で記述している「カメラ情報を登録する」（73 ページ）や「カメラを更新する、削除する」（74 ページ）をお読みください。

接続パターン①

カメラにカードリーダー(W)、Wiegand 接続でドア制御ボックスを接続して運用を行います。また、カードリーダー(W)を接続しない場合の構成で運用することができます。

接続パターン①では、「カメラ初期値設定を行う」（30 ページ）以降で、以下の設定を行います。

手順 3：カードリーダー情報画面（32 ページ）の①[カードタイプ]で「標準」を選択します。また、[Wiegand 設定]欄内の項目④～⑧を設定します。

手順 4：ドア制御ボックス情報画面（34 ページ）の①[通信方式]で「Wiegand」を選択します。また、[Wiegand 設定]欄内の項目②～⑦を設定します。

接続パターン②

カメラにカードリーダー(W)、RS-485 接続でドア制御ボックスを接続して運用を行います。また、カードリーダー(W)を接続しない場合の構成で運用することができます。

接続パターン②では、「カメラ初期値設定を行う」（30 ページ）以降で、以下の設定を行います。

手順 3：カードリーダー情報画面（32 ページ）の①[カードタイプ]で「標準」を選択します。また、[Wiegand 設定]欄内の項目④～⑧を設定します。

手順 4：ドア制御ボックス情報画面（36 ページ）の①[通信方式]で「RS-485」を選択します。また、[RS-485 設定]欄内の項目②～⑩を設定します。

接続パターン③

カメラにカードリーダー(I)、RS-485 接続でドア制御ボックスを接続して運用を行います。

接続パターン③では、「カメラ初期値設定を行う」（30 ページ）以降で、以下の設定を行います。

手順 3：カードリーダー情報画面（32 ページ）の①[カードタイプ]で「虹彩オンカード」を選択します。「虹彩オンカード」を選択すると、②[カードリーダー接続]は「あり」に自動的に設定されます。変更はできません。また、[Wiegand 設定]欄内の項目が無効になります。

⚠️ ご注意

- ・「虹彩オンカード」を選択した場合、運用情報画面（31 ページ）の③[上位認証]が無効になります。

手順 4：ドア制御ボックス情報画面（36 ページ）の①[通信方式]で「RS-485」を選択します。また、[RS-485 設定]欄内の項目②～⑩を設定します。

接続パターン④

カメラにカードリーダー(I)、Wiegand 接続でドア制御ボックスを接続して運用を行います。

接続パターン④では、「カメラ初期値設定を行う」（30 ページ）以降で、以下の設定を行います。

手順 3：カードリーダー情報画面（32 ページ）の①[カードタイプ]で「虹彩オンカード」を選択します。「虹彩オンカード」を選択すると、②[カードリーダー接続]は「あり」に自動的に設定されます。変更はできません。また、[Wiegand 設定]欄内の項目が無効になります。

⚠️ ご注意

- ・「虹彩オンカード」を選択した場合、運用情報画面（31 ページ）の③[上位認証]が無効になります。

手順 4：ドア制御ボックス情報画面（34 ページ）の①[通信方式]で「Wiegand」を選択します。また、[Wiegand 設定]欄内の項目②～⑦を設定します。

接続パターン⑤

A 接点出力でドア制御ボックスを接続して運用を行います。

- 接続パターン⑤では、「カメラ初期値設定を行う」（30 ページ）以降で、以下の設定を行います。
- 手順 2：運用情報画面（31 ページ）の⑥[認証結果出力 1（認証OK）]で「出力する」を選択します。
また、⑦[出力幅]はご使用のドア制御ボックスの仕様に合わせて設定します。
- 手順 4：ドア制御ボックス情報画面（34 ページ）の①[通信方式]の「Wiegand」、「RS-485」の
チェックボックスをオフにします。

カメラ初期値設定を行う

カメラ初期値設定では、カメラ情報の初期値（デフォルト値）を設定します。カメラ初期値設定を行うことにより、複数のカメラ情報を登録する際に、作業を効率よく行うことができます。

環境設定画面で、[カメラ初期値設定]ボタンをクリックします。または、メインメニュー画面のメニューバーから[環境設定]→[カメラ初期値設定]でカメラ初期値設定画面を表示します。

📖 ヒント

- ・カメラ初期値設定では、カメラを登録する際に必要な設定を任意で設定します。設定を行わなかった項目は、カメラ情報の登録時に手動で入力する必要があります。

【操作】 環境設定

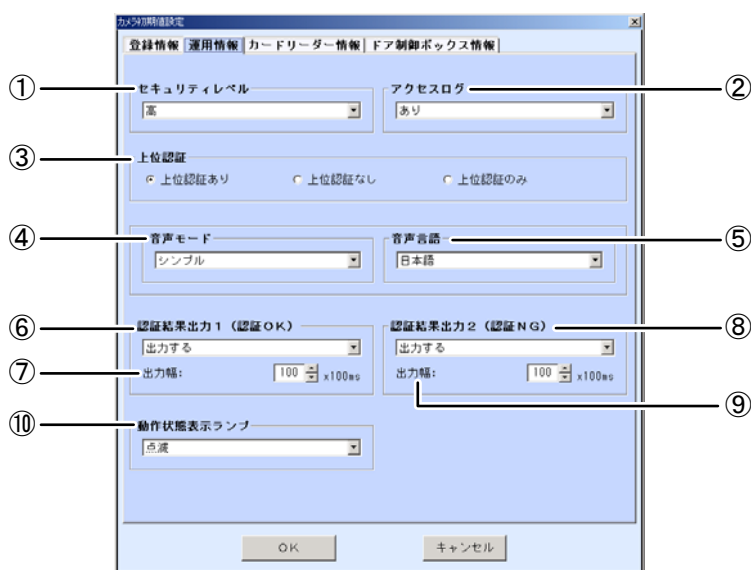
1. 登録情報を設定します。
カメラに設定するサーバーIP アドレスなどを設定します。
必要に応じて値を編集します。



画面の項目	説明
① サーバー IP アドレス	カメラに設定する虹彩管理サーバーの IP アドレスを設定します。
② サブネット マスク	カメラに設定するサブネットマスクを設定します。
③ ゲートウェイ IP アドレス	カメラに設定するゲートウェイ IP アドレスを設定します。 「0.0.0.0」を設定することはできません。
④ OK	設定を保存して、カメラ初期値設定画面を閉じます。
⑤ キャンセル	設定を保存せずに、カメラ初期値設定画面を閉じます。

2. [運用情報]タブをクリックして、カメラの運用情報を設定します。

カメラの運用情報を設定します。運用情報は、おもに認証時の動作に関連する設定です。



画面の項目	説明						
① セキュリティレベル	カメラのセキュリティレベル（16 ページ）を設定します。 「高」、「普通」を設定できます。						
② アクセスログ	カメラでの認証結果（OK、NG）を虹彩管理サーバーに通知するかどうかを設定します。「あり」、「なし」を設定できます。 「あり」を選択すると、虹彩管理サーバーに通知します。この場合、ログ情報のアクセスログで通知された認証結果を確認できます。 「なし」を選択すると、虹彩管理サーバーに通知しません。この場合、ログ情報のアクセスログには表示されません。						
③ 上位認証	上位認証（14 ページ）を設定します。 「上位認証あり」、「上位認証なし」、「上位認証のみ」を設定できます。 カードリーダー情報画面（32 ページ）の①[カードタイプ]で「虹彩オンカード」を選択している場合は、[上位認証]は「上位認証なし」が自動的に選択されます。変更はできません。（接続パターン③、④の場合）						
④ 音声モード	カメラの音声モード（音声出力）を設定します。 「ミュート」、「シンプル」、「フル」を設定できます。 <table border="1" data-bbox="564 1653 1436 1870"> <tr> <td>ミュート</td> <td>音声出力を一切行いません。</td> </tr> <tr> <td>シンプル</td> <td>認証結果の「認証できました」、「認証できませんでした」を音声出力します。</td> </tr> <tr> <td>フル</td> <td>認証結果に加え「もう少し近づいてください」などの誘導を音声出力します。</td> </tr> </table>	ミュート	音声出力を一切行いません。	シンプル	認証結果の「認証できました」、「認証できませんでした」を音声出力します。	フル	認証結果に加え「もう少し近づいてください」などの誘導を音声出力します。
ミュート	音声出力を一切行いません。						
シンプル	認証結果の「認証できました」、「認証できませんでした」を音声出力します。						
フル	認証結果に加え「もう少し近づいてください」などの誘導を音声出力します。						
⑤ 音声言語	カメラの音声言語を設定します。 英語、日本語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語、トルコ語、オランダ語、スウェーデン語を設定できます。						

画面の項目	説明
⑥ 認証結果出力1 (認証 OK)	認証成功時にカメラの認証結果出力1 (認証 OK) 端子からパルス信号を出力するかどうかを設定します。 「出力しない」、「出力する」を設定できます。
⑦ 出力幅	⑥[認証結果出力1 (認証 OK)]で「出力する」を選択した場合、設定可能になります。1~600の数値で設定できます。認証成功時にカメラの認証結果出力1 (認証 OK) 端子から、パルス信号を設定値×100 ms で出力します。
⑧ 認証結果出力2 (認証 NG)	認証失敗時にカメラの認証結果出力2 (認証 NG) 端子からパルス信号を出力するかどうかを設定します。 「出力しない」、「出力する」を設定できます。
⑨ 出力幅	⑧[認証結果出力2 (認証 NG)]で「出力する」を選択した場合、設定可能になります。1~600の数値で設定できます。認証失敗時にカメラの認証結果出力2 (認証 NG) 端子から、パルス信号を設定値×100 ms で出力します。
⑩ 動作状態表示ランプ	カメラの動作状態表示ランプの動作を設定します。 「消灯」、「点滅」、「点灯」を設定できます。

！ ご注意

- ・ 認証結果出力1 (認証 OK) の出力幅、認証結果出力2 (認証 NG) の出力幅を設定する場合は、出力先機器の仕様に合わせて設定してください。

3. [カードリーダー情報]タブをクリックして、カメラとカードリーダー間の通信情報を設定します。

カードリーダー情報は、カードリーダーの種類やカードリーダーから読み取ったカード ID をカメラに送信する通信設定を行います。ご使用のカードリーダーに合わせて設定を行ってください。

！ ご注意

- ・ カメラにカードリーダーを接続しないで使用する場合は、[カードタイプ]を「標準」、[カードリーダー接続]を「なし」に設定してください。



画面の項目	説明
① カードタイプ	<p>使用するカードリーダーの種類を選択します。 「標準」、「虹彩オンカード」を設定できます。 カードリーダー(W)を使用する場合は、「標準」を選択します。また、カメラにカードリーダーを接続しないで運用する場合も、「標準」を選択します。(接続パターン①、②の場合) カードリーダー(I)を使用する場合は、「虹彩オンカード」を選択します。この場合、②[カードリーダー接続]は自動的に「あり」に設定されます。変更はできません。(接続パターン③、④の場合)</p> <p>⚠ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラが品番：BM-ET330 の場合、カメラ情報のカードタイプは、カメラにダウンロードしたカメラソフトウェアにより変わります。カメラと虹彩管理サーバーが通信した際に、カメラにダウンロードされているカメラソフトウェアの種類を取得し、標準用カメラソフトウェアの場合は、「標準」を、虹彩オンカード用カメラソフトウェアの場合は、「虹彩オンカード」が自動的に選択されます。
② カードリーダー接続	<p>カードリーダー接続の有無を設定します。 「あり」、「なし」を設定できます。 カードリーダー(W)を使用する場合は、「あり」を選択します。また、[Wiegand 設定]欄内の項目が設定可能になります。 カードリーダー(W)なしで運用する場合は、「なし」を選択します。(接続パターン①、②の場合) カードリーダー(I)を使用する場合は、「あり」が自動的に設定されず。変更はできません。(接続パターン③、④の場合)</p>
③ カードリーダー接続時の認証	<p>カメラにカードリーダーを接続している場合の認証方法を設定します。 ②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。 「カード+虹彩認証(非スルーモード)」は、カードIDと虹彩情報での認証です。カードをカードリーダーに提示するとカメラの認証動作が開始されます。 「カード認証のみ(スルーモード)」は、カードIDのみの認証です。カードから読み出したカードIDをドア制御ボックスに出力します。カメラでは虹彩撮影を行いません。</p>
④ パルス幅*	<p>Wiegand 通信のパルス幅を設定します。 「30μs」、「40μs」、「50μs」を設定できます。</p>
⑤ パルス間隔*	<p>Wiegand 通信のパルス間隔を設定します。 「1.0 ms」、「1.5 ms」、「2.0 ms」を設定できます。</p>
⑥ 総ビット長*	<p>⑦[サイトコード]+⑧[ユーザーコード]+パリティビット(2ビット)の合計が表示されます。26~128ビットになるようにサイトコード、ユーザーコードを設定します。</p>
⑦ サイトコード*	<p>サイトコードのビット長を0~125ビットで設定できます。</p>
⑧ ユーザーコード*	<p>ユーザーコードのビット長を1~126ビットで設定できます。</p>

表中の画面項目で、*印は、カードリーダー(W)を使用する場合（①[カードタイプ]で「標準」、②[カードリーダー接続]を「あり」で設定した場合）のみ設定できます。（接続パターン①、②の場合）

ヒント

- ・接続パターン①でカードリーダー「あり」の場合、手順4のドア制御ボックスのWiegand設定を変更すると、値が自動的に反映されます。

4. [ドア制御ボックス情報]タブをクリックして、カメラとドア制御ボックス間の通信情報を設定します。

カメラから認証結果をドア制御ボックスに送信、またはドア制御ボックスからの認証動作開始を受信するための通信情報の設定です。ご使用のドア制御ボックスの仕様に合わせて設定してください。RS-485 接続でドア制御ボックスをご使用になる場合は、「RS-485 接続でドア制御ボックスを使用する場合」（36 ページ）をお読みください。（接続パターン②、③の場合）

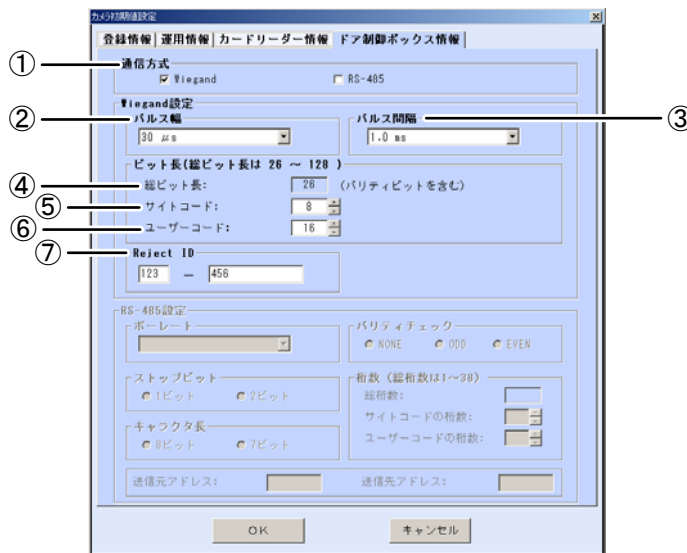
Wiegand 接続でドア制御ボックスを使用する場合

ドア制御ボックスを Wiegand 接続で使用する場合の設定について説明します。（接続パターン①、④の場合）

画面項目の①[通信方式]で「Wiegand」を選択します。[Wiegand 設定]欄内の項目②～⑦が設定可能になります。

ヒント

- ・手順3のカードリーダー接続画面で[Wiegand 設定]欄内の項目④～⑧の内容を設定してある場合、①[通信方式]で「Wiegand」を選択すると、[Wiegand 設定]欄内の項目②～⑥の対応する項目に値が反映されます。また、この項目を編集すると、カードリーダー接続画面の対応する項目に反映されます。（接続パターン①の場合）



画面の項目	説明
① 通信方式	「Wiegand」を選択します。「Wiegand 設定」欄内の項目が設定可能になります。
② パルス幅*	Wiegand 通信のパルス幅を設定します。 「30μs」、「40μs」、「50μs」を設定できます。

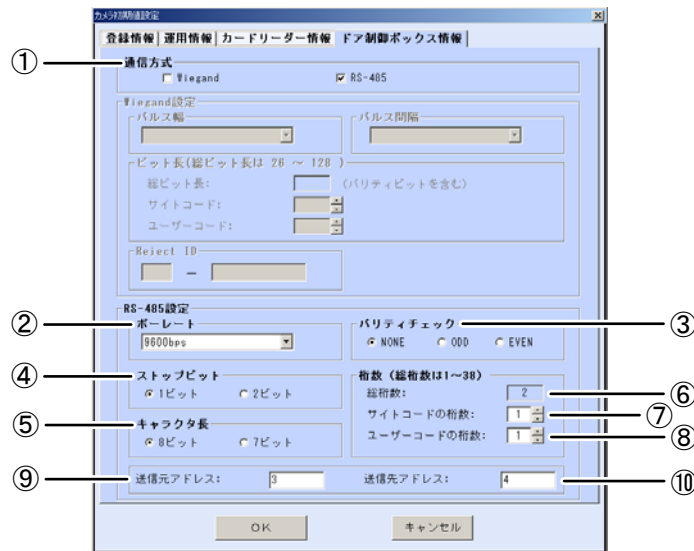
画面の項目	説明
③ パルス間隔*	Wiegand 通信のパルス間隔を設定します。 「1.0 ms」、「1.5 ms」、「2.0 ms」を設定できます。
④ 総ビット長*	⑤[サイトコード]+⑥[ユーザーコード]+パリティビット（2ビット）の合計が表示されます。26～128 ビットになるようにサイトコード、ユーザーコードを設定します。
⑤ サイトコード*	サイトコードのビット長を 0～125 ビットで設定できます。
⑥ ユーザーコード*	ユーザーコードのビット長を 1～126 ビットで設定できます。
⑦ Reject ID*	<p>認証結果が NG だった場合にドア制御ボックスに出力するデータを <u>サイトコード</u>—<u>ユーザーコード</u>形式で、10 進数で入力します。パリティビット（2 ビット）は除いて設定してください。</p> <p>⑤サイトコードと⑥ユーザーコードで設定したそれぞれのビット長以内の値を設定してください。</p> <p>📌 ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドア制御ボックスに実際に出力される Reject ID は、サイトコードのみ空欄のままでも出力することが可能です。この場合、出力されるサイトコードは 0 となります。 <p>⚠️ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Reject ID の設定値については、カメラと接続するドア制御ボックスの仕様を確認してください。

表中の画面項目で、*印は、Wiegand 接続でドア制御ボックスを使用する場合、（①[通信方式]で「Wiegand」を設定した場合）のみ設定できます。（接続パターン①、④の場合）

RS-485 接続でドア制御ボックスを使用する場合

ドア制御ボックスを RS-485 接続で使用する場合の設定について説明します。（接続パターン②、③の場合）

画面項目の①[通信方式]で「RS-485」を選択します。[RS-485 設定]欄内の項目②～⑩が設定可能になります。



画面の項目	説明
① 通信方式	「RS-485」を選択します。「RS-485 設定」欄内の項目が設定可能になります。
② ポーレート*	RS-485 通信のボーレートを設定します。 「9600bps」、「19200bps」、「38400bps」を設定できます。
③ パリティ チェック*	RS-485 通信のパリティチェックを設定します。 「NONE」、「ODD」、「EVEN」を設定できます。
④ ストップビット*	RS-485 通信のストップビットを設定します。 「1ビット」、「2ビット」を設定できます。
⑤ キャラクタ長*	RS-485 通信のキャラクタ長を設定します。 「8ビット」、「7ビット」を設定できます。
⑥ 総桁数*	⑦[サイトコードの桁数]+⑧[ユーザーコードの桁数]の合計が表示されます。1～38 桁になるようにサイトコードの桁数、ユーザーコードの桁数を設定します。
⑦ サイトコードの 桁数*	サイトコードの桁数を 0～37 桁で設定できます。
⑧ ユーザーコード の桁数*	ユーザーコードの桁数を 1～38 桁で設定できます。
⑨ 送信元アドレス*	RS-485 通信のカメラのアドレスを設定します。0～99999 を設定します。 カメラが品番：BM-ET330 の場合は設定できません。
⑩ 送信先アドレス*	RS-485 通信のドア制御ボックスのアドレスを設定します。0～99999 を設定します。 カメラが品番：BM-ET330 の場合は設定できません。

表中の画面項目で、*印は、RS-485 接続でドア制御ボックスを使用する場合、（①[通信方式]で「RS-485」を設定した場合）のみ設定できます。（接続パターン②、③の場合）

5. [OK]ボタンをクリックします。

設定が保存され、カメラ初期値設定画面を閉じます。

次項の「カメラ情報を登録する」でカメラ情報を登録します。

カメラ情報を登録する

カメラ初期値設定が完了したら、続けてカメラ情報を登録します。メインメニュー画面で[カメラ設定／保守]ボタンをクリックするか、メニューバーから[カメラ設定／保守]メニューの[カメラ設定／保守]を選択すると、カメラ設定／保守画面が表示されます。



画面の項目	説明
① 新規	カメラ情報新規登録画面（39 ページ）が表示されます。

【操作】 カメラ設定/保守

1. カメラ設定／保守画面の[新規]ボタンをクリックします。
カメラ情報新規登録画面の[登録情報]画面が表示されます。
2. カメラの情報を設定します。
[カメラID]、[カメラ名]、[IP アドレス]を入力します。[カメラID]、[IP アドレス]は、他のカメラと重複して登録できません。[サーバーIP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ IP アドレス]は、カメラ初期値設定で設定した値が自動的に入力されます。変更の必要がある場合は、編集してください。「運用情報」、「カードリーダー情報」、「ドア制御ボックス情報」タブの各画面項目もカメラ初期値設定で設定した値が自動的に入力されます。必要に応じて編集します。
[カメラID]、[カメラ名]、[IP アドレス]を入力すると、[登録]ボタンがクリックできるようになります。

ご注意

- ・カメラ初期値設定で未設定の項目がある場合は、手動で設定する必要があります。入力必須項目がすべて入力されると[登録]ボタンがクリックできるようになります。



画面の項目	説明
① カメラID	カメラに設定されたIDを入力します。 半角で、1 から 99999 の数値を登録できます。ただし、登録済みのカメラIDと同じ値は設定できません。
② カメラ名	カメラの名前を入力します。 全角または半角で、20 文字まで登録できます。
③ IP アドレス	カメラに設定されたIP アドレスを入力します。 登録済みのカメラと同じIP アドレスは設定できません。
④ ネットワーク設定	カメラ初期値設定で設定した値が自動入力されます。
⑤ 登録	カメラを登録します。 入力必須項目をすべて入力するとクリックできます。
⑥ キャンセル (閉じる)	カメラ設定／保守画面に戻ります。 [登録]ボタンをクリックすると、[閉じる]ボタンに変わります。

3. [登録]ボタンをクリックします。

カメラが登録され、画面中の[カメラID]、[カメラ名]、[IP アドレス]がクリアされて続けて別のカメラを登録できます。(手順2から操作を繰り返します。)

登録を完了する場合は、手順4に進みます。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

カメラ設定／保守画面に戻ります。

カメラの登録が完了したら、カメラの電源をオンにして通信を行います。「虹彩管理サーバーにカメラを接続する」(40 ページ)をお読みください。

虹彩管理サーバーにカメラを接続する

カメラ情報の登録が完了したら、カメラの電源を投入して、カメラと虹彩管理サーバーの通信を行います。虹彩管理サーバーとカメラ間の通信が正常に行われると、カメラの MAC アドレス（76 ページ）が取得されます。MAC アドレスが取得されたカメラは、虹彩管理サーバーから状態の取得や設定の変更ができるようになります。

登録したカメラ情報を確認する

登録したカメラ情報と虹彩管理サーバー間の通信を行い、カメラ情報とカメラの設定が正しいか確認します。

メインメニュー画面で[カメラ設定/保守]ボタンをクリックするか、メニューバーから[カメラ設定/保守]メニューの[カメラ設定/保守]を選択すると、カメラ設定/保守画面を表示します。



画面の項目	説明
① 検索	[カメラ一覧]にカメラを表示します。
② カメラ一覧	登録したカメラが表示されます。
③ リセット	カメラをリセットします。 [カメラ一覧]でカメラを選択するとクリックできます。
④ ソフトウェアダウンロード	カメラにカメラソフトウェアをダウンロードします。 [カメラ一覧]から動作中、停止中、登録カメラ（動作中）、設定エラー、ダウンロード要のカメラを選択するとクリックできます。

■ カメラの電源を入れる

【操作】

1. カメラの電源をオンにします。
カメラの電源をオンにしてください。

2. カメラと虹彩管理サーバーの通信が終わり、カメラが起動するのを待ちます。

カメラが起動するまでには、少々時間がかかります。また、カメラの電源オンのタイミングによりカメラと管理サーバー間の通信手順が異なります。状況に合わせて操作してください。

●カメラ情報の登録前にカメラの電源がオンになっていた場合

カメラ情報の登録が完了したら、カメラが起動するまで少し待ちます。

この間、情報表示ウィンドウ（147 ページ）に「未登録のカメラから接続がありました。」のアラーム情報が表示されます。同様にログ情報のシステムログ（150 ページ）にもログ情報が記録されます。

●カメラ情報の登録後にカメラの電源をオンにする場合

カメラの電源をオンにしてから、カメラが起動するまで少し待ちます。

3. カメラ設定／保守画面の[検索]ボタンをクリックします。

カメラ設定／保守画面の[カメラ一覧]に登録したカメラ情報が表示されます。

4. [カメラ一覧]に表示されたカメラの「状態」を確認します。

[カメラ一覧]で各カメラの「状態」に表示されている内容を確認します。表示されている内容により以下の操作を行ってください。

「動作中」 …… 正常に通信ができている状態です。

「リセット中」 …… カメラがリセット中の状態です。カメラが起動するまで待ち、再度[検索]ボタンをクリックしてください。

「--」 …… カメラが起動するまで待ち、再度[検索]ボタンをクリックしてください。カメラが起動していることを確認した後、カメラ状態が「--」のままの場合は、[カメラ一覧]のカメラ情報をクリックして選択し、[リセット]ボタンをクリックしてください。カメラ状態が「--」のまま更新されない場合は、カメラの設定を確認してください。

「設定エラー」 …… オプションボードが接続されていないカメラに対し、本ソフトウェアで下記のいずれかの設定を行った状態です。それぞれの設定、またはカメラのオプションボードを確認してください。

- ・認証結果出力2（認証NG）：出力する
- ・カードリーダー接続：あり
- ・ドア制御ボックス情報の通信方式：Wiegand または RS-485
- ・ブザー信号：あり

「ダウンロード要」 …… カメラが品番：BM-ET330 の場合に、正常に通信ができた状態です。カメラがお買い上げ時の状態のため、「ダウンロード要」と紫色で表示されます。「カメラにソフトウェアをダウンロードする」（88 ページ）の操作を行ってください。カメラが品番：BM-ET330 の場合にのみ発生します。

⚠️ ご注意

・虹彩管理サーバーとカメラの間は、以下のリソースを使用して通信します。登録したカメラと通信できないときは、以下のリソースが使用可能かネットワーク管理者に確認してください。

- － プロトコル：TCP/IP
- － ポート方向：送信、受信
- － ポート番号：8030

登録カメラを設定する

虹彩撮影を行うための登録カメラを設定します。登録したカメラ情報の中から登録カメラを選択します。登録カメラは複数選択できます。選択したカメラでは、認証動作を行うことはできなくなります。

❗ ご注意

- ・本ソフトウェアに管理者名と虹彩認証でログインする（48 ページ）には、登録カメラが設定されている必要があります。
- ・虹彩撮影を行うには、登録カメラが設定されている必要があります。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[登録カメラ設定]ボタンをクリックします。

登録カメラ設定画面が表示されます。このとき、登録カメラに設定されていないカメラが[カメラ検索結果一覧]に表示されます。条件を指定しない場合は、手順 3 に進みます。



画面の項目	説明
① 選択カメラ一覧	すでに登録カメラとして設定されているカメラ、登録カメラに設定するカメラが表示されます。
② カメラ検索	登録カメラに設定されていないカメラを検索します。
③ カメラ検索結果一覧	[カメラ検索]で検索した登録カメラに設定されていないカメラを表示します。
④ 追加	[カメラ検索結果一覧]で選択したカメラを、[選択カメラ一覧]に移動します。
⑤ 削除	[選択カメラ一覧]で選択されたカメラを、[カメラ検索結果一覧]に移動します。
⑥ OK	[選択カメラ一覧]に表示されているカメラを、登録カメラとして設定します。
⑦ キャンセル	選択した登録カメラの設定を破棄して、前の画面に戻ります。

2. [カメラ検索]に検索条件を設定し、カメラを検索します。

カメラの検索方法は「カメラを指定して検索する」（106 ページ）の手順 2、3 をお読みください。[カメラ検索結果一覧]に登録カメラに設定されていないカメラが表示されます。

3. [カメラ検索結果一覧]で登録カメラを選択し[追加]ボタンをクリックします。

[カメラ検索結果一覧]で選択したカメラが、[選択カメラ一覧]に移動します。

⚠️ ご注意

- ・ 選択したカメラの中にカメラ状態が「リセット中」、「設定エラー」、「ダウンロード要」のカメラがある場合、[追加]ボタンをクリックしたときに「カメラ ID : xx はリセット中です。」、「カメラ ID : xx は設定エラーです。」、または「カメラ ID : xx はダウンロード要です。」が表示され、そのカメラは[選択カメラ一覧]に移動されません。

4. [OK]ボタンをクリックします。

[OK]ボタンがクリックされると、該当するカメラが認証カメラから登録カメラに切り替わります。「認証カメラ/登録カメラの設定を更新しました。」とメッセージが表示されます。

⚠️ ご注意

- ・ [選択カメラ一覧]に追加したカメラで、MAC アドレスが取得済みのカメラは、認証カメラから登録カメラへの切り替えが行われます。リセット中、電源オフなどの通信ができない状態では、カメラ状態が「不明」になります。カメラが正常に虹彩管理サーバーと通信できた場合、カメラは登録カメラとして起動します。

5. メッセージの[OK]ボタンをクリックします。

登録カメラ設定画面を閉じ、前の画面に戻ります。

運用編

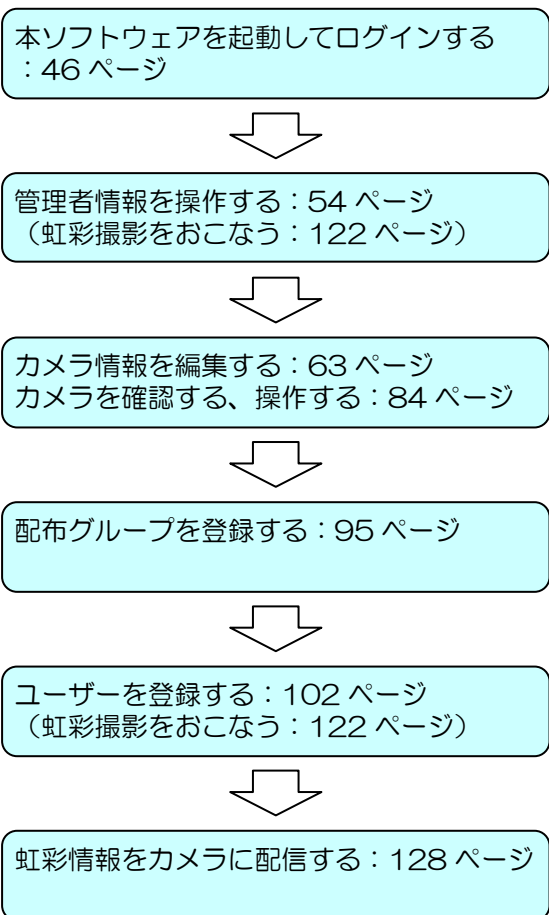
はじめに

運用編では、本ソフトウェアの設定、各登録情報の操作方法、カメラなどの操作方法について記述しています。

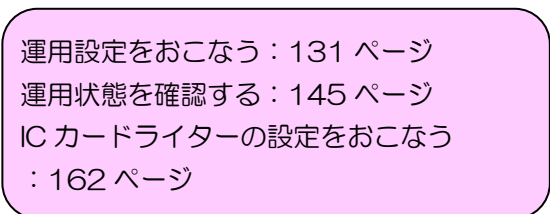
■ 操作の流れ

本ソフトウェアでできることは、「本ソフトウェアを設定する際の操作」と、設定を終えた後「本ソフトウェアを運用する際の操作」の2つに分類できます。

本ソフトウェアを設定する際の操作の流れ



本ソフトウェアを運用する際の操作



■ 基本操作について

本ソフトウェアのユーザーインターフェイスは、一般的な Windows®アプリケーションと同様の基本操作で、目的の操作をより簡単に行うことができ、使い慣れた環境でご使用になれます。

なお、このような基本操作についての説明は、本編中では省略します。

- 目的の情報をダブルクリックすることにより、素早く詳細情報を表示することや、設定の変更を行うことができます。
- 目的の情報を Ctrl キーや、Shift キーまたはマウスのドラッグで複数選択し、一括して設定変更を行うことができます。またドラッグ&ドロップでまとめた設定変更を行うことができます。
- 目的の情報を右クリックすることにより、ポップアップメニューを表示し、操作を行うことができます。ポップアップメニューに表示される項目は、画面上のボタンと同等の機能です。
- 一覧表示された情報の項目カラムのタイトルをクリックすることで、昇順／降順の並び替えを行うことができます。

■ 入力必須項目について

本ソフトウェアの画面上で、青字で表示されている項目は、設定、登録時に必ず入力する必要があります。青字で表示された入力必須項目を入力、選択などすると、[登録]ボタンや[OK]ボタンなどがクリックできるようになります。

画面例

The screenshot shows a window titled '情報' (Information) with the following fields:

- 管理者名: administrator
- パスワード入力: *****
- 再パスワード入力: *****
- メールアドレス: administrator@jp.panasonic.com

The labels '管理者名:', 'パスワード入力:', and '再パスワード入力:' are highlighted in blue. A bracket on the left side of the window groups these three fields under the label '入力必須項目'.

■ エラーメッセージについて

本ソフトウェアを誤って操作した場合または、システムに障害が発生した場合に、エラーメッセージが表示されることがあります。

エラーメッセージについては、エラーメッセージ一覧（171 ページ）をお読みください。

■ トラブルシューティング

本ソフトウェアを使用していて、誤って操作した場合などの対処例を記載しています。「トラブルシューティング」（194 ページ）をお読みください。

起動する

本ソフトウェアを起動してログインします。

ここでは、本ソフトウェアを起動して、登録した管理者によりログインし、本ソフトウェアを終了するまでの基本的な操作および、ログイン後に表示されるメインメニュー画面などの操作を説明します。

起動する

■ 自動起動

本ソフトウェアは、虹彩管理サーバーを起動すると自動的に起動します。

インストール後の本ソフトウェア初回起動時のみ、管理者初期登録画面（26 ページ）が表示されます。管理者初期登録がすでに済んでいる場合は、管理ソフトウェア ログイン画面が表示されます。登録済みの管理者でログインしてください（47 ページ）。

■ タスクトレイから起動

本ソフトウェアの終了後に再度起動するには、タスクトレイのアイコンをダブルクリックします。または、右クリックしてポップアップメニューを表示し[管理ソフトウェア]をクリックします。

管理ソフトウェアログイン画面が表示されます。登録済みの管理者でログインしてください。（47 ページ）。



画面の項目	説明
① 管理ソフトウェア	本ソフトウェアを起動し、管理ソフトウェアログイン画面が表示されます。
② 情報表示ウィンドウ	情報表示ウィンドウ（147 ページ）を表示します。
③ アイコン	本ソフトウェアのアイコンです。タスクトレイに常駐し、本ソフトウェアを起動することができます。また、エラーが発生したときにメッセージを表示し、アイコンの色が青から赤に変化します。

■ スタートメニューから起動

Windows®の[スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューを表示します。[プログラム]→[Administration Software]→[Administration Software]の順にクリックします。管理ソフトウェアログイン画面が表示されます。登録済みの管理者でログインしてください（47 ページ）。

ログインする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

管理者初期登録がすでに済んでいる場合に本ソフトウェアを起動すると、管理ソフトウェアログイン画面が表示されます。

登録された管理者でログインすると、本ソフトウェアを使用できます。

ログインには、「管理者名とパスワードでログインする方法」と、「管理者名と虹彩認証でログインする方法」（47 ページ）の 2 通りがあります。

ヒント

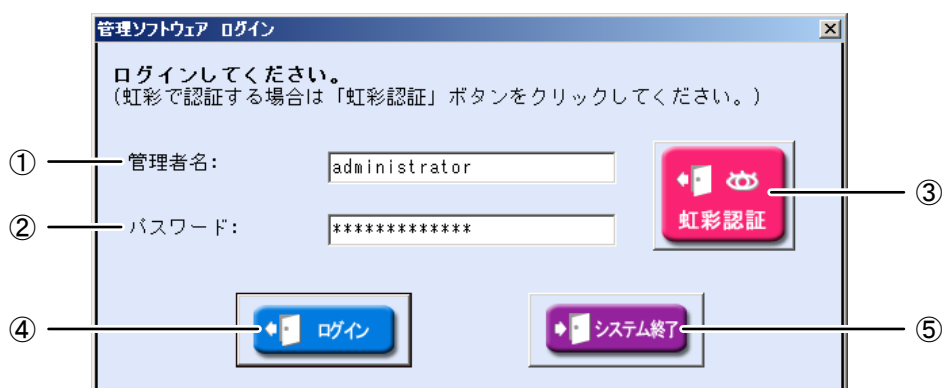
- ・管理者初期登録で登録した管理者でログインした後に、別の管理者を登録することができます。次の起動から、新たに登録した管理者でもログインできます。別の管理者を登録する手順については、「管理者を登録する」（57 ページ）をお読みください。

■ 管理者名とパスワードでログインする

管理者名とパスワードを入力して、本ソフトウェアにログインします。

【操作】

1. 管理ソフトウェアログイン画面に、管理者名とパスワードを入力します。



画面の項目	説明
① 管理者名	ログインする管理者の名前を入力します。
② パスワード	ログインする管理者のパスワードを入力します。 パスワードは、大文字、小文字で区別されます。
③ 虹彩認証	虹彩認証でログイン時に使用します。認証カメラ選択画面（48 ページ）が表示されます。 登録カメラが設定されている場合に、管理者名を入力するとクリックできます。
④ ログイン	管理者名とパスワードを正しく入力したときは、メインメニュー画面が表示されます。 [管理者名]、[パスワード]を入力すると[ログイン]ボタンをクリックできるようになります。
⑤ システム終了	本ソフトウェアにログインせずに、本ソフトウェアを終了します。

2. [ログイン]ボタンをクリックします。

管理者名とパスワードを正しく入力したときは、メインメニュー画面（49 ページ）が表示されます。

■ 管理者名と虹彩認証でログインする

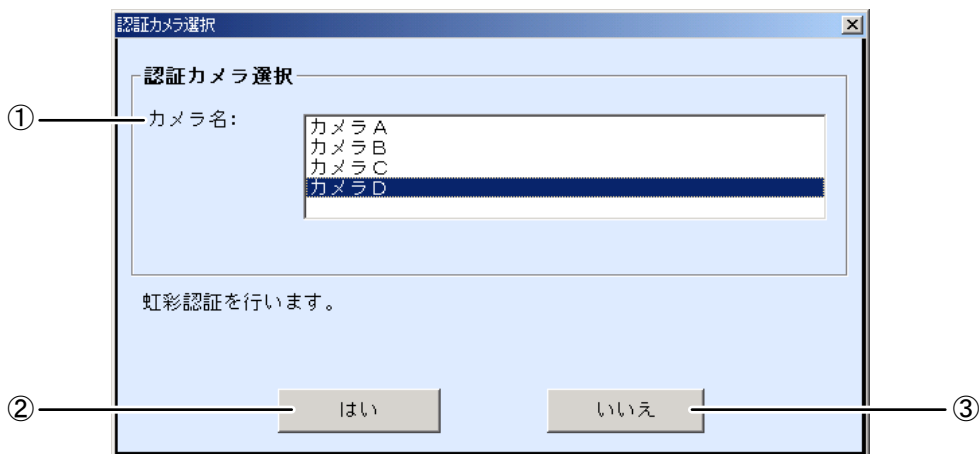
虹彩情報を登録した管理者は、虹彩認証でログインできます。管理者名と虹彩情報が一致すると、本ソフトウェアにログインできます。

❗ ご注意

- ・虹彩認証でログインできるのは、管理者情報画面（55 ページ）で虹彩情報を登録済みの管理者のみです。
- ・ログイン時に「管理者名と虹彩認証でログインする」場合は、登録カメラが設定されている必要があります。登録カメラの設定は、「登録カメラを設定する」（42 ページ）をお読みください。

【操作】

1. 管理ソフトウェアログイン画面の[管理者名]に管理者名を入力します。
管理ソフトウェアログイン画面については、「管理者名とパスワードでログインする」の管理ソフトウェアログイン画面（47 ページ）をお読みください。
2. [虹彩認証]ボタンをクリックします。
認証カメラ選択画面が表示されます。
3. [認証カメラ選択]から、認証に使用するカメラを選択します。
認証に使用するカメラ名を一覧から 1 つ選択します。



画面の項目	説明
① カメラ名	登録カメラに設定されているカメラ名が表示されます。 表示された登録カメラから、虹彩認証用のカメラを 1 台選択します。
② はい	虹彩認証を開始します。
③ いいえ	虹彩認証を行わずに、管理ソフトウェアログイン画面に戻ります。

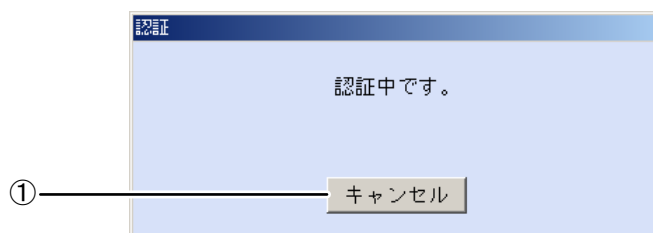
❗ ご注意

- ・カメラ名には、「登録カメラを設定する」（42 ページ）で登録カメラに設定したカメラが表示されますが、カメラの状態が「設定エラー」、「ダウンロード要」のカメラは表示されません。

📖 ヒント

- ・認証カメラ選択（または撮影カメラ選択）で一度選択したカメラは、次回の認証時、撮影時にデフォルトで選択されます。

4. [はい]ボタンをクリックし、カメラを使って虹彩認証を行います。
「認証中です。」メッセージが表示されたら、カメラを見つめます。



画面の項目	説明
① キャンセル	認証を中止します。

ヒント

- ・撮影時のカメラの誘導表示については、カメラに付属の取扱説明書をお読みください。

- 管理者の虹彩認証に成功した場合
撮影した虹彩が登録されている管理者の虹彩と一致すると、ログインを行い、メインメニュー画面が表示されます。
- 管理者の虹彩認証に失敗した場合
撮影した虹彩が登録されている管理者の虹彩と一致しないと、「管理者名または虹彩が一致しません。」と表示されます。

メインメニュー画面について

本ソフトウェアにログインすると、メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面上の各ボタンをクリックするか、メニューバーから各項目を選択して作業を行います。

■ メインメニュー



画面の項目	説明
① メニューバー	メニューバー（50 ページ）をお読みください。
② ユーザー情報	ユーザー情報画面（102 ページ）が表示されます。
③ カメラ設定／ 保守	カメラ設定／保守画面（63 ページ）が表示されます。
④ ログ情報	ログ情報画面（149 ページ）が表示されます。

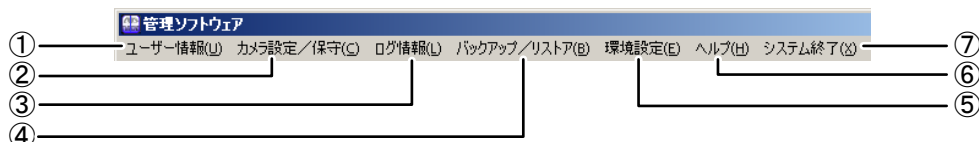
画面の項目	説明
⑤ バックアップ／リストア	バックアップ／リストア画面（137 ページ）が表示されます。 「バックアップ／リストア」権限のない管理者でログインした場合は、ボタンが無効になります。
⑥ 環境設定	環境設定画面（51 ページ）が表示されます。
⑦ システム終了	本ソフトウェアを終了します。

📖 ヒント

- ・メインメニュー画面は、ログインした管理者の権限によって表示が異なります。本書では全権限を持つ管理者でログインした場合の画面を使用して説明します。管理者の権限については、「管理者の権限について」（54 ページ）をお読みください。

■ メニューバー

メインメニュー画面上部のメニューバーから各項目を選択して実行することができます。



画面の項目	メニュー項目	説明
① ユーザー情報	ユーザー情報	ユーザー情報画面（102 ページ）が表示されます。
	ユーザー情報 （全検索）	ユーザー情報画面（102 ページ）に全ユーザー情報を表示します。
	ユーザー情報 （新規）	ユーザー情報新規登録画面（109 ページ）が表示されます。 「ユーザー情報」権限のない管理者でログインした場合は、表示が無効になります。
② カメラ設定／保守	カメラ設定／保守	カメラ設定／保守画面（63 ページ）が表示されます。
	カメラ設定／保守 （全検索）	カメラ設定／保守画面（63 ページ）に全カメラ情報を表示します。
	カメラ設定／保守 （新規）	カメラ情報新規登録画面（39 ページ）が表示されます。 「カメラ設定／保守」権限のない管理者でログインした場合は、表示が無効になります。
③ ログ情報	システムログ	ログ情報画面（150 ページ）にシステムログを表示します。
	アクセスログ	ログ情報画面（154 ページ）にアクセスログを表示します。
④ バックアップ／リストア	自動バックアップ設定	自動バックアップ設定画面（138 ページ）が表示されます。
	手動バックアップ	手動バックアップ画面（142 ページ）が表示されます。
	リストア	リストア画面（143 ページ）が表示されます。

画面の項目	メニュー項目	説明
⑤ 環境設定	配布グループ設定	配布グループ設定画面（95 ページ）が表示されます。
	管理者情報	管理者情報画面（55 ページ）が表示されます。
	メール送信設定	メール送信設定画面（136 ページ）が表示されます。
	カメラ初期値設定	カメラ初期値設定画面（30 ページ）が表示されます。 「環境設定」権限のない管理者でログインした場合は、表示が無効になります。
	監視／共有鍵管理設定	監視／共有鍵管理設定画面（131、133 ページ）が表示されます。
	登録カメラ設定	登録カメラ設定画面（42 ページ）が表示されます。
	自動リポート設定	自動リポート設定画面（134 ページ）が表示されます。
	ICカード設定	ICカード設定画面（162 ページ）が表示されます。
	カメラ拡張機能	カメラ選択画面（91 ページ）が表示されます。
⑥ ヘルプ	バージョン情報	管理ソフトウェアのバージョン情報画面（53 ページ）が表示されます。
⑦ システム終了	システム終了	本ソフトウェアを終了します。

❗ ご注意

- ・メニューバーの「バックアップ／リストア」は、「バックアップ／リストア」権限のない管理者でログインした場合は、表示が無効になります。

環境設定画面について

メインメニュー画面で[環境設定]ボタンをクリックすると、環境設定画面が表示されます。作業内容に合わせて、ボタンをクリックします。



画面の項目	説明
① 配布グループ設定	配布グループ設定画面（95 ページ）が表示されます。
② 管理者情報	管理者情報画面（55 ページ）が表示されます。
③ メール送信設定	メール送信設定画面（136 ページ）が表示されます。
④ カメラ初期値設定	カメラ初期値設定画面（30 ページ）が表示されます。 「環境設定」権限のない管理者でログインした場合は、ボタンが無効になります。
⑤ 監視／共有鍵管理設定	監視／共有鍵管理設定画面（131、133 ページ）が表示されます。
⑥ 登録カメラ設定	登録カメラ設定画面（42 ページ）が表示されます。

画面の項目	説明
⑦ 自動リブート設定	自動リブート設定画面（134 ページ）が表示されます。
⑧ IC カード設定	IC カード設定画面（162 ページ）が表示されます。
⑨ カメラ拡張機能	カメラ選択画面（91 ページ）が表示されます。
⑩ 戻る	メインメニュー画面に戻ります。

終了する

本ソフトウェアを終了します。

【操作】

1. メインメニュー画面からシステムの終了を行います。
システムの終了を行うには、メインメニュー画面から下記図の①～③のいずれかの方法で行います。



画面の項目	説明
① [システム終了]ボタン	[システム終了]ボタンをクリックします。
② メニューバー	[システム終了]メニューから[システム終了]をクリックします。
③ ウィンドウボタン	ウィンドウボタンの X （閉じる）をクリックします。

2. 「システムを終了してよろしいですか？」が表示されます。
確認のメッセージ「システムを終了してよろしいですか？」が表示されます。

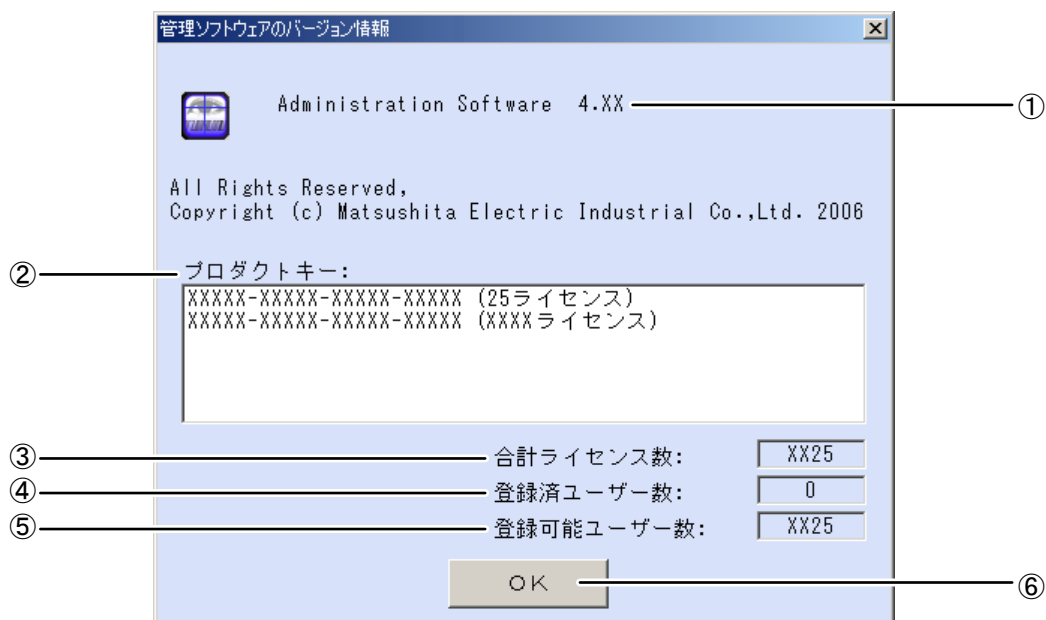
3. [はい]ボタンをクリックします。
本ソフトウェアが終了します。

ヒント

- ・ログインする前に本ソフトウェアを終了することもできます。
 - － 管理ソフトウェアログイン画面で、[システム終了]ボタンをクリックするかウィンドウボタン **X**（閉じる）をクリックします。
 - － 管理者初期登録画面で、[システム終了]ボタンをクリックするかウィンドウボタン **X**（閉じる）をクリックします。
- ・メインメニュー画面、管理ソフトウェアログイン画面、管理者初期登録画面以外の画面で、ウィンドウボタン **X**（閉じる）をクリックした場合は、その画面を終了して前の画面に戻りません。

バージョン情報について

メインメニュー画面から[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]を選択します。「管理ソフトウェアのバージョン情報」画面が表示されます。本ソフトウェアのバージョン情報、インストール済みライセンスの確認を行います。



画面の項目	説明
① バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを表示します。 X.XX の箇所にバージョン番号が表示されます。
② プロダクトキー	1 行目に、本ソフトウェアのプロダクトキーとライセンス数を表示します。 ()内の 25 ライセンスは、本ソフトウェアのインストール時に追加されるライセンスです。 2 行目以降に、ユーザーライセンス追加ソフトウェアのプロダクトキーと、インストールしたライセンス数を表示します。()内の XXXX はライセンス数を表示します。 図中の XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX は、プロダクトキーを示します。
③ 合計ライセンス数	インストール済みライセンスの総合計数を表示します。 XX25 は、本ソフトウェア (25 ライセンス) + ユーザーライセンス追加ソフトウェアでインストールしたライセンス数の合計ライセンス数を表示します。
④ 登録済ユーザー数	本ソフトウェアに登録されているユーザー数の合計を表示します。
⑤ 登録可能ユーザー数	本ソフトウェアにあと何人のユーザーが登録できるかを表示します。
⑥ OK	メインメニュー画面にもどります。

ヒント

- ・本ソフトウェアのインストール時に 25 ライセンスが追加されます。本ソフトウェアをアンインストールすると、この 25 ライセンスも削除されます。

管理者情報を操作する

本ソフトウェアにログインするための管理者情報について説明します。

ここでは、管理者についての説明や、登録済み管理者情報の参照などについて、操作説明をしています。また、「管理者情報」権限が設定されている管理者で、管理者名、パスワードおよび虹彩情報などの管理者情報の登録、登録済みの管理者情報の変更、削除について説明します。

管理者の権限について

本ソフトウェアを使用するための管理者には、「権限」が設定されています。

「権限」は、本ソフトウェアにおける登録、更新、削除操作をユーザー情報、カメラ情報などの情報項目ごとに細分化し、操作できる情報に制限を行います。

例えば、「ユーザー情報」権限のみを設定された管理者では、ユーザー情報の登録、更新などの操作はできますが、カメラ情報などや他の情報については、登録や更新は行えません。また、ログインした管理者の権限により表示される画面（ボタン表示など）が変わります。該当する権限が設定されていない管理者は、基本的に情報の参照のみ行うことができます。

権限	主な操作可能事項
ユーザー情報	ユーザー情報画面、ユーザー情報詳細画面で、ユーザー情報の登録、更新、削除、虹彩撮影、ICカード書き込みなどを行うことができます。
カメラ設定／保守	カメラ設定／保守画面、カメラ情報詳細画面で、カメラ情報の登録、更新、削除を行うことができます。また、ソフトウェアダウンロード、音声ファイルダウンロード、虹彩情報配信などのカメラ操作も行うことができます。
ログ情報	ログ情報画面でログ情報の削除を行うことができます。
バックアップ／リストア	手動バックアップ、自動バックアップの設定、バックアップファイルのリストアを行うことができます。
環境設定	環境設定の以下の画面で設定などを行うことができます。 配布グループ設定画面、メール送信設定画面、監視／共有鍵管理設定画面、自動リポート設定画面、カメラ拡張機能画面、カメラ初期値設定画面、登録カメラ設定画面、ICカード設定画面
管理者情報	管理者情報画面で管理者情報の登録、更新、削除、虹彩撮影などの編集を行うことができます。

ヒント

- ・管理者初期登録画面で登録した管理者は、すべての権限が設定されています。

ご注意

- ・上記の管理者の権限と制限は、管理者が Administrators グループに所属したアカウントで Windows® にログオンしていることを前提としています。管理者が Power Users グループ、または Users グループに所属したアカウントで Windows® にログオンしている場合、以下の制限がかかります。

機能	操作	制限
バックアップ／リストア	自動バックアップ	参照のみできます。
	リストア	参照できません。

機能	操作	制限
環境設定	監視／共有鍵管理設定	共有鍵管理・・・参照のみできます。
	自動レポート	参照のみできます。

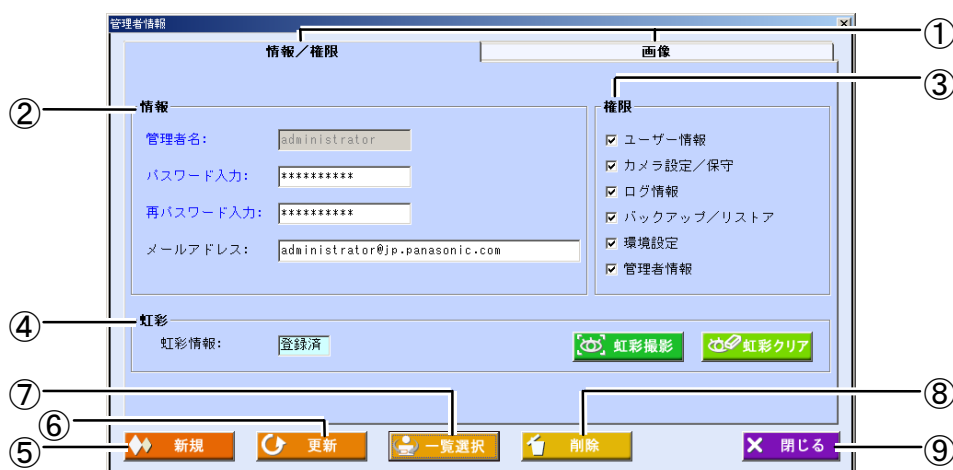
管理者情報画面について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

環境設定画面で[管理者情報]ボタンをクリックするか、メインメニュー画面のメニューバーから[環境設定]メニューの[管理者情報]を選択すると、管理者情報画面が表示されます。

管理者情報画面は、管理者の設定情報などを表示する[情報／権限]画面、撮影した目画像などを表示する[画像]画面で構成されています。各画面の表示は、[情報／権限]タブ、[画像]タブで切り替えます。

■ [情報／権限]画面

管理者の情報、権限が表示されます。本ソフトウェアのログイン時に使用される管理者名、パスワード、虹彩情報の登録状況などを表示します。



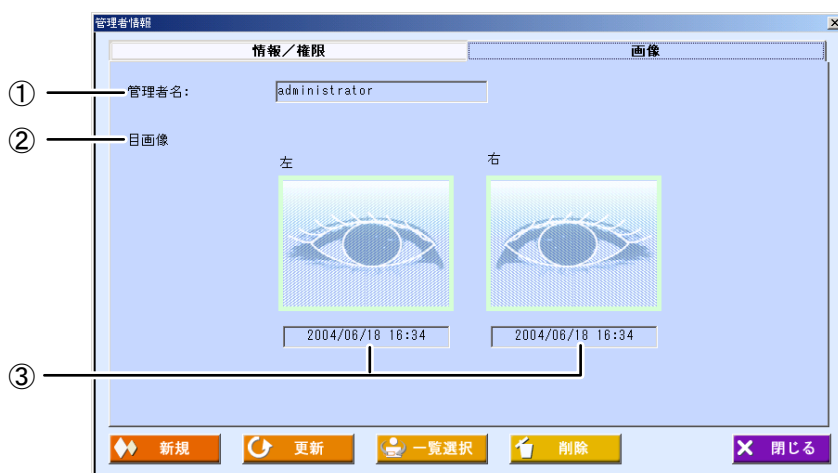
画面の項目	説明
① [情報／権限]、 [画像]	タブをクリックすると、[情報／権限]画面、[画像]画面を切り替えます。
② 情報	登録されている管理者の情報が表示されます。 詳細な内容は、「管理者を登録する」の管理者情報画面（58 ページ）をお読みください。
③ 権限	登録されている管理者の権限が表示されます。 詳細な内容は、「管理者を登録する」の管理者情報画面（58 ページ）をお読みください。
④ 虹彩	管理者の虹彩情報の登録状況が表示されます。 ・未撮影（背景色：赤）：虹彩情報が登録されていません。 ・登録済（背景色：緑）：虹彩情報が登録されています。 登録された目画像は[画像]画面で確認できます。
⑤ 新規*	新しい管理者を作成します。 管理者を登録するには、「管理者を登録する」（57 ページ）をお読みください。 管理者一覧画面から管理者を選択して表示した場合に有効になります。

画面の項目	説明
⑥ 更新（登録）*	管理者情報を、更新（登録）します。 管理者一覧画面から管理者を選択して表示した場合は、[更新]ボタンに、管理者情報の新規登録時は、「登録」ボタンになります。 入力必須項目をすべて入力するとクリックできます。 管理者情報を更新するには、「管理者を更新する、削除する」（61 ページ）を、管理者を登録するには、「管理者を登録する」（57 ページ）をお読みください。
⑦ 一覧選択	管理者一覧画面（57 ページ）が表示されます。
⑧ 削除*	表示されている管理者を削除します。 管理者情報を削除するには、「管理者を更新する、削除する」（61 ページ）をお読みください。
⑨ 閉じる	管理者情報画面を閉じます。

上記表中で、*印の画面項目は、「管理者情報」権限が設定された管理者のみが操作できます。

■ [画像]画面

[画像]タブをクリックすると、[画像]画面に切り替わります。登録されている目画像が表示されます。



画面の項目	説明
① 管理者名	管理者の名前が表示されます。
② 目画像	登録されている目画像が表示されます。 目画像ありで登録している場合は、撮影時の目画像が、目画像なしの場合は、上記図の目の絵が表示されます。また、画像の縁の色は撮影結果の品質により変わります。（緑：良、黄色：普通）
③ 撮影日時	撮影日時を表示します。

■ 管理者情報を表示する

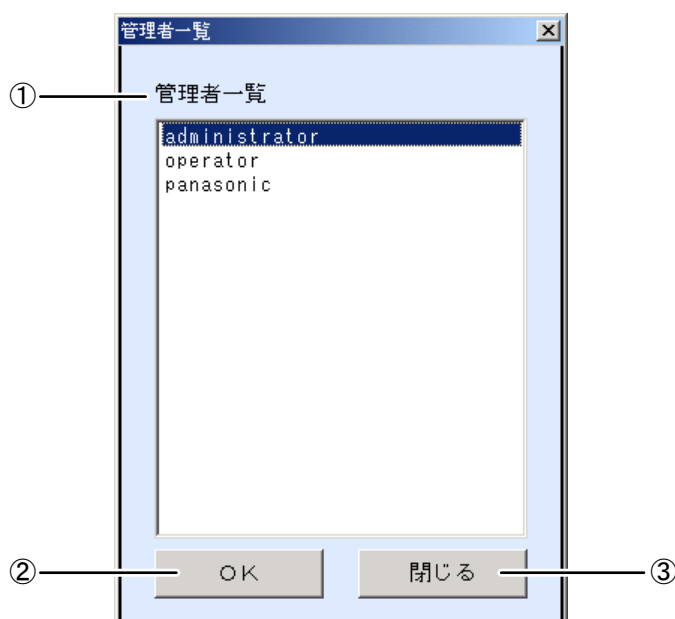
登録済みの管理者の情報を選択して表示します。

【操作】

1. 管理者情報画面の[一覧選択]ボタンをクリックします。
管理者一覧画面が表示されます。

2. 管理者を選択します。

[管理者一覧]に表示されている、登録済み管理者名を選択します。



画面の項目	説明
① 管理者一覧	登録済みの管理者が一覧表示されます。管理者情報画面に表示したい管理者を選択します。選択できる管理者は1名だけです。
② OK	選択した管理者を管理者情報画面に表示します。 [管理者一覧]で管理者を選択するとクリックできます。
③ 閉じる	管理者選択を取り消し、管理者情報画面に戻ります。

3. [OK]ボタンをクリックします。

管理者情報画面に戻り、手順2で選択した管理者の情報が表示されます。

管理者を登録する

新たに管理者を登録します。管理者情報の登録を行うと、次回から本ソフトウェアにログインするときに、登録した管理者でログインすることができます。

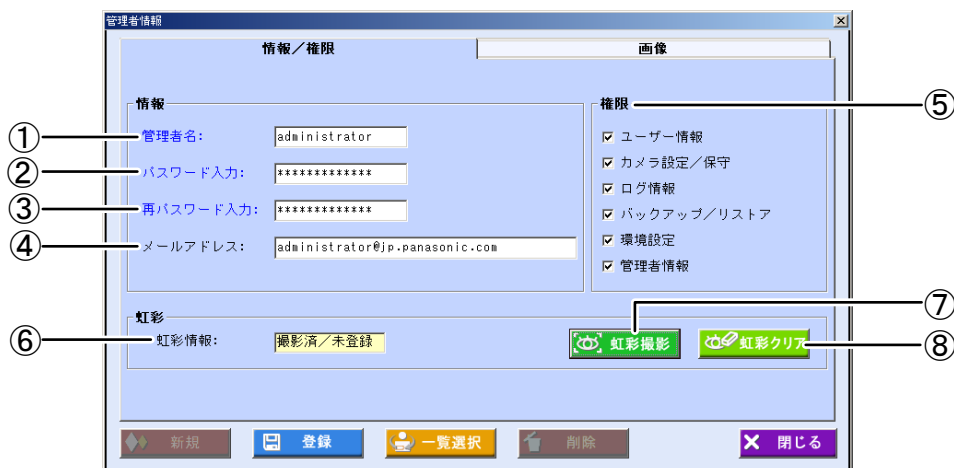
【操作】 管理者情報

1. 管理者情報画面を表示します。

2. 管理者情報の各項目を設定します。

[情報]の管理者名、パスワード入力、再パスワード入力、[権限]の選択は、情報登録のための必須項目です。[権限]では、登録する管理者が本ソフトウェアで行える操作を設定します。

アラーム情報のメール送信機能（135 ページ）を使用する場合はメールアドレスを設定します。



画面の項目	説明
① 管理者名	登録する管理者の名前を入力します。 半角英数字（0～9、a～z）で、16文字まで登録できます。半角英字（a～z）は大文字、小文字の区別はありません。
② パスワード入力	登録する管理者のパスワードを入力します。 半角文字で、16文字まで登録できます。 パスワードは、大文字、小文字で区別されます。
③ 再パスワード入力	[パスワード入力]に入力したパスワードと同じものを、もう一度入力します。
④ メールアドレス	メールアドレスを入力します。 半角英数字および“-”、“_”、“.”、“@”で、80文字まで登録できます。 アラーム情報をこのメールアドレスに送信するように設定するには、「メール送信設定を行う」（135ページ）をお読みください。
⑤ 権限	管理者の権限を設定します。 選択した権限によって、本ソフトウェアで実行できる機能が異なります。詳細は「管理者の権限について」（54ページ）をお読みください。 「ユーザー情報」、「カメラ設定/保守」、「ログ情報」、「バックアップ/リストア」、「環境設定」、「管理者情報」から登録する管理者に設定したい権限のチェックボックスをオンにします。 単一、複数、またはすべてを選択できます。なお、1つも選択しない場合は、すべての機能において参照のみ行うことができます。
⑥ 虹彩情報	虹彩情報の登録状況が表示されます。登録状況によって背景色が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ・未撮影（背景色：赤）虹彩を撮影していません。 ・撮影済/未登録（背景色：黄）虹彩を撮影しましたが、管理者情報に登録されていません。[新規]ボタン、[一覧選択]ボタン、[閉じる]ボタンをクリックすると、虹彩情報が破棄されます。 ・登録済（背景色：緑）虹彩を撮影し、登録されています。 撮影した目画像是[画像]画面（56ページ）で確認します。
⑦ 虹彩撮影	虹彩を撮影します。 撮影方法は、「虹彩撮影を行う」（122ページ）をお読みください。 [虹彩撮影]ボタンは、登録カメラを設定する（42ページ）とクリックできます。

画面の項目	説明
⑧ 虹彩クリア	撮影または登録された虹彩情報を削除します。

ⓘ ご注意

- ・パスワードには名前や誕生日、電話番号などの予測可能なものを避け、英字、数字を組み合わせた予測困難なものを設定することをお勧めします。またセキュリティ向上のため、定期的にパスワードを変更してください。
- ・パスワードが第三者に知られると、本ソフトウェアを不正に使用される恐れがありますので、厳重に管理してください。

📖 ヒント

- ・管理者一覧画面から管理者を選択して表示している場合は、[新規]ボタンをクリックすると、新規登録を行うことができます。

3. [虹彩撮影]ボタンをクリックします。

管理者の虹彩を撮影して登録します。撮影方法は、「虹彩撮影を行う」（122 ページ）をお読みください。虹彩撮影を行わない場合は、手順 4 に進みます。

4. [登録]ボタンをクリックします。

管理者情報が登録されます。続けて、別の管理者を登録するときは、手順 2 から操作を繰り返します。

5. [閉じる]ボタンをクリックします。

管理者情報画面を閉じます。

ⓘ ご注意

- ・本ソフトウェアをインストールした Windows のユーザーアカウント以外でご使用になる場合は、次の操作を行ってください。以下はユーザー名が「operator」の例です。

1. [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]を起動する。

2. 以下のスクリプトを実行する。

```
C:¥>osql -E
1> sp_grantlogin 'PC 名¥operator'
2> go
1> use iris_info
2> go
1> sp_grantdbaccess 'PC 名¥operator'
2> go
1> sp_addrolemember 'db_owner','PC 名¥operator'
2> go
1> use iris_log
2> go
1> sp_grantdbaccess 'PC 名¥operator'
2> go
1> sp_addrolemember 'db_owner','PC 名¥operator'
2> go
1> use iris_alm
2> go
```

```
1> sp_grantdbaccess 'PC 名¥operator'  
2> go  
1> sp_addrolemember 'db_owner','PC 名¥operator'  
2> go  
1> use iris_exp  
2> go  
1> sp_grantdbaccess 'PC 名¥operator'  
2> go  
1> sp_addrolemember 'db_owner','PC 名¥operator'  
2> go  
1> exit
```

- ・本ソフトウェアをインストールした Windows® のユーザーアカウント以外で使用する場合は、タスクトレイやスタートアップメニューからの起動はできません。[C¥IrisMngSrv¥bin]フォルダ内の IrisMngSrv.exe および IrisInfoWindow.exe から起動してください。（上記 [C¥IrisMngSrv¥bin] の表記は、本ソフトウェアを C ドライブにインストールした場合です。インストール先のドライブによって、表記と異なる場合があります。）

管理者を更新する、削除する……………

登録済みの管理者の情報を更新または削除します。

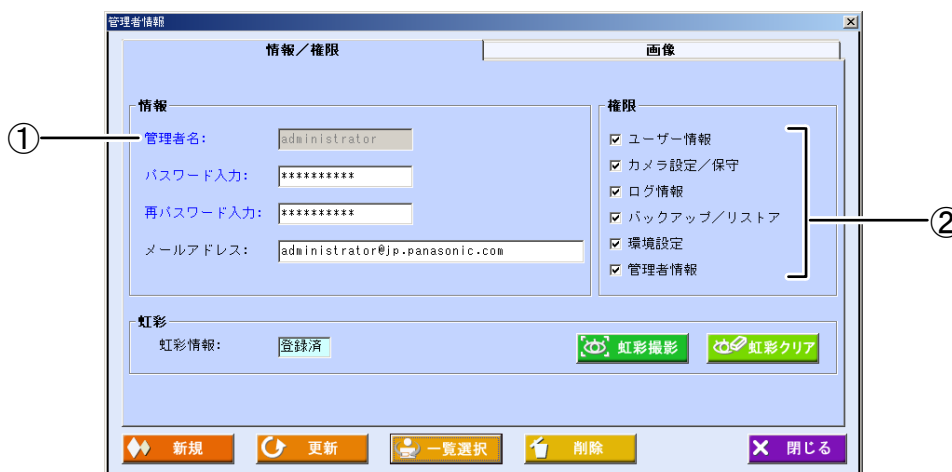
【操作】 管理者情報


1. 更新、削除する管理者情報を表示します。

「管理者情報を表示する」（56 ページ）の手順に従い、管理者情報画面に更新、削除する管理者を表示します。

2. 管理者の情報の変更または削除を行います。

- 管理者情報の変更を行うときは、表示された管理者情報の項目を編集します。
必要に応じて、情報権限欄内の項目を編集します。ただし、管理者名は変更できません。虹彩を撮影、登録、削除などを行う場合は、「虹彩撮影を行う」（122 ページ）をお読みください。
- 管理者を削除するときは、[削除]ボタンをクリックします。
確認のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックすると、管理者が削除されて表示されていた情報がクリアされます。続けて更新、削除を行うには、手順 1 からの操作を繰り返します。



画面の項目	説明
① 管理者名	<p>管理者の名前が表示されます。変更できません。</p> <p> ヒント</p> <p>・管理者名を変更するときは、管理者を一度削除してから登録し直してください。</p>
② 管理者の権限	<p>管理者に設定されている権限が表示されます。</p> <p>登録されている管理者の状況により、変更できない場合があります。詳細は、下記の「ご注意」をお読みください。</p>

上記以外の画面の項目については、「管理者を設定する」の[情報/権限]画面（55 ページ）をお読みください。

！ **ご注意**

・登録されている管理者の状況により、管理者情報の削除、権限の変更ができない場合があります。以下の条件に当てはまる場合は、別の管理者を作成するなどの処置を行い、状況に合わせて操作を行ってください。

－ ログイン中の管理者

ログイン中の管理者の管理者情報は削除、権限の変更ができません。一度システムの終了を行い、別の管理者でログインして行ってください。

－ 全権限が設定されている管理者が 1 名しか登録されていない場合

登録されている管理者のうち、全権限が設定された管理者が 1 名のみ場合は、その管理者を削除、権限の変更を行うことはできません。別の全権限が設定された管理者を登録した場合、削除、権限の変更を行うことができます。

また、管理者初期登録画面で作成した管理者は、デフォルトで全権限が設定された管理者になります。管理者初期登録画面で作成した管理者を削除、権限の変更をする場合は、別の全権限が設定された管理者を登録して行ってください。

3. [更新] ボタンをクリックします。

管理者情報が更新され、「更新しました。」と表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

続けて別の管理者の情報を更新するときは、手順 1 からの操作を繰り返します。

5. [閉じる] ボタンをクリックします。

管理者情報画面を閉じます。

カメラ情報を編集する

カメラの操作、管理を行うためのカメラ情報について説明します。

本ソフトウェアに登録済みのカメラ情報の参照をカメラ情報画面、詳細画面から行います。また、「カメラ設定／保守」権限が設定されている管理者で、カメラ情報の登録、変更、削除を行う操作について説明します。

カメラ設定／保守画面について

メインメニュー画面で[カメラ設定／保守]ボタンをクリックするか、メニューバーから[カメラ設定／保守]メニューの[カメラ設定／保守]を選択すると、カメラ設定／保守画面が表示されます。



画面の項目	説明
① カメラ検索	[カメラ一覧]に表示するカメラの検索条件を設定します（66 ページ）。
② カメラ一覧	検索されたカメラが一覧表示されます。 詳細は、「[カメラ一覧]について」（64 ページ）をお読みください。
③ 削除*	[カメラ一覧]で選択したカメラの情報を削除します。 詳細は「カメラを更新する、削除する」（74 ページ）をお読みください。
④ 詳細	[カメラ一覧]で選択したカメラの情報を表示します。「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）のカメラ情報詳細画面が表示されます。
⑤ 新規*	新たにカメラを登録します。 詳細は「カメラ情報を登録する」（73 ページ）をお読みください。
⑥ リセット	[カメラ一覧]で選択したカメラを再起動します（87 ページ）。 複数のカメラを選択して行うことが可能です。
⑦ 開始	[カメラ一覧]で選択したカメラの認証動作を開始します（88 ページ）。
⑧ 停止	[カメラ一覧]で選択したカメラの認証動作を停止します（88 ページ）。
⑨ ソフトウェア ダウンロード*	[カメラ一覧]で選択したカメラに新しいソフトウェアをダウンロードします。 詳細は「カメラにソフトウェアをダウンロードする」（88 ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
⑩ 音声ファイルダウンロード*	[カメラ一覧]で選択したカメラに新しい音声ファイルをダウンロードします。 詳細は「カメラに音声ファイルをダウンロードする」(90ページ)をお読みください。
⑪ 虹彩情報配信*	[カメラ一覧]で選択したカメラに虹彩情報を配信します。 詳細は「手動で配信する」(129ページ)をお読みください。
⑫ インポート*	カメラ情報をCSVファイルから読み込み、一括登録します。 詳細は「ファイルインポートによる登録」(74ページ)をお読みください。
⑬ エクスポート*	カメラ情報を、CSVファイルに出力します。 詳細は「カメラ情報をファイルに出力する」(82ページ)をお読みください。
⑭ 閉じる	メインメニュー画面に戻ります。

上記表中で、*印の画面項目は、[カメラ設定/保守]権限が設定されている管理者のみが操作できます。

❗ ご注意

- ・[開始]ボタン、[停止]ボタンは、[カメラ一覧]で複数のカメラを選択すると、クリックできません。
- ・[カメラ一覧]に表示されたカメラの選択、未選択、カメラの状態により、クリックできるボタンが異なります。

■ [カメラ一覧]について

カメラ設定/保守画面で[カメラ一覧]に表示されるカメラ情報で[カメラID]、[カメラ名]、[状態]、[動作モード]、[登録者数]は、本ソフトウェアとカメラが最後に通信したとき(カメラの状態取得または、カメラを操作、カメラからの接続があった場合など)の状態が表示されます。また、カメラの状態により表示色が異なります。

カメラID	カメラ名	状態	動作モード	登録者数
1	カメラA	動作中	カードリーダーなし	3/3
2	カメラB	リセット中	カード+虹彩認証	0/0
3	カメラC	停止中	カード認証のみ	3/3
4	カメラD	不明	カードリーダーなし	0/0
5	カメラE	登録カメラ(動作中)	カードリーダーなし	
6	カメラF	設定エラー	カードリーダーなし	0/0
7	カメラG	--	カードリーダーなし	0/0

項目	説明		
カメラID	カメラのカメラIDを表示します。		
カメラ名	カメラのカメラ名を表示します。		
状態	カメラの、本ソフトウェアに登録されている状態を表示します。状態により[カメラ一覧]での表示色が異なります。		
	状態の表示	色	説明
	動作中	黒	認証カメラ正常動作中
	登録カメラ(動作中)		登録カメラ正常動作中
	リセット中	赤	リセット中のカメラ。
停止中		停止中のカメラ。	

項目	説明		
	設定エラー		オプションボードが接続されていないカメラに対し、本ソフトウェアで下記のいずれかの設定を行った場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・認証結果出力2（認証NG）：出力する ・カードリーダー接続：あり ・ドア制御ボックス情報の通信方式：Wiegand または RS-485 ・ブザー信号：あり
	不明	黄	通信異常などによりカメラの状態が不明なカメラ。
	--	灰	MAC アドレスが取得されていないカメラ。開始、停止、ソフトウェアダウンロード、虹彩情報配信、音声ファイルダウンロードの操作ができません。
	ダウンロード要	紫	ソフトウェアのダウンロードが必要なカメラ。開始、停止、虹彩情報配信、音声ファイルダウンロードの操作ができません。
動作モード	カメラ情報詳細画面の[カードリーダー情報]画面で設定した[カードリーダー接続]、[カードリーダー接続時の認証]の設定値が表示されます。		
	カードリーダーなし		カードリーダーを使用しないカメラ。
	カード+虹彩認証		カードリーダーが接続されていて、認証方法が「カード+虹彩認証」のカメラ。
	カード認証のみ		カードリーダーが接続されていて、認証方法が「カード認証のみ」のカメラ。
登録者数	検索されたカメラに「実際に虹彩情報配信されている（カメラが保持している）人数」/「虹彩情報が配信される人数」を表示します。 カメラの設定が「上位認証のみ」、「虹彩オンカード」の場合は「0/0」と表示されません。		

⚠️ ご注意

- ・実際のカメラの状態と、本ソフトウェアに表示されているカメラの状態は異なる場合があります。最新のカメラの状態を確認するには、「カメラの状態を確認する」（85 ページ）をお読みください。

■ カメラ情報を参照する、表示する

登録済みのカメラの情報を検索し、詳細情報の表示を行います。

【操作】

1. カメラ設定／保守画面で、[カメラ検索]に検索条件を設定します。
すべてのカメラを[カメラ一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順 2 に進みます。または、メインメニュー画面のメニューバーから[カメラ設定／保守]メニューの[カメラ設定／保守（全検索）]を選択することにより、すべてのカメラを[カメラ一覧]に表示することができます。



画面の項目	説明
① カメラID	カメラのIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力したときは、カメラIDが「1」で始まるカメラが一覧に表示されます。
② カメラ名	カメラの名前を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「BM-ET」を入力したときは、カメラ名が「BM-ET」で始まるカメラが一覧に表示されます。
③ IPアドレス	カメラに設定されたIPアドレスを入力します。入力欄ごとに完全一致で検索されます。 例えば始めの欄に「10」、2番目の欄に「2」を入力したときは、10.2.1.1 や 10.2.200.200 などのIPアドレスが設定されているカメラが一覧に表示されます。
④ 配布グループ	[選択]ボタンをクリックし、配布グループ選択画面（69 ページ）を表示して配布グループを選択します。選択した配布グループに含まれるカメラが検索されます。 例えば「配布グループ A」と「配布グループ B」のように、複数の配布グループを選択した場合は、「配布グループ Aに含まれるカメラ」または「配布グループ Bに含まれるカメラ」が[カメラ一覧]に表示されます。 複数の配布グループを選択したときは、▼をクリックして選択した配布グループを確認できます。 ！ ご注意 ・すでに[配布ユーザー]を検索条件に設定している場合は、配布グループの選択はできません。

画面の項目	説明
⑤ 配布ユーザー	<p>[選択]ボタンをクリックし、ユーザー選択画面（71 ページ）を表示してユーザーを選択します。選択したユーザーが認証を受けられるカメラが検索されます。</p> <p>例えば「ユーザーA」と「ユーザーB」のように、複数のユーザーを選択した場合は、「ユーザーA が認証を受けられるカメラ」または「ユーザーB が認証を受けられるカメラ」が[カメラ一覧]に表示されます。複数のユーザーを選択したときは、▼をクリックして選択したユーザーを確認できます。</p> <p>❗ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに[配布グループ]を検索条件に設定している場合は、配布ユーザーの選択はできません。
⑥ 検索	設定した検索条件に一致したカメラを、[カメラ一覧]に表示します。
⑦ クリア	設定した検索条件を消去します。

2. [検索]ボタンをクリックします。

手順 1 で設定したすべての検索条件に一致したカメラが、[カメラ一覧]に表示されます。検索条件に一致したカメラが見つからなかったときは、「一致するカメラは見つかりません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 1 から操作をやり直します。





画面の項目	説明
① カメラ一覧	<p>検索されたカメラが一覧表示されます。</p> <p>[状態]、[動作モード]、[登録者数]は、本ソフトウェアとカメラが最後に通信したとき（カメラの状態取得または、カメラを操作、カメラからの接続があった場合など）の状態が表示されます（64 ページ）。最新の情報に更新する手順については、「カメラの状態を確認する」（85 ページ）をお読みください。</p>
② すべて選択	[カメラ一覧]に表示されているカメラをすべて選択します。
③ 選択クリア	[カメラ一覧]で選択されているカメラをすべて選択解除します。

3. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

カメラ情報詳細画面が表示されます。参照する情報を画面切替タブで画面を切り替え、各設定項目を確認できます。また、状態取得（85 ページ）を行うことができます。



画面の項目	説明
① 画面切替タブ	参照する情報のタブをクリックして、画面を切り替えます。 登録情報 ：画面の詳細は（75 ページ）をお読みください。 運用情報 ：画面の詳細は（77 ページ）をお読みください。 カードリーダー情報 ：画面の詳細は（79 ページ）をお読みください。 ドア制御ボックス情報 ：画面の詳細は（80 ページ）をお読みください。 カメラ状態 ：画面の詳細は（85 ページ）をお読みください。
② カメラ情報表示	カメラ設定／保守画面の[カメラ一覧]に表示されているカメラの情報を、「表示中のカメラ / カメラ一覧に表示されているカメラの総数」で表示します。  ボタン：前のカメラ情報を表示します。  ボタン：次のカメラ情報を表示します。 ボタンで順番に表示することができます。
③ 状態取得	カメラの状態を取得します。 「カメラの状態を確認する」（85 ページ）をお読みください。 ！ ご注意 ・MAC アドレス（76 ページ）取得済みカメラのみ行うことができます。
④ 登録者確認	カメラに配信されているユーザーを取得します。「カメラの登録者を確認する」（86 ページ）をお読みください。 ！ ご注意 ・動作中もしくは停止中の認証カメラのみ行うことができます。
⑤ 閉じる	カメラ設定／保守画面に戻ります。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

カメラ設定／保守画面に戻ります。

■ 配布グループを指定して検索する

検索条件に指定する配布グループを選択します。配布グループにより検索できるのは、指定した配布グループに登録されているカメラおよび、そのカメラで虹彩認証を受けられるユーザーです。

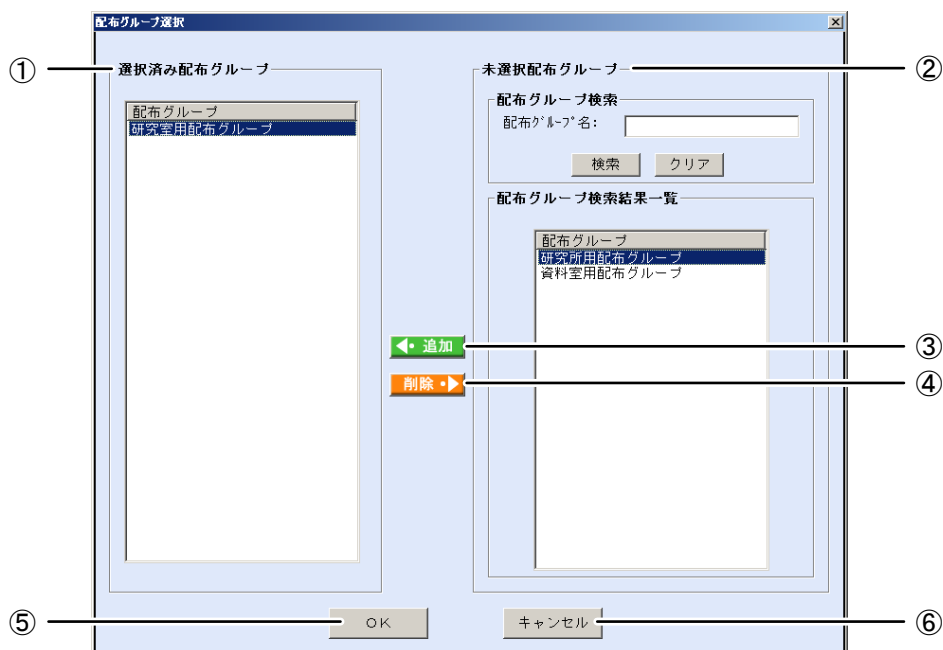
【操作】

1. 配布グループ選択画面を表示します。

次のいずれかの画面からの操作で、配布グループ選択画面が表示されます。

- ・カメラ設定／保守画面で、配布グループの[選択]ボタンをクリックする。(66 ページ)
- ・ユーザー選択画面で、配布グループの[選択]ボタンをクリックする。(72 ページ)
- ・ユーザー情報画面で、配布グループの[選択]ボタンをクリックする。(103 ページ)
- ・ユーザー情報詳細画面で、[配布グループ選択]ボタンをクリックする。(105 ページ)
- ・ユーザー情報新規登録画面で、[配布グループ選択]ボタンをクリックする。(109 ページ)

配布グループ選択画面が表示されたとき、すべての配布グループが[選択済み配布グループ]または[配布グループ検索結果一覧]のいずれかに表示されます。条件を指定しない場合は、手順4に進みます。



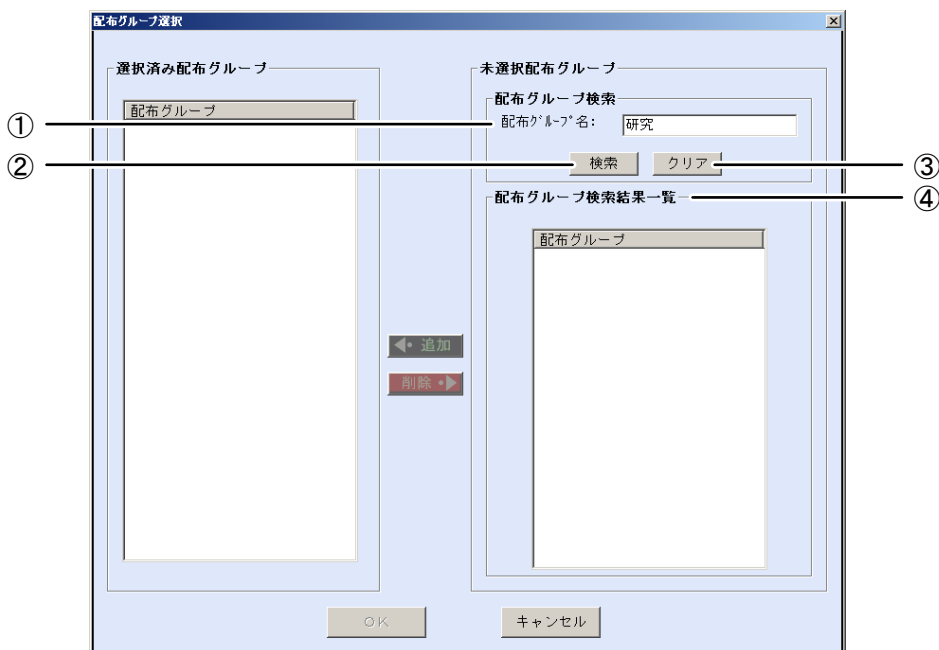
画面の項目	説明
① 選択済み配布グループ	選択した配布グループが一覧表示されます。
② 未選択配布グループ	[配布グループ検索]に検索条件を入力し、[配布グループ検索結果一覧]に配布グループを一覧表示します。 [配布グループ検索結果一覧]から配布グループを選択します。
③ 追加	[配布グループ検索結果一覧]で選択した配布グループを、[選択済み配布グループ]に移動します。 [配布グループ検索結果一覧]で配布グループを選択するとクリックできます。

画面の項目	説明
④ 削除	選択した配布グループを、[選択済み配布グループ]から取り除きます。
⑤ OK	選択した配布グループを決定して、元の画面に戻ります。
⑥ キャンセル	配布グループを選択せずに、元の画面に戻ります。

2. [未選択配布グループ]の[配布グループ検索]に検索条件を設定します。

配布グループ検索の[配布グループ名]の項目に、検索する配布グループの条件を入力します。入力値により前方一致で検索されます。

すべての配布グループを[配布グループ検索結果一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順3に進みます。



画面の項目	説明
① 配布グループ名	配布グループ名を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「研究室」を入力したときは、配布グループ名が「研究室」で始まる配布グループが一覧に表示されます。
② 検索	設定した検索条件に一致した配布グループのうち、[選択済み配布グループ]に表示されていないものを、[配布グループ検索結果一覧]に表示します。
③ クリア	設定した検索条件を消去します。
④ 配布グループ 検索結果一覧	検索された配布グループが一覧表示されます。

3. [検索]ボタンをクリックします。

手順2で設定した検索条件に一致した配布グループのうち、[選択済み配布グループ]に表示されていないものが、[配布グループ検索結果一覧]に表示されます。

検索条件に一致した配布グループが見つからなかったときは、「該当する配布グループはありません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順2から操作をやり直します。

4. [配布グループ検索結果一覧]で配布グループを選択します。

[配布グループ検索結果一覧]で表示された配布グループ名を選択します。

5. [追加]ボタンをクリックします。

選択した配布グループが、[選択済み配布グループ]に移動します。

別の配布グループを選択したいときは、手順 4 または手順 2 から操作を繰り返します。

6. [OK]ボタンをクリックします。

配布グループが選択され、元の画面に戻ります。

■ ユーザーを指定して検索する

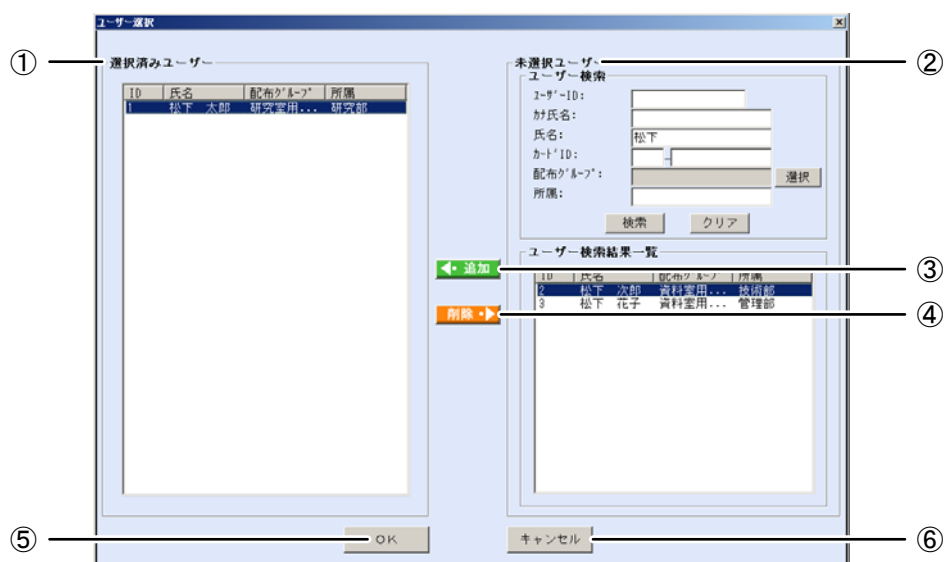
検索条件に指定するユーザーを選択します。ユーザーにより検索できるのは、指定したユーザーが認証を受けられるカメラです。

【操作】

1. ユーザー選択画面を表示します。

次のいずれかの画面からの操作で、ユーザー選択画面が表示されます。

- ・カメラ設定/保守画面で、配布ユーザーの[選択]ボタンをクリックする。(66 ページ)
- ・ログ情報画面(アクセスログ)で、ユーザー名の[選択]ボタンをクリックする。(154 ページ)



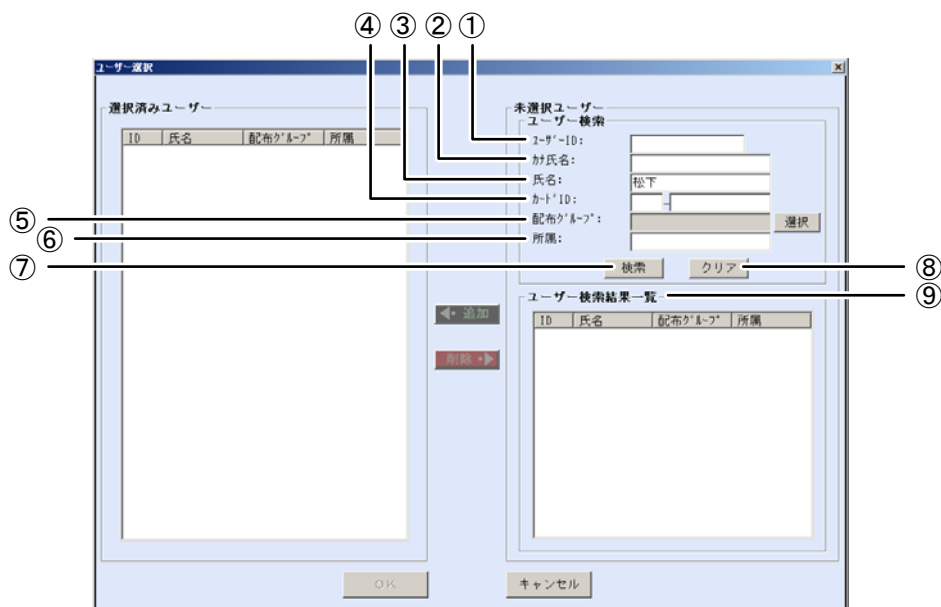
画面の項目	説明
① 選択済みユーザー	選択したユーザーが一覧表示されます。
② 未選択ユーザー	[ユーザー検索]に検索条件を入力し、[ユーザー検索結果一覧]にユーザーを一覧表示します。 [ユーザー検索結果一覧]からユーザーを選択します。
③ 追加	[ユーザー検索結果一覧]で選択したユーザーを、[選択済みユーザー]に移動します。 [未選択ユーザー]でユーザーを選択するとクリックできます。
④ 削除	選択したユーザーを、[選択済みユーザー]から取り除きます。 [選択済みユーザー]でユーザーを選択するとクリックできます。
⑤ OK	選択したユーザーを決定して、カメラ設定/保守画面に戻ります。

画面の項目	説明
⑥ キャンセル	ユーザーを選択せずに、前の画面に戻ります。

2. [未選択ユーザー]の[ユーザー検索]に検索条件を設定します。

[ユーザー検索]の各項目に、検索する配布ユーザーの条件を入力します。

すべての未選択ユーザーを[ユーザー検索結果一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順3に進みます。



画面の項目	説明
① ユーザーID	ユーザーのIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力したときは、ユーザーIDが「1」で始まるユーザーが検索されます。
② カナ氏名	ユーザーの氏名のフリガナを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「マツシタ」を入力したときは、カナ氏名が「マツシタ」で始まるユーザーが検索されます。
③ 氏名	ユーザーの氏名を入力します。部分一致で検索されます。 例えば「松下」を入力したときは、氏名に「松下」が含まれるユーザーが検索されます。
④ カードID	ユーザーのカードIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「10」を入力したときは、カードIDが「10」で始まるユーザーが検索されます。
⑤ 配布グループ	[選択]ボタンをクリックし、配布グループ選択画面（69 ページ）を表示して配布グループを選択します。選択した配布グループが設定されているユーザーが検索されます。 例えば「配布グループ A」と「配布グループ B」のように、複数の配布グループを選択した場合は、「配布グループ A が設定されているユーザー」または「配布グループ B が設定されているユーザー」が検索されます。 複数の配布グループを選択したときは、▼をクリックして選択した配布グループを確認できます。

画面の項目	説明
⑥ 所属	ユーザーの所属を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「総務」を入力したときは、所属が「総務」で始まるユーザーが検索されます。
⑦ 検索	設定した検索条件に一致したユーザーのうち、[選択済みユーザー]に表示されていないものを、[ユーザー検索結果一覧]に表示します。
⑧ クリア	設定した検索条件を消去します。
⑨ ユーザー検索結果一覧	検索されたユーザーが一覧表示されます。

3. [検索]ボタンをクリックします。

手順2で設定したすべての検索条件に一致したユーザーのうち、[選択済みユーザー]に表示されていないユーザーが、[ユーザー検索結果一覧]に表示されます。

検索条件に一致したユーザーが見つからなかったときは、「一致するユーザーはいませんでした。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順2から操作をやり直します。

4. [ユーザー検索結果一覧]でユーザーを選択します。

[ユーザー検索結果一覧]で表示されたユーザーを選択します。

5. [追加]ボタンをクリックします。

選択したユーザーが、[選択済みユーザー]に移動します。

別のユーザーを選択したいときは、手順4または手順2から操作を繰り返します。

6. [OK]ボタンをクリックします。

ユーザーが選択され、元の画面に戻ります。

カメラ情報を登録する

ここでは、システムにカメラを増設する場合などの、新規にカメラ情報を追加する手順について説明します。システム導入編の「カメラ初期値設定を行う」(30ページ)で、すでにカメラ初期値設定が行われている状態を前提に説明を行います。

【操作】 実行設定/保守

1. カメラ設定/保守画面で、[新規]ボタンをクリックします。

カメラ情報新規登録画面(39ページ)が表示されます。

2. カメラ情報を入力します。

カメラ情報新規登録画面の登録情報画面で、[カメラID]、[カメラ名]、[IPアドレス]を入力します。他の設定項目は、カメラ初期値設定画面で設定した値が入力されます。

カメラ情報の設定値で編集が必要な値がある場合は、「カメラを更新する、削除する」(74ページ)の手順3~6を参照し、画面項目を編集してください。

ご注意

・[カメラID]、[IPアドレス]は、他のカメラと重複して登録できません。

3. [登録]ボタンをクリックします。

カメラ情報が登録されます。

⚠️ ご注意

- ・カメラ情報の登録が完了したら、カメラの電源を投入して、カメラと虹彩管理サーバーの通信を行います。詳細はシステム導入編の「虹彩管理サーバーにカメラを接続する」（40 ページ）をお読みください。

■ ファイルインポートによる登録

カメラ情報 CSV ファイル（185 ページ）をインポートすることで、本ソフトウェアにカメラ情報を一括登録することができます。インポート用のカメラ情報 CSV ファイルを作成するには、「カメラ情報をファイルに出力する」（82 ページ）をお読みください。

⚠️ ご注意

- ・インポートするカメラ情報 CSV ファイルに、解析できないレコードがあった場合、必須項目が未入力の場合、すでに登録済みのカメラ ID、IP アドレスがある場合は、その旨を画面およびログ情報に出力します。この場合、該当するカメラは登録されません。
- ・配布グループが設定されているカメラをインポートした場合、配布グループの設定はインポートされません。
- ・カメラ情報 CSV ファイルをインポートした直後は、MAC アドレスが未取得の状態です。カメラをリセットするか、カメラの電源を入れなおしてください。

【操作】   **カメラ設定/保守**

1. カメラ設定／保守画面で、[インポート]ボタンをクリックします。
インポートファイル選択画面が表示されます。
2. インポートファイルを選択します。
インポートファイル選択画面から、インポートするカメラ情報 CSV ファイルが保存されているフォルダを指定し、カメラ情報 CSV ファイルを選択します。
3. [開く]ボタンをクリックします。
正常にカメラ情報にインポートが行われた場合、「インポートが完了しました。」が表示され、カメラ情報が一括登録されます。もしくは、インポートできないカメラ情報があった場合は、「インポートできないカメラがありました。詳細はログを確認してください。」が表示されます。
4. メッセージの[OK]ボタンをクリックします。
カメラ設定／保守画面に戻ります。

⚠️ ご注意

- ・カメラ情報の登録が完了したら、カメラの電源を投入して、カメラと虹彩管理サーバーの通信を行います。詳細はシステム導入編の「虹彩管理サーバーにカメラを接続する」（40 ページ）をお読みください。

カメラを更新する、削除する

登録済みのカメラの情報を更新または削除します。

【操作】   **カメラ設定/保守**

1. カメラ情報を検索して表示します。

「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、更新または削除を行うカメラをカメラ一覧に表示します。

2. [カメラ一覧]でカメラを選択します。

- 更新する場合は[詳細]ボタンをクリックします。

カメラ情報詳細画面が表示されます。

- 削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

カメラ情報を削除する場合は、カメラ設定／保守画面の[削除]ボタンをクリックします。

「削除してよろしいですか?」が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。

カメラ情報が削除され、カメラ設定／保守画面に戻ります。

ヒント

- ・複数のカメラを同時に削除する場合は、[カメラ一覧]でカメラを複数選択し、カメラ設定／保守画面の[削除]ボタンをクリックします。

3. カメラの情報の変更または削除を行います。

- 更新する場合

カメラ情報詳細画面の[登録情報]画面は、カメラと虹彩管理サーバー間のネットワーク設定を行います。画面に表示された値で必要な情報を変更、修正します。

- 削除する場合

カメラ情報を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。「削除してよろしいですか?」が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。カメラ情報が削除されて次のカメラ情報が表示されます。すべてのカメラ情報が削除された場合には、カメラ設定／保守画面に戻ります。



上記以外の画面の項目については、「カメラ情報を参照する、表示する」の[登録情報]画面（68 ページ）をお読みください。

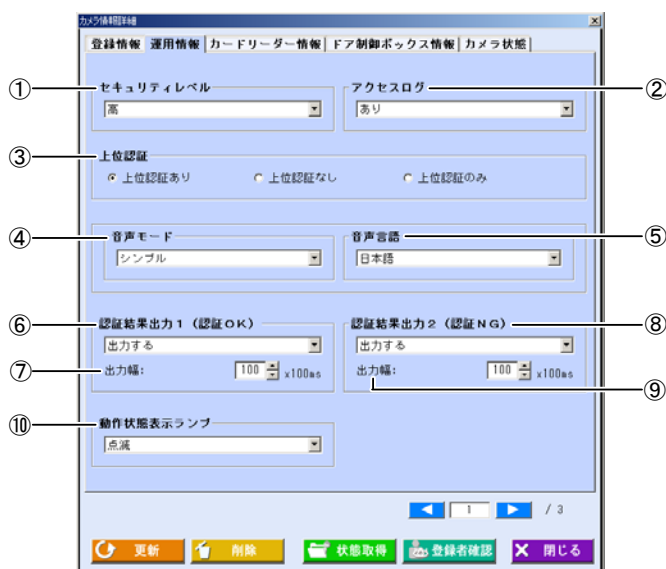
画面の項目	説明
① カメラ ID*	カメラに設定されたカメラ ID を表示します。 有効な値は、半角で 1 から 99999 の数値です。登録済みのカメラ ID と同じ値は設定できません。
② カメラ名	カメラの名前を表示します。 有効な値は、20 文字以内の全角または半角文字です。
③ IP アドレス*	カメラに設定された IP アドレスを表示します。 有効な値は、半角で 0 から 255 の数値の「XXX.XXX.XXX.XXX」形式です。(XXX は 0 から 255 の数値) 登録済みのカメラと同じ IP アドレスは設定できません。
④ サーバー IP アドレス*	カメラに設定された虹彩管理サーバーの IP アドレスを表示します。 有効な値は、半角で 0 から 255 の数値の「XXX.XXX.XXX.XXX」形式です。(XXX は 0 から 255 の数値)
⑤ サブネット マスク*	カメラに設定された虹彩管理サーバーのサブネットマスクを表示します。有効な値は、半角で 0 から 255 の数値の「XXX.XXX.XXX.XXX」形式です。(XXX は 0 から 255 の数値)
⑥ ゲートウェイ IP アドレス*	カメラに設定された虹彩管理サーバーのゲートウェイ IP アドレスを表示します。有効な値は、半角で 0 から 255 の数値の「XXX.XXX.XXX.XXX」形式です。(XXX は 0 から 255 の数値) 省略することもできます。 「0.0.0.0」を設定することはできません。
⑦ 配布グループ	カメラが登録されている配布グループ名が表示されます。
⑧ MAC アドレス	カメラの MAC アドレスが取得済か、未取得かが表示されます。 MAC アドレスは、カメラと虹彩管理サーバー間の通信（登録済みカメラから接続があった場合）が確立されると取得されます。MAC アドレスをクリアする場合は、[MAC アドレスをクリアする]チェックボックスをオンにし、[更新]ボタンをクリックします。 ！ ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ・「不正なカメラからのアクセスがありました。アクセスしたカメラの MAC アドレス：×××××××」と情報表示ウィンドウにアラーム情報が出力された場合は、当該カメラの設置状況を確認の上、故障などによりカメラを交換したことが明らかな場合は、上記の「MAC アドレスをクリアする」操作を実施してください。それ以外は不正なカメラからのアクセスの可能性がありますので、カメラの所在を確認の上、カメラの電源を落とすなどの措置を行ってください。
⑨ 更新	カメラの情報を更新します。 ！ ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ・カメラの状態が「リセット中」、または「不明」の場合は、[更新]ボタンをクリックできません。その場合は[状態取得]ボタンを押して、カメラの状態を取得してください。取得後、カメラの状態が「リセット中」、「不明」以外の場合は[更新]ボタンがクリックできるようになります。

画面の項目	説明
⑩ 削除	カメラ情報を削除します。

上記表中で*印の画面項目を変更して[更新]ボタンをクリックした場合、MAC アドレス取得済みのカメラはリセットされます。

4. [運用情報]タブをクリックします。

[運用情報]画面が表示されます。[運用情報]画面では、おもにカメラの認証時動作に関連する設定を行います。画面に表示された値で必要な情報を変更、修正します。



上記以外の画面の項目については、「カメラ情報を参照する、表示する」の[登録情報]画面（68ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
① セキュリティレベル	カメラのセキュリティレベル（16 ページ）を表示します。 「高」、「普通」のいずれかで設定します。
② アクセスログ	カメラでの認証結果（OK、NG）を虹彩管理サーバーに通知するかどうかを表示します。「あり」、「なし」のいずれかを設定します。 「あり」で設定すると、虹彩管理サーバーに通知します。この場合、ログ情報のアクセスログで通知された認証結果を確認できます。 「なし」で設定すると、虹彩管理サーバーに通知しません。この場合、ログ情報のアクセスログには表示されません。
③ 上位認証	上位認証（14 ページ）を表示します。 「上位認証あり」、「上位認証なし」、「上位認証のみ」のいずれかで設定します。 ⚠️ ご注意 ・カメラのカードリーダー情報画面の①[カードタイプ]で「虹彩オンカード」を選択している場合は、上位認証は「上位認証なし」が自動的に選択されます。変更はできません。
④ 音声モード	カメラの音声モード（音声出力）を表示します。 「ミュート」、「シンプル」、「フル」のいずれかで設定します。 ミュート 音声出力を一切行いません。

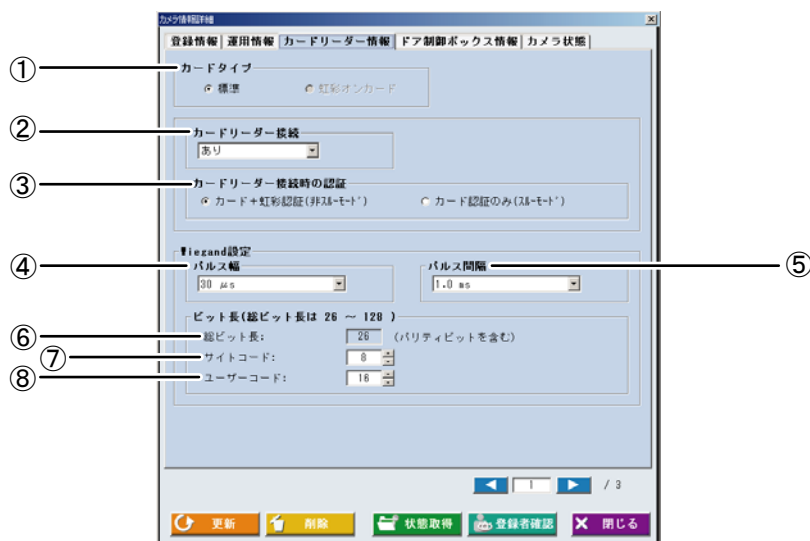
画面の項目	説明	
	シンプル	認証結果の「認証できました」、「認証できませんでした」を音声出力します。
	フル	認証結果に加え「もう少し近づいてください」などの誘導を音声出力します。
⑤ 音声言語	カメラの音声言語を表示します。 英語、日本語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語、トルコ語、オランダ語、スウェーデン語のいずれかで設定します。	
⑥ 認証結果出力1 (認証 OK)	認証成功時にカメラの認証結果出力1 (認証 OK) 端子からパルス信号を出力するかどうかを表示します。 「出力しない」、「出力する」のいずれかで設定します。	
⑦ 出力幅	⑥ [認証結果出力1 (認証 OK)]で「出力する」を設定した場合、設定可能になります。1~600の数値で設定を行います。認証成功時に、カメラの認証結果出力1 (認証 OK) 端子から、パルス信号を設定×100msで出力します。	
⑧ 認証結果出力2 (認証 NG)	認証失敗時にカメラの認証結果出力2 (認証 NG) 端子からパルス信号を出力するかどうかを表示します。 「出力しない」、「出力する」のいずれかで設定します。 オプションボードを使用しない場合は省略することもできます。	
⑨ 出力幅	⑧ [認証結果出力2 (認証 NG)]で「出力する」を設定した場合、設定可能になります。1~600の数値で設定を行います。認証失敗時に、カメラの認証結果出力2 (認証 NG) 端子から、パルス信号を設定×100msで出力します。	
⑩ 動作状態表示ランプ	カメラの動作状態表示ランプの動作を表示します。 「消灯」、「点滅」、「点灯」のいずれかで設定します。	

⚠ ご注意

- ・ 認証結果出力1 (認証 OK) の出力幅、認証結果出力2 (認証 NG) の出力幅は、出力先機器の仕様に合わせて設定してください。

5. [カードリーダー情報]タブをクリックします。

[カードリーダー情報]画面が表示されます。[カードリーダー情報]画面では、カードリーダーから読み取ったカード ID をカメラに送信するためのカメラとカードリーダー間の通信設定を行います。画面に表示された値で必要な情報を変更、修正します。



上記以外の画面の項目については、「カメラ情報を参照する、表示する」の[登録情報]画面（68ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
① カードタイプ	<p>カードリーダーで読み取るカードのタイプを表示します。</p> <p>カードリーダーを使用しない場合、もしくはカードリーダー(W)を使用する場合は、「標準」を選択します。カードリーダー(I)を使用する場合は、「虹彩オンカード」を選択します。</p> <p>！ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラが品番：BM-ET330 の場合、[カードタイプ]は、カメラにダウンロードしたカメラソフトウェアにより変わります。カメラと虹彩管理サーバーが通信した際に、カメラにダウンロードされているカメラソフトウェアの種類を取得し、標準用カメラソフトウェアの場合は、「標準」を、虹彩オンカード用カメラソフトウェアの場合は、「虹彩オンカード」が自動的に選択されます。
② カードリーダー接続	<p>カードリーダー接続の有無を表示します。</p> <p>①[カードタイプ]で「標準」が選択されている場合 カードリーダー(W)を使用する場合は、「あり」を選択します。 [Wiegand 設定]欄内の項目が設定可能になります。 カードリーダー(W)なしで運用する場合は、「なし」を選択します。 カードリーダー(I)を使用する場合は、「あり」が自動的に設定されません。変更はできません。 オプションボードを使用しない場合は省略することもできます。</p>
③ カードリーダー接続時の認証	<p>カメラにカードリーダーを接続している場合の認証方法を設定します。</p> <p>②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。</p> <p>「カード+虹彩認証(非スルーモード)」は、カードIDと虹彩情報での認証です。カードをカードリーダーに提示するとカメラの認証動作が開始されます。</p> <p>「カード認証のみ(スルーモード)」は、カードIDのみの認証です。カードから読み出したカードIDをドア制御ボックスに出力します。カメラでは虹彩撮影を行いません。</p>

画面の項目	説明
④ パルス幅*	Wiegand 通信のパルス幅を設定します。 「30 μ s」、「40 μ s」、「50 μ s」のいずれかを選択します。
⑤ パルス間隔*	Wiegand 通信のパルス間隔を設定します。 「1.0 ms」、「1.5 ms」、「2.0 ms」のいずれかを選択します。
⑥ 総ビット長*	⑦[サイトコード]+⑧[ユーザーコード]+パリティビット (2ビット)の合計が表示されます。26~128 ビットになるようにサイトコード、ユーザーコードを設定します。
⑦ サイトコード*	サイトコードのビット長を0~125ビットで設定します。
⑧ ユーザーコード*	ユーザーコードのビット長を1~126ビットで設定します。

上記表中で、*印の画面項目は、カメラ情報①[カードタイプ]で「標準」を設定し、②[カードリーダー接続]を「あり」に設定した場合のみ設定できます。

6. [ドア制御ボックス情報]タブをクリックします。

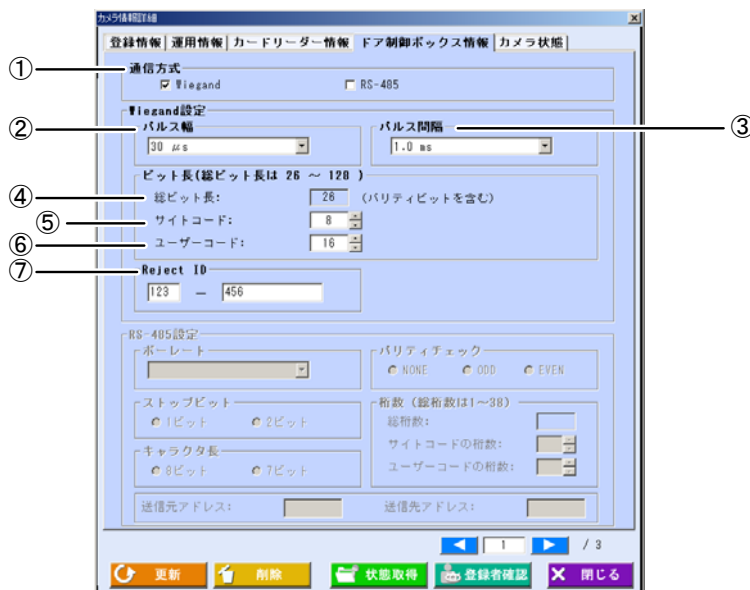
[ドア制御ボックス情報]画面が表示されます。[ドア制御ボックス情報]画面では、カメラから認証結果をドア制御ボックスに送信、またはドア制御ボックスからの認証動作開始を受信するための通信設定を行います。画面に表示された値で必要な情報を変更、修正します。A 接点出力でドア制御ボックスを接続する場合は、[通信方式]のチェックボックスをオフにします。

Wiegand 接続でドア制御ボックスを使用する場合

ドア制御ボックスを Wiegand 接続で使用する場合、画面項目の①[通信方式]で「Wiegand」を選択します。[Wiegand 設定]欄内の項目②~⑦が設定可能になります。

ヒント

- ・手順5のカードリーダー接続画面で[Wiegand 設定]欄内の項目④~⑧の内容を設定してある場合、①[通信方式]で「Wiegand」を選択すると、[Wiegand 設定]欄内の項目②~⑥の対応する項目に値が反映されます。また、この項目を編集すると、カードリーダー接続画面の対応する項目に反映されます。



上記以外の画面の項目については、「カメラ情報を参照する、表示する」の[登録情報]画面（68ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
① 通信方式	「Wiegand」を選択します。「Wiegand 設定」欄内の項目が設定可能になります。
② パルス幅*	Wiegand 通信のパルス幅を設定します。 「30 μ s」、「40 μ s」、「50 μ s」のいずれかを選択します。
③ パルス間隔*	Wiegand 通信のパルス間隔を設定します。 「1.0 ms」、「1.5 ms」、「2.0 ms」のいずれかを選択します。
④ 総ビット長*	⑤[サイトコード]+⑥[ユーザーコード]+パリティビット（2ビット）の合計が表示されます。26~128 ビットになるようにサイトコード、ユーザーコードを設定します。
⑤ サイトコード*	サイトコードのビット長を0~125ビットで設定します。
⑥ ユーザーコード*	ユーザーコードのビット長を1~126ビットで設定します。
⑦ Reject ID*	認証結果がNGだった場合にドア制御ボックスに出力するデータを [サイトコード]-[ユーザーコード]形式で、10進数で入力します。 パリティビット(2ビット)は除いて設定してください。 ⑤サイトコードと⑥ユーザーコードで設定したそれぞれのビット長以内の値を、設定してください。 サイトコードは空欄のままでも設定できます。 ！ ご注意 ・ Reject ID の設定値については、カメラと接続するドア制御ボックスの仕様を確認してください。

表中の画面項目で、*印は Wiegand 接続でドア制御ボックスを使用する場合、①[通信方式]で「Wiegand」を設定したときのみ設定できます。

RS-485 接続でドア制御ボックスを使用する場合

ドア制御ボックスを RS-485 接続で使用する場合、画面項目の①[通信方式]で「RS-485」を選択します。[RS-485 設定]欄内の項目②~⑩が設定可能になります。



上記以外の画面の項目については、「カメラ情報を参照する、表示する」の[登録情報]画面（68ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
① 通信方式	「RS-485」を選択します。「RS-485 設定」欄内の項目が設定可能になります。
② ボーレート*	RS-485 通信のボーレートを設定します。 「9600bps」、「19200bps」、「38400bps」のいずれかを選択します。
③ パリティ チェック*	RS-485 通信のパリティチェックを設定します。 「NONE」、「ODD」、「EVEN」のいずれかを選択します。
④ ストップビット*	RS-485 通信のストップビットを設定します。 「1 ビット」、「2 ビット」のいずれかを選択します。
⑤ キャラクタ長*	RS-485 通信のキャラクタ長を設定します。 「8 ビット」、「7 ビット」のいずれかを選択します。
⑥ 総桁数*	⑦[サイトコードの桁数]+⑧[ユーザーコードの桁数]の合計が表示されます。1~38 桁になるようにサイトコードの桁数、ユーザーコードの桁数を設定します。
⑦ サイトコードの 桁数*	サイトコードの桁数を 0~37 桁で設定します。
⑧ ユーザーコード の桁数*	ユーザーコードの桁数を 1~38 桁で設定します。
⑨ 送信元アドレス*	RS-485 通信のカメラのアドレスを設定します。0~99999 を設定します。カメラが品番：BM-ET330 の場合は設定できません。
⑩ 送信先アドレス*	RS-485 通信のドア制御ボックスのアドレスを設定します。0~99999 を設定します。 カメラが品番：BM-ET330 の場合は設定できません。

表中の画面項目で、*印は RS-485 接続でドア制御ボックスを使用する場合、①[通信方式]で「RS-485」を設定したときのみ設定できます。

7. [更新]ボタンをクリックします。

カメラの情報が更新されます。別のカメラ情報を更新するときは、カメラ情報表示切り替えボタンを使ってカメラを選択し、手順 3 から操作を繰り返します。

8. [閉じる]ボタンをクリックします。

カメラ設定/保守画面に戻ります。

カメラ情報をファイルに出力する

本ソフトウェアに登録されているカメラ情報を、カメラ情報 CSV ファイル（185 ページ）に出力します。出力したカメラ情報 CSV ファイルは、再び本ソフトウェアにインポート（74 ページ）することができます。

【操作】 加工設定/保守

1. カメラ情報を検索して表示します。

「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、カメラ情報 CSV ファイルに出力するカメラをカメラ一覧に表示します。

2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[エクスポート]ボタンをクリックします。
名前を付けて保存画面が表示されます。
3. エクスポートファイル名を設定します。
名前を付けて保存画面でカメラ情報 CSV ファイルをエクスポートするフォルダを指定し、ファイル名を設定します。ファイル名は、全角または半角で登録できます。ただし、¥ / : ; * ? " < > | は使用できません。また、CSV 形式以外のファイル形式は指定できません。
4. [保存]ボタンをクリックします。
カメラ情報 CSV ファイルが保存されます。「エクスポートが完了しました。」と表示されます。
5. メッセージの[OK]ボタンをクリックします。
カメラ設定／保守画面に戻ります。

登録カメラ、認証カメラを切り替える ……………

本ソフトウェアに登録済みのカメラの中から登録カメラを設定します。または、登録カメラを認証カメラに切り替える操作について説明します。登録カメラは複数設定できます。登録カメラでは、認証動作を行うことはできなくなります。

⚠️ ご注意

- ・本ソフトウェアに管理者名と虹彩認証でログインするには、登録カメラが設定されている必要があります。
- ・虹彩撮影を行うには、登録カメラが設定されている必要があります。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[登録カメラ設定]ボタンをクリックします。
登録カメラ設定画面（42 ページ）が表示されます。
2. 登録カメラを設定します。
「登録カメラを設定する」（42 ページ）の手順 2、3 の操作を行い、登録カメラを選択します。登録カメラに設定済みのカメラを認証カメラにしない場合は、手順 4 に進みます。
3. 登録カメラから認証カメラに設定します。
[選択カメラ一覧]に表示されている登録カメラから、認証カメラに切り替える登録カメラを選択して[削除]ボタンをクリックします。[選択カメラ一覧]で選択した登録カメラが、[カメラ検索結果一覧]に移動します。

⚠️ ご注意

- ・選択したカメラの中にカメラ状態が「リセット中」、「設定エラー」、「ダウンロード要」のカメラがある場合、[削除]ボタンをクリックしたときに「カメラ ID : xx はリセット中です。」、「カメラ ID : xx は設定エラーです。」、または「カメラ ID : xx はダウンロード要です。」が表示され、そのカメラは[カメラ検索結果一覧]に移動されません。
4. [OK]ボタンをクリックします。
[OK]ボタンがクリックされると、該当するカメラが認証カメラから登録カメラに切り替わります。または、登録カメラから認証カメラに切り替わります。「認証カメラ／登録カメラの設定を更新しました。」とメッセージが表示されます。

⚠️ ご注意

- ・ [選択カメラ一覧]に追加したカメラ、[カメラ検索結果一覧]に削除したカメラで、MAC アドレスが取得済みのカメラは、認証カメラから登録カメラ、登録カメラから認証カメラに切り替えが行われます。リセット中、電源オフなどの通信ができない状態では、カメラ状態が「不明」になります。カメラが正常に虹彩管理サーバーと通信できた場合、カメラは設定した内容で起動します。

5. メッセージの[OK]ボタンをクリックします。
登録カメラ設定画面を閉じ、前の画面に戻ります。

カメラを確認する、操作する

運用中のカメラ状態の確認や遠隔操作を行います。

カメラからアラームが通知された場合や、定期的な動作確認などカメラのリセット、認証動作の停止や開始などの操作方法について説明します。

カメラの状態を確認する

運用中のカメラの状態を確認します。カメラとの通信状態やカメラ状態、登録者数の確認、カメラのソフトウェアバージョン情報、音声ファイルのバージョン情報などを取得して確認します。また、カメラで故障が発生した場合などのアラーム情報の取得もできます。

【操作】

1. カメラ情報を検索して表示します。
「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、状態確認を行うカメラ情報を表示します。
2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。
カメラ情報詳細画面の[登録情報]画面が表示されます。
3. [状態取得]ボタンをクリックします。
カメラからカメラ状態を取得して、[カメラ状態]画面に情報を表示します。



上記以外の画面の項目については、「カメラ情報を参照する、表示する」の[登録情報]画面（68 ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
① 取得日時	[状態取得]ボタンをクリックして、カメラの状態を取得した日時が表示されます。

画面の項目	説明
② 状態一覧	[状態取得]ボタンをクリックすると、カメラの状態が表示されます。ネットワーク状態、カメラ状態、虹彩情報登録者数、カメラソフトウェアバージョン、音声ファイルバージョンを表示します。
③ アラーム情報	異常が発生している項目が表示されます。項目が表示されているときは、エラーメッセージ一覧を確認のうえ、お買い上げの販売店にご連絡ください。

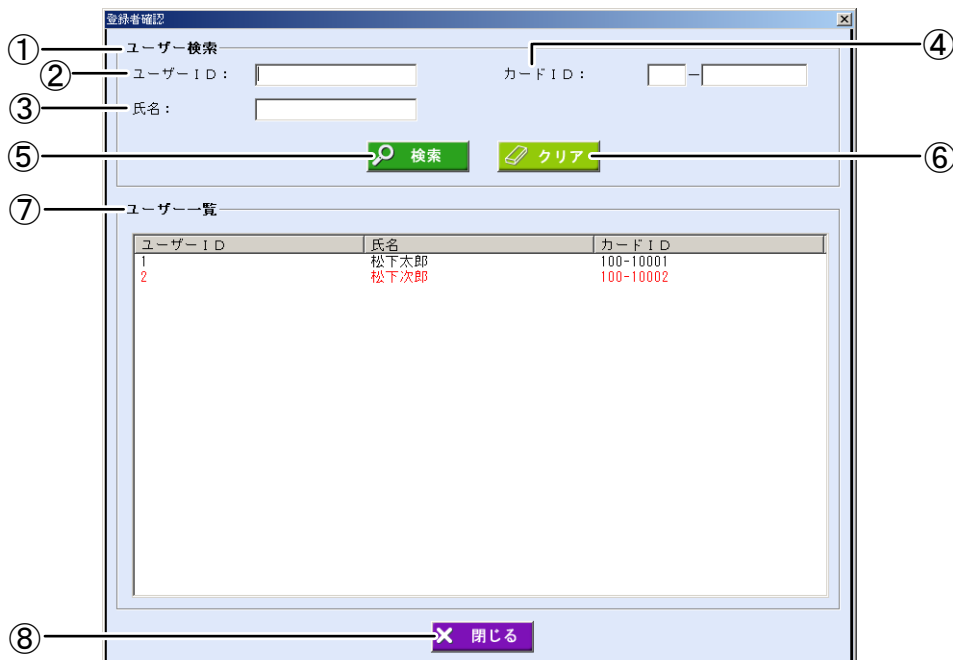
4. [閉じる]ボタンをクリックします。
カメラ設定／保守画面に戻ります。

カメラの登録者を確認する

運用中のカメラからそのカメラに登録されているユーザーを取得し、一覧表示します。

【操作】

1. カメラ情報を検索して表示します。
「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、登録者確認を行うカメラ情報を表示します。
2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。
カメラ情報詳細画面の[登録情報]画面が表示されます。
3. [登録者確認]ボタンをクリックします。
カメラから登録者を取得して、[登録者確認]画面に情報を表示します。



画面の項目	説明
① ユーザー検索	[ユーザー一覧]に表示するユーザーの検索条件を設定します。

画面の項目	説明
② ユーザーID	ユーザーのIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力すると、ユーザーIDが「1」で始まるユーザーを検索します。
③ 氏名	ユーザーの氏名を入力します。部分一致で検索されます。 例えば「松下」を入力したときは、氏名に「松下」が含まれるユーザーを検索します。
④ カードID	ユーザーのカードIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「10」を入力したときは、カードIDが「10」で始まるユーザーを検索します。
⑤ 検索	設定した検索条件に一致したユーザーを、[ユーザー一覧]に表示します。
⑥ クリア	設定した検索条件を消去します。
⑦ ユーザー一覧	検索されたユーザーが一覧表示されます。 ⚠️ ご注意 カメラから取得した登録者のうち、配信対象ではないユーザーは赤色の文字で表示されます。また、虹彩管理サーバーに登録されていないユーザーのユーザーIDと氏名は表示されません。
⑧ 閉じる	登録者確認画面を閉じて、前の画面に戻ります。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

カメラ情報詳細画面に戻ります。

カメラを再起動する

カメラを再起動します。カメラを再起動するには、カメラ設定／保守画面から操作を行います。

【操作】

1. カメラ情報を検索して表示します。

「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、再起動を行うカメラ情報を表示します。

2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[リセット]ボタンをクリックします。

「リセットを実行してよろしいですか？」が表示されます。

[カメラ一覧]で選択するカメラは、複数選択可能です。また、カメラ状態に関係なくすべてのカメラに対して実行できます。

⚠️ ご注意

- ・存在しないカメラ、LAN に接続されていないカメラなどを複数選択してリセットを行った場合、カメラのリセット処理を終了するまでに時間がかかる場合があります。
- ・カメラをリセットすると、虹彩情報が自動配信されることがあります。

3. [はい]ボタンをクリックします。

メッセージの[はい]ボタンをクリックすると、「リセットを要求しました。」が表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

カメラ設定／保守画面に戻ります。

カメラを開始する、停止する……………

認証動作を停止しているカメラを開始、開始しているカメラの認証動作を停止します。カメラの認証動作の開始、停止を行うには、カメラ設定／保守画面から操作を行います。

【操作】

1. カメラ情報を検索して表示します。
「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、認証動作開始、停止を行うカメラを表示します。
2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[開始]ボタン（または[停止]ボタン）をクリックします。
[開始]ボタンをクリックしたときは、「開始してよろしいですか？」が表示されます。
[停止]ボタンをクリックしたときは、「停止してよろしいですか？」が表示されます。

❗ ご注意

- ・ [カメラ一覧]に表示されたカメラの状態が「リセット中」、「不明」、「設定エラー」、「--」、「登録カメラ（動作中）」、「ダウンロード要」のカメラは開始、停止できません。

3. [はい]ボタンをクリックします。
「カメラを停止しました。」または「カメラを動作中にしました。」と表示されます。
4. [OK]ボタンをクリックします。
カメラ設定／保守画面に戻ります。

カメラにソフトウェアをダウンロードする……………

カメラにインストールされているソフトウェアをバージョンアップします。また、カメラ設定／保守画面の[カメラ一覧]で、カメラの「状態」が「ダウンロード要」のカメラには、カメラソフトウェアをダウンロードします。

❗ ご注意

- ・ カメラ状態が「ダウンロード要」のカメラには、本操作を必ず実施してください。本操作を実施しないとカメラでの認証は行えません。
- ・ ダウンロード終了後、カメラは再起動を行います。この間、カメラでの認証は行えません。

【操作】 追加設定/保守

1. カメラ設定／保守画面を表示します。
カメラ設定／保守画面（40 ページ）を表示します。
2. [検索]ボタンをクリックして、カメラ情報を表示します。
[検索]ボタンをクリックして、ダウンロードを行うカメラを[カメラ一覧]に表示します。
3. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[ソフトウェアダウンロード]ボタンをクリックします。
ダウンロードファイル選択画面が表示されます。カメラは複数選択することが可能です。

⚠️ ご注意

- ・ [カメラ一覧]に表示されたカメラの状態が「リセット中」、「不明」、「--」のカメラには、ダウンロードを行えません。

4. ダウンロードファイルを選択します。

ダウンロードファイル選択画面から、ダウンロードファイルを選択します。

ダウンロードファイルは、ET200_XXYY.bin ファイルを指定します。XXYY はソフトウェアのバージョン番号を示しています。

なお、カメラが品番：BM-ET330 の場合、ダウンロードファイルは「ET330_XXYY.bin」、または「ET330i_XXYY.bin」を指定してください。

5. [開く]ボタンをクリックします。

ダウンロード状況画面が表示され、ダウンロードが始まります。[キャンセル]ボタンをクリックすると、現在ダウンロードしているカメラへのダウンロードが終了したときに、ダウンロードを中止します。

ダウンロードが終了すると、「カメラへのソフトウェアダウンロードが完了しました。」と表示されます。ダウンロード終了後にカメラは自動的にリセットを行います。

⚠️ ご注意

- ・ カメラ設定／保守画面で複数のカメラを選択した場合に、ダウンロードできないカメラが含まれていたときは、確認のメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると、ダウンロードできるカメラにのみ、ダウンロードを行います。
- ・ ダウンロードするカメラが 10 台以下の場合、ダウンロード状況画面に[キャンセル]ボタンは表示されません。
- ・ すでにダウンロードしているファイルより古いファイルまたは同じファイルをダウンロードしようとする、画面上に「このソフトより新しいソフト、もしくは同一のソフトがダウンロードされています。実行してよろしいですか?」と警告メッセージが表示されます。

6. メッセージの[OK]ボタンをクリックします。

カメラ設定／保守画面に戻ります。

カメラに音声ファイルをダウンロードする……………

カメラに音声ファイルをダウンロードします。

音声ファイルは、「ET200_AUDIO_XXYY.bin」ファイルを指定します。XXYYは音声ファイルのバージョン番号です。

なお、カメラが品番：BM-ET330の場合、音声ファイルは「AUDIO_XXYY.bin」を指定してください。

【操作】 追加設定/保守

1. カメラ情報を検索して表示します。
「カメラ情報を参照する、表示する」（65ページ）の手順に従い、カメラを検索します。
2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[音声ファイルダウンロード]ボタンをクリックします。
音声ファイル選択画面が表示されます。音声ファイルが保存されているフォルダを指定し、音声ファイルをクリックして選択します。

ご注意

- ・[カメラ一覧]に表示されたカメラの状態が「リセット中」、「不明」、「-」、「ダウンロード要」のカメラには、音声ファイルをダウンロードできません。

3. [開く]ボタンをクリックします。
ダウンロード状況画面が表示され、ダウンロードが始まります。[キャンセル]ボタンをクリックすると、現在ダウンロードしているカメラへのダウンロードが終了したときに、ダウンロードを中止します。
ダウンロードが終了すると、「カメラへの音声ファイルのダウンロードが完了しました。」と表示されます。

ご注意

- ・カメラ設定/保守画面で複数のカメラを選択した場合に、ダウンロードできないカメラが含まれていたときは、確認のメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると、ダウンロードできるカメラにのみ、ダウンロードを行います。
- ・ダウンロードするカメラが10台以下の場合、ダウンロード状況画面に[キャンセル]ボタンは表示されません。

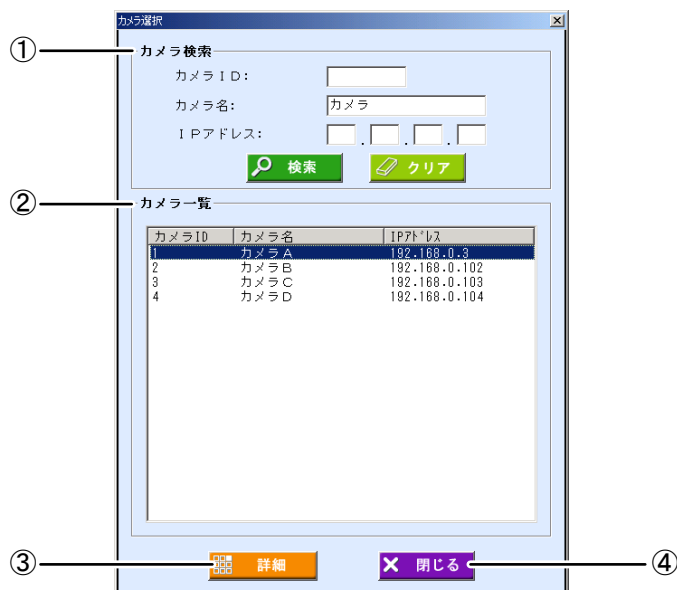
4. メッセージの[OK]ボタンをクリックします。
カメラ設定/保守画面に戻ります。

カメラ機能を拡張する

ドア制御ボックスがカメラの結果表示ランプを制御するための設定や、カメラでの認証動作開始を外部機器からのトリガーにより制御する設定を行います。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[カメラ拡張機能]ボタンをクリックします。
カメラ選択画面が表示されます。



画面の項目	説明
① カメラ検索	[カメラ一覧]に表示するカメラの検索条件を設定します。
② カメラ一覧	検索されたカメラが一覧表示されます。
③ 詳細	[カメラ一覧]で選択したカメラの詳細を、カメラ拡張機能画面に表示します。
④ 閉じる	カメラ選択画面を閉じて、前の画面に戻ります。

2. [カメラ検索]に検索条件を設定します。
すべてのカメラを[カメラ一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順3に進みます。



画面の項目	説明
① カメラ ID	カメラの ID を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力したときは、カメラ ID が「1」で始まるカメラが一覧に表示されます。
② カメラ名	カメラの名前を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「BM-ET」を入力したときは、カメラ名が「BM-ET」で始まるカメラが一覧に表示されます。
③ IP アドレス	カメラに設定された IP アドレスを入力します。入力欄ごとに完全一致で検索されます。 例えば始めの欄に「10」、2 番目の欄に「2」を入力したときは、10.2.1.1 や 10.2.200.200 などの IP アドレスが設定されているカメラが一覧に表示されます。
④ 検索	設定した検索条件に一致したカメラを、[カメラ一覧]に表示します。
⑤ クリア	設定した検索条件を消去します。

3. [検索]ボタンをクリックします。

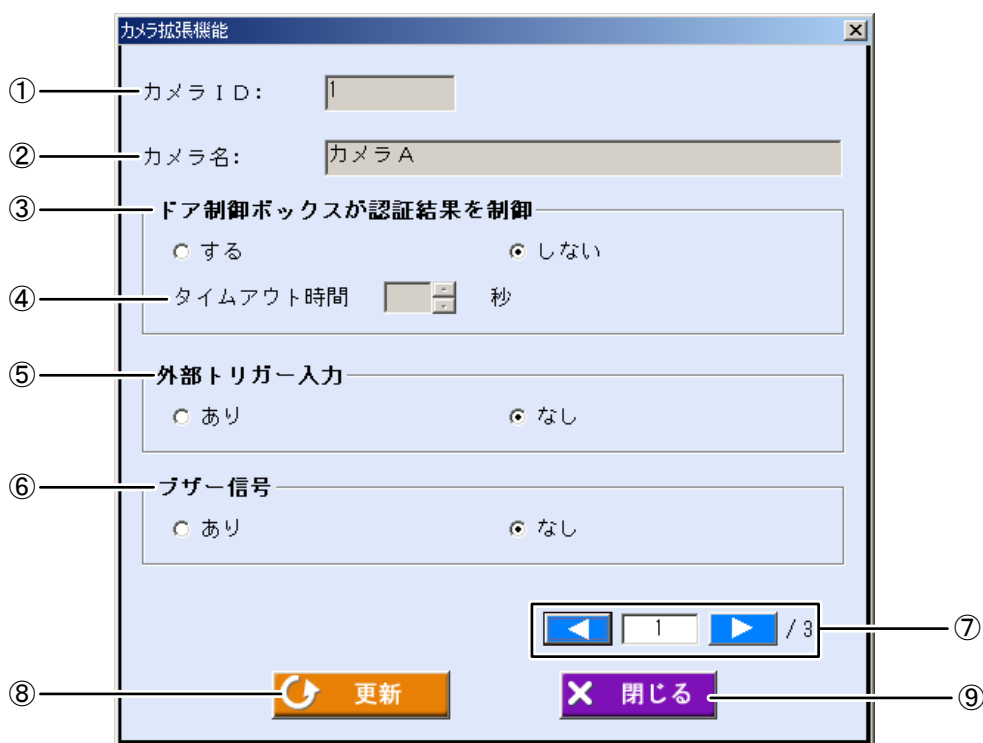
手順 2 で設定したすべての検索条件に一致したカメラが、[カメラ一覧]に表示されます。
検索条件に一致したカメラが見つからなかったときは、「一致するカメラは見つかりません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 2 から操作をやり直します。



4. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

カメラ拡張機能画面が表示されます。

5. カメラ拡張機能の更新を行います。

[ドア制御ボックスが認証結果を制御]、[外部トリガー入力]、[ブザー信号]の設定値を必要に応じて変更します。



画面の項目	説明
① カメラID	カメラIDが表示されます。
② カメラ名	カメラ名が表示されます。
③ ドア制御ボックスが認証結果を制御	ドア制御ボックスが認証結果を制御するか選択します。「する」、「しない」から選択します。
④ タイムアウト時間	③ [ドア制御ボックスが認証結果を制御]で「する」を設定した場合、設定可能になります。1～60sの数値で設定を行います。虹彩認証後にドア制御ボックスから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
⑤ 外部トリガー入力	「あり」を選択した場合、外部からの入力を受けて認証動作を開始します。この機能は、カードリーダー接続なしの場合のみ有効です。カードリーダー接続ありの場合は、自動的に「なし」が選択されます。 外部機器とカメラの接続方法、および入力信号の仕様については、カメラ付属の取扱説明書をお読みください。
⑥ ブザー信号	「あり」を選択した場合、外部からの入力によりブザーを鳴動させることができます。ブザー鳴動中は、認証動作を行うことはできません。 外部機器とカメラの接続方法、および入力信号の仕様については、カメラ付属の取扱説明書をお読みください。
⑦ カメラ情報表示	カメラ選択画面の[カメラ一覧]に表示されているカメラの情報を、「表示中のカメラ / カメラ一覧に表示されているカメラの総数」で何番目の情報かが表示されます。  ボタン：前のカメラ情報を表示します。  ボタン：次のカメラ情報を表示します。 ボタンで順番に表示することができます。

画面の項目	説明
⑧ 更新	設定したカメラ拡張機能の設定を保存します。
⑨ 閉じる	カメラ選択画面に戻ります。

⚠ ご注意

- ・カメラが品番：BM-ET330 の場合、⑤[外部トリガー入力]、⑥[ブザー信号]のいずれかのみを「あり」に設定できます。

6. [更新]ボタンをクリックします。

「更新しました。」が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。

7. [閉じる]ボタンをクリックします。

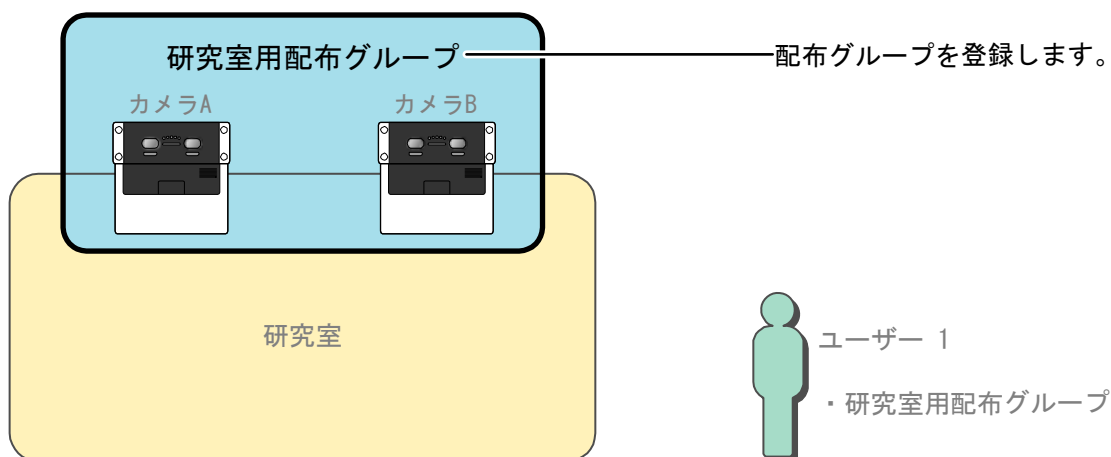
カメラ選択画面に戻ります。

配布グループを登録する

本ソフトウェアに配布グループを登録します。配布グループにはカメラを複数登録することができ、カメラを一括で管理することができるようになります。

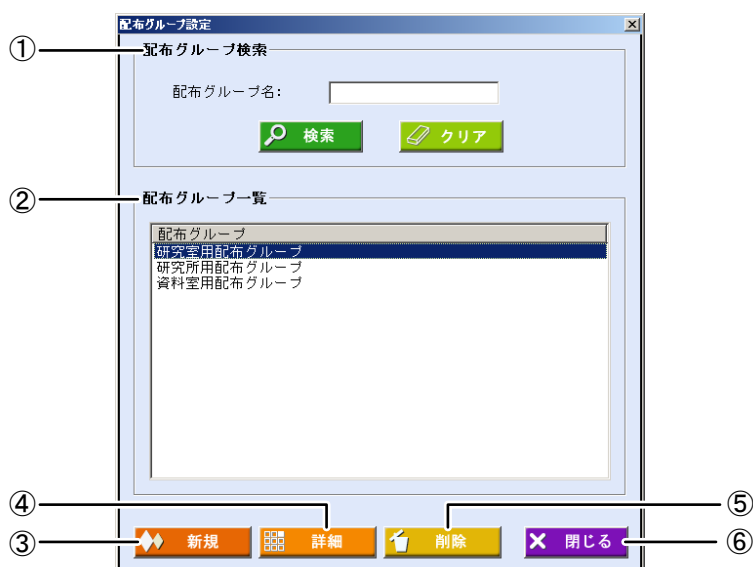
⚠️ ご注意

- ・虹彩オンカードでカメラを使用する場合は、配布グループの設定は適用されません。



配布グループ設定画面について

環境設定画面から[配布グループ設定]ボタンをクリックするか、メインメニュー画面のメニューバーから[環境設定]メニューの[配布グループ設定]を選択すると、配布グループ設定画面が表示されます。



画面の項目	説明
① 配布グループ検索	[配布グループ一覧]に表示する配布グループの条件を設定します（96 ページ）。
② 配布グループ一覧	検索された配布グループが一覧表示されます。

画面の項目	説明
③ 新規*	新たに配布グループを登録します（97 ページ）。
④ 詳細	[配布グループ一覧]で選択した配布グループの情報を表示します。情報を更新することもできます（100 ページ）。 [配布グループ一覧]で配布グループを選択するとクリックできます。
⑤ 削除*	[配布グループ一覧]で選択されている配布グループを削除します。 複数の配布グループを選択すると、一度に削除できます。 [配布グループ一覧]で配布グループを選択するとクリックできます。
⑥ 閉じる	配布グループ設定画面を閉じます。 虹彩情報が自動配信されることがあります（129 ページ）。

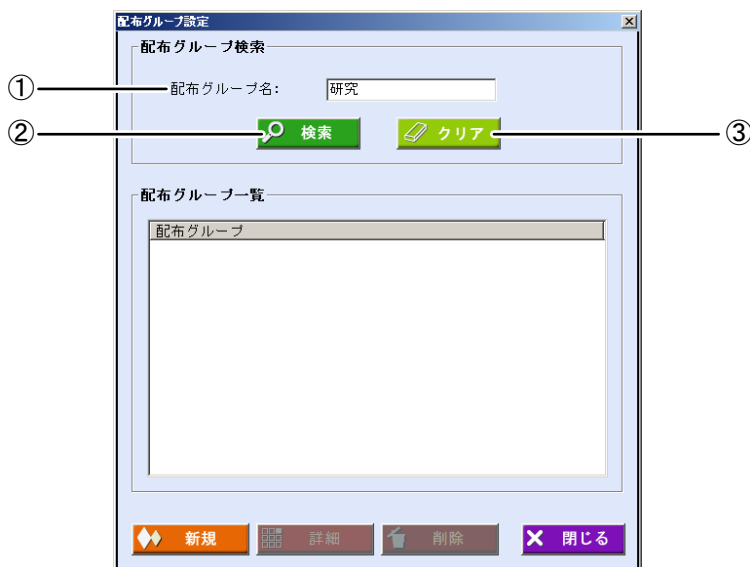
表中の画面項目で、*印は、「環境設定」権限が設定された管理者のみが操作できます。

■ 配布グループを参照する、表示する

登録済みの配布グループの情報を検索します。

【操作】

1. 配布グループ設定画面の[配布グループ検索]に検索条件を設定します。
配布グループ設定画面が表示されたとき、すべての配布グループが[配布グループ一覧]に表示されます。条件を指定しない場合は、手順3に進みます。



画面の項目	説明
① 配布グループ名	配布グループ名を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「研究室」を入力したときは、配布グループ名が「研究室」で始まる配布グループが一覧に表示されます。
② 検索	設定した検索条件に一致した配布グループを、[配布グループ一覧]に表示します。
③ クリア	設定した検索条件を消去します。

2. [検索]ボタンをクリックします。

手順 1 で設定した検索条件に一致した配布グループが、[配布グループ一覧]に表示されます。
検索条件に一致した配布グループが見つからなかったときは、「該当する配布グループはありません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 1 から操作をやり直します。

3. [配布グループ一覧]で配布グループを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。
配布グループ詳細画面が表示されます。

画面の項目	説明
① 配布グループ名	配布グループ名が表示されます。
② 選択カメラ一覧	配布グループに登録されているカメラが一覧表示されます。
③ 更新*	配布グループ情報を更新します。
④ 削除*	配布グループ情報を削除します。
⑤ 閉じる	配布グループ設定画面に戻ります。

表中の画面項目で、*印は「環境設定」権限が設定された管理者のみが操作できます。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

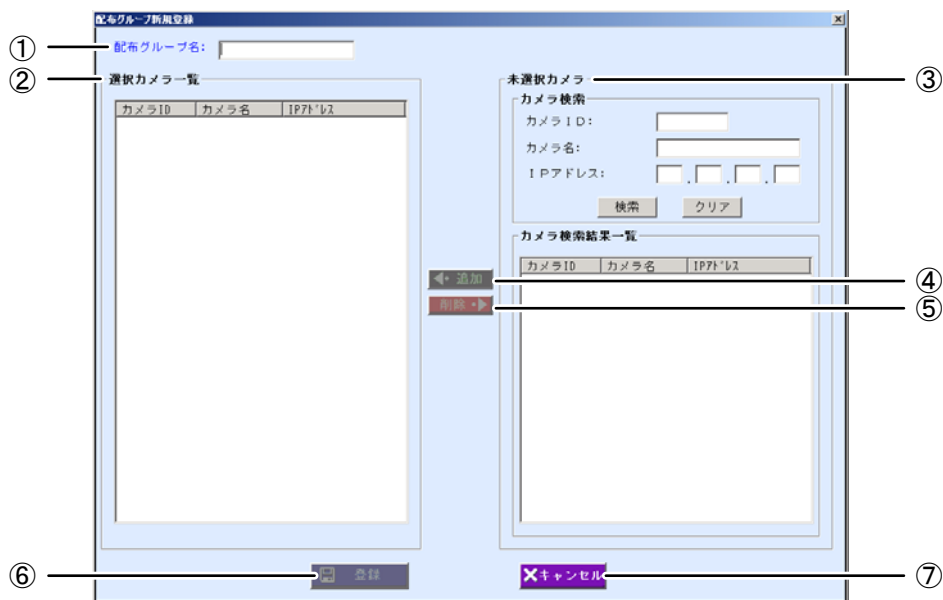
配布グループ設定画面に戻ります。

配布グループを登録する

配布グループを登録します。

【操作】   環境設定

1. 配布グループ設定画面の[新規]ボタンをクリックします。
配布グループ新規登録画面が表示されます。

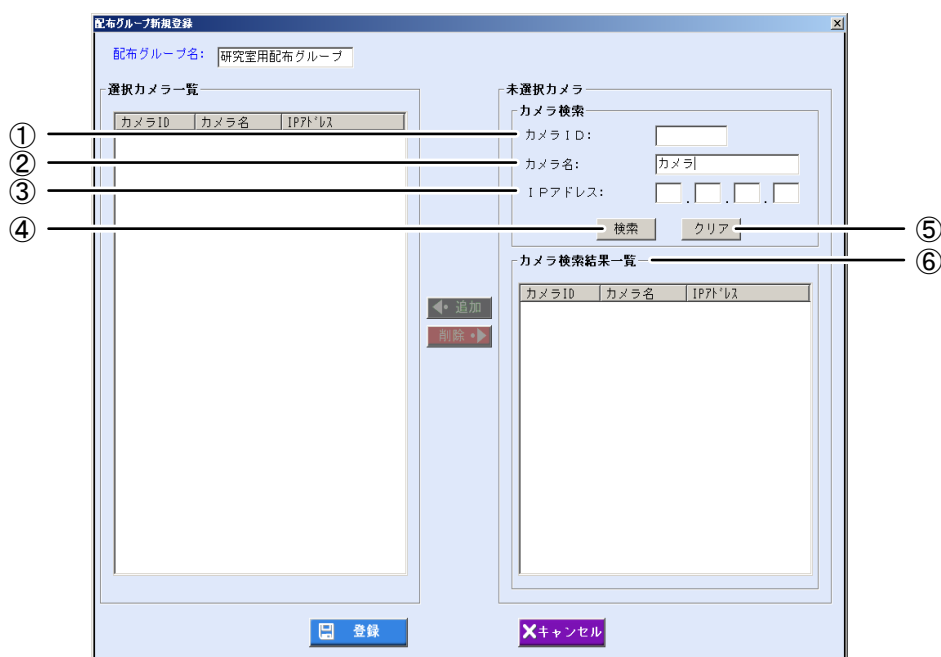


画面の項目	説明
① 配布グループ名	配布グループの名前を入力します。 全角または半角で、20文字まで登録できます。ただし、登録済みの配布グループ名と同じ名前は設定できません。
② 選択カメラ一覧	配布グループに登録したカメラが一覧表示されます。
③ 未選択カメラ	[カメラ検索]に検索条件を入力し、[カメラ検索結果一覧]にカメラを一覧表示します。 [カメラ検索結果一覧]からカメラを選択します。
④ 追加	[カメラ検索結果一覧]で選択したカメラを、配布グループに登録します。 [カメラ検索結果一覧]でカメラを選択するとクリックできます。
⑤ 削除	配布グループに登録したカメラを、配布グループから取り除きます。 [選択カメラ一覧]でカメラを選択するとクリックできます。
⑥ 登録	配布グループを登録して、配布グループ設定画面に戻ります。 入力必須項目をすべて入力するとクリックできます。
⑦ キャンセル	配布グループを登録せずに、配布グループ設定画面に戻ります。

2. [配布グループ名]に、配布グループの名前を入力します。

3. [カメラ検索]に検索条件を設定します。

配布グループ新規登録画面が表示されたとき、すべてのカメラが[カメラ検索結果一覧]に表示されます。条件を指定しない場合は、手順5に進みます。



画面の項目	説明
① カメラ ID	カメラの ID を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力したときは、カメラ ID が「1」で始まるカメラが一覧に表示されます。
② カメラ名	カメラの名前を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「BM-ET」を入力したときは、カメラ名が「BM-ET」で始まるカメラが一覧に表示されます。
③ IP アドレス	カメラに設定された IP アドレスを入力します。入力欄ごとに完全一致で検索されます。 例えば始めの欄に「10」、2 番目の欄に「2」を入力したときは、10.2.1.1 や 10.2.200.200 などの IP アドレスが設定されているカメラが一覧に表示されます。
④ 検索	設定した検索条件に一致したカメラのうち、配布グループに登録されていないものを、[カメラ検索結果一覧]に表示します。
⑤ クリア	設定した検索条件を消去します。
⑥ カメラ検索結果一覧	検索されたカメラが一覧表示されます。

4. [検索] ボタンをクリックします。

手順 3 で設定したすべての検索条件に一致したカメラのうち、未選択のものが、[カメラ検索結果一覧]に表示されます。

検索条件に一致したカメラが見つからなかったときは、「一致するカメラは見つかりません。」と表示されます。[OK] ボタンをクリックして、手順 3 から操作をやり直します。

5. [カメラ検索結果一覧] でカメラを選択します。

[カメラ検索結果一覧] で表示されたカメラを選択します。

6. [追加] ボタンをクリックします。

選択したカメラが、[選択カメラ一覧] に移動します。

別のカメラを選択したいときは、手順 5 または手順 3 から操作を繰り返します。

7. [登録]ボタンをクリックします。

配布グループが登録され、配布グループ設定画面に戻ります。

配布グループ情報を更新する、削除する……………

登録済みの配布グループの情報を更新または削除します。

【操作】   環境設定

1. 配布グループ情報を検索して表示します。

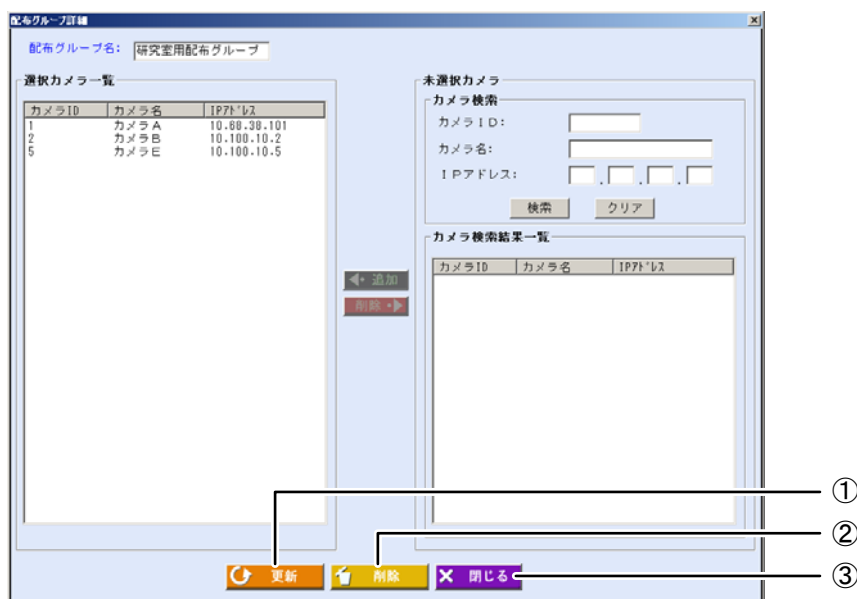
「配布グループを参照する、表示する」（96 ページ）の手順に従い、更新または削除を行う配布グループ情報を配布グループ一覧に表示します。

2. [配布グループ一覧]で配布グループを選択します。

- 更新する場合は、[詳細]ボタンをクリックします。
配布グループ詳細画面が表示されます。
- 削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。
配布グループ情報を削除する場合は、配布グループ設定画面の[削除]ボタンをクリックします。
「選択した配布グループを削除してよろしいですか？」が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
配布グループが削除されて、配布グループ設定画面に戻ります。

3. 配布グループの情報の変更または削除を行います。

- 変更する場合
配布グループの情報の変更を行うときは、表示された項目を編集します。
- 削除する場合
配布グループを削除するときは、[削除]ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックすると、配布グループが削除されて配布グループ設定画面に戻ります。



画面の項目	説明
① 更新	配布グループの情報を更新して、配布グループ設定画面に戻ります。 入力必須項目をすべて入力するとクリックできます。
② 削除	配布グループの情報を削除します。
③ 閉じる	配布グループ設定画面に戻ります。

上記以外の画面の項目については、「配布グループを登録する」の配布グループ新規登録画面（95 ページ）をお読みください。

4. [更新]ボタンをクリックします。

配布グループの情報が更新され、「更新しました。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。

5. [閉じる]ボタンをクリックします。

配布グループ設定画面に戻ります。

ヒント

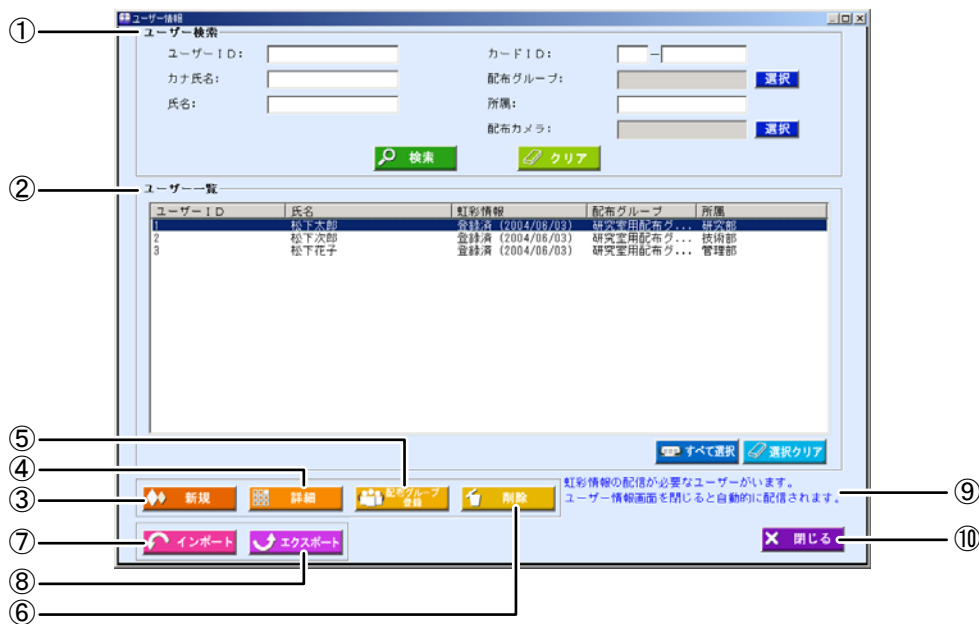
- ・ 配布グループ設定画面で[閉じる]ボタンをクリックしたときに、虹彩情報が自動配信されることがあります（129 ページ）。

ユーザーを登録する

本ソフトウェアで構築した入退室管理システムで認証を行うユーザー情報を登録します。
 ここでは、本ソフトウェアに登録済みのユーザー情報の参照、また「ユーザー情報」権限が設定されている管理者でユーザー情報の登録、変更、削除を行う操作について説明しています。

ユーザー情報画面について

メインメニュー画面で[ユーザー情報]ボタンをクリックするか、メニューバーから[ユーザー情報]メニューの[ユーザー情報]を選択すると、ユーザー情報画面が表示されます。



画面の項目	説明
① ユーザー検索	[ユーザー一覧]に表示するユーザーの検索条件を設定します(103 ページ)。
② ユーザー一覧	検索されたユーザーが一覧表示されます。
③ 新規*	新たにユーザーを登録します(108 ページ)。
④ 詳細	[ユーザー一覧]に表示されているユーザー情報詳細を表示します。「ユーザー情報」権限が設定されている管理者で、情報を更新することもできます(116 ページ)。
⑤ 配布グループ登録*	[ユーザー一覧]で選択したユーザー全員に、配布グループ登録画面で選択した配布グループを一括登録(削除)します(118 ページ)。
⑥ 削除*	[ユーザー一覧]で選択したユーザー情報を削除します(116 ページ)。
⑦ インポート*	ユーザー情報をファイルから読み込み、一括登録します(115 ページ)。ユーザー情報を別の虹彩管理サーバーから移行する際にも使用します(120 ページ)。
⑧ エクスポート*	ユーザー情報をファイルに出力します(119 ページ)。ユーザー情報を別の虹彩管理サーバーへ移行する際にも使用します(120 ページ)。

画面の項目	説明
⑨ 虹彩情報自動配信メッセージ	ユーザー情報が変更されて自動配信の必要が発生した場合、自動配信が実行される旨を表示します（128 ページ）。
⑩ 閉じる	メインメニュー画面に戻ります。 虹彩情報が自動配信されることがあります（128 ページ）。

上記表中で、*印の画面項目は、「ユーザー情報」権限が設定されている管理者のみが操作できます。

■ ユーザー情報を参照する、表示する

登録済みのユーザーの情報を検索し、表示します。

【操作】

1. ユーザー情報画面で、[ユーザー検索]に検索条件を設定します。
すべてのユーザーを[ユーザー一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順 2 に進みます。

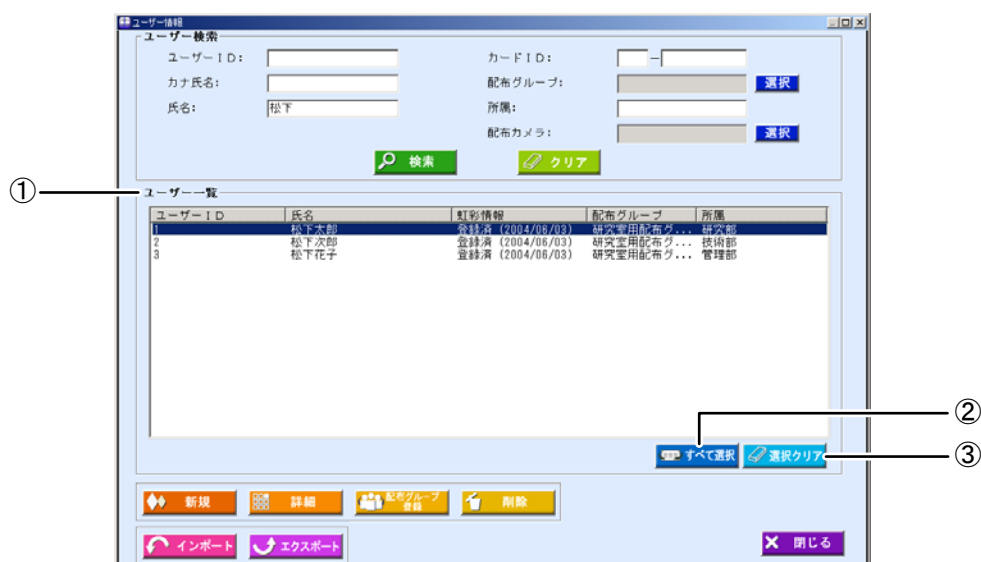


画面の項目	説明
① ユーザーID	ユーザーのIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力すると、ユーザーIDが「1」で始まるユーザーを検索します。
② カナ氏名	ユーザーの氏名のフリガナを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「マツシタ」を入力したときは、カナ氏名が「マツシタ」で始まるユーザーを検索します。
③ 氏名	ユーザーの氏名を入力します。部分一致で検索されます。 例えば「松下」を入力したときは、氏名に「松下」が含まれるユーザーを検索します。
④ カードID	ユーザーのカードIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「10」を入力したときは、カードIDが「10」で始まるユーザーを検索します。

画面の項目	説明
⑤ 配布グループ	<p>[選択]ボタンをクリックし、配布グループ選択画面（69 ページ）を表示して配布グループを選択します。選択した配布グループが設定されているユーザーが検索されます。</p> <p>例えば「配布グループ A」と「配布グループ B」のように、複数の配布グループを選択した場合は、「配布グループ A が設定されているユーザー」または「配布グループ B が設定されているユーザー」が一覧に表示されます。</p> <p>複数の配布グループを選択したときは、▼をクリックして選択した配布グループを確認できます。</p> <p>！ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに[配布カメラ]で選択を行っている場合は、配布グループの選択はできません。
⑥ 所属	<p>ユーザーの所属を入力します。前方一致で検索されます。</p> <p>例えば「総務」を入力したときは、所属が「総務」で始まるユーザーを検索します。</p>
⑦ 配布カメラ	<p>[選択]ボタンをクリックし、カメラ選択画面（106 ページ）を表示してカメラを選択します。選択したカメラで認証を受けられるユーザーが検索されます。</p> <p>例えば「カメラ A」と「カメラ B」のように、複数のカメラを選択した場合は、「カメラ A で認証を受けられるユーザー」または「カメラ B で認証を受けられるユーザー」が一覧に表示されます。</p> <p>複数のカメラを選択したときは、▼をクリックして選択した配布カメラを確認できます。</p> <p>！ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに[配布グループ]で選択を行っている場合は、配布カメラの選択はできません。
⑧ 検索	<p>設定した検索条件に一致したユーザーを、[ユーザー一覧]に表示します。</p>
⑨ クリア	<p>設定した検索条件を消去します。</p>

2. [検索]ボタンをクリックします。

手順 1 で設定したすべての検索条件に一致したユーザーが、[ユーザー一覧]に表示されます。検索条件に一致したユーザーが見つからなかったときは、「一致するユーザーはいませんでした。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 1 から操作をやり直します。





画面の項目	説明
① ユーザー一覧	検索されたユーザーが一覧表示されます。
② すべて選択	[ユーザー一覧]に表示されているユーザーをすべて選択します。
③ 選択クリア	[ユーザー一覧]で選択されているユーザーをすべて選択解除します。

3. [ユーザー一覧]でユーザーを選択し、[詳細]ボタンをクリックします。
ユーザー情報詳細画面の[情報]画面が表示されます。



画面の項目	説明
① 画面切替タブ	参照する画面のタブをクリックして画面を切り替えます。 情報 ：上記の画面です。 画像 ：虹彩撮影を行った場合の、目画像などが表示されます。 (111 ページ)
② 情報	ユーザー情報の各項目が表示されます。各項目の詳細は「ユーザーを登録する」のユーザー情報新規登録画面 (109 ページ) をお読みください。

画面の項目	説明
③ 虹彩	虹彩情報の登録状況が表示されます。各項目の詳細は「ユーザーを登録する」のユーザー情報新規登録画面（109 ページ）をお読みください。
④ ユーザー情報表示	ユーザー情報画面の[ユーザー一覧]に表示されているユーザーの情報を、「表示中のユーザー / ユーザー一覧に表示されているユーザーの総数」で何番目の情報かが表示されます。  ボタン：前のユーザー情報を表示します。  ボタン：次のユーザー情報を表示します。 ボタンで順番に表示することができます。
⑤ 閉じる	ユーザー情報画面に戻ります。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

ユーザー情報画面に戻ります。

■ カメラを指定して検索する

検索条件に指定するカメラを選択します。カメラにより検索できるのは、指定した配布グループに登録されているカメラおよび、そのカメラで虹彩認証を受けられるユーザーです。

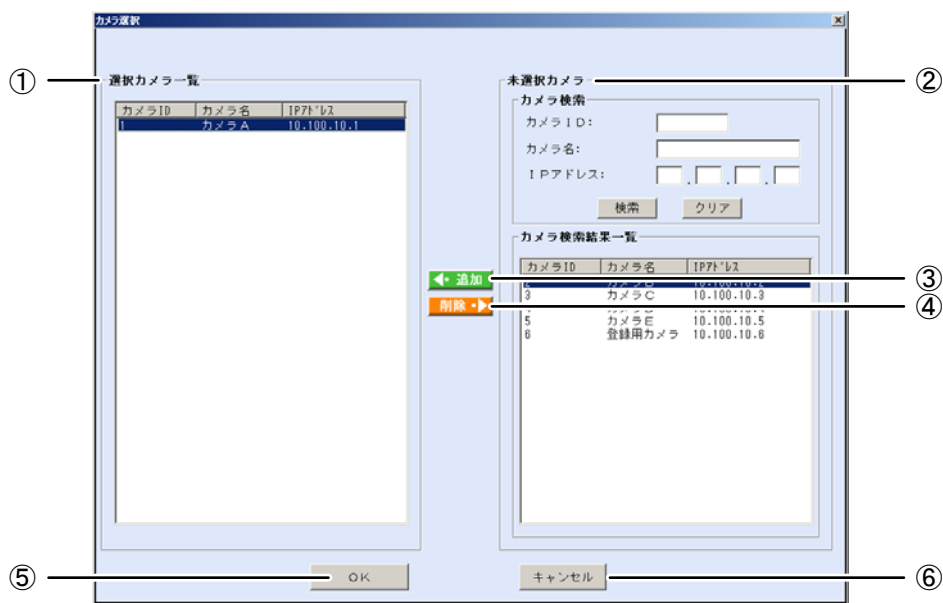
【操作】

1. カメラ選択画面を表示します。

次のいずれかの操作で、カメラ選択画面が表示されます。

- ・ユーザー情報画面で、配布カメラの[選択]ボタンをクリックする。（103 ページ）
- ・ログ情報画面で、カメラ名の[選択]ボタンをクリックする。（150、154 ページ）

カメラ選択画面が表示されたとき、未選択のカメラが[カメラ検索結果一覧]に表示されます。条件を指定しない場合は、手順 4 に進みます。

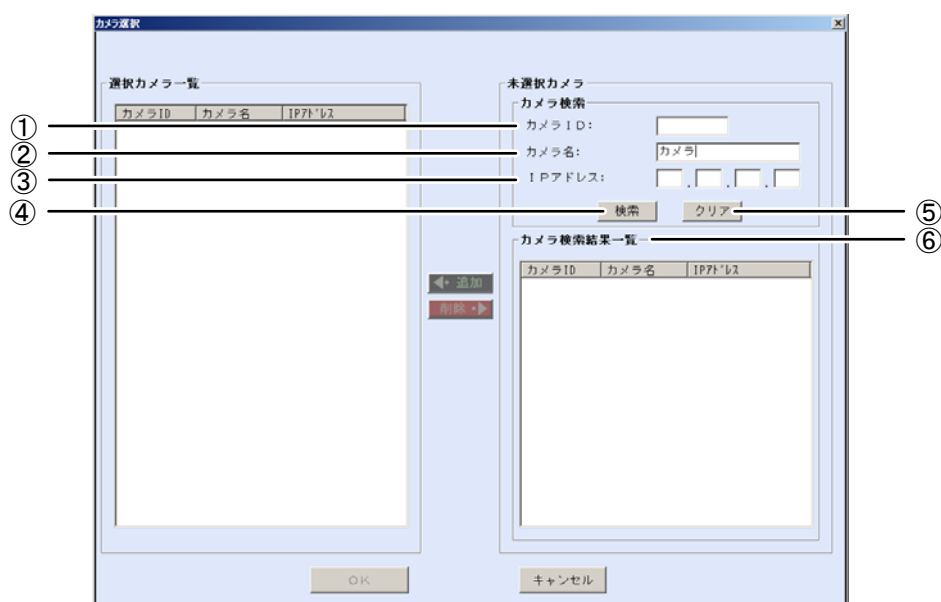


画面の項目	説明
① 選択カメラ一覧	選択したカメラが一覧表示されます。

画面の項目	説明
② 未選択カメラ	[カメラ検索]に検索条件を入力し、[カメラ検索結果一覧]にカメラを一覧表示します。 [カメラ検索結果一覧]からカメラを選択します。
③ 追加	[カメラ検索結果一覧]で選択したカメラを、[選択カメラ一覧]に移動します。 [カメラ検索結果一覧]でカメラを選択するとクリックできます。
④ 削除	[選択カメラ一覧]で選択したカメラを、[選択カメラ一覧]から取り除きます。 [選択カメラ一覧]でカメラを選択するとクリックできます。
⑤ OK	[選択カメラ一覧]で選択したカメラを決定して、ユーザー情報画面に戻ります。
⑥ キャンセル	カメラを選択せずに、ユーザー情報画面に戻ります。

2. [未選択カメラ]の[カメラ検索]に検索条件を設定します。

カメラ検索の[カメラID]、[カメラ名]、[IPアドレス]に検索するカメラの条件を入力します。すべての未選択カメラを[カメラ検索結果一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順3に進みます。



画面の項目	説明
① カメラID	カメラのIDを入力します。前方一致で検索されます。 例えば「1」を入力したときは、カメラIDが「1」で始まるカメラを検索します。
② カメラ名	カメラの名前を入力します。前方一致で検索されます。 例えば「BM-ET」を入力したときは、カメラ名が「BM-ET」で始まるカメラを検索します。
③ IPアドレス	カメラに設定されたIPアドレスを入力します。入力欄ごとに完全一致で検索されます。 例えば最初の欄に「10」、2番目の欄に「2」を入力したときは、10.2.1.1 や 10.2.200.200 などのIPアドレスが設定されているカメラを検索します。

画面の項目	説明
④ 検索	設定した検索条件に一致したカメラのうち、[選択カメラ一覧]に表示されていないものをカメラ検索結果一覧に表示します。
⑤ クリア	設定した検索条件を消去します。
⑥ カメラ検索結果一覧	検索されたカメラが一覧表示されます。

3. [検索]ボタンをクリックします。

手順 2 で設定したすべての検索条件に一致したカメラのうち、[選択カメラ一覧]に表示されていないものを[カメラ検索結果一覧]に表示されます。

検索条件に一致したカメラが見つからなかったときは、「一致するカメラは見つかりません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 2 から操作をやり直します。

4. [カメラ検索結果一覧]でカメラを選択します。

5. [追加]ボタンをクリックします。

選択したカメラが、[選択カメラ一覧]に移動します。

別のカメラを選択したいときは、手順 4 または手順 2 から操作を繰り返します。

6. [OK]ボタンをクリックします。

カメラが選択され、ユーザー情報画面に戻ります。

ユーザーを登録する

ユーザー情報の登録を行います。

【操作】 ユーザー情報

1. ユーザー情報画面の[新規]ボタンをクリックします。

ユーザー情報新規登録画面が表示されます。

2. ユーザー情報を設定します。

ユーザー情報新規登録画面の情報画面で、[ユーザーID]、[カナ氏名]、[氏名]を入力します。他の入力項目は、必要に応じて設定してください。

虹彩情報を登録するには、「虹彩撮影を行う」（122 ページ）をお読みください。

画面の項目	説明								
① ユーザーID*	ユーザーのIDを入力します。 半角英数字の0~9、a~z、A~Zで、16文字まで登録できます。 登録済みユーザーのIDと同じ値は設定できません。なお、1と01は別のIDとして設定できます。また、半角英字(a~z、A~Z)は大文字、小文字の区別はありません。								
② カナ氏名*	ユーザーの氏名のフリガナを入力します。 20文字まで登録できます。								
③ 氏名*	ユーザーの氏名を入力します。 全角または半角で、20文字まで登録できます。								
④ 配布グループ	ユーザーに設定された配布グループが表示されます。								
⑤ 配布グループ選択	配布グループ選択画面(69ページ)が表示されます。								
⑥ 認証設定*	ユーザーの認証方法を選択します。 「有効(カメラで認証)」、「有効(上位認証のみ)」、「無効」のいずれかを選択します。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>認証方法</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効 (カメラ で認証)</td> <td>ユーザーに設定された配布グループに登録してあるカメラで虹彩認証を行うことができます。</td> </tr> <tr> <td>有効 (上位認 証のみ)</td> <td>ユーザーに設定された配布グループに登録してあるカメラで認証した場合、必ず上位認証で認証を行います。虹彩情報は配信されません。</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>虹彩認証を行いません。</td> </tr> </tbody> </table>	認証方法	説明	有効 (カメラ で認証)	ユーザーに設定された配布グループに登録してあるカメラで虹彩認証を行うことができます。	有効 (上位認 証のみ)	ユーザーに設定された配布グループに登録してあるカメラで認証した場合、必ず上位認証で認証を行います。虹彩情報は配信されません。	無効	虹彩認証を行いません。
認証方法	説明								
有効 (カメラ で認証)	ユーザーに設定された配布グループに登録してあるカメラで虹彩認証を行うことができます。								
有効 (上位認 証のみ)	ユーザーに設定された配布グループに登録してあるカメラで認証した場合、必ず上位認証で認証を行います。虹彩情報は配信されません。								
無効	虹彩認証を行いません。								

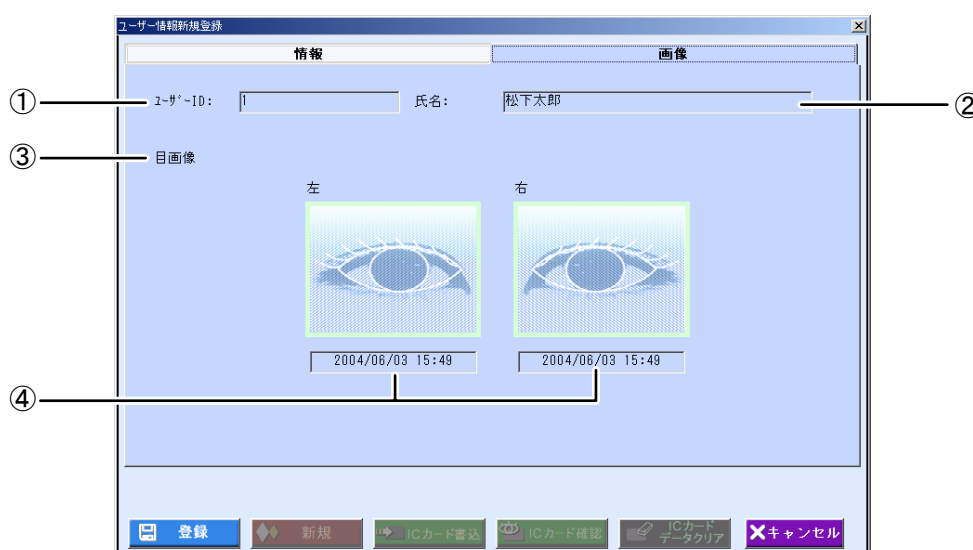
画面の項目	説明
⑦ カード ID	<p>カード ID を入力します。サイトコード、ユーザーコードの入力桁数は、カメラ情報詳細画面の[カードリーダー情報]もしくは[ドア制御ボックス情報]画面で設定したビット数に基づき入力します。</p> <p>半角英数字の 0~9、a~z、A~Z で登録できます。また、サイトコードのみ空欄でも登録可能です。ただし、登録済みユーザーのカード ID と同じ値は設定できません。</p> <p>❗ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1~9 の数字より左側の桁にある 0 は、自動的に削除されます。01 と入力した場合は、1 として認識されます。 ・ サイトコードの 0 または空欄は、同一の値として認識されます。 ・ カメラに接続する制御ボックス、カードリーダーの通信方式が、Wiegand の場合は、カード ID を 0~9 の数字で指定してください。Wiegand 通信方式では、英字を設定した場合、認証できません。 <p>📖 ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カード ID 入力時は、サイトコード、ユーザーコードのビット数、桁数を確認してください（80、82 ページ）。 ・ カードリーダーおよびドア制御ボックスの通信方式に Wiegand、RS-485 を設定しない場合、カード ID を省略することができます。
⑧ 所属	<p>ユーザーの所属を入力します。</p> <p>全角または半角で、80 文字まで登録できます。</p>
⑨ 電話番号	<p>ユーザーの電話番号を入力します。</p> <p>半角の 0~9、-、(、) で、15 文字まで登録できます。</p>
⑩ FAX 番号	<p>ユーザーの FAX 番号を入力します。</p> <p>半角の 0~9、-、(、) で、15 文字まで登録できます。</p>
⑪ メールアドレス	<p>ユーザーのメールアドレスを入力します。</p> <p>半角英数字および、"-","_",".","@"で、80 文字まで登録できます。</p>
⑫ メモ	<p>ユーザーに関するメモを入力します。</p> <p>全角または半角で、160 文字まで登録できます。</p>
⑬ 音声言語	<p>「カードリーダー接続」が「あり」のカメラで認証を行う場合、または虹彩登録時の撮影でカメラから出力される言語を選択します。</p> <p>英語、日本語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語、トルコ語、オランダ語、スウェーデン語のいずれかを選択します。</p>
⑭ 虹彩情報	<p>虹彩の撮影状況が表示されます。撮影状況によって背景色が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未撮影（背景色：赤）虹彩を撮影していません。 ・ 撮影済／未登録（背景色：黄）虹彩は撮影しましたが、ユーザー情報に登録されていません。ユーザー情報画面に戻ると、虹彩情報が破棄されます。 ・ 登録済（背景色：緑）虹彩を撮影し、ユーザー情報にも登録されています。 <p>目画像は[画像]画面で確認します。</p>

画面の項目	説明
⑮ 虹彩撮影	虹彩を撮影します（122 ページ）。 ❗️ ご注意 ・ [虹彩撮影] ボタンは、登録カメラを設定する（42 ページ）とクリックできます。
⑯ 虹彩クリア	撮影した虹彩情報のみを削除します。
⑰ 登録	ユーザーを登録します。入力必須項目をすべて入力するとクリックできます。
⑱ キャンセル (閉じる)	ユーザー情報画面に戻ります。 [登録] ボタンをクリックすると、[閉じる] ボタンに変わります。

上記表中で、*印の画面項目は、入力必須項目です。必ず設定してください。

3. [画像] タブをクリックします。

[画像] 画面が表示されます。虹彩撮影を行った場合、撮影した目画像を確認できます。



画面の項目	説明
① ユーザーID	ユーザーID が表示されます。
② 氏名	ユーザーの氏名が表示されます。
③ 目画像	撮影した目画像が表示されます。 画像の縁の色は撮影結果の品質により変わります。 目画像を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。 ポップアップメニューの[撮影]を選択すると、再度目画像を撮影することができます。また、[削除]を選択すると虹彩情報を削除し、「目画像削除」を選択すると目画像を削除します。
④ 撮影日時	目画像の撮影日時を表示します。

4. [登録] ボタンをクリックします。

ユーザー情報が登録されます。ユーザー情報が登録されると、IC カードに書き込みを行えるようになります。ユーザーの各項目は編集ができなくなります。

IC カード書き込みを行わない場合、続けて別のユーザーを登録するときは、[新規] ボタンをクリックして手順 2 から操作を繰り返します。

ユーザー情報新規登録を終了するには、手順 7 に進みます。



画面の項目	説明
① 新規	続けて別のユーザーを登録する場合にクリックします。
② ICカード書込	ICカードに、ユーザー情報のカードID、音声言語、虹彩情報を書き込みます。
③ ICカード確認	虹彩撮影を行い、得られた虹彩情報とICカードに書き込まれた虹彩情報が一致するか確認します。
④ ICカードデータクリア	ICカードに書き込み済みのデータをすべて消去します。

❗ ご注意

- ・登録できるユーザー数は、ライセンスによって異なります。
- ・同一人物の虹彩情報は、1つのユーザー情報にのみ登録できます。
- ・ICカード書き込みを行うには、ICカードライターの設定が行われていて、虹彩管理サーバーにICカードライターが接続されている必要があります。

5. ICカード書き込みを行う場合は、[ICカード書込]ボタンをクリックします。
ICカードにユーザー情報の書き込みを行います。

6. ICカード確認を行う場合は、[ICカード確認]ボタンをクリックします。
ICカードの内容確認を行います。

7. [閉じる]ボタンをクリックします。
ユーザー情報画面に戻ります。

■ ICカード書き込み

❗ ご注意

- ・ICカード書き込みを行うには、ICカード設定が完了していて、虹彩管理サーバーにICカードライターが接続されている必要があります。
- ・ICカード書き込みを行うためには、虹彩情報の撮影が終了し登録されている必要があります。
- ・ICカードライターの接続方法、ICカードのセット方法などは、ICカードライターに付属の取扱説明書をお読みください。

【操作】  **ユーザー情報**

1. IC カードライターに IC カードをセットし、[IC カード書込]ボタンをクリックします。
ユーザー情報新規登録画面（ユーザー情報詳細画面）の[IC カード書込]ボタンをクリックします。
「IC カードへ書き込みを行ってよろしいですか？」が表示されます。
2. [はい]ボタンをクリックします。
IC カード書き込みが実行されます。書き込みが終了すると「IC カードへの書き込みが完了しました。」が表示されます。
3. [OK]ボタンをクリックします。
元の画面に戻ります。IC カード書き込みを行った後は、必ず IC カード確認で書き込まれた内容を確認してください。

⚠️ ご注意

- ・ IC カード書き込みが正常に終了していない場合、認証が行えない、認証が NG になる、ドアが開かないなどの不具合が起きる場合があります。

■ IC カード確認

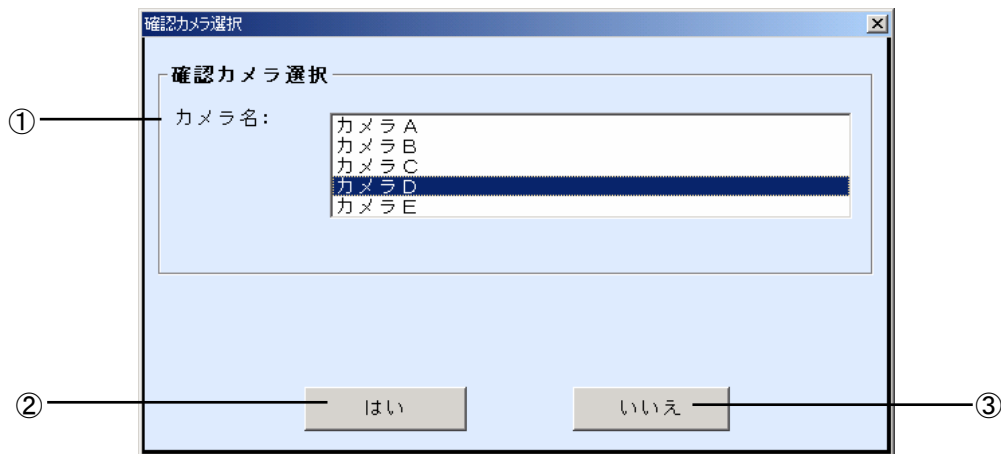
虹彩撮影を行い、得られた虹彩情報と IC カード書き込みによって IC カードに書き込まれたデータを比較します。

⚠️ ご注意

- ・ 登録カメラが設定されていない場合や IC カード設定がされていない場合は、[IC カード確認]をクリックすることはできません。
- ・ IC カードライターの接続方法、IC カードのセット方法などは、IC カードライターに付属の取扱説明書をお読みください。

【操作】  **ユーザー情報**

1. IC カードライターに IC カードをセットし、[IC カード確認]ボタンをクリックします。
ユーザー情報新規登録画面（ユーザー情報詳細画面）の[IC カード確認]ボタンをクリックします。
「IC カード確認を行います。」が表示されます。
[OK]ボタンをクリックすると、確認カメラ選択画面が表示されます。
2. [確認カメラ選択]から、確認に使用するカメラを選択します。
確認に使用するカメラ名を一覧から 1 つ選択します。



画面の項目	説明
① カメラ名	表示された登録カメラから、虹彩認証用のカメラを選択します。
② はい	確認のための撮影を開始します。
③ いいえ	IC カード確認を行わずに元の画面に戻ります。

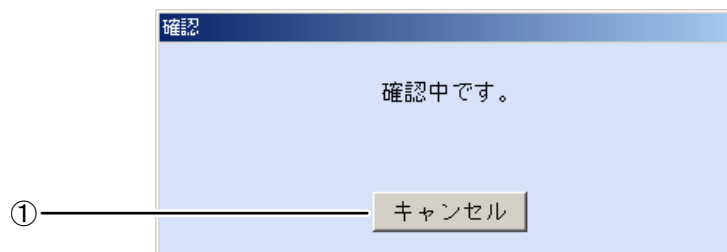
⚠️ ご注意

- ・カメラ名には、「登録カメラを設定する」（42 ページ）で設定したカメラが表示されますが、カメラの状態が「設定エラー」、「ダウンロード要」のカメラは表示されません。

📖 ヒント

- ・確認カメラ選択で一度選択したカメラは、次回の認証時、撮影時にデフォルトで選択されます。

3. [はい]ボタンをクリックし、カメラを使って虹彩認証を行います。
「確認中です。」メッセージが表示されたら、カメラを見つめます。



画面の項目	説明
① キャンセル	確認を中止します。

📖 ヒント

- ・撮影時のカメラの誘導表示については、カメラに付属の取扱説明書をお読みください。

4. 確認結果が表示されます。

IC カードから読み取ったデータと、撮影した虹彩情報とを比較します。

IC カード確認の結果は、「確認できました。」、「確認できませんでした。」、「左目のみ確認できました。」、「右目のみ確認できました。」で表示されます。

認証時の精度を高めるため、「確認できました。」が表示されるまで行ってください。数回 IC カード確認を行っても、「確認できました。」が表示されない場合は、再度虹彩撮影を行い、虹彩情報を登録し直してください。

5. [OK]ボタンをクリックします。

元の画面に戻ります。

■ IC カードデータクリア

IC カードに書き込まれているデータを消去（フォーマット）します。

IC カードライターの接続方法、IC カードのセット方法などは、IC カードライターに付属の取扱説明書をお読みください。

【操作】 ユーザー情報

1. IC カードライターに IC カードをセットし、[IC カードデータクリア]ボタンをクリックします。

「IC カードデータをクリアしてよろしいですか？」が表示されます。

2. [はい]ボタンをクリックします。

IC カードデータクリアします。「IC カードデータのクリアが完了しました。」を表示します。

⚠️ ご注意

- ・ IC カードデータのカード ID と画面に表示されているユーザー情報のカード ID とが一致しない場合、「カード ID が違います。IC カードデータをクリアしてよろしいですか？」が表示され、[はい]ボタンをクリックすると IC カードデータのクリアを行います。

3. [OK]ボタンをクリックします。

元の画面に戻ります。

■ ファイルインポートによる登録

インポート用のユーザー情報 CSV ファイル（190 ページ）を作成して、本ソフトウェアにユーザーを一括登録します。

⚠️ ご注意

- ・ 登録できるユーザー数は、ライセンスによって異なります。
- ・ ユーザー情報 CSV ファイルにあるユーザーのユーザーID、カード ID が、すでに本ソフトウェアに登録されていた場合、そのユーザーは登録されません。
- ・ インポートしたユーザーの配布グループが、本ソフトウェアに登録されていない配布グループの場合、ユーザーの配布グループは未設定になります。
- ・ CSV ファイルに解析できないレコードがあった場合やすでに登録済みのユーザーID、カード ID があった場合は、その旨を画面およびログ情報として出力します。

📖 ヒント

- ・ ユーザー情報 CSV ファイルをインポートして一括登録するときは、虹彩情報は登録できません。一括登録した後でユーザーの虹彩情報を登録してください。虹彩情報を登録する手順については、「ユーザーを更新する、削除する」（116 ページ）をお読みください。

【操作】 ユーザー情報

1. ユーザー情報画面で、[インポート]ボタンをクリックします。

インポートファイル選択画面が表示されます。

2. インポートファイルを選択します。

インポートファイル選択画面で、インポートするファイルが保存されているフォルダを指定し、ファイルの種類を「虹彩なし(*.csv)」を選択します。ユーザー情報 CSV ファイルをクリックして選択します。

3. [開く]ボタンをクリックします。

手順2で選択したファイルがインポートされ、ユーザーが一括登録されます。一括登録が終了すると、インポートの結果が表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。

ユーザー情報画面に戻ります。

ユーザーを更新する、削除する

登録済みのユーザーの情報を更新または削除します。

【操作】 ユーザー情報

1. ユーザー情報を検索して表示します。

「ユーザー情報を参照する、表示する」（103 ページ）の手順に従い、更新または削除を行うユーザー情報を[ユーザー一覧]に表示します。

2. [ユーザー一覧]でユーザーを選択します。

- 更新する場合は、[詳細]ボタンをクリックします。
ユーザー情報詳細画面が表示されます。
- 削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。
ユーザーを削除する場合は、ユーザー情報画面の[削除]ボタンをクリックします。
「削除してよろしいですか？」が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
ユーザー情報が削除され、ユーザー情報画面に戻ります。

3. ユーザー情報の変更または削除を行います。

- 更新する場合
ユーザー情報詳細画面の情報欄内の項目を必要に応じて編集します。虹彩情報の撮影、クリアなどは、「虹彩撮影を行う」（122 ページ）をお読みください。
- 削除する場合
ユーザー情報を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。「削除してよろしいですか？」が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。ユーザー情報が削除されて、次のユーザー情報が表示されます。すべてのユーザー情報が削除された場合には、ユーザー情報画面に戻ります。

画面の項目	説明
① ユーザーID	<p>ユーザーのIDが表示されます。変更できません。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーIDを変更するときは、ユーザーを一度削除してから登録し直してください。
② 更新	ユーザーの情報を更新します。
③ 削除	<p>ユーザーの情報を削除します。</p> <p>！ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーを削除して、ユーザー順序表示が0 / 0になったときは、自動的にユーザー情報画面に戻ります。

上記以外の画面の項目については、「ユーザー情報を参照する、表示する」のユーザー情報詳細画面（105ページ）、「ユーザーを登録する」のユーザー情報新規登録画面（109ページ）をお読みください。

4. [更新]ボタンをクリックします。

ユーザーが更新され、「更新しました。」と表示されます。

！ ご注意

- ・[更新]ボタンは、入力必須項目を入力するとクリックできます。
- ・同一人物の虹彩情報は、1つのユーザー情報にのみ登録できます。

5. [OK]ボタンをクリックします。

別のユーザー情報を更新するときは、ユーザー情報表示切り替えボタンを使ってユーザーを選択し、手順3から操作を繰り返します。

6. [閉じる]ボタンをクリックします。

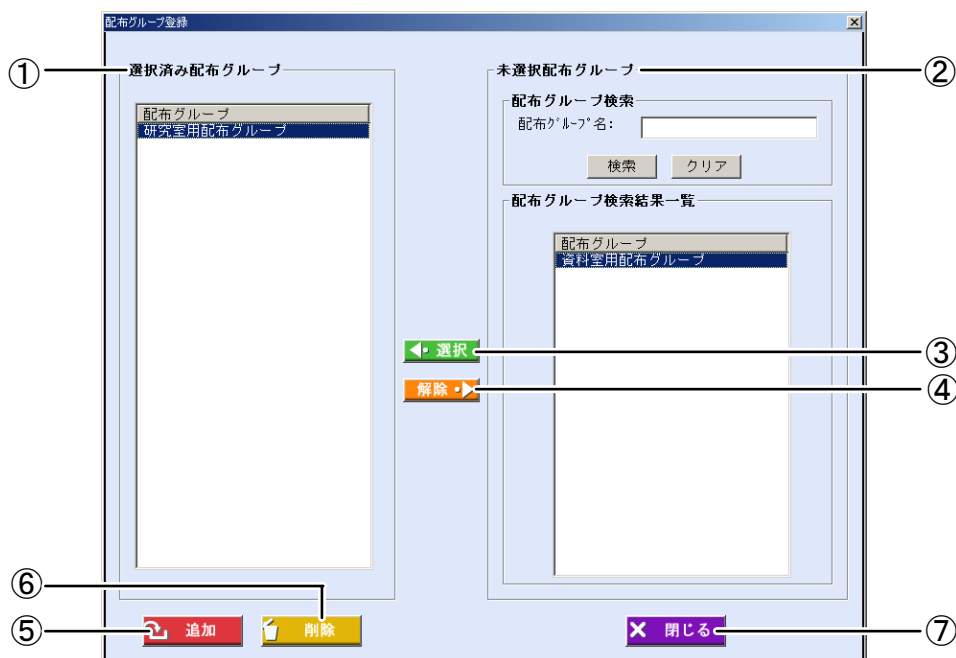
ユーザー情報画面に戻ります。

■ ユーザーに配布グループを一括登録（削除）する

ユーザー情報画面の[ユーザー一覧]で選択したユーザー全員に、配布グループ登録画面で選択した配布グループを登録します。または、配布グループ登録画面で削除を選ぶと、選択したユーザーから配布グループを削除します。複数のユーザーを選択して、同時に登録（削除）を行うことができます。

【操作】 ユーザー情報

1. ユーザー情報を検索して表示します。
「ユーザー情報を参照する、表示する」（103 ページ）の手順に従い、[ユーザー一覧]にユーザー情報を表示します。
2. [ユーザー一覧]で、配布グループを登録（削除）するユーザーを選択します。
ユーザーは複数選択可能です。
3. ユーザー情報画面の[配布グループ登録]ボタンをクリックします。
配布グループ登録画面が表示されます。



画面の項目	説明
① 選択済み 配布グループ	選択した配布グループが一覧表示されます。
② 未選択 配布グループ	[配布グループ検索]に検索条件を入力し、[配布グループ検索結果一覧]に配布グループを一覧表示します。
③ 選択	[配布グループ検索結果一覧]で選択した配布グループを、[選択済み配布グループ]に移動します。 [配布グループ検索結果一覧]で配布グループを選択するとクリックできます。
④ 解除	[選択済み配布グループ]で選択した配布グループを、[選択済み配布グループ]から取り除きます。 [選択済み配布グループ]で配布グループを選択するとクリックできます。

画面の項目	説明
⑤ 追加	[選択済み配布グループ]で選択した配布グループを、ユーザー情報画面で選択したユーザーに登録します。
⑥ 削除	[選択済み配布グループ]で選択した配布グループを、ユーザー情報画面で選択したユーザーから削除します。
⑦ 閉じる	ユーザー情報画面に戻ります。

4. 配布グループ登録画面で、[配布グループ検索]に検索条件を設定します。

検索条件の設定方法は、「配布グループを指定して検索する」（69 ページ）2 の手順をお読みください。

すべての未選択配布グループを[配布グループ検索結果一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順 5 に進みます。

5. [検索]ボタンをクリックします。

手順 4 で設定したすべての検索条件に一致した配布グループのうち、[選択済み配布グループ]に表示されていないものが[配布グループ検索結果一覧]に表示されます。

検索条件に一致した配布グループが見つからなかったときは、「該当する配布グループはありません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 4 から操作をやり直します。

6. [配布グループ検索結果一覧]で配布グループを選択します。

配布グループは複数選択可能です。

7. [選択]ボタンをクリックします。

選択した配布グループが、[選択済み配布グループ]に移動します。

別の配布グループを選択する場合は、手順 6 から操作を繰り返します。検索条件を変えて別の配布グループを選択する場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

8. [追加]（または[削除]）ボタンをクリックします。

[追加]ボタンをクリックした場合は、ユーザー情報画面の[ユーザー一覧]で選択したユーザーに選択した配布グループが登録されます。

[削除]ボタンをクリックした場合は、ユーザーから選択した配布グループが削除されます。

ヒント

- ・追加する配布グループが、すでにユーザーに登録されている場合、該当する配布グループは追加されず、他に追加する配布グループがある場合は重複しない配布グループのみ登録されます。同様に、削除する配布グループが、ユーザーに登録されていない場合も、該当する配布グループ以外の削除する配布グループのみ削除されます。

9. [閉じる]ボタンをクリックします。

ユーザー情報画面に戻ります。追加または削除した配布グループにより、虹彩情報の配信が必要な場合があります。この場合、ユーザー情報画面を閉じると、虹彩情報が自動配信されます。

ユーザー情報をファイルに出力する

ユーザー情報画面の[ユーザー一覧]で選択したユーザーの情報を、ユーザー情報 CSV ファイル（190 ページ）に出力します。

【操作】  ユーザー情報

1. ユーザー情報を検索して表示します。
「ユーザー情報を参照する、表示する」（103 ページ）の手順に従い、[ユーザー一覧]にユーザー情報を表示します。
2. [ユーザー一覧]で、ファイルに出力するユーザーを選択します。
ユーザーは、複数選択可能です。
3. [エクスポート]ボタンをクリックします。
名前を付けて保存画面が表示されます。
4. エクスポートファイルを設定します。
名前を付けて保存画面で、ユーザー情報 CSV ファイルをエクスポートするフォルダを指定し、ファイルの種類を「虹彩なし(*.csv)」を選択します。ファイル名を設定します。全角または半角で登録できます。ただし、¥ / : ; * ? " < > | は使用できません。
5. [保存]ボタンをクリックします。
手順 2 で選択したユーザーの情報が、ユーザー情報 CSV ファイルに出力され、「エクスポートが完了しました。」と表示されます。
6. [OK]ボタンをクリックします。
ユーザー情報画面に戻ります。

ユーザー情報を移行する

ユーザー情報画面の[ユーザー一覧]で選択したユーザーの情報を、別の虹彩管理サーバーに移行できます。ユーザー情報をファイルに出力する際に虹彩情報も出力します。

■ 虹彩情報を付けてユーザー情報をファイルに出力する

移行元の本ソフトウェアで、ユーザー情報画面の[ユーザー一覧]で選択したユーザーの情報を、虹彩情報付きのユーザー情報 BAK ファイルに出力します。

【操作】 ユーザー情報

1. ユーザー情報を検索して表示します。
「ユーザー情報を参照する、表示する」（103 ページ）の手順に従い、[ユーザー一覧]にユーザー情報を表示します。
2. [ユーザー一覧]で、ファイルに出力するユーザーを選択します。
ユーザーは、複数選択可能です。また、虹彩情報の登録されていないユーザーも選択できます。
3. [エクスポート]ボタンをクリックします。
名前を付けて保存画面が表示されます。
4. エクスポートファイルを設定します。
名前を付けて保存画面で、ユーザー情報 BAK ファイルをエクスポートするフォルダを指定し、ファイルの種類を「虹彩あり(*.bak)」を選択します。ファイル名を設定します。ファイル名は、全角または半角で登録できます。ただし、¥ / : ; * ? " < > | は使用できません。
5. [保存]ボタンをクリックします。

手順 2 で選択したユーザーの情報が、ユーザー情報 BAK ファイルに出力され、「エクスポートが完了しました。」と表示されます。

6. [OK]ボタンをクリックします。

ユーザー情報画面に戻ります。

■ 虹彩情報が付いたユーザー情報 BAK ファイルをインポートする

移行元の本ソフトウェアで出力した、虹彩情報付きのユーザー情報 BAK ファイルを、もう一方の本ソフトウェアでインポートします。

⚠️ ご注意

- ・登録できるユーザー数は、ライセンス数によって異なります。
- ・ユーザー情報 BAK ファイルにあるユーザーのユーザーID、カードID、虹彩情報が、すでに本ソフトウェアに登録されていた場合、そのユーザーは登録されません。
- ・インポートしたユーザーの配布グループが、本ソフトウェアに登録されていない配布グループの場合、ユーザーの配布グループは未設定になります。
- ・BAK ファイルに解析できないレコードがあった場合やすでに登録済みのユーザーID、カードID、虹彩情報がある場合は、その旨を画面およびログ情報として出力します。

【操作】 ユーザー情報

1. ユーザー情報画面で、[インポート]ボタンをクリックします。

インポートファイル選択画面が表示されます。

2. インポートファイルを選択します。

インポートファイル選択画面で、インポートするファイルが保存されているフォルダを指定し、ファイルの種類を「虹彩あり(*.bak)」を選択します。ユーザー情報 BAK ファイルをクリックして選択します。

📖 ヒント

- ・品番：BM-ES330、BM-ES300 の管理ソフトウェアでエクスポートしたユーザー情報 CAB ファイルもインポートすることができます。

3. [開く]ボタンをクリックします。

手順 2 で選択したファイルがインポートされ、ユーザーが一括登録されます。

一括登録が終了すると、インポート結果が表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。

ユーザー情報画面に戻ります。

虹彩撮影を行う

虹彩撮影

管理者情報、ユーザー情報には、カメラで撮影した虹彩情報を登録することができます。

以下の撮影方法は、管理者情報の新規登録時、更新時、ユーザー情報の新規登録時、更新時に行う虹彩撮影について説明しています。

■ 虹彩を撮影する

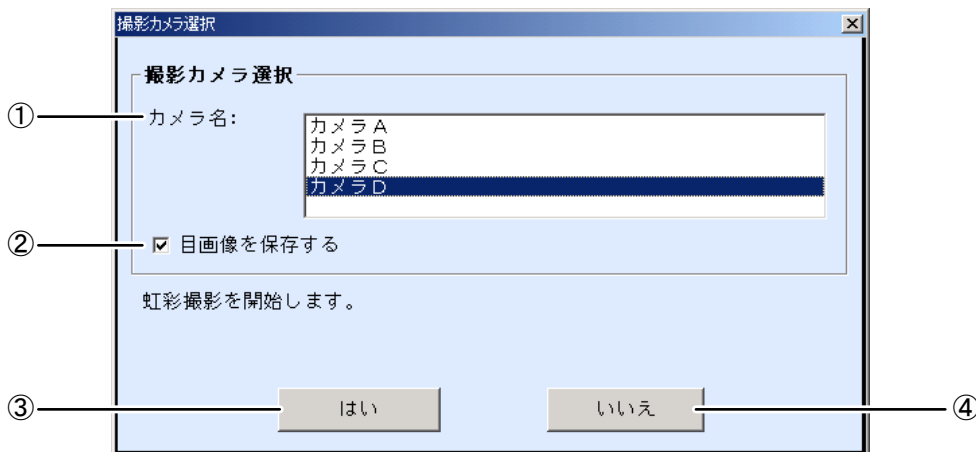
ここでは虹彩撮影を行う手順を、[虹彩撮影]ボタンをクリックするところから説明します。

⚠️ ご注意

- 虹彩撮影を行うには、登録カメラが設定されている必要があります。登録カメラを設定するには、「登録カメラを設定する」（42 ページ）をお読みください。

【操作】  管理者情報  ユーザー情報

- [虹彩撮影]ボタンをクリックします。
撮影カメラ選択画面が表示されます。
- 撮影に使用するカメラを選択し、目画像を保存するかどうかを選択します。
撮影カメラ選択から、撮影に使用するカメラ名を選択します。
目画像を保存するチェックボックスのオン/オフを切り替えて、目画像を保存するかどうかを選択します。



画面の項目	説明
① カメラ名	表示された登録カメラから、虹彩撮影用のカメラを選択します。
② 目画像を保存する	目画像を保存する場合はチェックボックスをオンにします。チェックボックスをオフにした場合、目画像を保存しません。
③ はい	虹彩撮影を開始します。
④ いいえ	虹彩撮影を行わずに、元の画面に戻ります。

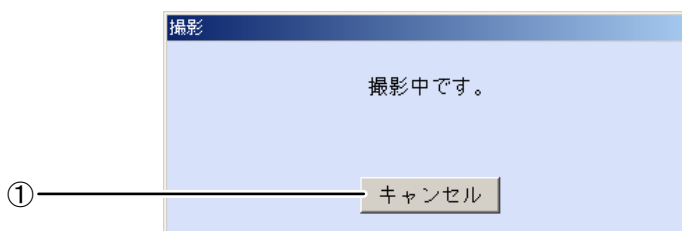
❗ ご注意

- ・カメラ名には、「登録カメラを設定する」（42 ページ）で設定されたカメラが表示されますが、カメラの状態が「設定エラー」、「ダウンロード要」のカメラは表示されません。

📖 ヒント

- ・撮影カメラ選択画面で一度選択したカメラは、次回の認証時、撮影時にデフォルトで選択されます。

3. [はい]ボタンをクリックし、カメラに向かい虹彩を撮影します。
「撮影中です。」メッセージが表示されたら、カメラに向かい撮影を行います。



画面の項目	説明
① キャンセル	撮影を中止します。

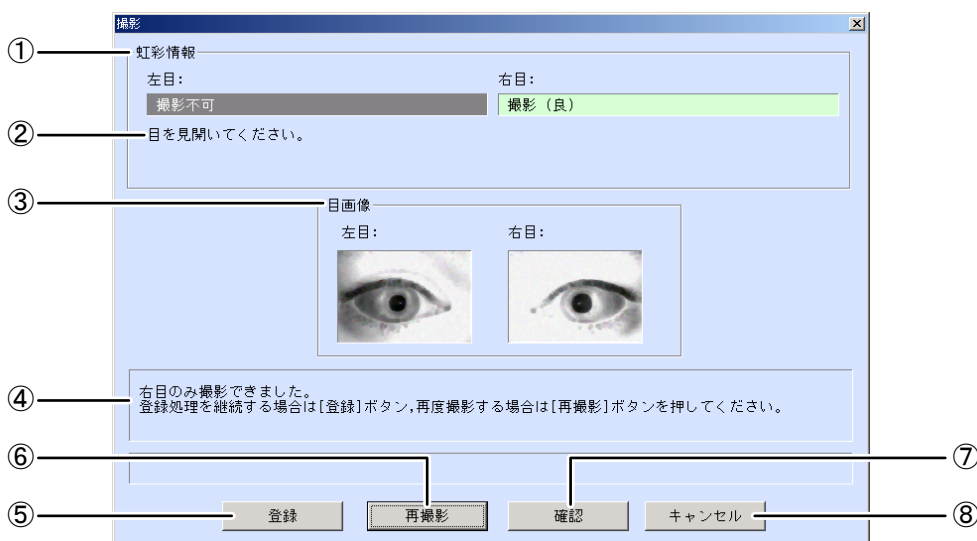
📖 ヒント

- ・撮影時のカメラの誘導表示については、カメラに付属の取扱説明書をお読みください。

4. 撮影終了後に[撮影]画面が表示され撮影結果の情報が表示されます。
撮影結果を確認します。表示された[撮影]画面から、登録、確認、再撮影を行います。

- 片目のみ撮影結果が「撮影（良）」（緑色）の場合

片目のみ虹彩情報を取得できて登録できる状態です。この場合、「撮影不可」（黒色）と表示された目の虹彩情報は取得できていません。認証精度を高めるため、[再撮影]ボタンをクリックして、両方の目が「撮影（良）」（緑色）になるよう再撮影をしてください。手順3に戻ります。



画面の項目	説明
① 虹彩情報	撮影した画像の品質を表示します。品質は、良（緑色）、普通（黄色）、撮影不可（黒色）の3種類で表示されます。

画面の項目	説明
② 撮影不可理由	以下の撮影できなかった理由を表示することがあります。 ・目を見開いてください。 ・最適距離に移動してください。 ・鏡に両目が映っていることを確認してください。
③ 目画像	目画像ありで撮影した場合、目画像を表示します。目画像は、撮影の成功、失敗に関わらず表示されます。撮影した目画像の虹彩部分が網掛けされます。
④ 説明	撮影結果についての説明文です。
⑤ 登録	登録を行います。認証精度を高めるためには、左右両方の虹彩情報の品質が良（緑色）で表示されるまでクリックしないでください。何度か撮影を行い、それでも良にならない場合はクリックしてください。
⑥ 再撮影	再度撮影を行います。左右の目が良（緑色）で表示された場合は表示されません。
⑦ 確認	撮影に成功した虹彩情報で認証を行えるか確認します。
⑧ キャンセル	撮影を中止します。

ヒント

・右目の撮影のみ成功した場合、[再撮影]ボタンをクリックすると、右目の虹彩情報、目画像を保持し、再撮影を行います。再撮影の結果が左目の撮影のみ成功した場合、保持していた右目の虹彩情報、目画像と再撮影して成功した左目の虹彩情報、目画像を撮影結果に表示します。

- 両目の撮影結果が「撮影不可」の場合

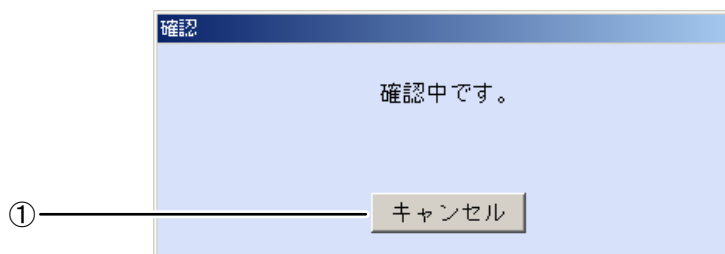
撮影した画像から、虹彩情報を取得できませんでした。撮影不可理由の説明文の指示に従い、[再撮影]ボタンをクリックして再撮影を行います。手順 3 に戻ります。

- 両目の撮影結果が「撮影（良）」（緑色）の場合

撮影した両目の虹彩情報の品質が良好です。手順 5 に進みます。

確認を行わないで登録する場合は、手順 7 に進みます。

5. 両目の撮影結果が「撮影（良）」（緑色）で表示されたら、[確認]ボタンをクリックして確認を行います。

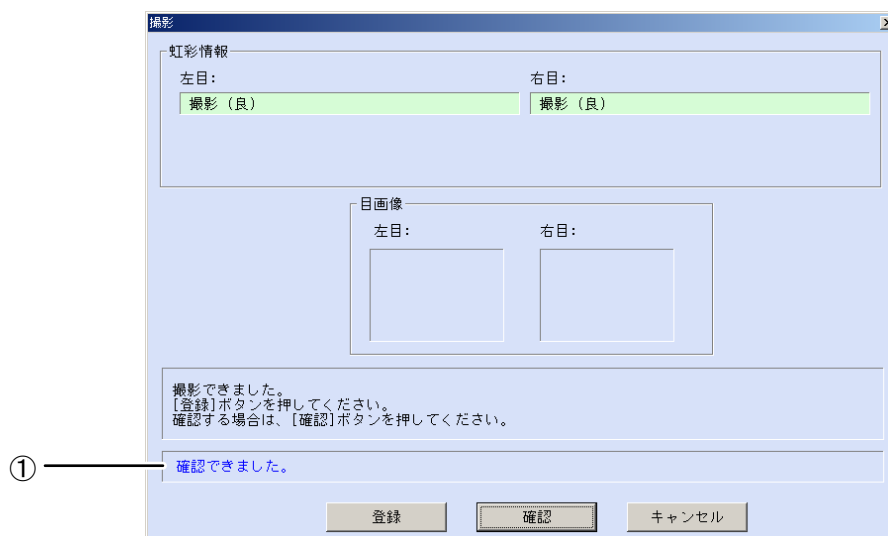


画面の項目	説明
① キャンセル	確認を中止します。

6. 確認結果が、[撮影]画面に表示されます。

両目の確認結果が「確認できました。」

片目のみ確認できた場合は、「右目（左目）のみ確認できました。」が表示されます。



画面の項目	説明						
① 確認結果	確認結果を表示します。 表示された内容により、下記の操作を行います。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表示されるメッセージ</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>確認できました。</td> <td>両目の撮影が成功していて、かつ両目の確認ができた状態です。手順 7 に進み登録を行ってください。</td> </tr> <tr> <td>右目（左目）のみ確認できました。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 両目の撮影が成功していた場合 両目の撮影が成功していたが、片目のみ確認が行われた状態です。[確認]ボタンをクリックして再度確認を行います。両目が「確認できました。」になるまで、確認を行ってください。 また、再確認後も両目が「確認できました。」にならない場合は、同時に表示される[再撮影]ボタンをクリックして、再撮影を行ってください。再撮影は手順 3 からの操作を繰り返します。 ● 右目（左目）のみ撮影が成功していた場合 右目（左目）のみ撮影に成功していて、確認ができた状態です。このまま片目のみの登録を行う場合は、手順 7 に進んでください。両目を登録する場合は、[再撮影]ボタンをクリックして、再撮影を行います。再撮影は手順 3 からの操作を繰り返します。 </td> </tr> </tbody> </table>	表示されるメッセージ	説明	確認できました。	両目の撮影が成功していて、かつ両目の確認ができた状態です。手順 7 に進み登録を行ってください。	右目（左目）のみ確認できました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 両目の撮影が成功していた場合 両目の撮影が成功していたが、片目のみ確認が行われた状態です。[確認]ボタンをクリックして再度確認を行います。両目が「確認できました。」になるまで、確認を行ってください。 また、再確認後も両目が「確認できました。」にならない場合は、同時に表示される[再撮影]ボタンをクリックして、再撮影を行ってください。再撮影は手順 3 からの操作を繰り返します。 ● 右目（左目）のみ撮影が成功していた場合 右目（左目）のみ撮影に成功していて、確認ができた状態です。このまま片目のみの登録を行う場合は、手順 7 に進んでください。両目を登録する場合は、[再撮影]ボタンをクリックして、再撮影を行います。再撮影は手順 3 からの操作を繰り返します。
	表示されるメッセージ	説明					
確認できました。	両目の撮影が成功していて、かつ両目の確認ができた状態です。手順 7 に進み登録を行ってください。						
右目（左目）のみ確認できました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 両目の撮影が成功していた場合 両目の撮影が成功していたが、片目のみ確認が行われた状態です。[確認]ボタンをクリックして再度確認を行います。両目が「確認できました。」になるまで、確認を行ってください。 また、再確認後も両目が「確認できました。」にならない場合は、同時に表示される[再撮影]ボタンをクリックして、再撮影を行ってください。再撮影は手順 3 からの操作を繰り返します。 ● 右目（左目）のみ撮影が成功していた場合 右目（左目）のみ撮影に成功していて、確認ができた状態です。このまま片目のみの登録を行う場合は、手順 7 に進んでください。両目を登録する場合は、[再撮影]ボタンをクリックして、再撮影を行います。再撮影は手順 3 からの操作を繰り返します。 						

画面の項目	説明
	<p>確認できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 両目の撮影が成功していた場合 両目の撮影が成功していたが、両目共に確認が失敗した状態です。両目が「確認できました。」になるまで、確認を行ってください。また、再確認後も両目が「確認できました。」にならない場合は、同時に[再撮影]ボタンが表示されるので、クリックして再撮影を行ってください。再撮影は手順3からの操作を繰り返します。 ● 右目（左目）のみ撮影が成功していた場合 右目（左目）のみ撮影に成功していたが、確認が失敗した状態です。この場合、同時に[再撮影]ボタンが表示されるので、クリックして再撮影を行ってください。再撮影は手順3からの操作を繰り返します。

7. 確認結果で両目が「確認できました。」が表示されたら、[登録]ボタンをクリックします。

「虹彩撮影が完了しました。」のメッセージが表示されます。

⚠️ ご注意

- ・登録する画像の品質が低い場合、認証できない場合があります。画像の品質が良（緑色）で撮影できた画像を登録することを推奨いたします。
- ・画像の品質が撮影不可（黒色）と表示された目画像は、登録されません。

8. [OK]ボタンをクリックします。

[虹彩撮影]ボタンをクリックした画面に戻り、虹彩情報に「撮影済／未登録」（背景色：黄）と表示されます。[登録]ボタン（または[更新]ボタン）をクリックすると、虹彩情報が登録され、「登録済」（背景色：緑）になります。

■ 片目のみ再撮影する場合

撮影、登録後に片方の目だけ再度撮影／登録することが可能です。[画像]画面で目画像の表示を直接右クリックしてポップアップメニューから[撮影]を選択します。これ以降の操作は、「虹彩を撮影する」（122 ページ）の手順2から繰り返します。



画面の項目	説明
① 撮影	片方の目だけ再度撮影を行います。
② 削除	片方の目だけ虹彩情報を削除します。
③ 画像削除	片方の目だけ虹彩情報から目画像のみを削除します。

ヒント

- 目画像ありで撮影した場合はポップアップメニューに[撮影]、[削除]、[画像削除]が表示されますが、目画像なしで撮影した場合は、[撮影]、[削除]のみ表示されます。

■ 虹彩情報を削除する場合

撮影済みの虹彩情報を削除するときは、[虹彩クリア]ボタンをクリックするか、[画像]画面で目画像の表示を直接右クリックしてポップアップメニューから[削除]を選択します。確認のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

虹彩情報の削除を中止するときは、確認のメッセージで[いいえ]ボタンをクリックするか、ユーザー情報画面または管理者情報画面で[登録]ボタン（または[更新]ボタン）をクリックする前に、[キャンセル]ボタン（または[閉じる]ボタン）をクリックします。

■ 目画像のみを削除する場合

撮影済みの虹彩情報から、目画像のみを削除するときは、[画像]画面で目画像の表示を直接右クリックしてポップアップメニューから[画像削除]を選択します。確認のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

目画像の削除後は、目の絵が表示されるようになります。

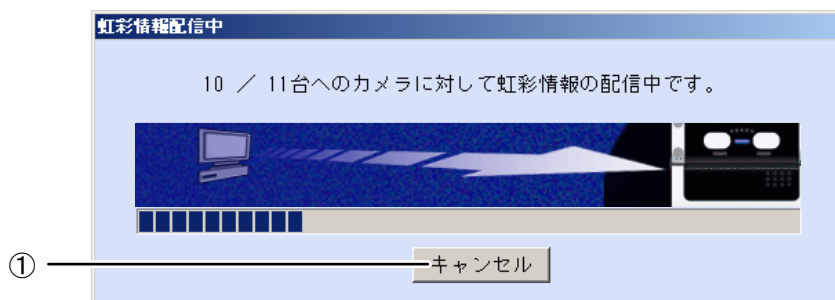
虹彩情報をカメラに配信する

カメラで虹彩認証を受けられるようにするには、本ソフトウェアに登録したユーザーの虹彩情報をカメラに配信します。

配信には、本ソフトウェアによって自動的に配信される自動配信と、管理者が指定したカメラに配信する手動配信（129 ページ）の2通りがあります。

自動配信について

ユーザーの虹彩を撮影し直したときなどは、新しい虹彩情報をカメラに配信する必要があります。本ソフトウェアは、虹彩情報を配信し直す必要があったときに、自動的に必要なカメラに虹彩情報を配信します。虹彩情報配信中は、虹彩情報配信中画面が表示されます。



画面の項目	説明
① キャンセル	<p>現在虹彩情報を配信しているカメラへの配信が終了したときに、配信を中止します。</p> <p>❗ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動配信するカメラが 10 台以下の場合、[キャンセル]ボタンは表示されません。

📖 ヒント

- 虹彩情報が自動配信されるのは、カメラに登録されている虹彩情報に変更があったときと、カメラを起動したときです。カメラを指定して虹彩情報を再配信するには、手動で配信します（129 ページ）。

■ ユーザー情報の変更に伴う自動配信

👤 ユーザー情報

ユーザーの虹彩情報を変更した場合、ユーザー情報画面で[閉じる]ボタンをクリックしたときに、虹彩情報がカメラに自動的に配信されます。

ただし、常にすべての虹彩カメラに配信されるわけではなく、次の操作を行ったときに、配信する必要があるカメラにのみ虹彩情報が配信されます。

- ユーザーの虹彩情報を新規登録したとき
- 登録済みの虹彩情報を削除したとき
- 登録済みの虹彩情報を削除し、もう一度虹彩情報を登録したとき
- ユーザーを削除したとき
- ユーザーの配布グループを変更したとき
- ユーザーのカード ID を変更したとき
- ユーザーの認証設定を変更したとき

- ・ ユーザーの音声言語を変更したとき

ユーザー情報画面では、ユーザー情報が変更されて自動配信の必要が発生した場合、画面右下に自動配信が実行される旨を表示します。（102 ページの⑨虹彩情報自動配信メッセージ）

また、配信先のカメラの設定により、カメラに配信する情報が変わります。

配信先のカメラのセキュリティレベルが「高」に設定されていて、変更が行われたユーザーが少ない場合は、配信の必要なユーザーのみを配信します。セキュリティレベルが「普通」のカメラには、全ユーザーの配信が行われます。

また、以下の条件の場合は、配信が行われません。

- ・ カメラのカードタイプが虹彩オンカードの場合
- ・ カメラの上位認証設定が上位認証のみに設定されている場合

■ 配布グループ設定の変更に伴う自動配信

環境設定

配布グループの情報を変更した場合、配布グループ設定画面で[閉じる]ボタンをクリックしたときに、虹彩情報がカメラに自動的に配信されます。

ただし、常にすべての虹彩カメラに配信されるわけではなく、次の操作を行ったときに、配信する必要があるカメラにのみ虹彩情報が配信されます。

- ・ 配布グループにカメラを削除、追加したとき
- ・ 配布グループを削除したとき

■ カメラの起動に伴う自動配信

カメラを起動した場合（再起動した場合）は、カメラの準備ができたときに虹彩情報が配信されます。

ご注意

- ・ カメラの起動に伴う自動配信の際は、虹彩情報配信中画面は表示されません。

手動で配信する

カメラを指定して、ユーザーの虹彩情報を配信することができます。

【操作】 カメラ設定/保守

1. カメラ情報を検索して表示します。
「カメラ情報を参照する、表示する」（65 ページ）の手順に従い、虹彩情報を配信するカメラをカメラ一覧に表示します。
2. [カメラ一覧]でカメラを選択し、[虹彩情報配信]ボタンをクリックします。
確認のメッセージ「虹彩情報を配信してよろしいですか？」が表示されます。
3. [はい]ボタンをクリックします。
虹彩情報配信中画面が表示され、虹彩情報の配信が始まります。虹彩情報の配信が終了すると、「虹彩情報の配信が完了しました。」と表示されます。
4. [OK]ボタンをクリックします。
カメラ設定/保守画面に戻ります。

⚠️ ご注意

- ・ LAN 環境の状態または他の原因により、虹彩情報の配信中にエラーが発生する場合があります。虹彩情報の配信中にエラーが発生したカメラは虹彩情報が更新されていないうえに、認証動作が停止している可能性があります。カメラ設定／保守画面の[カメラ一覧]からカメラを選択し、状態を取得後、手動で虹彩情報の配信を行ってください。それでもエラーが発生する場合は[リセット]ボタンをクリックして再起動を行ってください。カメラの再起動後に虹彩情報が自動配信されます。カメラの状態を取得する操作の詳細は「カメラの状態を確認する」（85 ページ）を、カメラを再起動する操作の詳細は「カメラを再起動する」（87 ページ）をお読みください。

運用設定を行う

本ソフトウェアやカメラを正常に運用するために、カメラの監視設定や自動バックアップなどの設定を行います。

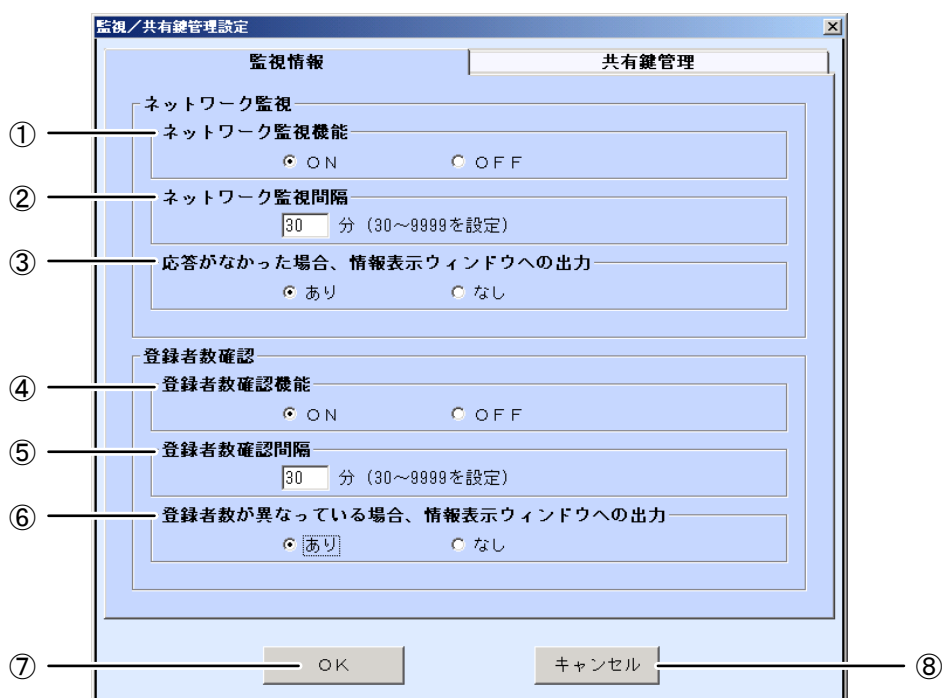
カメラの監視設定を行う

カメラと虹彩管理サーバー間のネットワーク状態と、カメラに登録されているユーザー数を定期的に監視することができます。また、登録したユーザー数とカメラへ配信されたユーザー数が違っていないかを確認することができます。異常が発生した場合は、アラーム情報として情報表示ウィンドウ（147 ページ）に表示されます。

「環境設定」権限が設定されていない管理者では、以下の手順で画面に表示された項目を設定、編集できません。また、画面に表示されるボタンが[閉じる]ボタンのみにになります。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面の[監視／共有鍵管理設定]ボタンをクリックします。
監視／共有鍵管理設定画面の[監視情報]画面が表示されます。
2. カメラの監視情報を設定します。



画面の項目	説明
① ネットワーク監視機能	PING コマンドを使用して、カメラと虹彩管理サーバー間のネットワーク状態を監視する機能の ON/OFF を選択します。
② ネットワーク監視間隔	PING コマンドを実行する間隔を設定します。 半角で、30 から 9999 の数値を設定します。単位は分です。 [ネットワーク監視機能]を ON にすると入力できます。

画面の項目	説明
③ 応答がなかった場合、情報表示ウィンドウへの出力	PING コマンドに対して、カメラから応答がなかった場合に、情報表示ウィンドウ（147 ページ）にアラーム情報として表示するかを選択します。 あり、なしのいずれかを選択します。 [ネットワーク監視機能]を ON にすると選択できます。
④ 登録者数確認機能	虹彩管理サーバーに登録したユーザー数とカメラに配信済みのユーザー数が違っていないかを監視する機能の ON/OFF を選択します。
⑤ 登録者数確認間隔	登録者数を確認する間隔を設定します。 半角で、30 から 9999 の数値を設定します。単位は分です。 [登録者数確認機能]を ON にすると入力できます。
⑥ 登録者数が異なっている場合、情報表示ウィンドウへの出力	虹彩管理サーバーに登録したユーザー数とカメラに配信済みのユーザー数が違っていた場合、情報表示ウィンドウ（147 ページ）にアラーム情報として表示するかを選択します。 あり、なしのいずれかを選択します。 [登録者数確認機能]を ON にすると選択できます。
⑦ OK	設定を登録して、監視／共有鍵管理設定画面を閉じます。 ネットワーク監視または、登録者数確認のすべての項目を入力するとクリックできます。
⑧ キャンセル	設定を登録せずに、監視／共有鍵管理設定画面を閉じます。

3. [OK]ボタンをクリックします。

設定が登録され、監視／共有鍵管理設定画面を閉じます。

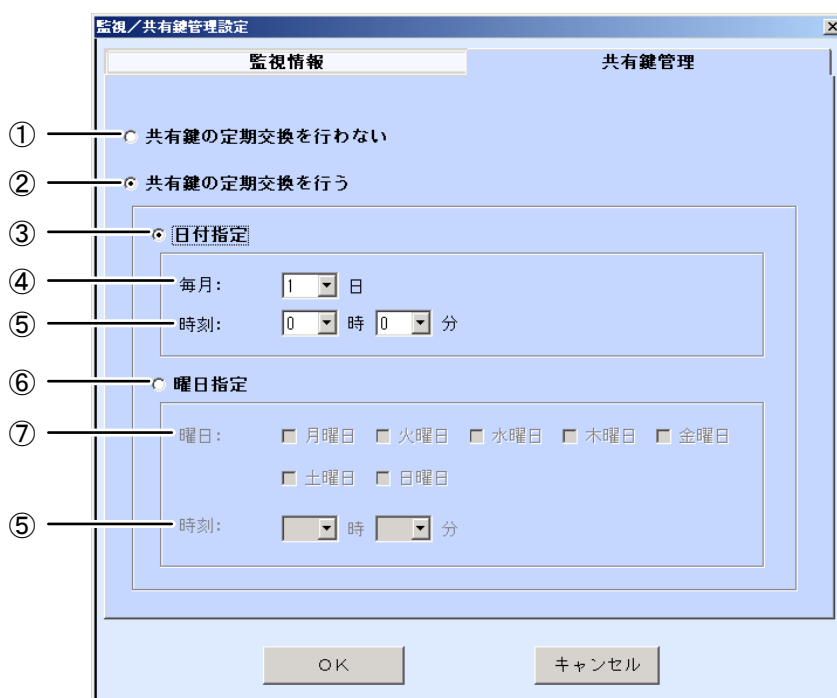
共有鍵管理の設定を行う

本ソフトウェアからカメラに虹彩情報を配信するときは、安全のために虹彩情報を暗号化して配信します。暗号化する際と復号する際に使用する共有鍵を、自動で定期的に変更することができます。定期的に変更することで、より安全に虹彩情報を配信できます。

「環境設定」権限が設定されていない管理者では、以下の手順で画面に表示された項目を設定、編集できません。また、画面に表示されるボタンが[閉じる]ボタンのみにになります。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[監視／共有鍵管理設定]ボタンをクリックします。
監視／共有鍵管理設定画面の[監視情報]画面が表示されます。
2. [共有鍵管理]タブをクリックします。
[共有鍵管理]画面が表示されます。
3. 共有鍵の定期交換情報を設定します。



画面の項目	説明
① 共有鍵の定期交換を行わない	共有鍵を自動的に交換しないときにオンにします。
② 共有鍵の定期交換を行う	共有鍵を自動的に交換するときにはオンにします。
③ 日付指定	月に一度、指定した日時に共有鍵を交換するときにはオンにします。 [共有鍵の定期交換を行う]を選択すると設定できるようになります。
④ 毎月	共有鍵を交換する日にちを設定します。 [日付指定]を選択すると設定できるようになります。
⑤ 時刻	共有鍵を交換する時刻を設定します。 時刻は、5分単位で設定できます。
⑥ 曜日指定	毎週、指定した曜日に共有鍵を交換するときにはオンにします。 [共有鍵の定期交換を行う]を選択すると設定できるようになります。
⑦ 曜日	共有鍵を交換する曜日のチェックボックスをオンにします。 [曜日指定]を選択すると設定できるようになります。

上記以外の画面の項目については、「カメラの監視設定を行う」の[監視情報]画面（131 ページ）をお読みください。

⚠️ ご注意

- 共有鍵を交換する間の数秒間は、カメラでの認証機能が停止します。共有鍵の交換は、カメラで認証が発生する時間帯を避けて設定してください。

4. [OK]ボタンをクリックします。

設定が登録され、監視/共有鍵管理設定画面を閉じます。

自動リブートの設定を行う

虹彩管理サーバーを定期的に再起動することができます。

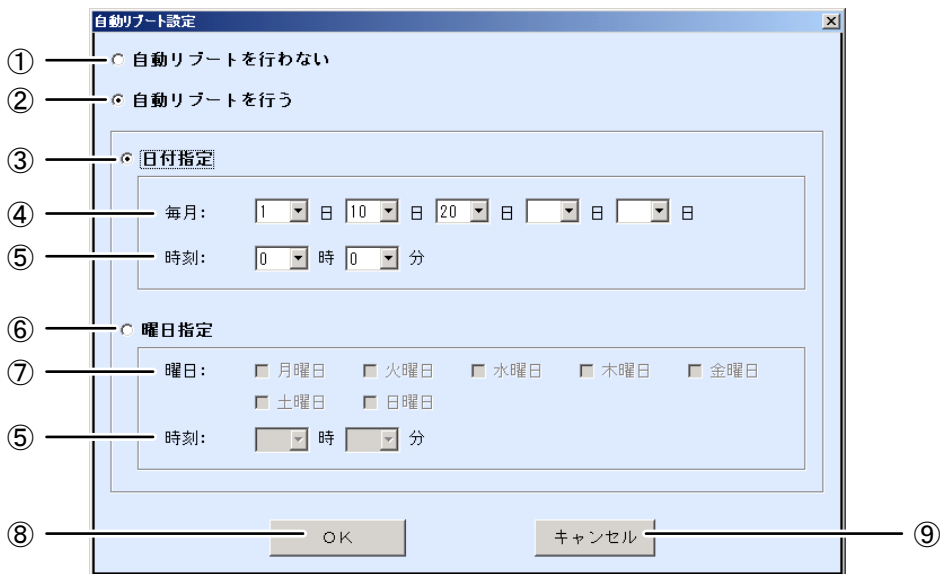
「環境設定」権限が設定されていない管理者では、以下の手順で画面に表示された項目を設定、編集できません。また、画面に表示されるボタンが[閉じる]ボタンのみになります。

❗ ご注意

- ・自動リブートを設定した時刻からカウントダウンが始まり、3分後に自動リブートします。作業中のときは、作業中のデータを保存して、自動リブートに備えてください。
- ・虹彩管理サーバーが再起動中は、「自動バックアップ機能」と「共有鍵管理機能」は動作しません。自動リブートを行う時間は、自動バックアップが行われる時間と、共有鍵交換が行われる時間を避けて設定してください。
- ・虹彩管理サーバーが起動中は、データベース構築などの初期化処理に約1分かかります。この間、カメラの上位認証設定を「上位認証あり」、「上位認証のみ」に設定した場合でも、上位認証は行われません。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[自動リブート設定]ボタンをクリックします。
自動リブート設定画面が表示されます。
2. 虹彩管理サーバーの自動リブートの情報を設定します。



画面の項目	説明
① 自動リブートを行わない	自動的に虹彩管理サーバーを再起動しないときにオンにします。
② 自動リブートを行う	自動的に虹彩管理サーバーを再起動するときにオンにします。
③ 日付指定	月に1~5回、自動的に虹彩管理サーバーを再起動するときにオンにします。 [自動リブートを行う]を選択すると設定できるようになります。

画面の項目	説明
④ 毎月	虹彩管理サーバーを再起動する日にちを設定します。 [日付指定]を選択すると設定できるようになります。
⑤ 時刻	虹彩管理サーバーを再起動する時刻を設定します。 時刻は、5分単位で設定できます。
⑥ 曜日指定	毎週、虹彩管理サーバーを再起動するときにオンにします。 [自動リポートを行う]を選択すると設定できるようになります。
⑦ 曜日	虹彩管理サーバーを再起動する曜日のチェックボックスをオンにします。 [曜日指定]を選択すると設定できるようになります。
⑧ OK	設定を登録して、自動リポート設定画面を閉じます。 [OK]ボタンは、すべての項目を入力するとクリックできます。
⑨ キャンセル	設定を登録せずに、自動リポート設定画面を閉じます。

3. [OK]ボタンをクリックします。

自動リポート設定画面を閉じます。

メール送信設定を行う

異常が発生した場合のアラーム情報を、管理者情報で設定した管理者のメールアドレスに送信することができます。この機能を使用するには、メール送信用のSMTPサーバーに接続できる環境が整っている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

「環境設定」権限が設定されていない管理者では、以下の手順で画面に表示された項目を設定、編集できません。また、画面に表示されるボタンが[閉じる]ボタンのみにになります。

⚠️ ご注意

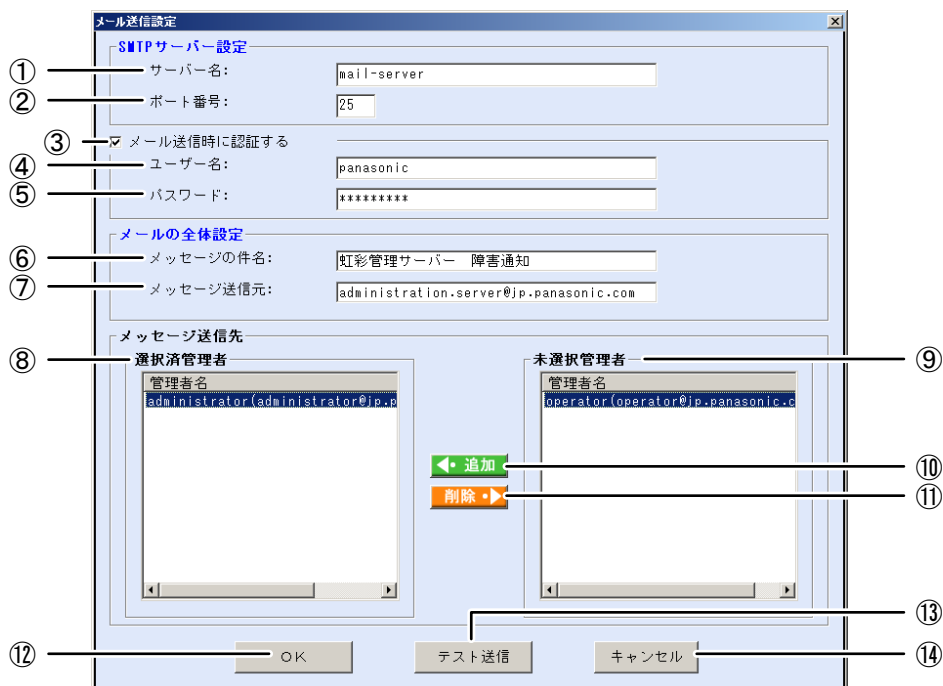
- ・サーバー名、ポート番号の名前解決に必要な情報の設定方法は、ネットワーク管理者に確認してください。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[メール送信設定]ボタンをクリックします。
メール送信設定画面が表示されます。
2. メール送信のための情報を設定します。
[SMTPサーバー設定]、[メールの全体設定]欄に必要な情報を入力します。[メール送信時に認証する]欄は、必要に応じて設定してください。
[メッセージ送信先]欄の未選択管理者から、メールを送信する管理者を選択して、[追加]ボタンをクリックします。

⚠️ ご注意

- ・[メッセージ送信先]欄で表示される管理者は、管理者情報画面（55 ページ）のメールアドレスを設定している場合に表示されます。



画面の項目	説明
① サーバー名	SMTP サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力します。 半角で、40 文字まで登録できます。
② ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を入力します。デフォルトは“25”です。
③ メール送信時に 認証する	メール送信時に SMTP サーバーの認証を受ける場合は、チェックボックスをオンにします。 必要に応じて設定してください。
④ ユーザー名	SMTP サーバーのユーザー名（アカウント名）を入力します。
⑤ パスワード	SMTP サーバーのパスワードを入力します。
⑥ メッセージの 件名	アラーム情報のメールの件名を入力します。全角文字、半角英数字で入力します。この件名でメールが送信されます。 ⚠️ ご注意 ・メッセージの件名に半角カナ文字を入力した場合、送信元、送信先のメールサーバーによっては正しく表示されないことがあります。
⑦ メッセージ 送信元	アラーム情報のメールの送信元アドレスを入力します。 半角英数字および、“-”、“_”、“.”、“@”で、80 文字まで登録できます。
⑧ 選択済管理者	選択した管理者が一覧表示されます。
⑨ 未選択管理者	メールアドレスが設定されている管理者が一覧表示されます。
⑩ 追加	[未選択管理者]で選択した管理者を、[選択済管理者]に移動します。
⑪ 削除	選択した管理者を、[選択済管理者]から取り除きます。
⑫ OK	設定を登録して、メール送信設定画面を閉じます。 [OK]ボタンは、入力必須項目をすべて入力するとクリックできます。
⑬ テスト送信	設定した内容でテストメールを送信します。[テスト送信]ボタンは、入力必須項目をすべて入力し、[選択済管理者]に管理者が追加されるとクリックできます。
⑭ キャンセル	設定を登録せずに、メール送信設定画面を閉じます。

3. [テスト送信]ボタンをクリックします。
確認のメッセージが表示されます。
4. [はい]ボタンをクリックします。
テストメールが送信されます。管理者のメールアドレスにメールが届いていることを確認してください。
5. [OK]ボタンをクリックします。
設定が登録され、メール送信設定画面を閉じます。

バックアップ/リストア

バックアップ/リストア

本ソフトウェアのユーザー情報、各種設定情報およびログ情報をバックアップファイルに保存しておくことで、トラブルが発生した場合に、正常な状態に戻すことが可能です。

ご注意

- ・バックアップ/リストア機能は、「バックアップ/リストア」権限が設定されている管理者のみ設定、参照することができます。

■ バックアップ/リストア画面について

メインメニュー画面で[バックアップ/リストア]ボタンをクリックすると、バックアップ/リストア画面が表示されます。作業内容に合わせて、ボタンをクリックします。



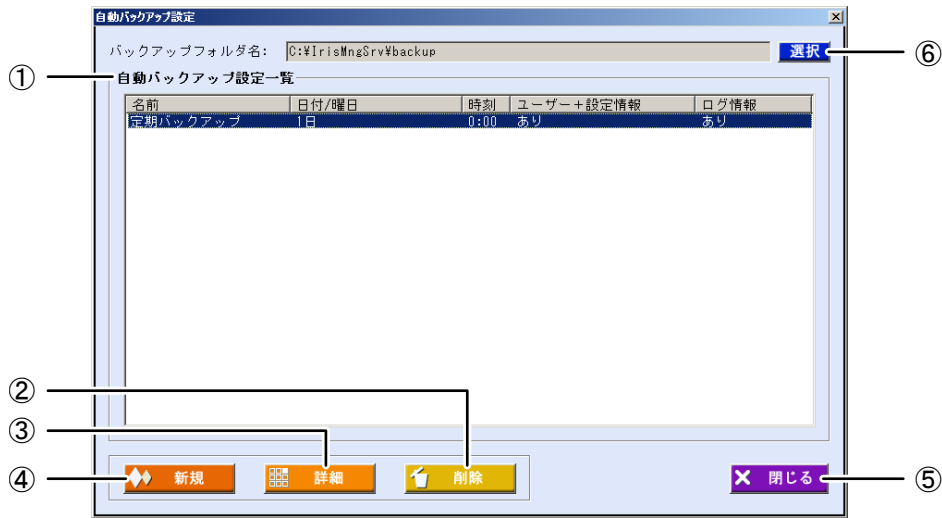
画面の項目	説明
① 自動バックアップ設定	自動バックアップ設定画面（138 ページ）が表示されます。
② 手動バックアップ	手動バックアップ画面（142 ページ）が表示されます。
③ リストア	リストア画面（143 ページ）が表示されます。
④ 戻る	メインメニュー画面に戻ります。

ヒント

- ・メニューバーの[バックアップ/リストア]メニューから各項目を選択した場合は、バックアップ/リストア画面を表示しないで、直接各項目の画面を表示することができます。

■ 自動バックアップ設定画面について

バックアップ/リストア画面で[自動バックアップ設定]ボタンをクリックするか、メインメニュー画面のメニューバーから[バックアップ/リストア]メニューの[自動バックアップ設定]を選択すると、自動バックアップ設定画面が表示されます。



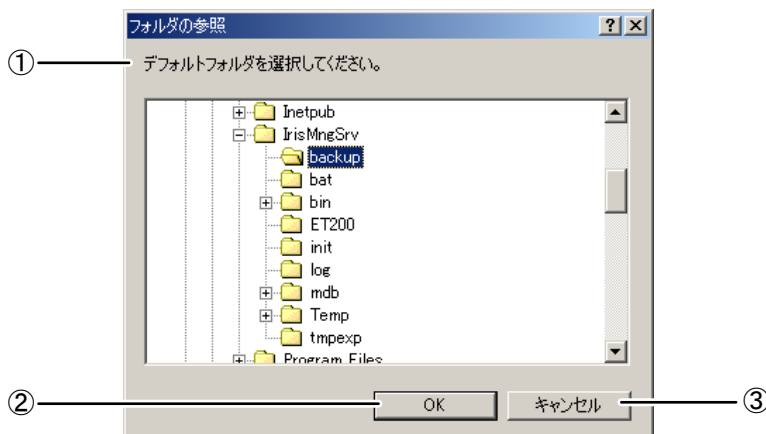
画面の項目	説明
① 自動バックアップ設定一覧	バックアップを実施するスケジュールが一覧表示されます。
② 削除	自動バックアップ設定一覧で選択したスケジュールを削除します。
③ 詳細	自動バックアップ詳細画面（141 ページ）が表示されます。
④ 新規	自動バックアップ新規登録画面（139 ページ）が表示されます。
⑤ 閉じる	自動バックアップ設定画面を閉じます。
⑥ 選択	フォルダの参照画面が表示されます。 バックアップしたデータの保存先を設定します。

■ 自動バックアップデータの保存先を設定する

自動バックアップを実行した際の、バックアップデータの保存先を設定します。

【操作】 バックアップ/リストア

1. 自動バックアップ設定画面で、[選択]ボタンをクリックします。
フォルダの参照画面が表示されます。



画面の項目	説明
① デフォルトフォルダの選択	表示されているツリーからバックアップデータを保存するデフォルトフォルダを指定します。 指定するフォルダは、虹彩管理サーバー上に存在するフォルダである必要があります。
② OK	デフォルトフォルダを確定して、自動バックアップ設定画面に戻ります。
③ キャンセル	自動バックアップ設定画面に戻ります。

❗ ご注意

- ・本ソフトウェアは、ネットワーク上の共有フォルダ、ネットワークドライブへのバックアップデータの出力には対応していません。また、正常にバックアップ処理ができなかった場合などにシステムトラブルの原因になりますので、ネットワークを介してのバックアップは行わないでください。

2. デフォルトフォルダを指定して、[OK]ボタンをクリックします。
自動バックアップ設定画面に戻ります。

3. 自動バックアップ設定画面の[バックアップフォルダ名]にデフォルトフォルダのパスが表示されていることを確認します。

■ 自動バックアップを実施するスケジュールを登録する

本ソフトウェアのユーザー情報、各種設定情報およびログ情報のバックアップを実施するスケジュールを登録します。スケジュールを登録すると、定期的にバックアップファイルを作成できます。

【操作】 バックアップ/リストア

1. 自動バックアップ設定画面で[新規]ボタンをクリックします。
自動バックアップ新規登録画面が表示されます。
2. スケジュール情報を設定します。

画面の項目	説明
① 名前	自動バックアップ設定の名前を入力します。 全角または半角で、20文字まで登録できます。ただし、登録済みのスケジュールと同じ名前は設定できません。
② ユーザー情報 +各種設定情報	ユーザー情報と各種設定情報をバックアップするときにオンにします。
③ ログ情報	ログ情報をバックアップするときにオンにします。
④ ログ削除	ログ情報をバックアップしたときに、本ソフトウェアからログ情報を削除するかを設定します。 削除する、削除しないのいずれかを選択します。
⑤ 日時指定	月に一度、自動的にバックアップを行うときにオンにします。
⑥ 毎月	バックアップを行う日にちを設定します。
⑦ 時刻	バックアップを行う時刻を設定します。 時刻は、5分単位で設定できます。
⑧ 曜日指定	毎週、バックアップを行うときにオンにします。
⑨ 曜日	バックアップを行う曜日のチェックボックスをオンにします。
⑩ 登録	スケジュールを登録して、自動バックアップ設定画面に戻ります。 すべての必須項目を入力するとクリックできます。
⑪ キャンセル	スケジュールを登録せずに、自動バックアップ設定画面に戻ります。

⚠️ ご注意

- ・ 以下の場合は、自動バックアップスケジュールを登録できません。
 - － 入力したスケジュール名がすでに登録されている。
 - － 入力した日付および時刻がすでに別のスケジュール名で登録されている。
- ・ 「自動バックアップデータの保存先を設定する」（138 ページ）で設定した出力先フォルダに、自動バックアップで作成されるバックアップファイルは3世代までです。ファイル名は「backupdata_0~2」で作成されます。
有効なバックアップスケジュールを4以上設定した場合、最初に実行されたスケジュールのバックアップファイルには、最後に実行されたスケジュールのバックアップファイルが上書きされます。必要に応じて、ファイル名をリネームするなどの処置を行ってください。

3. [登録]ボタンをクリックします。

スケジュールが登録され、自動バックアップ設定画面に戻ります。別のスケジュールを登録するときは、手順1から操作を繰り返します。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

自動バックアップ設定画面を閉じます。

■ 自動バックアップのスケジュールを更新する、削除する

登録済みのバックアップスケジュールを更新または削除します。

【操作】 バックアップ/リストア



1. 自動バックアップ設定画面の[自動バックアップ設定一覧]からスケジュールを選択します。

- 更新する場合は、[詳細]ボタンをクリックします。
自動バックアップ詳細画面が表示されます。
- 削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。
自動バックアップ設定を削除する場合は、自動バックアップ設定画面の[削除]ボタンをクリックします。「削除してよろしいですか?」が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。自動バックアップ設定が削除され、自動バックアップ設定画面に戻ります。
バックアップスケジュールは複数選択できます。

2. 自動バックアップ設定の変更または削除を行います。

- 更新する場合
画面に表示された値で必要な情報を変更、修正します。
- 削除する場合
スケジュールを削除するときは、[削除]ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックすると、スケジュールが削除され、次のスケジュールが表示されます。他のスケジュールが無い場合は、自動バックアップ設定画面に戻ります。



画面の項目	説明
① 設定情報表示 切替え	自動バックアップ設定画面の一覧に表示されている設定の情報を、「表示中の設定 / 自動バックアップ設定一覧に表示されている設定の総数」で順番に表示することができます。  ボタン：前のスケジュールを表示します。  ボタン：次のスケジュールを表示します。 ボタンで順番に表示することができます。
② 更新	スケジュールが更新され、「更新しました。」と表示されます。 すべての必須項目を入力するとクリックできます。
③ 削除	スケジュールを削除します。削除後に他のスケジュールがある場合は、次のスケジュールが表示されます。他にスケジュールが無い場合は、自動バックアップ設定画面に戻ります。
④ 閉じる	自動バックアップ設定画面に戻ります。

上記以外の画面の項目については、「自動バックアップを実施するスケジュールを登録する」の自動バックアップ新規登録画面（139 ページ）をお読みください。

3. [更新]ボタンをクリックします。

スケジュールが更新され、「更新しました。」と表示されます。

！ **ご注意**

- ・ 以下の場合は、自動バックアップスケジュールを更新できません。
 - － 入力したスケジュール名がすでに登録されている。
 - － 入力した日付および時刻がすでに別のスケジュール名で登録されている。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

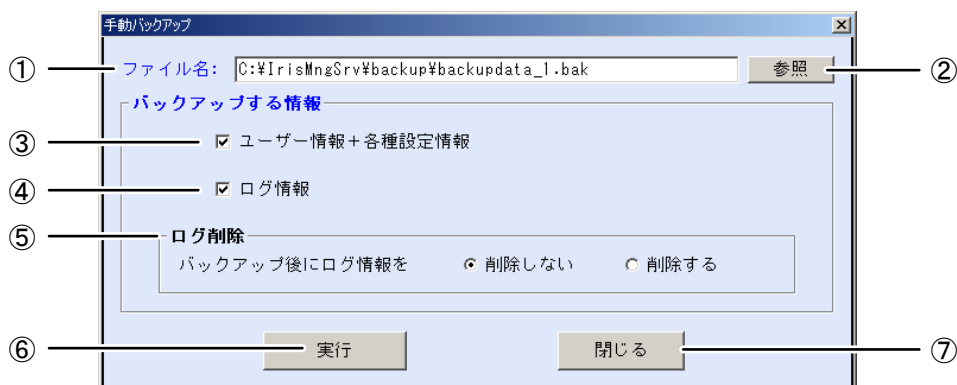
自動バックアップ設定画面を閉じます。別のスケジュールを更新するときは、手順 1 から操作を繰り返します。

■ 手動でバックアップする

手動操作によりユーザー情報、各種設定情報およびログ情報をバックアップします。

【操作】  **バックアップ/リストア**

1. バックアップ/リストア画面の[手動バックアップ]ボタンをクリックします。
手動バックアップ画面が表示されます。
2. バックアップファイルの情報を設定します。



画面の項目	説明
① ファイル名	名前を付けて保存画面で設定した保存先ファイル名が表示されます。
② 参照	名前を付けて保存画面が表示されます。 📖 ヒント ・ 「自動バックアップデータの保存先を設定する」 (138 ページ) で設定した出力先フォルダがデフォルトで選択されます。
③ ユーザー情報+各種設定情報	ユーザー情報と各種設定情報をバックアップするときにオンにします。
④ ログ情報	ログ情報をバックアップするときにオンにします。
⑤ ログ削除	ログ情報をバックアップしたときに、本ソフトウェアからログ情報を削除するかを設定します。 削除する、削除しないのいずれかを選択します。
⑥ 実行	バックアップを実行します。 すべての必須項目を入力するとクリックできます。
⑦ 閉じる	バックアップを実行せずに、手動バックアップ画面を閉じます。

3. [参照]ボタンをクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されます。

4. 保存先を設定します。

名前を付けて保存画面で、バックアップファイルを保存するフォルダを指定し、ファイル名を設定します。ファイル名は全角または半角で登録できます。ただし、¥ / : ; * ? " < > | は使用できません。

⚠️ ご注意

- ・本ソフトウェアは、ネットワーク上の共有フォルダ、ネットワークドライブへのバックアップデータの出力には対応していません。また、正常にバックアップ処理ができなかった場合などにシステムトラブルの原因になりますので、ネットワークを介してのバックアップは行わないでください。

5. [保存]ボタンをクリックします。

手動バックアップ画面に戻ります。手動バックアップ画面の[ファイル名]に保存先のパスが表示されているのを確認します。

6. [実行]ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

7. [はい]ボタンをクリックします。

バックアップが実行され、「バックアップが完了しました。」と表示されます。

8. [OK]ボタンをクリックします。

手動バックアップ画面に戻ります。

9. [閉じる]ボタンをクリックします。

元の画面に戻ります。

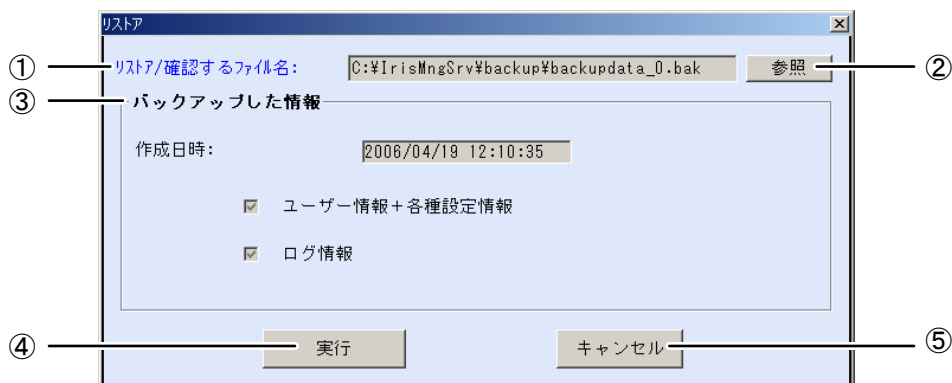
■ バックアップファイルをリストアする

自動または手動で作成したバックアップファイルをもとに、本ソフトウェアのユーザー情報、各種設定情報およびログ情報を以前の状態に戻します。

【操作】   **バックアップ/リストア**

1. バックアップ/リストア画面で、[リストア]ボタンをクリックします。

リストア画面が表示されます。



画面の項目	説明
① リストア／確認するファイル名	リストアするファイルを表示します。
② 参照	バックアップファイル選択画面を表示します。
③ バックアップした情報	リストアするバックアップファイルを選択すると、バックアップファイルに関する情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・作成日時：バックアップした日時が表示されます。 ・ユーザー情報＋各種設定情報：ユーザー情報と、各種設定情報がバックアップしてあるときに、チェックマークが表示されます。 ・ログ情報：ログ情報がバックアップしてあるときに、チェックマークが表示されます。
④ 実行	リストアを実行して、バックアップ／リストア画面に戻ります。 [リストア／確認するファイル名]に、バックアップファイルを設定するとクリックできます。
⑤ キャンセル	リストアを実行せずに、バックアップ／リストア画面に戻ります。

2. [参照]ボタンをクリックし、バックアップファイルが保存されているフォルダを選択します。

バックアップファイル選択画面が表示されます。リストアするファイルが保存されているフォルダを指定し、バックアップファイルをクリックして選択します。

3. [開く]ボタンをクリックします。

リストア画面に戻ります。リストア画面の[リストア／確認するファイル名]に参照先のパスが表示されているのを確認します。

4. [実行]ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

5. [はい]ボタンをクリックします。

リストアが実行されます。リストアが終了すると、「リストアが完了しました。」と表示されます。

6. [OK]ボタンをクリックします。

リストア画面を終了して元の画面に戻ります。

⚠️ ご注意

- ・ リストア後に必ず以下の操作を行ってください。また必要がある場合は、各設定情報の変更を行ってください。
 - － リストア後は、カメラの状態はすべて「--」（MACアドレス未取得）になっています。カメラ設定／保守画面でカメラを選択してリセットを行ってください。

運用状態を確認する

本ソフトウェアにおける運用時の情報について

システムの運用中に、本ソフトウェアでの操作、本ソフトウェアからのカメラ操作、カメラでの認証動作、虹彩管理サーバーおよびカメラでアラームが検出された場合に、ログ情報、アラーム情報が記録されます。

- ・アラーム情報 …… 虹彩管理サーバーおよびカメラで検出されたアラームを表示します。情報表示ウィンドウで確認、削除を行うことができます。「アラーム情報を確認する」をお読みください。
- ・システムログ …… 本ソフトウェアでの操作、本ソフトウェアからのカメラ操作を記録します。ログ情報画面のシステムログで確認します。「ログ情報を確認する（システムログ）」（150 ページ）をお読みください。
- ・アクセスログ …… カメラで認証が行われた場合の、認証結果を記録します。ログ情報画面のアクセスログで確認します。「ログ情報を確認する（アクセスログ）」（153 ページ）をお読みください。

■ アラーム情報、ログ情報の表示時刻について

アラーム情報、システムログ情報で画面表示されるログ情報の時刻は、虹彩管理サーバーの Windows® の時刻を基準に、カメラからアラーム通知があった時刻を記録しています。

アクセスログ情報で画面表示されるログ情報の時刻は、カメラの内部クロックで時刻を記録しています。カメラは起動時に虹彩管理サーバーと時刻同期を行います。その後、1 時間ごとに時刻同期を行います。記録されたアラーム情報、ログ情報は、時系列で管理され検索、表示されます。このため、以下の使用方法でご使用の場合は、記録された時刻が正確でない場合があります。

- ・ カメラと虹彩管理サーバー間の通信が正常でない場合のアクセスログ通知。または虹彩管理サーバーとカメラが時刻同期を行えない状態での使用。
- ・ 虹彩管理サーバーの時刻が正確ではない場合。
- ・ サマータイム時間を取り入れている場合に虹彩管理サーバーの時間をこれに準じて調整した場合。

アラーム情報を確認する

情報表示ウィンドウで、アラーム情報を確認します。情報表示ウィンドウは、Windows® のタスクトレイに最小化されています。

表示されるアラーム情報は、次のようなものがあります。

- ・ 本ソフトウェアに未登録のカメラからの接続があった
- ・ カメラがすり替えられた可能性がある
- ・ 虹彩管理サーバーとカメラ間のネットワークに異常があった
- ・ カメラが故障した
- ・ 本ソフトウェアとカメラに配信されているユーザー数が一致しない
- ・ オプションボードが接続されていない

情報表示ウィンドウに表示されるエラー情報の詳細、発生したエラーに対する対処方法についてはエラーメッセージ一覧の「情報表示ウィンドウのメッセージ」（183 ページ）をお読みください。

■ タスクトレイ アイコンについて

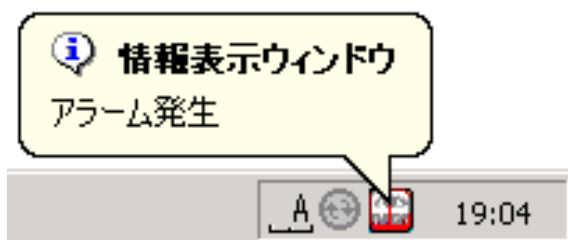
タスクトレイに常駐しているアイコンから、本ソフトウェアおよび、情報表示ウィンドウを起動することができます。タスクトレイのアイコンを右クリックしポップアップメニューを表示します。ポップアップメニューから[情報表示ウィンドウ]をクリックすると、情報表示ウィンドウ画面が表示されます。また、アラームが発生した場合にタスクトレイのアイコンは、表示色が青から赤に変化します。同時にアラーム発生メッセージを表示します。

- アラームが発生した場合、アイコンの色が青から赤に変わる。

アイコンを青色に戻すには、情報表示ウィンドウで未確認のアラームをすべて確認済みにします。



- アラーム発生メッセージを表示。



❗ ご注意

- ・ アラーム発生メッセージは虹彩管理サーバーのオペレーティングシステムにより動作が異なります。
 - － Windows® 2000 の場合：30 秒後に自動的に画面から消去されます。
 - － Windows® XP、Windows Server® 2003 の場合：クリックするまで表示されます。

■ 情報表示ウィンドウでアラームを確認する

情報表示ウィンドウに表示されたアラーム情報を確認します。

【操作】

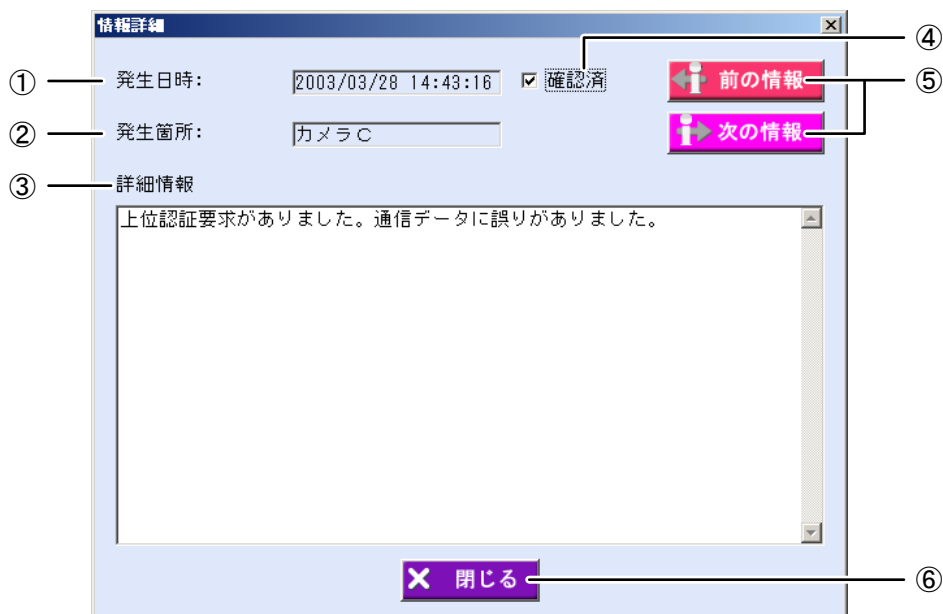
1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[情報表示ウィンドウ]をクリックします。
情報表示ウィンドウが表示されます。



画面の項目	説明
① 未確認／全件	アラーム情報の件数が、未確認のアラーム情報数とすべてのアラーム情報数が別々に表示されます。 未確認のアラーム情報がある場合、未確認のアラーム情報数は赤色で表示されます。0件の場合は「0」と表示されます。
② アラーム情報一覧	アラーム情報が一覧表示されます。 未確認のアラーム情報は、赤色で表示されます。 確認済みのアラーム情報は、青色で表示されます。 ❗ ご注意 ・ [アラーム情報一覧]でアラーム情報の表示順を変更した後は、新しいアラーム情報は一覧の最下行に追加されます。 ・ [アラーム情報一覧]には、最大1000件表示できます。アラーム情報の総数が1000件を超えた場合は、確認済みのアラーム情報が古い情報から削除されます。すべてのアラーム情報が未確認のときは、未確認のアラーム情報が古い情報から削除されます。
③ 詳細	情報詳細画面が表示されます。
④ 確認	[アラーム情報一覧]で選択したアラーム情報を確認済みにします。 複数のアラーム情報を選択すると、一度に確認済みにできます。
⑤ 未確認	[アラーム情報一覧]で選択したアラーム情報を未確認にします。 複数のアラーム情報を選択すると、一度に未確認にできます。
⑥ 削除	[アラーム情報一覧]で選択したアラーム情報を削除します。 複数のアラーム情報を選択すると、一度に削除できます。

2. [アラーム情報一覧]でアラーム情報を選択し、[詳細]ボタンをクリックします。
情報詳細画面が表示されます。

3. アラーム情報を確認します。



画面の項目	説明
① 発生日時	アラーム情報の発生日時が表示されます。
② 発生箇所	アラーム情報を通知したカメラ名が表示されます。
③ 詳細情報	アラーム情報の詳細が表示されます。
④ 確認済	アラーム情報を確認済みにするときに、チェックボックスをオンにします。
⑤ 前の情報、 次の情報	[アラーム情報一覧]に表示されているアラーム情報を、順番に表示することができます。
⑥ 閉じる	情報表示ウィンドウに戻ります。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。
情報表示ウィンドウに戻ります。

5. **X**をクリックします。
情報表示ウィンドウが最小化して、タスクトレイに収容されます。

■ アラーム情報を削除する

アラーム情報を手動で削除します。アラーム情報は、最大件数（1 000 件）を越えた場合に、日付時刻が古い順番に自動的に削除されます。不必要な情報などがある場合など、手動操作でアラーム情報を削除してください。

【操作】

1. 情報表示ウィンドウのアラーム情報一覧で削除するアラームログを選択します。
アラームは複数選択できます。
2. [削除]ボタンをクリックします。
「削除してよろしいですか？」が表示されます。
3. [はい]ボタンをクリックします。
アラーム情報が削除されます。

ログ情報を確認する

本ソフトウェアを操作した場合、本ソフトウェアからカメラを操作した場合、カメラからの通信があった場合、カメラで認証が行われた場合などの情報を自動的にログ情報として記録します。

ログ情報は、システムログ、アクセスログに分類されます。

ログ情報画面から、システムログ、アクセスログの確認、ログ情報 CSV ファイル（192 ページ）への出力、バックアップファイルからのログ情報読み出しなどの操作を行います。また、「ログ情報」権限が設定されている管理者では、ログ情報の削除を行うことができます。

■ ログ情報画面について

メインメニュー画面で[ログ情報]ボタンをクリックするか、メニューバーから[ログ情報]メニューの[システムログ]（または[アクセスログ]）を選択すると、ログ情報画面が表示されます。



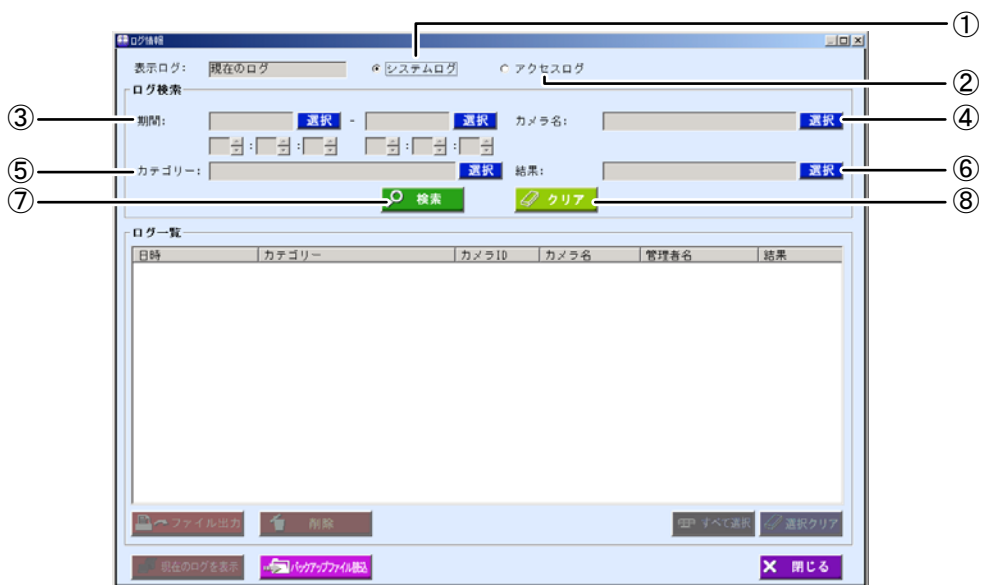
画面の項目	説明
① 表示ログ	現在表示対象となっているログ情報の種類が表示されます。
	現在のログ リアルタイムでのログ情報が表示対象になっています。 [検索]ボタンをクリックすることによって更新されます。
	バックアップ ファイル バックアップファイルから読み込んだログ情報が表示対象になっています。
② ログ検索	[ログ一覧]に表示するログ情報の条件を設定します。
③ ログ一覧	検索されたログ情報が一覧表示されます。
④ 現在のログを 表示	表示対象をバックアップファイルから読み込んだログ情報から最新のログ情報に戻します。バックアップファイルが読み込まれている場合にクリックすることができます。
⑤ バックアップ ファイル読み込	バックアップファイルから読み込んだログ情報を表示対象にします（160 ページ）。
⑥ 閉じる	メインメニュー画面に戻ります。

■ ログ情報を確認する（システムログ）

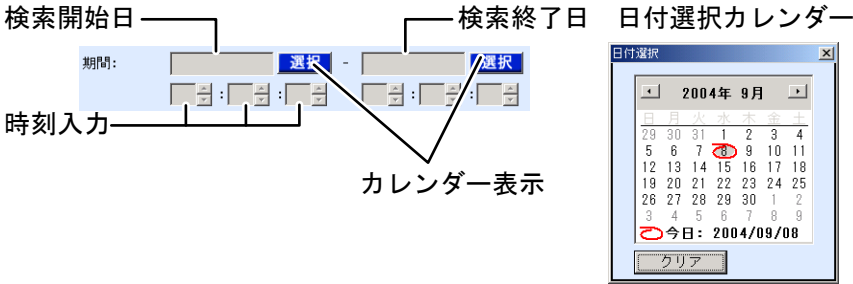
ログ情報画面で、システムログ情報を検索して表示します。検索したシステムログの詳細を表示して確認します。

【操作】

1. ログ情報画面の表示を「システムログ」にします。
ログ情報画面が表示された場合のデフォルトでは、「システムログ」が選択されています。アクセスログを表示していた場合は、手順2の図の「① システムログ」ラジオボタンをクリックします。
2. [ログ検索]に検索条件を設定します。
[ログ一覧]に表示したいログ情報を検索条件で指定します。
すべてのログ情報を表示する場合は、検索条件を設定せずに手順3に進みます。



画面の項目	説明
① システムログ	システムログ情報を表示します。
② アクセスログ	アクセスログ情報を表示します。

画面の項目	説明
③ 期間	<p>検索するログ情報を期間で指定します。指定方法は、「検索開始日～検索終了日」、「検索開始日以降」、「検索終了日まで」の3種類です。</p> <p>日付を指定するには、検索開始日、検索終了日表示の[選択]ボタンをクリックすると、日付選択用のカレンダーが表示されます。カレンダーから日付を指定すると、検索開始日、検索終了日表示に日付が表示されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>日付が指定されると、時刻入力が入力可能になります。時刻入力は「HH:MM:SS」形式で、それぞれの入力ボックスに直接入力するか、上下ボタンをクリックして指定します。</p> <p>(例)「午後1時5分20秒」の場合は「13:05:20」と入力します。</p> <p>- 検索期間の指定 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「検索開始日～検索終了日」 検索開始日、検索終了日の両日を指定します。検索開始日から検索終了日の期間に記録されたログ情報を表示します。 ・「検索開始日以降」 検索開始日のみを指定します。検索開始日から最後に記録されたログ情報までのものを表示します。 ・「検索終了日まで」 検索終了日のみを指定します。最初のログ情報から検索終了日までに記録されたログ情報を表示します。
④ カメラ名	<p>[選択]ボタンをクリックし、カメラ選択画面を表示してカメラを選択します。選択したカメラに関するログ情報が検索されます。</p> <p>複数のカメラを選択したときは、▼をクリックして選択したカメラ名を確認できます。</p> <p>カメラの選択方法、操作方法は「カメラを指定して検索する」(106ページ)をお読みください。</p>
⑤ カテゴリー	<p>[選択]ボタンをクリックし、カテゴリー選択画面を表示してカテゴリーを選択します。選択したカテゴリーに含まれるログ情報が検索されます。</p> <p>複数のカテゴリーを選択したときは、▼をクリックして選択したカテゴリーを確認できます。</p> <p>カテゴリーの選択方法、操作方法は「カテゴリー選択画面について」(156ページ)をお読みください。</p>

画面の項目	説明
⑥ 結果	[選択]ボタンをクリックし、結果選択画面を表示して「正常」または「異常」を選択します。選択した結果に該当するログ情報が検索されます。複数の結果を選択したときは、▼をクリックして選択した結果を確認できます。結果の選択方法、操作方法は「結果選択画面について」（158 ページ）をお読みください。
⑦ 検索	設定した検索条件に一致したログ情報を、[ログ一覧]に表示します。
⑧ クリア	設定した検索条件を消去します。

上記以外の画面の項目については、「ログ情報画面について」のログ情報画面（149 ページ）をお読みください。

3. [検索]ボタンをクリックします。

手順 2 で設定した検索条件に一致したログ情報が、[ログ一覧]に表示されます。

検索条件に一致したログ情報が見つからなかったときは、「該当するログ情報がありません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 2 から操作をやり直します。

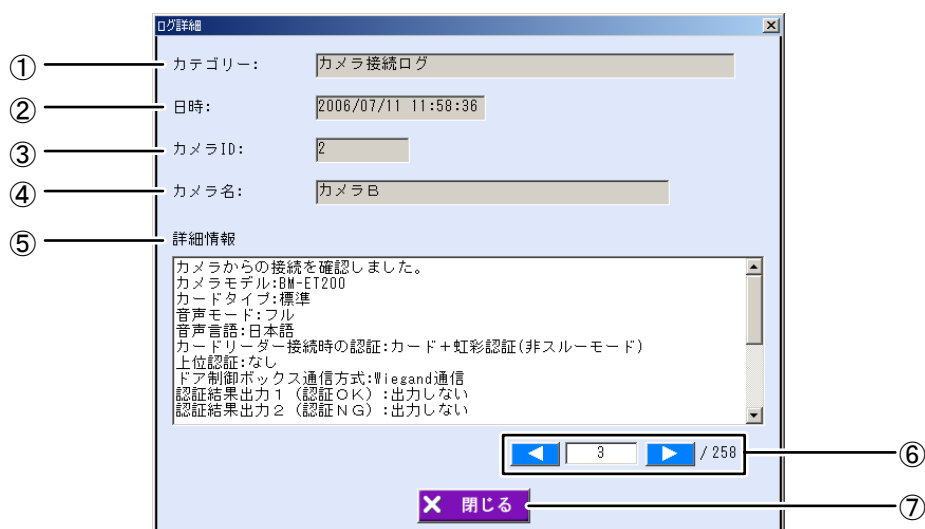




画面の項目	説明
① ログ一覧	検索されたシステムログ情報が一覧表示されます。 [結果]で分類される「正常」のログ情報は黒文字で、「異常」のログ情報は赤文字で表示されます。

4. [ログ一覧]でログ情報をダブルクリックします。

ログ詳細画面が表示されます。

5. ログ情報を確認します。



画面の項目	説明
① カテゴリ	ログ情報のカテゴリが表示されます。
② 日時	ログ情報が発生した日時が表示されます。
③ カメラID	ログ情報に関係したカメラのIDが表示されます。
④ カメラ名	ログ情報に関係したカメラの名前が表示されます。
⑤ 詳細情報	ログ情報の詳細が表示されます。
⑥ ログ情報表示	ログ情報画面の[ログ一覧]に表示されているログの情報を、「表示中のログ / ログ一覧に表示されているログの総数」で表示します。  ボタン：前のログ情報を表示します。  ボタン：次のログ情報を表示します。 ボタンで順番に表示することができます。
⑦ 閉じる	ログ情報画面に戻ります。

❗ ご注意

- ・システムログの最大件数（10 000 件）が記録されている場合、表示されたログ情報の日付の古いログ情報が自動削除されている場合があります。この場合、自動削除されたログ情報の詳細を表示しようとすると、「このログ情報はDB上から削除されたため、詳細情報を表示することができません。」のメッセージが表示されます。

6. [閉じる]ボタンをクリックします。

ログ情報画面に戻ります。

■ ログ情報を確認する（アクセスログ）

ログ情報画面で、アクセスログ情報を検索して表示します。検索したアクセスログの詳細を表示して確認します。

❗ ご注意

- ・アクセスログは、カメラ情報詳細画面の「運用情報」（77 ページ）で[アクセスログ]項目を「あり」に設定したカメラのみ虹彩管理サーバーにアクセスログを通知します。

📖 ヒント

- ・虹彩管理サーバーに通知できなかったアクセスログをカメラが保持している場合、カメラの状態取得時、またはネットワーク監視時にカメラは保持していたアクセスログを虹彩管理サーバーに通知します。

【操作】

1. ログ情報画面の表示を「アクセスログ」にします。
手順2の図の「② アクセスログ」ラジオボタンをクリックします。
2. ログ検索に検索条件を設定します。
[ロガー一覧]に表示したいログ情報を検索条件で指定します。
すべてのログ情報を表示する場合は、検索条件を設定せずに手順3に進みます。



画面の項目	説明
① システムログ	システムログ情報を表示します。
② アクセスログ	アクセスログ情報を表示します。
③ 期間	検索するログ情報を期間で指定します。指定方法は、「ログ情報を確認する（システムログ）」のログ情報画面 ③の説明文（151 ページ）をお読みください。
④ カメラ名	[選択]ボタンをクリックし、カメラ選択画面を表示してカメラを選択します。選択したカメラに関するログ情報が検索されます。複数のカメラを選択したときは、▼をクリックして選択したカメラを確認できます。カメラの選択方法、操作方法は「カメラを指定して検索する」（106 ページ）をお読みください。
⑤ ユーザー名	[選択]ボタンをクリックし、ユーザー選択画面を表示してユーザーを選択します。選択したユーザーに関するログ情報が検索されます。複数のユーザーを選択したときは、▼をクリックして選択したユーザーを確認できます。ユーザーの選択方法、操作方法は「ユーザーを指定して検索する」（71 ページ）をお読みください。

画面の項目	説明
⑥ 結果	[選択]ボタンをクリックし、結果選択画面を表示して「認証 OK」または「認証 NG」を選択します。選択した結果に該当するログ情報が検索されます。 複数の結果を選択したときは、▼をクリックして選択した結果を確認できます。 結果の選択方法、操作方法は「結果選択画面について」（158 ページ）をお読みください。
⑦ 検索	設定した検索条件に一致したログ情報を、[ログ一覧]に表示します。
⑧ クリア	設定した検索条件を消去します。

上記以外の画面の項目については、「ログ情報画面について」のログ情報画面（149 ページ）をお読みください。

3. [検索]ボタンをクリックします。

手順 2 で設定した検索条件に一致したログ情報が、[ログ一覧]に表示されます。

検索条件に一致したログ情報が見つからなかったときは、「該当するログ情報がありません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 2 から操作をやり直します。

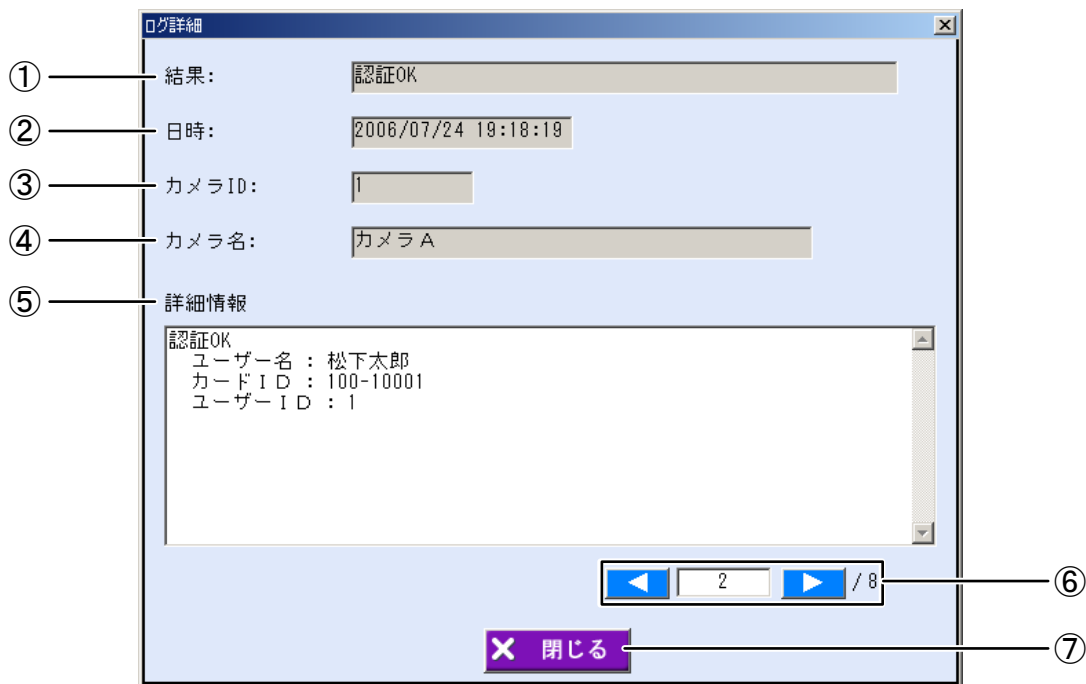




画面の項目	説明
① ログ一覧	検索されたアクセスログ情報が一覧表示されます。 [結果]で分類される「認証 OK」のログ情報は黒文字で、「認証 NG」のログ情報は赤文字で表示されます。

4. [ログ一覧]でログ情報をダブルクリックします。

ログ詳細画面が表示されます。

5. ログ情報を確認します。



画面の項目	説明
① 結果	認証結果が表示されます。
② 日時	認証を行った日時が表示されます。
③ カメラID	認証を行ったカメラのIDが表示されます。
④ カメラ名	認証を行ったカメラの名前が表示されます。
⑤ 詳細情報	アクセスログ情報の詳細が表示されます。
⑥ ログ情報表示	ログ情報画面の[ログ一覧]に表示されているログの情報を、「表示中のログ / ログ一覧に表示されているログの総数」で表示します。  ボタン：前のログ情報を表示します。  ボタン：次のログ情報を表示します。 ボタンで順番に表示することができます。
⑦ 閉じる	ログ情報画面に戻ります。

❗ ご注意

- ・アクセスログの最大件数（50 000 件）が記録されている場合、表示されたログ情報の日付の古いログ情報が自動削除されている場合があります。この場合、自動削除されたログ情報の詳細を表示しようとすると、「このログ情報はDB上から削除されたため、詳細情報を表示することができません。」のメッセージが表示されます。

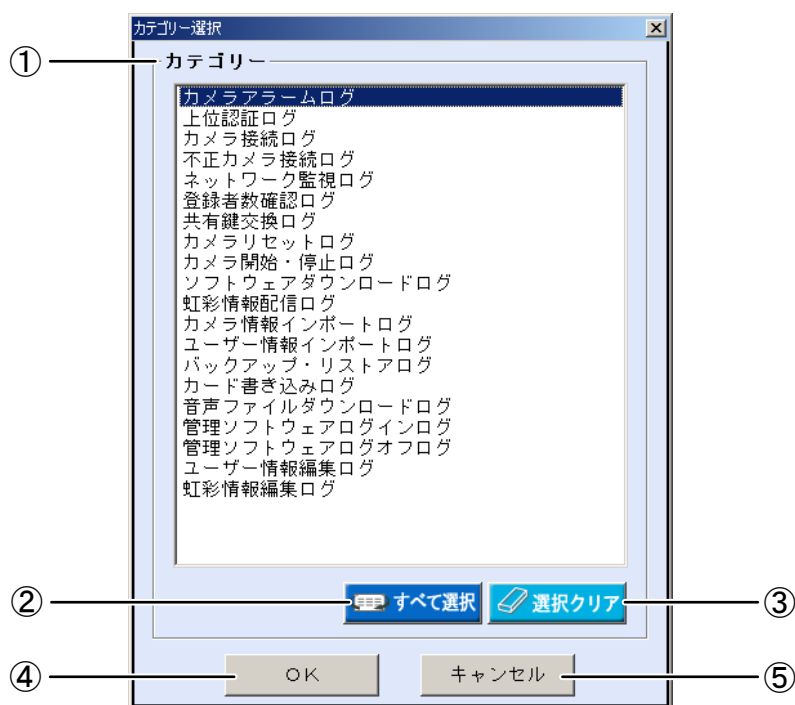
6. [閉じる]ボタンをクリックします。
ログ情報画面に戻ります。

■ カテゴリー選択画面について

ログ情報画面でカテゴリーの[選択]ボタンをクリックすると、カテゴリー選択画面が表示されます。

【操作】

1. カテゴリー選択画面で、カテゴリーを選択します。



画面の項目	説明
① カテゴリ	カテゴリが一覧表示されます。
② すべて選択	カテゴリに表示されているカテゴリをすべて選択します。
③ 選択クリア	カテゴリで選択されているカテゴリをすべて選択解除します。
④ OK	選択したカテゴリを決定して、ログ情報画面に戻ります。
⑤ キャンセル	カテゴリを選択せずに、ログ情報画面に戻ります。

2. [OK]ボタンをクリックします。

カテゴリが選択され、ログ情報画面に戻ります。

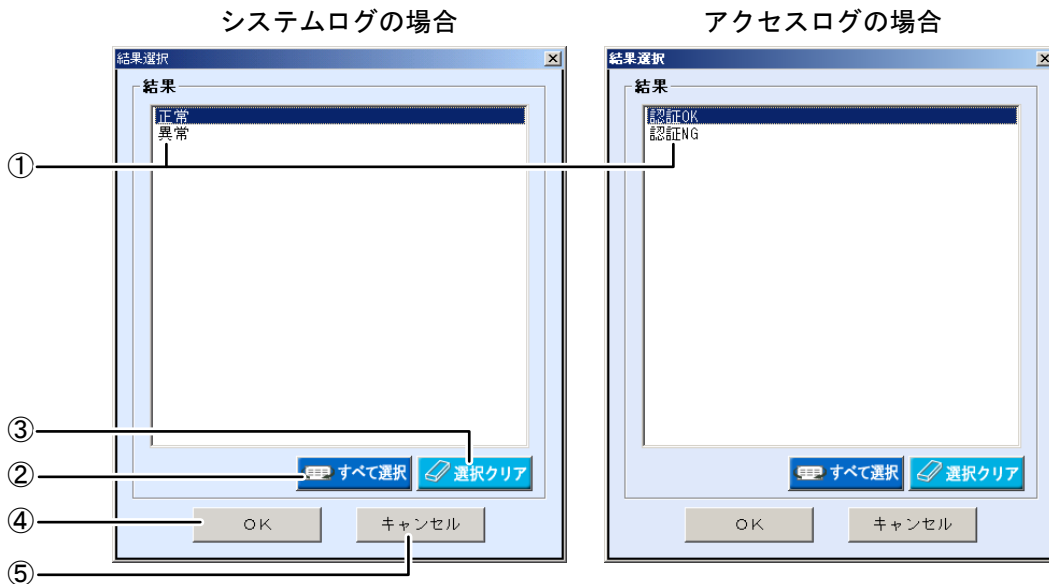
■ 結果選択画面について

ログ情報画面で結果の[選択]ボタンをクリックすると、結果選択画面が表示されます。

【操作】

1. 結果選択画面で、結果を選択します。

結果選択画面の[結果]に表示される内容は、システムログ、アクセスログで異なります。（下記図を参照）



画面の項目	説明
① 結果	結果で選択する内容が一覧表示されます。 システムログの場合は、「正常」、「異常」が表示されます。 アクセスログの場合は、「認証 OK」、「認証 NG」が表示されます。
② すべて選択	結果に表示されている結果をすべて選択します。
③ 選択クリア	結果で選択されている結果をすべて選択解除します。
④ OK	選択した結果を決定して、ログ情報画面に戻ります。
⑤ キャンセル	結果を選択せずに、ログ情報画面に戻ります。

2. [OK]ボタンをクリックします。

結果が選択され、ログ情報画面に戻ります。

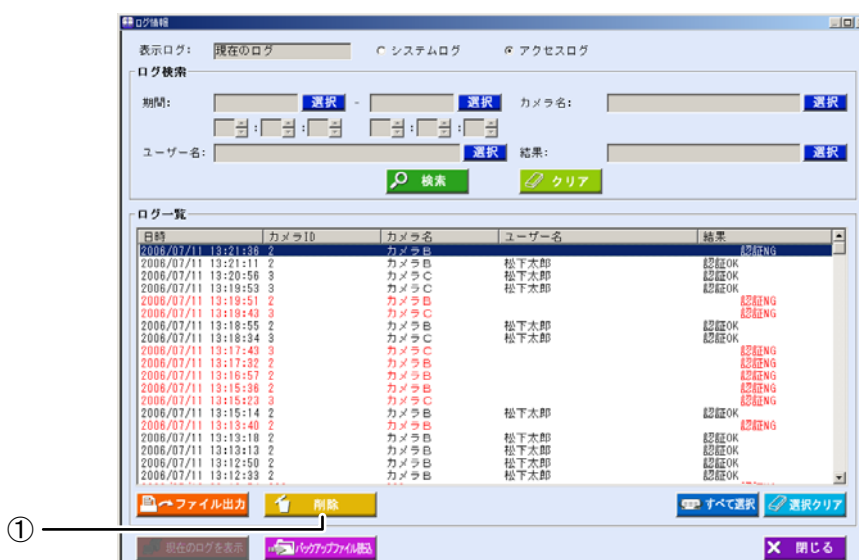
■ ログ情報を削除する

ログ情報画面の[ログ一覧]で選択したログ情報を、削除します。システムログ、アクセスログ共に同一の操作です。

【操作】 ログ情報

1. ログ情報画面で、[ログ検索]に検索条件を設定します。

すべてのログ情報を[ログ一覧]に表示するときは、検索条件を設定せずに手順 2 に進みます。



画面の項目	説明
① 削除	選択したログ情報を削除します。

上記以外の画面の項目については、「ログ情報画面について」のログ情報画面（149 ページ）をお読みください。

2. [検索] ボタンをクリックします。

手順 1 で設定したすべての検索条件に一致したログ情報が、[ログ一覧] に表示されます。検索条件に一致したログ情報が見つからなかったときは、「該当するログ情報がありません。」と表示されます。[OK] ボタンをクリックして、手順 1 から操作をやり直します。

3. [ログ一覧] からログ情報を選択します。

[ログ一覧] に表示されたログ情報を選択します。ログ情報は複数で選択できます。

4. [削除] ボタンをクリックします。

「削除してよろしいですか？」が表示されます。

5. [はい] ボタンをクリックします。

[ログ一覧] からログ情報が削除されます。

⚠️ ご注意

- ・ログ情報の最大件数（システムログ：10 000 件、アクセスログ：50 000 件）が記録されている場合、表示されたログ情報の日付が古いログ情報は自動削除されている場合があります。定期的にログ情報の確認を行い、必要に応じてログ情報のファイル出力、またはバックアップを行ってください。

■ ログ情報をファイルに出力する

ログ情報画面の[ログ一覧] に表示された情報を、ログ情報 CSV ファイル（192 ページ）に出力します。

【操作】

1. ログ情報画面で、[ログ検索] に検索条件を設定します。

すべてのログ情報を[ログ一覧] に表示するときは、検索条件を設定せずに手順 2 に進みます。



画面の項目	説明
① ファイル出力	ファイル出力を行います。

上記以外の画面の項目については、「ログ情報画面について」のログ情報画面（149 ページ）をお読みください。

2. [検索] ボタンをクリックします。

手順 1 で設定したすべての検索条件に一致したログ情報が、[ログ一覧]に表示されます。

検索条件に一致したログ情報が見つからなかったときは、「該当するログ情報がありません。」と表示されます。[OK]ボタンをクリックして、手順 1 から操作をやり直します。

3. [ファイル出力] ボタンをクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されます。

4. 出力ファイル名を設定します。

名前を付けて保存画面で、ログ情報 CSV ファイルを出力するフォルダを指定し、ファイル名を設定します。CSV ファイル名を入力します。全角または半角で登録できます。ただし、¥ / : ; * ? ` < > | は使用できません。

5. [保存] ボタンをクリックします。

[ログ一覧]に表示されているログ情報が、ログ情報 CSV ファイルに出力され、「ファイル出力が完了しました。」と表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。

ログ情報画面に戻ります。

ヒント

- ・ログ情報画面の[ログ一覧]で、並び替えを行っていた場合は、並び替えた状態でファイル出力されます。

■ バックアップしたログ情報を確認する

ログ情報を含めてバックアップ（140、142 ページ）したときは、バックアップファイルに含まれたログ情報を読み込んで、ログ情報画面で確認できます。

【操作】

1. ログ情報画面で、[バックアップファイル読込]ボタンをクリックします。
バックアップファイル選択画面が表示されます。
2. バックアップファイルを選択します。
バックアップファイル選択画面で、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定し、ログ情報を含めてバックアップしたバックアップファイルをクリックして選択します。
3. [開く]ボタンをクリックします。
手順2で選択したバックアップファイルからログ情報が読み込まれ、ログ情報画面に戻ります。
ログ情報画面で確認するログ情報が、バックアップファイルに記録されたログ情報に変更され、表示ログにバックアップファイルと表示されます。
4. ログ情報を確認します。
確認方法については、「ログ情報を確認する（システムログ）」（150 ページ）、「ログ情報を確認する（アクセスログ）」（153 ページ）をお読みください。

 ヒント

- ・バックアップファイルから読み込んだログ情報をファイル出力（CSV 形式）することができます。「ログ情報をファイルに出力する」（159 ページ）をお読みください。
5. バックアップファイルのログ情報を確認後、現在のログ情報を確認したい場合は、[現在のログを表示]ボタンをクリックします。
ログ情報画面で確認するログ情報が、現在のログ情報に変更されます。

IC カードライターの設定を行う

IC カードライターの設定について説明します。

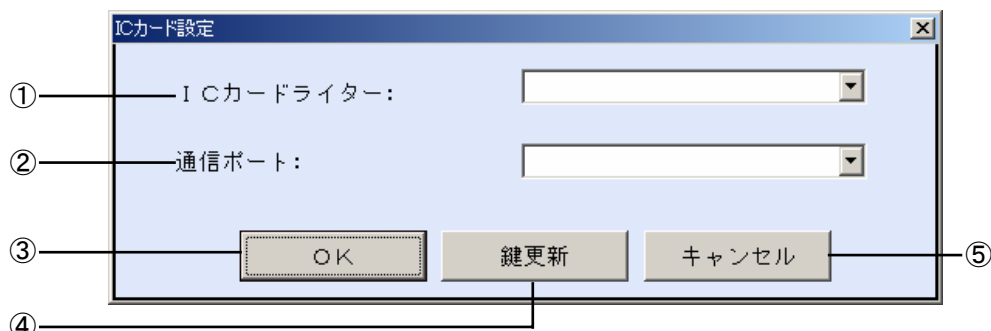
IC カードライターの設定を行う

IC カードにユーザー情報を書き込むための、IC カードライターの設定を行います。

IC カードライターの設定を行うと、ユーザー情報新規登録画面、ユーザー情報詳細画面から、登録、更新したユーザー情報を IC カードに書き込み、確認を行うことができます。また、IC カードに書き込まれているデータを消去することもできます。

【操作】 環境設定

1. 環境設定画面で、[IC カード設定] ボタンをクリックします。
IC カード設定画面が表示されます。



画面の項目	説明
① IC カードライター	ご使用になる IC カードライターを選択します。IC カードライターを使用しない場合は、空欄のままにします。 HID 社製の IC カードライターを使用する場合は「HID」を、RFIDeas 社製の IC カードライターを使用する場合は「RFIDeas」を選択します。
② 通信ポート	IC カードライターを接続する、虹彩管理サーバーのポートを指定します。 USB、COM1～5 のいずれかを選択します。
③ OK	各項目の設定を保存します。
④ 鍵更新	IC カード、IC カードライター、IC カードリーダーの鍵を更新します。
⑤ キャンセル	設定を行わずに、前の画面に戻ります。

⚠️ ご注意

- ・本ソフトウェアでサポートする IC カードライターは、「対応機器について」（18 ページ）をお読みください。詳細は、IC カードライター付属の取扱説明書をお読みになるか、代理店にてご確認ください。
- ・COM ポートの通信設定などは、IC カードライター付属の取扱説明書をお読みください。
- ・セキュリティ向上のため、「鍵の更新を行う」（164 ページ）の手順にしたがって鍵を変更することをお勧めします。

2. ご使用になる IC カードライターに合わせて、[IC カードライター]、[通信ポート] の設定を行います。
3. [OK] ボタンをクリックします。
設定が保存されると、「更新しました。」を表示します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
IC カードライター画面を閉じて、前の画面に戻ります。

鍵の更新を行う

ICカード、ICカードライター、ICカードリーダーの鍵を更新します。

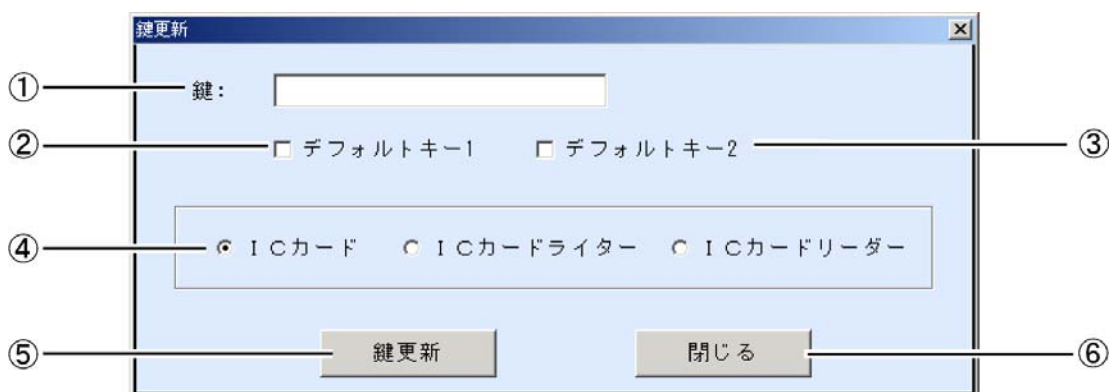
鍵の更新を行う

システムのセキュリティを高めるために、ICカード、ICカードライター、ICカードリーダーの鍵を更新することができます。

ICカードとICカードライターの鍵が一致しない場合は、ICカードへのユーザー情報の書き込み、および鍵の更新は行えません。また、ICカードとICカードリーダーの鍵が一致しない場合は、ICカードからユーザー情報を読み込むことはできません。

【操作】 環境設定

1. ICカード設定画面で、[鍵更新]ボタンをクリックします。
鍵更新画面が表示されます。



画面の項目	説明
① 鍵	設定する鍵を入力します。 16進数で16文字設定してください。
② デフォルトキー-1	ブランクカードのデフォルトキーを使用する場合に選択してください。
③ デフォルトキー-2	プログラムドカード/コンフィギュアドカードのデフォルトキーを使用する場合に選択してください。
④ 鍵更新先	ラジオボタンで鍵の更新先を指定します。ICカード、ICカードライター、ICカードリーダーが選択できます。
⑤ 鍵更新	鍵の更新を行います。
⑥ 閉じる	ICカード設定画面に戻ります。

2. ご使用になる鍵を設定し、鍵の更新先を指定します。

⚠️ ご注意

- ・デフォルトキー-1、デフォルトキー-2を使用するとセキュリティが損なわれる可能性があります。システムごとに独自の鍵を設定してください。

3. [鍵更新]ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されます。[はい]をクリックします。

4. [閉じる]ボタンをクリックします。

ICカード設定画面に戻ります。

⚠️ ご注意

- ・虹彩管理サーバーは、過去に使用した鍵を5件保持し、ICカードとICカードライターの鍵に不一致が発生した場合、これらの鍵でICカード書き込み・鍵更新などの処理を行います。この場合、ICカードとICカードライターの鍵は最新のものに更新されます。

付録

e-SG に接続する

e-SG に接続する際の基本的な設定を説明します。

カメラ情報の登録を行う

カメラ情報の登録を行います。「カメラ情報を登録する」（73 ページ）、または「カメラを更新する、削除する」（74 ページ）に従って、以下の値を設定してください。

■ 登録情報（75 ページ）

画面の項目	説明
① カメラ ID	カメラに設定された ID を入力します。 半角で、1 から 99999 の数値を登録できます。ただし、登録済みのカメラ ID と同じ値は設定できません。
② カメラ名	カメラの名前を入力します。 全角または半角で、20 文字まで登録できます。
③ IP アドレス	カメラに設定された IP アドレスを入力します。 登録済みのカメラと同じ IP アドレスは設定できません。
④ サーバー IP アドレス	「192.168.0.2」を設定してください。
⑤ サブネットマスク	「255.255.255.0」を設定してください。
⑥ ゲートウェイ IP アドレス	「192.168.0.1」を設定してください。

■ 運用情報（77 ページ）

画面の項目	説明
① セキュリティレベル	「普通」を選択してください。
② アクセスログ	「あり」を選択してください。
③ 上位認証	「上位認証なし」を選択してください。
④ 音声モード	「フル」を選択してください。
⑤ 音声言語	「日本語」を選択してください。
⑥ 認証結果出力1 (認証OK)	「出力しない」を選択してください。
⑧ 認証結果出力2 (認証NG)	「出力しない」を選択してください。
⑩ 動作状態表示ランプ	「点灯」を選択してください。

■ カードリーダー情報（79 ページ）

画面の項目	説明
① カードタイプ	「標準」を選択してください。

画面の項目	説明
② カードリーダー接続	「カード+虹彩認証モード」の場合は「あり」を選択してください。 「虹彩単独認証モード」の場合は「なし」を選択してください。
③ カードリーダー接続時の認証	②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。 「カード+虹彩認証（非スルーモード）」を選択してください。
④ パルス幅	②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。 「30 μ s」を選択してください。
⑤ パルス間隔	②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。 「1.0ms」を選択してください。
⑦ サイトコード	②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。 0を設定してください。
⑧ ユーザーコード	②[カードリーダー接続]を「あり」にした場合のみ選択できます。 64を設定してください。

■ ドア制御ボックス情報（81 ページ）

画面の項目	説明
① 通信方式	「RS-485」を選択してください。 「RS-485 設定」欄内の項目が設定可能になります。
② ボーレート	「19200bps」を選択してください。
③ パリティチェック	「ODD」を選択してください。
④ ストップビット	「1 ビット」を選択してください。
⑤ キャラクタ長	「8 ビット」を選択してください。
⑦ サイトコードの桁数	0 桁を設定してください。
⑧ ユーザーコードの桁数	ユーザーコードの桁数を 1~8 桁に設定します。ユーザーコードは、e-SG のテンキーID と一致させてください。 このユーザーコードが、e-SG のテンキーID と照合されるものです。
⑨ 送信元アドレス	1 を設定してください。
⑩ 送信先アドレス	0 を設定してください。

⚠️ ご注意

- ・ユーザーコードの桁数は、システムとして固定値としてください。導入後に変更する場合は、カメラのユーザーコード桁数、e-SG のテンキーID とともに変更する必要があります。

カメラ拡張機能の設定を行う

カメラ拡張機能の設定を行います。「カメラ機能を拡張する」（91 ページ）に従って、以下の値を設定してください。

■ カメラ拡張機能（93 ページ）

画面の項目	説明
③ ドア制御ボックスが認証結果を制御	<p>ドア制御ボックスの認証結果を制御「する」を選択してください。</p> <p>⚠ ご注意</p> <p>「しない」を選択し、e-SG と接続されている場合は認証結果が表示・音声で 2 度されます。</p>
④ タイムアウト時間	30 s を設定してください。
⑤ 外部トリガー入力	「なし」を選択してください。
⑥ ブザー信号	「あり」を選択してください。

ユーザーを登録する

ユーザー情報の登録を行います。「ユーザーを登録する」（102 ページ）に従って、以下の値を設定してください。

■ ユーザー情報新規登録（109 ページ）

画面の項目	説明
⑦ カード ID	<p>カード ID を入力します。e-SG へ接続する際はサイトコードの入力はしないでください。ユーザーコードの入力桁数は、[ドア制御ボックス情報]画面で設定した桁数に基づき入力します。このユーザーコードが、e-SG のテンキーID と照合されるものです。</p> <p>e-SG テンキーID がアルファベット未対応のため、0~9 の数値で登録してください。ただし、登録済みユーザーのカード ID と同じ値は設定できません。</p> <p>⚠ ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1~9 の数字より左側の桁にある 0 は自動的に削除されます。01 と入力した場合は 1 として認識されます。 <p>📖 ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カード ID 入力時は、サイトコード、ユーザーコードの桁数を確認してください。詳細は、110 ページをお読みください。

！ **ご注意**

・カメラのユーザーコードと e-SG テンキーID に関して

カメラのユーザーコード桁数は e-SG のテンキーID 桁数と同一としてください。e-SG のテンキーID は数値のみのため、カメラのユーザーコードでアルファベットを使用しないでください。カメラのユーザーコードは先頭の” 0” は無視されます。一方 e-SG のテンキーID は、先頭の” 0” は有効です。例えば、カメラ側では” ユーザーコード=123” と” ユーザーコード=00123” は同一の ID として扱われますが、e-SG のテンキーID では、” ユーザーコード=123” と” ユーザーコード=00123” は、同一の ID として扱われません。

ただし、ユーザーコードの桁数は、e-SG との接続において、固定の指定桁数となります。ユーザーコードの入力桁数が、この固定の桁数より少ない場合、不足分は前に” 0” が付加された値での通信となります。例えば、カメラのユーザーコードの指定桁数が 5 桁の場合にカメラのユーザーコード=” 123” と e-SG のテンキーID=” 00123” は同一の ID として扱われます。

・ユーザーコード桁数の変更に関して

登録済みの虹彩データにおいてユーザーコードの桁数を変更する場合は、桁数のオーバーフローに注意が必要です。例えば 8 桁でユーザーコードを登録した後、ユーザーコードを 5 桁に変更した場合、桁数のオーバーフローが発生して登録済みデータをカメラ側へ配信することができなくなりますので、登録済みのユーザーコードすべてを 5 桁に変更する必要があります。

・e-SG の設定に関して

e-SG の設定に関しては、統合型セキュリティシステム e-SG の取扱説明書をお読みください。
また、接続できる e-SG シリーズは各 e-SG シリーズの取扱説明書をお読みください。

エラーメッセージ一覧

インストール時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対策
一時ディレクトリへの書き込みエラー	一時ディレクトリへ書き込むには、環境変数 TEMP が設定されている必要があります。一時フォルダが存在していて、セットアップを格納するのに十分なディスク容量があることを確認してください。一時フォルダにファイルがある場合は、それらを削除して Setup.exe を再実行してください。
一時ディレクトリへの<ファイル名>の抽出エラー	Temp フォルダが書き込み可能であることを確認してください（「一時ディレクトリへの書き込みエラー」を参照）。Temp フォルダが書き込み可能な場合は、セットアップ中のファイルが壊れている可能性があります。壊れているファイルがないことを確認し、Setup.exe を再実行してください。
<言語>の ANSI コードページがシステムにインストールされていないので、選択された言語でセットアップを実行できません。セットアップを実行し、他の言語を選択してください。	セットアップを実行し、他の言語を選択してください。
このインストールを完了するための十分な権限がマシンのすべてのユーザーにありません。管理者としてログオンし、このインストールを再実行してください。	Windows® 2000 および Windows® XP では、このインストールを完了するために Windows® の管理者権限が必要です。
セットアップは、<フォルダ>に<xxxx>KB の空き容量が必要です。空き容量を増やして再度実行してください。	ターゲット位置のディスク容量が不十分です。セットアップをインストールするドライブに 10 MB 以上の空き容量があることを確認してください。
ファイル<ファイル名>を抽出できません	このエラーは、Setup.exe の中で圧縮されたファイルを抽出できない場合に発生します。Temp フォルダ（または Windows または WinNT フォルダ）に十分なディスク容量があるか、またセットアップがこれらのフォルダに書き込めるかどうか確認してください。
ファイルを保存できません<ファイル名>	指定されたファイルがすでに存在しないこと、またターゲットシステムに十分なハードディスク容量があることを確認してください。

本ソフトウェアのエラーメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・

エラーメッセージ	説明/対策
BM-ET300A、または BM-ET200 のカメラにはソフトウェアをダウンロードできません。	ダウンロードするソフトウェアとカメラの種類が一致していません。BM-ET300A のカメラには「ET300A_XXYY.bin」、BM-ET200 のカメラには「ET200_XXYY.bin」のソフトウェアを指定してください。
BM-ET330、または BM-ET200 のカメラにはソフトウェアをダウンロードできません。	ダウンロードするソフトウェアとカメラの種類が一致していません。BM-ET330 のカメラには「ET330_XXYY.bin」、BM-ET200 のカメラには「ET200_XXYY.bin」のソフトウェアを指定してください。
BM-ET330、または BM-ET300A のカメラにはソフトウェアをダウンロードできません。	ダウンロードするソフトウェアとカメラの種類が一致していません。BM-ET330 のカメラには「ET330_XXYY.bin」、BM-ET300A のカメラには「ET300A_XXYY.bin」のソフトウェアを指定してください。
BM-ET330 のカメラには音声ファイルをダウンロードできません。	ダウンロードする音声ファイルとカメラの種類が一致していません。BM-ET330 のカメラには「AUDIO_XXYY.bin」の音声ファイルを指定してください。
BM-ET200 のカメラには音声ファイルをダウンロードできません。	ダウンロードする音声ファイルとカメラの種類が一致していません。BM-ET200 のカメラには「ET200_AUDIO_XXYY.bin」の音声ファイルを指定してください。
FAX番号は半角数値（最大 15 文字）で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ICカードデータのクリアに失敗しました。	ICカードのフォーマットに失敗しました。「ICカードライターの設定を行う」（162 ページ）、「鍵の更新を行う」（164 ページ）をお読みいただき、ICカード、ICカードライターが正常か確認してください。
ICカードの書き込みに失敗しました。	ICカードの書き込みに失敗しました。「ICカードライターの設定を行う」（162 ページ）、「鍵の更新を行う」（164 ページ）をお読みいただき、ICカード、ICカードライターが正常か確認してください。
ICカードの読み込みに失敗しました。	ICカードの読み込みに失敗しました。「ICカードライターの設定を行う」（162 ページ）、「鍵の更新を行う」（164 ページ）をお読みいただき、ICカード、ICカードライターが正常か確認してください。
IPアドレスは半角数値で正しく設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
Reject ID のサイトコードがビット長を超えています。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
Reject ID のユーザーコードがビット長を超えています。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。

エラーメッセージ	説明／対策
Reject ID の桁数が多すぎます。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
Reject ID は半角数値で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
SMTP サーバーに接続できませんでした。	メール送信設定で指定されている SMTP サーバーに接続できませんでした。指定サーバーで SMTP が正常に動作しているか確認してください。
SMTP サーバー通信中にエラーが発生しました。	メール送信中にエラーが発生しました。メール送信設定で指定されている SMTP サーバーに対してメール送信ができるか確認してください。
SMTP サーバー名に誤りがあります。	メール送信設定で指定されている SMTP サーバーが見つかりません。SMTP サーバー名に誤りがないか、LAN 環境の設定が正しいか確認してください。
SMTP 認証に失敗しました。	メール送信時に、指定されている SMTP サーバーで認証に失敗しました。SMTP サーバー名、ユーザー名、パスワードに誤りがないか確認してください。
インポートできないカメラがありました。詳細はログを確認してください。	ID の重複やフォーマットエラーによりインポートできないカメラが複数ありました。詳細をログで確認してください。
インポートできないユーザーがいました。詳細はログ情報を確認してください。	ID の重複やフォーマットエラーによりインポートできないユーザーが複数いました。詳細をログで確認してください。
インポートできない配布グループがありました。	配布グループ名の重複やフォーマットエラーによりインポートできない配布グループが複数ありました。詳細をログで確認してください。
インポートファイルのフォーマットに誤りがあります。	指定されたインポートファイルのフォーマットに誤りがあります。正しいフォーマットのファイルを指定してください。
エクスポートファイルが作成できません。	出力先フォルダの容量が足りないなどの理由で処理を正常終了できませんでした。出力先フォルダを確認してください。
エクスポート先フォルダが読取専用のためファイルが作成できません。	出力先に指定されたフォルダが読み取り属性のためファイルを作成できません。別のフォルダ名を指定してください。
カード ID が違います。	虹彩オンカード用の IC カードに書き込まれたカード ID と、虹彩管理サーバーに登録されているユーザー情報のカード ID が一致しません。ユーザー情報を確認してください。
カード ID が未設定のため、配信できなかったユーザーがいました。配信を行わなかったユーザー ID は XXXX です。	カードリーダー接続があり、もしくはドア制御ボックスの通信方式が Wiegand、または RS-485 で設定されているカメラ、品番が BM-ET330 のカメラには、カード ID が未設定のユーザーを配信することはできません。ユーザー情報を確認してください。
カード ID に英字が含まれているため、配信できなかったユーザーがいました。配信を行わなかったユーザー ID は XXXX です。	ドア制御ボックスを Wiegand 通信で接続している場合、カード ID に英字を指定できません。カード ID を数字で設定しなおしてください。

エラーメッセージ	説明／対策
カードIDの桁数が多すぎます。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
カードIDの桁数が超えているため、配信できなかったユーザーがいました。配信を行わなかったユーザーIDはXXXXです。	指定されたカードIDとパリティビット（付加する場合は2ビット）の総ビット長が、カメラ設定で設定されている総ビット長を超えています。入力に誤りがないか確認してください。
カードIDは半角英数字で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
カメラID：XXXX はリセット中です。	カメラがリセット中のため、指定された処理を行うことができません。カメラ起動後、処理を指定してください。
カメラID：XXXX は認証カメラ／登録カメラの切換え処理で通信異常が発生しました。	認証カメラ／登録カメラの切換えを行うカメラと通信ができませんでした。接続状態を確認してください。
カメラIDは1～99999の半角数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
カメラからの応答がありません。	カメラとの通信でエラーが発生しました。ネットワークの状態を確認してください。カメラおよび本ソフトウェアを再起動しても、同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
カメラから接続がありましたが、設定されているIPアドレスが違います。（接続IPアドレス：XXX.XXX.XXX.XXX）	登録されたカメラ情報と、接続のあったカメラのIPアドレスが異なっています。該当カメラのIPアドレスを確認してください。
カメラでシステムエラーが発生しました。	カメラをリセットしてください。カメラをリセットしても同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
カメラと管理サーバーで共有鍵が一致していません。	カメラをリセットしてください。
カメラに共有鍵が存在しません。	カメラをリセットしてください。
カメラのシステムリソースが不足しているか、ダウンロードデータが不正です。	ダウンロードしたソフトウェアファイルが正しいかどうか確認してください。正しい場合はカメラをリセットしてください。
カメラの電源が入っていません。	カメラの電源を入れてください。
カメラの動作状態変更に失敗しました。	カメラをリセットしてください。
カメラへの接続に失敗しました。	カメラとの通信でエラーが発生しました。ネットワークの状態を確認してください。カメラおよび本ソフトウェアを再起動しても、同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ゲートウェイIPアドレスは半角数値で正しく設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
虹彩情報が登録されていないユーザーはエクスポートできません。	スタンドアロンモード用にエクスポートする場合、虹彩情報が登録されていないユーザーはエクスポートできません。

エラーメッセージ	説明／対策
虹彩情報が登録されていないユーザーはエクスポートできません。虹彩情報が登録されているユーザーのみエクスポートしますか？	スタンドアローンモード用にエクスポートする場合、虹彩情報が登録されていないユーザーはエクスポートできません。
このログ情報はDB上から削除されたため、詳細情報を表示することができません。	一覧画面表示中に新たなログが追加され、指定されたログ情報は保存ログ数を超えるために削除されました。
サーバーIPアドレスは半角数値で正しく設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
サーバー名は半角英数字、“.”、“-”で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
サイトコードがカメラ初期値設定で設定したビット長を超えています。処理を続けますか？	指定されたサイトコードのビット長がカメラ初期値設定で設定されているビット長を超えています。入力に誤りはないか確認してください。ビット長を超えて設定することは可能です。
サブネットマスクは半角数値で正しく設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
システムエラー(XXXXXXXX)	システムに異常があります。虹彩管理サーバーを再起動しても同じメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
システムリソースが不足しました。	システム資源が不足しています。不要なプロセスを動作させないようにするかメモリを追加してください。
送信先アドレスは 0 ～ 99999 の半角数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
送信元アドレスは 0 ～ 99999 の半角数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
タイムアウト時間は 1 ～ 60 の半角数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ダウンロードファイルではありません。	指定されたダウンロードファイルに誤りがあります。正しいダウンロードファイルを指定してください。
ドライブが存在しないか、ドライブの準備ができていません。	出力先に指定したドライブにアクセスできません。ドライブを確認してください。
ネットワークコンピュータにエクスポートする場合、ネットワークドライブを割り当ててから指定してください。	ネットワークドライブに割り当てられていないネットワーク上のフォルダを出力先に指定しています。ネットワークドライブに設定されているフォルダを指定してください。
ネットワークコンピュータにバックアップする場合、ネットワークドライブを割り当ててから指定してください。	ネットワークドライブに割り当てられていないネットワーク上のフォルダを出力先に指定しています。ネットワークドライブに設定されているフォルダを指定してください。
ネットワークコンピュータにログファイル出力する場合、ネットワークドライブを割り当ててから指定してください。	ネットワークドライブに割り当てられていないネットワーク上のフォルダを出力先に指定しています。ネットワークドライブに設定されているフォルダを指定してください。

エラーメッセージ	説明／対策
ネットワーク監視で異常が発生しました。	ネットワーク状態が正しくないカメラがありました。ネットワークの状態を確認してください。
ネットワーク監視間隔は 30～9999 までの半角数値で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
「パスワード入力」と「再パスワード入力」で入力されたパスワードが一致しません。	入力されたパスワードが一致していません。入力に誤りがありましたので再度入力してください。
パスワードは半角英数字で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
バックアップDBは、ライセンス数より登録ユーザー数が多いため、リストアップできません。	バックアップDBに登録されているユーザー数がライセンス数を超過しています。ライセンスの追加を行ってください。
バックアップに失敗しました。	バックアップ処理に失敗しました。出力先指定に誤りがないか確認してください。
バックアップファイルが作成できません。	容量不足のためファイルが作成できません。出力先を確認してください。
バックアップファイルが正しくないか、バックアップファイル内にログ情報がありません。	指定したバックアップファイル正しくないか、ログ情報ファイルが含まれていません。ログ情報が含まれているバックアップファイルを指定してください。
バックアップファイル名は、ドライブからパスを指定してください。	出力先に指定されたファイルのドライブ名を含むパスが設定されていません。ドライブ名を含むパスを設定してください。
バックアップフォルダが読取専用のためバックアップファイルが作成できません。	バックアップ先に指定されたフォルダが読み取り専用のためファイルの作成ができません。フォルダの属性を変更してください。
バックアップを実行中です。同時に実行することはできません。	バックアップ実行中のため指定の処理を行うことができません。しばらく待ってから再度操作してください。
ファイルの拡張子を“.XXX”にして実行してください。	指定されたファイルの拡張子に誤りがあります。正しい拡張子を指定してください。
フォルダが作成できません。	出力先に指定されたフォルダの作成に失敗しました。別のフォルダ名を指定してください。
ポート番号は数値で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
メールアドレスは半角英数字、“-”、“_”、“.”、“@”で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ユーザーID:XXXX に存在しないグループが設定されているため、配布グループの設定を削除してインポートしました。	インポートファイルのユーザーに設定されている配布グループが存在しなかったために設定を削除してインポートしました。本ソフトウェアで配布グループの設定を行ってください。
ユーザーID:XXXX のYYYYY は既に存在します。ユーザーID:XXXX はインポートできませんでした。	すでに登録されているユーザーと、ユーザーIDまたはカードIDまたは虹彩情報が重複しているためにインポートできませんでした。登録済みユーザーを削除するか、インポートファイルに誤りがないか確認してください。

エラーメッセージ	説明／対策
ユーザーIDの重複によりインポートできないユーザーがありました。インポートできなかったユーザーを新規登録しますか？	すでに登録されているユーザーと、ユーザーIDが重複しているためにインポートできませんでした。ユーザーIDを変更して新規登録することができます。
ユーザーIDは半角英数字（最大16文字）で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ユーザーが多すぎるため、エクスポートできません。	スタンドアローンモード用にユーザー情報をエクスポートする場合、最大人数は50人です。50人以下になるようにユーザーを選択してください。
ユーザーコードがカメラ初期値設定で設定したビット長を超えています。処理を続けますか？	指定されたユーザーコードのビット長がカメラ初期値設定で設定されているビット長を超えています。入力に誤りはないか確認してください。ビット長を超えて入力することは可能です。
ユーザーコードのビット長に0は設定できません。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ユーザーコードの桁数に0は設定できません。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ユーザー名は半角英数字で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
ライセンス違反のため、起動できません。	ライセンス情報に誤りがあります。ライセンスのアンインストールを行い、再度インストールしてください。再インストール後も発生する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ライセンス数の変更後、再起動されていません。再起動してください。	ユーザーライセンス追加ソフトウェアのインストール後に、虹彩管理サーバーが再起動されていません。再起動を行ってください。
リセット中、またはMACアドレス未取得、状態不明、ダウンロード要、BM-ET300Aのカメラには音声ファイルをダウンロードできません。	指定されたカメラは、リセット中または電源が入っていないなどのため処理を行うことができません。電源を入れるか、リセット中の場合はしばらく待ってから再度操作してください。
リセット中、またはMACアドレス未取得、状態不明のカメラにはソフトウェアをダウンロードできません。	指定されたカメラは、リセット中または電源が入っていないなどのため処理を行うことができません。電源を入れるか、リセット中の場合はしばらく待ってから再度操作してください。
リセット中、またはMACアドレス未取得、登録用、ダウンロード要、状態不明、虹彩オンカード、設定エラーのカメラには虹彩情報を配信できません。	指定されたカメラは、リセット中または電源が入っていないなどのため処理を行うことができません。電源を入れるか、リセット中の場合はしばらく待ってから再度操作してください。
音声ファイルではありません。	指定された音声ファイルに誤りがあります。正しい音声ファイルを指定してください。
外部操作により、共有鍵交換設定情報が変更されています。	共有鍵交換のタスクスケジュールを本ソフトウェア以外から操作されています。再度登録してください。
外部操作により、自動バックアップスケジュールが変更されています。	自動バックアップのタスクスケジュールを本ソフトウェア以外から操作されています。再度登録してください。

エラーメッセージ	説明／対策
外部操作により、自動リポートスケジュールが変更されています。	自動リポートのタスクスケジュールを本ソフトウェア以外から操作されています。再度登録してください。
環境に誤りがあります。	システム環境に異常があります。虹彩管理サーバーを再起動しても同じメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
管理者名は半角英数字で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
管理者名またはパスワードが一致しません。	管理者名またはパスワードに誤りがあります。再入力してください。
管理者名または虹彩が一致しません。	撮影した虹彩が、管理者に登録されている虹彩と一致しませんでした。管理者名に誤りがないか、管理者に虹彩に登録しているか確認してください。
既にユーザーID:XXXX は存在します。ユーザーID:XXXX はインポートできませんでした。	すでに登録されているユーザーIDを指定しているユーザーがインポートファイルに含まれていました。インポートファイル内のユーザーIDを変更してください。
既に起動しています。	本ソフトウェアを二重に起動しました。
既に登録可能カメラ数まで登録されています。カメラのインポートはできません。	登録可能なカメラの台数は256台です。登録可能カメラ数を超えて登録しようとしています。不要なカメラを削除してください。
共有鍵交換は成功しましたが、動作開始に失敗しました。	共有鍵交換後の動作開始に失敗しています。カメラが停止状態になっているため開始させてください。
共有鍵交換中にデータの改竄がありました。	カメラと本ソフトウェアで鍵が異なります。カメラの状態が正しいか確認してください。
共有鍵交換中に異常が発生しました。	カメラとの通信でエラーが発生しました。ネットワークの状態を確認してください。カメラおよび本ソフトウェアを再起動しても同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
共有鍵交換中のデータの復号に失敗しました。	カメラとの通信でエラーが発生しました。ネットワークの状態を確認してください。カメラおよび本ソフトウェアを再起動しても同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
検索条件（カメラ）が多すぎます。	検索条件が複雑になるため処理できません。検索条件に指定するカメラは40台までにしてください。
検索条件（グループ）が多すぎます。	検索条件が複雑になるため処理できません。検索条件に指定するグループは40個までにしてください。
検索条件（ユーザー）が多すぎます。	検索条件が複雑になるため処理できません。検索条件に指定するユーザーは40名までにしてください。
更新できませんでした。	入力値に誤りがあるか、入力必須項目が設定されていないため、情報の更新が行えませんでした。入力値を確認してください。
指定したファイルは既に存在します。読取専用のため上書きできません。	出力先に指定されたファイルがすでに存在し、読み取り属性のため上書きできません。別のファイル名を指定してください。

エラーメッセージ	説明／対策
時刻の指定に誤りがあります。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
自動バックアップフォルダが見つかりません。	バックアップ先に指定されたフォルダが存在しません。正しいフォルダを指定してください。
自動バックアップ処理中のため、レポート処理を中止しました。	自動バックアップと自動レポートの時間が重なったためにレポートを中止しました。スケジュールを重ならないように設定してください。
上位認証要求がありました。結果：認証 NG、ID なし	上位認証で通知された ID に相当する ID が存在しなかったため認証エラーとしました。
上位認証要求がありました。結果：認証 NG、虹彩情報なし	上位認証で通知された ID に相当する虹彩情報でなかったため認証エラーとしました。
上位認証要求がありました。通信データに誤りがありました。	カメラとの通信でエラーが発生しました。ネットワークの状態を確認してください。カメラおよび本ソフトウェアを再起動しても、同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
上位認証要求がありましたが、カメラの設定が上位認証なしのため、上位認証を行いませんでした。	設定変更中に上位認証が行われたために、本ソフトウェアとカメラで設定に違いが発生しました。現在の設定を確認してください。
接続時の状態が正しくありません。	カメラからの接続がありましたが、動作状態が正しくありません。カメラの状態を確認してください。
総ビット長が 26～128 となるように数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
総桁数が 1～38 となるように数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
送信可能ユーザー数を超過したため、配信できない虹彩情報があります。配信を行わなかったユーザー ID は XXXX です。	カメラに配信できる虹彩情報は 5 025 人分です。配信可能人数を超えて配信しようとしています。ユーザー情報、配布グループ情報を確認して、設定を行ってください。
送信元は半角英数字、"-","_",".","@"で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
他のカメラと IP アドレスが重複しています。	すでに登録されているカメラと IP アドレスが重複しています。IP アドレスを重複させることはできません。IP アドレスに誤りがないか確認してください。
他のカメラとカメラ ID が重複しています。	すでに登録されているカメラとカメラ ID が重複しています。カメラ ID を重複させることはできません。カメラ ID を変更してください。
他のバックアップスケジュールと日付及び時間が重複しています。	同じスケジュールでバックアップスケジュールを複数設定しようとしています。日時の指定に誤りがないか確認してください。
他のバックアップスケジュールと名前が重複しています。	すでに登録されているスケジュールと名称が重複しています。名称を変更してください。

エラーメッセージ	説明／対策
他のバックアップスケジュールと曜日及び時間が重複しています。	同じスケジュールでバックアップスケジュールを複数設定しようとしています。曜日と時間の指定に誤りがないか確認してください。
他のユーザーとカードIDが重複しています。	すでに登録されているユーザーとカードIDが重複しています。カードIDを重複させることはできません。カードIDを変更してください。
他のユーザーとユーザーIDが重複しています。	すでに登録されているユーザーとユーザーIDが重複しています。ユーザーIDを重複させることはできません。ユーザーIDを変更してください。
他のユーザーと虹彩情報が重複しています。	他のユーザー名で同じ虹彩が登録されているため登録できません。登録済みユーザーを削除してください。
他の管理者と管理者名が重複しています。	すでに登録されている管理者と管理者名が重複しています。管理者名を重複させることはできません。管理者名を変更してください。
通信エラーが発生しました。	カメラとの通信でエラーが発生しました。ネットワークの状態を確認してください。カメラおよび本ソフトウェアを再起動しても同じエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
電話番号は半角数値（最大 15 文字）で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
登録可能カメラ数を超えています。	登録可能なカメラの台数は 256 台です。登録可能カメラ数を超えて登録しようとしています。不要なカメラを削除してください。
登録可能カメラ数を超えています。カメラ ID:XXXX 以降のカメラはインポートできませんでした。	登録可能なカメラの台数は 256 台です。登録可能カメラ数を超えてインポートしようとしています。不要なカメラを削除してください。
登録可能グループ数を超えるため登録できません。	登録可能な配布グループの数は 256 です。登録可能配布グループ数を超えて登録しようとしています。不要な配布グループを削除してください。
登録可能ユーザー数 XXXX 人を超えるため登録できません。	ライセンス数を超えるユーザーを登録しようとしています。ライセンスを追加するか不要なユーザーを削除してください。
登録可能ユーザー数を超えています。	ライセンス数を超えるユーザーを登録しようとしています。ライセンスを追加するか不要なユーザーを削除してください。
登録可能ユーザー数を超えています。ユーザーID:XXXX 以降のユーザーはインポートできませんでした。	ライセンス数を超えるユーザーを登録しようとしています。ライセンスを追加するか不要なユーザーを削除してください。
登録者数がカメラと管理サーバーで異なっています。 カメラ（配信数：XX 人、上位認証者数：WW 人） サーバー（配信数：YY 人、上位認証者数：ZZ 人）	カメラと本ソフトウェアで登録者数が異なっています。ユーザー情報の配信ができていなかった可能性があります。再度ユーザー情報を配信してください。

エラーメッセージ	説明／対策
登録者数が一致しません。手動で虹彩情報を配信してください。	虹彩管理サーバーとカメラ間で登録者数に違いがあります。手動で虹彩情報配信を行ってください。
登録者数確認間隔は 30～9999 までの半角数値で設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
虹彩情報が他の管理者と重複しています。	他の管理者名で同じ虹彩が登録されているため登録できません。登録済み管理者を削除してください。
日付が重複しています。	同じ日付で自動リポートスケジュールを複数設定しようとしています。日付の指定に誤りがないか確認してください。
認証 OK でしたが、該当ユーザー（カード ID：XXXX）がいませんでした。	虹彩オンカードで認証 OK になりましたが、該当するユーザー情報が虹彩管理サーバーから削除されているか変更されています。ユーザー情報を確認してください。
認証結果出力 1 の出力幅は 100 ms～60000 ms の半角数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
認証結果出力 2 の出力幅は 100 ms～60000 ms の半角数値を設定してください。	入力値に誤りがあります。有効な値を入力してください。
配信ユーザー数が 5 025 人を超えているため、配信できなかったユーザーがいました。	1 台のカメラに配信できるユーザー数は 5 025 人までです。5 025 人を超えるユーザーが指定されていたため、配布できなかったユーザーがいます。
配布カメラが選択済です。配布グループの選択はできません。	検索条件に配布カメラと配布グループを同時に指定することはできません。どちらかの条件のみを指定してください。
配布グループが選択済です。配布カメラの選択はできません。	検索条件に配布カメラと配布グループを同時に指定することはできません。どちらかの条件のみを指定してください。
配布グループが選択済です。配布ユーザーの選択はできません。	検索条件に配布ユーザーと配布グループを同時に指定することはできません。どちらかの条件のみを指定してください。
配布グループ数が制限を超えているため、リストアできない配布グループがありました。	登録可能な配布グループの数は 256 です。登録可能配布グループ数を超過してリストアしようとしています。257 番目以降の配布グループはリストアされません。
配布グループ名が既に存在します。	すでに登録されている配布グループと名称が重複しています。配布グループ名を重複させることはできません。名称を変更してください。
配布ユーザーが選択済です。配布グループの選択はできません。	検索条件に配布ユーザーと配布グループを同時に指定することはできません。どちらかの条件のみを指定してください。
不正なカメラからのアクセスがありました。 アクセスしたカメラの MAC アドレス：	不正なカメラからのアクセスの可能性がります。カメラの状態が正しいか確認してください。故障などによりカメラ本体を交換した場合は本ソフトウェアで MAC アドレスをクリアしてください。

エラーメッセージ	説明／対策
未登録のカメラから接続がありました。	本ソフトウェアで登録していないカメラからの接続がありました。不正なアクセスでない場合は、カメラを登録してください。
配信されているユーザーがサーバーの設定と一致しません。手動で虹彩情報を配信してください。	虹彩管理サーバーとカメラ間で登録者数に違いがあります。手動で虹彩情報配信を行ってください。
カメラの一部に異常が発生している可能性があります。(A01~A07,A16,A19)	カメラの電源を入れ直しても同じアラームが発生する場合には、エラーコードとともにお買い上げの販売店にお問い合わせください。
制御ボックスと接続されていない可能性があります。(A08)	“ドア制御ボックスの電源が入っているか” または “カメラとドア制御ボックスが正しく接続されているか” を確認してください。
カードリーダーと接続されていない可能性があります。(A09)	“カードリーダーの電源が入っているか” または “カメラとカードリーダーが正しく接続されているか” を確認してください。
不正アクセスが発生した可能性があります。(A10)	登録されていない人による不正アクセスが連続して行われている可能性があります。
不正アクセスが発生した可能性があります。(A11)	義眼や写真を用いての不正アクセスが行われている可能性があります。
カメラが外されたか、開けられた可能性があります。(A12)	カメラの設置状態を確認してください。
カメラのタンパ検出機能が解除されました。(A13)	カメラの設置状態を確認してください。
カメラの時計が故障した可能性があります。(A14)	カメラの電源を入れ直しても同じアラームが発生する場合は、エラーコードとともにお買い上げの販売店にお問い合わせください。
オプションボードが接続されていません。(A15)	オプションボードの接続を確認してください。
カメラソフトウェアのダウンロードに失敗した可能性があります。(A20)	カメラの状態取得を行い、カメラソフトウェアのバージョンを確認してください。

情報表示ウィンドウのメッセージ

メッセージ	説明
MAC アドレスが不一致です。	不正なカメラからの接続がありました。詳細画面で内容を確認してください。
カメラからアラームを受信しました。	カメラからアラーム情報が通知されました。詳細画面で内容を確認してください。
カメラからの接続処理中に異常が発生しました。	カメラとの通信中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。
共有鍵交換中に異常が発生しました。	カメラとの共有鍵交換中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。
自動バックアップで異常が発生しました。	自動バックアップの処理中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。
上位認証中に異常が発生しました。	カメラからの上位認証処理中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。
登録者数確認で異常が発生しました。	登録者数確認の処理中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。
ネットワーク監視で異常が発生しました。	ネットワーク監視の処理中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。
未登録のカメラから接続がありました。	未登録のカメラから接続がありました。詳細画面で内容を確認してください。
メール送信中に異常が発生しました。	アラーム情報のメール送信中に異常が発生しました。詳細画面で内容を確認してください。

ファイル形式

本ソフトウェアでインポート、またはエクスポートできる CSV ファイル形式のフォーマットを説明します。

本ソフトウェアで扱う CSV ファイルについて

■ 入力必須項目について

カメラ情報 CSV ファイル、ユーザー情報 CSV ファイルをインポートして本ソフトウェアに情報を登録する場合は、入力必須項目が設定されている必要があります。以降の説明では、表中の「必須」欄に以下の記号を使用して、入力必須項目を表記します。

- ◎ 入力必須項目を示します。設定されていない場合は、インポート時にエラーになります。
- 特定条件下での入力必須項目。関連する上位項目の設定により、入力が必要になる項目を示します。
- △ 任意入力の項目。入力した場合に、値が反映されます。
- × エクスポートのみされる項目です。インポート時には値は反映されません。

■ 設定値のフォーマットについて

本ソフトウェアでエクスポートしたファイルやインポート用に作成した CSV ファイルを編集する場合、ご使用になる編集用ソフトウェアの機能や設定により、文字列を数値として認識されてしまう場合があります。例えば、ユーザー情報のユーザーIDを「001」と設定した場合、文字列では、“001”となりますが、数値の「1」に変換されてしまうことがあります。ご使用になる編集用ソフトウェアの設定などを行ってから、編集を行ってください。

カメラ情報 CSV ファイル

カメラ設定／保守画面にインポート（74 ページ）したり、カメラ設定／保守画面からエクスポート（82 ページ）したりできる CSV ファイルです。

この CSV ファイルは、カメラ情報詳細画面の各設定項目をインポート、エクスポートできます。

画面	項目	必須	入力できる値や文字数など
登録情報	カメラ ID	◎	半角数値 1 から 99999 で設定します。また、文字列として扱う必要があるため、数値の前後に、“（ダブルクォーテーション）を付けます。 例 カメラ ID が 1 の場合は、“1”と設定します。 登録済みのカメラ ID と同じ値は設定できません。
	カメラ名	◎	全角または半角で、20 文字までで設定します。 また、文字列として扱う必要があるため、文字の前後に、“（ダブルクォーテーション）を付けます。 例 カメラ名がカメラ A の場合は、“カメラ A”と設定します。
	IP アドレス	◎	半角で「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で設定します。 （XXX は 0 から 255 の数値） また、文字列として扱う必要があるため、数値の前後に、“（ダブルクォーテーション）を付けます。 例 IP アドレスが 192.168.0.3 の場合は、“192.168.0.3”と設定します。
	サーバー IP アドレス	◎	半角で「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で設定します。 （XXX は 0 から 255 の数値） また、文字列として扱う必要があるため、数値の前後に、“（ダブルクォーテーション）を付けます。 例 サーバー IP アドレスが 192.168.0.2 の場合は、“192.168.0.2”と設定します。
	サブネットマスク	◎	半角で「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で設定します。 （XXX は 0 から 255 の数値） また、文字列として扱う必要があるため、数値の前後に、“（ダブルクォーテーション）を付けます。 例 サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合は、“255.255.255.0”と設定します。
	ゲートウェイ IP アドレス	△	半角で「XXX.XXX.XXX.XXX」形式で設定します。 （XXX は 0 から 255 の数値） また、文字列として扱う必要があるため、数値の前後に、“（ダブルクォーテーション）を付けます。 例 ゲートウェイ IP アドレスが 192.168.0.1 の場合は、“192.168.0.1”と設定します。なお、“0.0.0.0”は設定できません。
	運用情報	セキュリティレベル	◎
アクセスログ		◎	あり、なし のいずれか
上位認証		◎	上位認証あり、上位認証なし、上位認証のみ のいずれか

画面	項目	必須	入力できる値や文字数など
	音声モード	◎	ミュート、シンプル、フル のいずれか
	音声言語	◎	英語、日本語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語、トルコ語、オランダ語、スウェーデン語 のいずれか
	認証結果出力1 (認証 OK)	◎	出力しない、出力する のいずれか
	出力幅 (認証OK)	○	認証結果出力1 (認証 OK) で 出力する を選択した場合に設定します。 半角数値 1~600 で設定します。
	認証結果出力2 (認証 NG)	△	出力しない、出力する のいずれか
	出力幅 (認証NG)	○	認証結果出力2 (認証 NG) で 出力する を選択した場合に設定します。 半角数値 1~600 で設定します。
	動作状態表示ランプ	◎	消灯、点滅、点灯 のいずれか
カードリーダー 情報	カードタイプ	◎	標準、虹彩オンカード のいずれか
	カードリーダー接続	△	あり、なし のいずれか
	カードリーダー 接続時の認証	○	カードリーダー接続で あり を選択した場合に設定します。 カード+虹彩認証 (非スルーモード)、カード認証のみ (スルーモード) のいずれか
	パルス幅	○	カードタイプで 標準 を選択した場合に設定します。 30 μ s、40 μ s、50 μ s のいずれか
	パルス間隔	○	カードタイプで 標準 を選択した場合に設定します。 1.0 ms、1.5 ms、2.0 ms のいずれか
	サイトコード	○	カードタイプで 標準 を選択した場合に設定します。 半角数値 0 から 125 で設定します。
	ユーザーコード	○	カードタイプで 標準 を選択した場合に設定します。 半角数値 1 から 126 で設定します。
ドア制御ボック ス情報	通信方式	△	Wiegand、RS-485 のいずれか
	パルス幅	○	通信方式で Wiegand を選択した場合に設定します。 30 μ s、40 μ s、50 μ s のいずれか
	パルス間隔	○	通信方式で Wiegand を選択した場合に設定します。 1.0 ms、1.5 ms、2.0 ms のいずれか
	サイトコード	○	通信方式で Wiegand を選択した場合に設定します。 半角数値 0 から 125、または空欄で設定します。
	ユーザーコード	○	通信方式で Wiegand を選択した場合に設定します。 半角数値 1 から 126 で設定します。
	Reject ID	○	通信方式で Wiegand を選択した場合に設定します。 [サイトコード]-[ユーザーコード]形式で、10進数で入力します。サイトコードは空欄のままでも設定できます。
	ボーレート	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 9600 bps、19200 bps、38400 bps のいずれか

画面	項目	必須	入力できる値や文字数など
	パリティチェック	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 NONE、ODD、EVEN のいずれか
	ストップビット	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 1 ビット、2 ビット のいずれか
	キャラクタ長	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 8 ビット、7 ビット のいずれか
	サイトコードの桁数	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 半角数値 0 から 37 で設定します。
	ユーザーコードの桁数	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 半角数値 1 から 38 で設定します。
	送信元アドレス	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 半角数値 0 から 99999 で設定します。
	送信先アドレス	○	通信方式で RS-485 を選択した場合に設定します。 半角数値 0 から 99999 で設定します。
カメラ拡張機能	ドア制御ボックスが 認証結果を制御	◎	する、しない のいずれか
	タイムアウト時間	○	ドア制御ボックスが認証結果を制御で する を選択した場合 に設定します。 半角数値 1~60 で設定します。
	外部トリガー入力	◎	あり、なし のいずれか
	ブザー信号	◎	あり、なし のいずれか
カメラ状態	ネットワーク状態	×	ネットワーク状態が出力されます
	カメラ状態	×	カメラ状態が出力されます
	虹彩情報登録者数	×	虹彩情報登録者数が出力されます
	カメラソフトウェア バージョン	×	カメラソフトウェアバージョンが出力されます。
	音声ファイル バージョン	×	音声ファイルバージョンが出力されます。
	配布グループ	×	カメラが登録されている配布グループ名が出力されます。

❗ ご注意

- ・ネットワーク状態、カメラ状態、虹彩情報登録者数、カメラソフトウェアバージョン、音声ファイルバージョン、配布グループはインポートできません。

📖 ヒント

- ・カメラ情報 CSV ファイルをエクスポートすると、本ソフトウェアに登録されているカメラ情報のほかに、カメラ情報 CSV ファイルに指定できる文字列の一覧が CSV ファイルの最後に出力されます。インポート用の CSV ファイルを作成するときに、その一覧からコピーペーストすると、CSV ファイルのインポートに失敗することがありません。
インポート用の CSV ファイルの最後に、指定できる文字列の一覧が記載されていても、その部分は読み込まれません。

■ カメラ情報 CSV ファイルの例

以下は、カメラ情報 CSV ファイルの例です。

1 行目はヘッダー、2 行目以降が実際のデータです。この例では、5 行目以降がカメラ情報 CSV ファイルに指定できる文字列の一覧です。

- 1行目：カメラID,カメラ名,IP アドレス,サーバーIP アドレス,サブネットマスク,ゲートウェイ IP アドレス,セキュリティレベル,アクセスログ,上位認証,音声モード,音声言語,認証結果出力1（認証OK）,出力幅（認証OK）, 認証結果出力2（認証NG）,出力幅（認証NG）,動作状態表示ランプ,カードタイプ,カードリーダー接続,カードリーダー接続時の認証,パルス幅,パルス間隔,サイトコード,ユーザーコード,通信方式,パルス幅,パルス間隔,サイトコード,ユーザーコード,Reject ID,ボーレート,パリティチェック,ストップビット,キャラクタ長,サイトコードの桁数,ユーザーコードの桁数,送信元アドレス,送信先アドレス,ドア制御ボックスが認証結果を制御,タイムアウト時間,外部トリガー入力,ブザー信号,ネットワーク状態,カメラ状態,虹彩情報登録者数,カメラソフトウェアバージョン,音声ファイルバージョン,配布グループ,
- 2行目：“1”,“カメラA”,“192.168.0.101”,“192.168.0.2”,“255.255.255.0”,“192.168.0.1”,高,あり,上位認証あり,ミュート,日本語,出力する,100,出力する,100,点滅,標準,なし,,,,,Wiegand,30 us,1.0 ms,8,16,123-456,,,,,,しない,,なし,なし,正常,登録あり(動作中),0/0,”2004/07/23 10:00 Ver00.26 ET200 ”,”Ver01.02”,“研究室用配布グループ”,
- 3行目：“2”,“カメラB”,“192.168.0.102”,“192.168.0.2”,“255.255.255.0”,“192.168.0.1”,高,あり,上位認証あり,ミュート,日本語,出力する,100,出力する,100,点滅,標準,なし,,,,,Wiegand,30 us,1.0 ms,8,16,123-456,,,,,,しない,,なし,なし,正常,登録あり(動作中),0/0,”2004/07/23 10:00 Ver00.26 ET200 ”,”Ver01.02”,“研究室用配布グループ”,
- 4行目：“3”,“カメラC”,“192.168.0.103”,“192.168.0.2”,“255.255.255.0”,“192.168.0.1”,高,あり,上位認証あり,ミュート,日本語,出力する,100,出力する,100,点滅,標準,なし,,,,,Wiegand,30 us,1.0 ms,8,16,123-456,,,,,,ない,,なし,なし,正常,登録あり(動作中),0/0,”2004/07/23 10:00 Ver00.26 ET200 ”,”Ver01.02”,“研究室用配布グループ”,
- 5行目：##,
- 6行目：##インポート用データ項目を出力します。 ,
- 7行目：##共通項目,
- 8行目：# セキュリティレベル,,高,普通,
- 9行目：# アクセスログ,,あり,なし,
- 10行目：# 上位認証,,上位認証あり,上位認証なし,上位認証のみ,
- 11行目：# 音声モード,,ミュート,シンプル,フル,
- 12行目：# 音声言語,,英語,日本語,ドイツ語,フランス語,イタリア語,スペイン語,ロシア語,中国語,韓国語,アラビア語,ポルトガル語,トルコ語,オランダ語,スウェーデン語,
- 13行目：# 認証結果出力1（認証OK） ,,出力しない,出力する,
- 14行目：# 認証結果出力1（認証OK） 出力幅,,1-600,
- 15行目：# 認証結果出力2（認証NG） ,,出力しない,出力する,
- 16行目：# 認証結果出力2（認証NG） 出力幅,,1-600,
- 17行目：# 動作状態表示ランプ,,消灯,点滅,点灯,
- 18行目：# カードタイプ,,標準,虹彩オンカード,
- 19行目：# カードリーダー接続,,あり,なし,
- 20行目：# カードリーダー接続時の認証,,カード+虹彩認証(非フルモード),カード認証のみ(フルモード),
- 21行目：# 通信方式,,Wiegand,RS-485,

22行目： ##Wiegand 設定,
23行目： # パルス幅,,30 us,40 us,50 us,
24行目： # パルス間隔,,1.0 ms,1.5 ms,2.0 ms,
25行目： # サイトコード,,0-125,
26行目： # ユーザーコード,,1-126,
27行目： ##RS-485 設定,
28行目： # ボーレート,,9600bps,19200bps,38400bps,,
29行目： # パリティチェック,,NONE,ODD,EVEN,
30行目： # ストップビット,,1 ビット,2 ビット,
31行目： # キャラクタ長,,8 ビット,7 ビット,
32行目： # サイトコードの桁数,,0-37,
33行目： # ユーザーコードの桁数,,1-38,
34行目： # 送信元アドレス,,0-99999,
35行目： # 送信先アドレス,,0-99999,
36行目： ##カメラ拡張機能,
37行目： # ドア制御ボックスが認証結果を制御,,する,しない,
38行目： # タイムアウト時間,,1-60,
39行目： # 外部トリガー入力,,あり,なし,
40行目： # ブザー信号,,あり,なし,

ユーザー情報 CSV ファイル

ユーザー情報画面にインポート（115 ページ）したり、ユーザー情報画面からエクスポート（119 ページ）したりできる CSV ファイルです。

この CSV ファイルは、次の情報をインポート、およびエクスポートできます。

画面	項目	必須	入力できる値や文字数など
情報	ユーザーID	◎	半角英数字で、16 文字まで。ただし、登録済みユーザーの ID と同じ値は設定できません。なお、1 と 01 は別の ID として設定できます
	カナ氏名	◎	半角カタカナで、20 文字まで
	氏名	◎	全角または半角で、20 文字まで
	カード ID	△	ご使用になるカメラ（カメラ情報詳細画面の[通信情報]画面で設定したサイトコード、ユーザーコードのビット数）に合わせて半角の 0~9 で入力します。ただし、登録済みユーザーのカード ID と同じ値は設定できません。1~9 の数字より、左側の桁にある 0 は、自動的に削除されます。01 と入力した場合は、1 として認識されます。
	所属	△	全角または半角で、80 文字まで
	電話番号	△	半角の 0~9、-、(、) で、15 文字まで
	FAX 番号	△	半角の 0~9、-、(、) で、15 文字まで
	メールアドレス	△	半角英数字および、"-","_",".","@" で、80 文字まで
	メモ	△	全角または半角で、160 文字まで
	虹彩有無	×	虹彩情報の有無が「0」（未取得）、「1」（取得済）のいずれかで出力されます
	認証設定	◎	有効（カメラで認証）、有効（上位認証のみ）、無効 のいずれか
	音声言語	△	英語、日本語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、アラビア語、ポルトガル語、トルコ語、オランダ語、スウェーデン語 のいずれか
	配布グループ	△	配布グループ名をカンマ区切りで入力

⚠️ ご注意

- ・ユーザー情報 CSV ファイルは、虹彩情報をインポートおよびエクスポートすることができません。
- ・虹彩有無はインポートできません。

■ ユーザー情報 CSV ファイルの例

以下は、ユーザー情報 CSV ファイルの例です。

1 行目はヘッダー、2 行目以降が実際のデータです。

1行目： ユーザーID,カナ氏名,氏名,カード ID,所属,電話番号,FAX 番号,メールアドレス,メモ,虹彩有無(0:
未登録-1:登録済),認証設定,音声言語,配布グループ,
2行目： 1,"マツタ 知", "松下太郎",100-10001,"研究チーム",123-4567-8900,123-4567-8901,
"t.matsushita@panasonic.com","",1,有効（カメラで認証）,日本語,"研究室用 配布グループ",
,"資料室用 配布グループ","研究所用 配布グループ",
3行目： ##,
4行目： ##インポート用データ項目を出力します。 ,
5行目： # 認証設定,有効（カメラで認証）,有効（上位認証のみ）,無効,
6行目： # 音声言語,,英語,日本語,ドイツ語,フランス語,イタリア語,スペイン語,ロシア語,中国語,韓国語,
アラビア語,ポルトガル語,トルコ語,オランダ語,スウェーデン語,

ログ情報 CSV ファイル

■ システムログ

ログ情報画面からエクスポート（159 ページ）できるシステムログの CSV ファイルです。システムログの CSV ファイルは、次の情報をエクスポートできます。

画面	エクスポートできる情報
ログ詳細画面 (システムログ)	日時 カテゴリー カメラ ID カメラ名 管理者名 結果 詳細情報

■ ログ情報 CSV ファイルの例（システムログ）

以下は、システムログのログ情報 CSV ファイルの例です。

1 行目はヘッダー、2 行目以降が実際のデータです。

1 行目： 日時,カテゴリー,カメラ ID,カメラ名,結果,詳細情報,

2 行目： 2004/09/01 10:44:57,"虹彩情報配信ログ",1,"カメラA","正常","カメラへ虹彩を配信
(ユーザー画面の操作により)しました。"

3 行目： 2004/09/01 10:48:52,"上位認証ログ",1,"カメラA","正常","上位認証要求がありました。
結果： 認証 OK、カード ID： (100-10001)"

4 行目： 2004/09/01 11:12:28,"管理ソフトウェアログインログ",,"","正常","管理ソフトウェアを終
了しました。 管理者名:administrator"

5 行目： 2004/09/01 11:13:09,"管理ソフトウェアログインログ",,"","正常","管理ソフトウェアを起
動しました。 管理者名: administrator "

■ アクセスログ

ログ情報画面からエクスポート（159 ページ）できるアクセスログの CSV ファイルです。アクセスログの CSV ファイルは、次の情報をエクスポートできます。

画面	エクスポートできる情報
ログ詳細画面 (アクセスログ)	日時 カメラ ID カメラ名 結果 ユーザー名 カード ID ユーザーID 詳細情報

■ ログ情報 CSV ファイルの例（アクセスログ）

以下は、アクセスログのログ情報 CSV ファイルの例です。

1 行目はヘッダー、2 行目以降が実際のデータです。

1行目：日時,カメラ ID,カメラ名,結果,ユーザー名,カード ID,ユーザーID,詳細情報,

2行目：2004/09/01 12:15:35,1,"カメラA","認証 OK","松下 太郎","100-10001","1","認証 OK
ユーザー名：松下 太郎, カードID：100-10001, ユーザーID：1"

3行目：2004/09/01 12:46:12,1,"カメラA","認証 OK","松下 太郎","100-10001","1","認証 OK
ユーザー名：松下 太郎, カードID：100-10001, ユーザーID：1"

4行目：2004/09/01 12:50:07,1,"カメラA","認証 NG","","認証 NG 理由：虹彩コードまたはカードIDエラー"

トラブルシューティング

本ソフトウェアで構築したシステムで起こりうる障害などの対応の仕方について説明します。

インストール／アンインストール時

■ インストールが正常にできない・・・

Windows®にログオンしたユーザーアカウントがインストールに必要な権限がない。(21 ページ参照)

Windows®にログオンしたユーザーアカウントが Administrator 権限または同等の権限をもっていないため、本ソフトウェアのインストールが実行できません。Administrator 権限または同等の権限のユーザーアカウントでログオンしてからインストールを行ってください。

InstallShield Wizard 画面の表示が英語で表示される。

虹彩管理サーバーのシステム言語設定に日本語以外が設定されていると、InstallShield Wizard 画面の表示が英語になります。システム言語の設定を日本語にしてからインストールを行ってください。

■ アンインストールが正常にできない・・・

情報表示ウィンドウが起動したままになっている。(25 ページ参照)

InstallShield Wizard 画面で「使用中のファイル」に「Information Display Window」が表示されます。画面の[終了]ボタンをクリックし、次に表示される InstallShield Wizard 画面の[完了]ボタンをクリックして終了します。タスクマネージャを表示して、「Information Display Window」を選択して[タスクの終了]ボタンをクリックし、情報表示ウィンドウを終了します。その後、再度アンインストールを行ってください。

本ソフトウェアのインストール時にログオンした Windows®のユーザーアカウントと異なるユーザーアカウントでログオンしている。(25 ページ参照)

インストール時のユーザーアカウント以外のユーザーアカウントでログオンしてアンインストールを行うと、正常にアンインストールできない場合があります。Windows®を一度ログオフし、インストール時のユーザーアカウントでログオンしてからアンインストールを行ってください。

■ 表示されるライセンス数が合わない・・・

ユーザーライセンス追加ソフトウェア Ver.4.00 以前のインストール中画面で、変更後のライセンス数が少なく表示される。(10 ページ参照)

ユーザーライセンス追加ソフトウェア Ver.4.00 以前を本ソフトウェアがインストールされている虹彩管理サーバーにインストールすると、インストール中画面で変更後のライセンス数が少なく表示されることがありますが、実際には、インストールしたライセンス数 + 25 ライセンスまでユーザー情報の登録を行うことができます。

起動／ログイン画面／メインメニュー画面

■ ログイン画面が表示されない・・・

本ソフトウェアが起動しない。

本ソフトウェアのインストール時にログオンした Windows®のユーザーアカウントと異なるユーザーアカウントでログオンした場合、本ソフトウェアは起動しません。インストール時にログオンした Windows®のユーザーアカウントでログオンしてください。

「システムエラー（環境に誤りがあります。）」が表示される。

- ・ 本ソフトウェアのサービス「IrisMngSrv」が開始されていない。
この場合、コントロールパネルを起動し、[管理ツール]→[サービス]の順にダブルクリックを行い、サービスのコンソールから「IrisMngSrv」を選択して開始してください。その後、管理ソフトウェアを起動してください。
- ・ インストール時にデータベースの作成に失敗している。（23 ページ参照）
この場合、データベース保守ツールを使用して、データベースを手動で作成してください。

■ 画面のメッセージが文字化けする・・・

虹彩管理サーバーのシステム言語が日本語以外に設定されている。

虹彩管理サーバーのシステム言語が日本語以外に設定されている場合、本ソフトウェアの画面中の文字やメッセージが文字化けする場合があります。虹彩管理サーバーのシステム言語は、日本語以外に設定しないでください。

■ ログインできない・・・

管理者名とパスワードが一致していない。（47 ページ参照）

他の虹彩管理サーバーから出力したバックアップファイルをリストアした場合や、以前のバージョンの管理ソフトウェアから出力したバックアップファイルをリストアした場合に、通常使用している管理者が登録されていない場合があります。バックアップファイルに登録されている管理者とパスワードでログインしてください。

■ 虹彩認証でログインできない・・・

登録カメラが設定されていない。（42 ページ参照）

登録カメラが設定されていない場合、管理ソフトウェアログイン画面の[虹彩認証]ボタンは無効になります。登録カメラの設定を行ってください。

管理者名が間違っている。または、虹彩情報が登録されていない。（48 ページ参照）

虹彩認証でログインする場合、管理ソフトウェアログイン画面の[管理者名]で入力した管理者名と登録されている虹彩情報を 1 対 1 で認証します。管理者名が間違っている場合、虹彩情報が登録されていない場合は、虹彩認証でログインすることはできません。

■ ボタンが無効になっている・・・

ログイン中の管理者の権限が制限されている。(54 ページ参照)

ログインした管理者の権限により、ボタンの有効、無効が変わります。ログイン中の管理者の権限を確認してください。

管理者登録／更新／削除

■ 虹彩撮影ができない・・・

[虹彩撮影]ボタンが無効になっている。(42、54 ページ参照)

虹彩撮影を行うには、登録カメラが設定されている必要があります。登録カメラが設定されていない場合、[虹彩撮影]ボタンは無効になります。登録カメラの設定を行ってください。

また、[管理者情報]権限が設定されていない管理者でログインした場合も、[虹彩撮影]ボタンは無効になります。[管理者情報]権限が設定された管理者でログインしてください。

■ 管理者の削除が行えない・・・

[管理者情報]権限が設定されていない管理者でログインしている。(54 ページ参照)

[管理者情報]権限が設定されていない管理者でログインした場合、管理者情報の編集、削除はできません。[管理者情報]権限が設定された管理者でログインして操作を行ってください。

ログイン中の管理者を削除しようとしている。(62 ページ参照)

ログイン中の管理者は削除できません。別の「管理者情報」権限が設定された管理者でログインして、管理者の削除を行ってください。

全ての権限が設定された管理者を削除しようとしている。(62 ページ参照)

管理者の権限で、全ての権限が設定された管理者が1名しか登録されていない場合は、その管理者を削除することはできません。他に全ての権限が設定された管理者を登録してから削除してください。

■ 管理者の権限を変更できない・・・

[管理者情報]権限が設定されていない管理者でログインしている。(54 ページ参照)

[管理者情報]権限が設定されていない管理者でログインした場合、管理者情報の編集、削除はできません。[管理者情報]権限が設定された管理者でログインして操作を行ってください。

ログイン中の管理者の権限を変更しようとしている。(62 ページ参照)

ログイン中の管理者の権限は変更できません。別の「管理者情報」権限が設定された管理者でログインして、管理者の権限を変更してください。

全ての権限が設定された管理者の権限を変更しようとしている。(62 ページ参照)

管理者の権限で、全ての権限が設定された管理者が1名しか登録されていない場合は、その管理者の権限を変更することはできません。他に全ての権限が設定された管理者を登録してから変更してください。

カメラ情報 登録／更新／削除

■ カメラ情報の登録、変更、削除ができない・・・

[カメラ設定／保守]権限が設定されていない管理者でログインしている。(54 ページ参照)

[カメラ設定／保守]権限が設定されていない管理者でログインした場合、カメラ情報の編集、削除はできません。[カメラ設定／保守]権限が設定された管理者でログインして操作を行ってください。

カメラと虹彩管理サーバー間のネットワーク設定が正しく設定されていない。

カメラ情報を変更した場合、その設定内容をカメラに送信してカメラの設定を変更できますが、通信が正常に行われない場合、設定の変更ができません。カメラの状態を取得し、状態が不明の場合は、以下の確認を行ってください。

- ・カメラと虹彩管理サーバー間の LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・通信ができないカメラの IP アドレスをコマンドプロンプトから、“PING”コマンドで確認してください。
- ・虹彩管理サーバーでは以下のポートが使用可能か確認してください。
 - － プロトコル：TCP/IP
 - － ポート方向：送信、受信
 - － ポート番号：8030
- ・ファイアウォールやルーターなどの設定で通信不可能でないか確認してください。また、ウィルスソフトなどの設定などもあわせて確認してください。

カメラ情報詳細画面の[カードリーダー情報]画面で設定した[カードタイプ]とカメラ（品番：BM-ET330）にダウンロードしたカメラソフトウェアの種類が一致していない。

以下の場合にカメラにダウンロードしたソフトウェアによる設定が優先されます。

- ・カメラ情報詳細の[カードリーダー情報]画面で[カードタイプ]を「標準」で設定したが、実際のカメラには「虹彩オンカード用」のカメラソフトウェアがダウンロードされていた場合。
- ・カメラ情報詳細の[カードリーダー情報]画面で[カードタイプ]を「虹彩オンカード」で設定したが、実際のカメラには「標準用」のカメラソフトウェアがダウンロードされている場合。

ユーザー情報登録／更新／削除

■ 虹彩撮影が行えない・・・

[虹彩撮影]ボタンが無効になっている。(42、54 ページ参照)

虹彩撮影を行うには、登録カメラが設定されている必要があります。登録カメラが設定されていない場合、[虹彩撮影]ボタンは無効になります。登録カメラの設定を行ってください。

また、[ユーザー情報]権限が設定されていない管理者でログインした場合も、[虹彩撮影]ボタンは無効になります。[ユーザー情報]権限が設定された管理者でログインしてください。

■ ユーザー情報の登録、変更、削除ができない・・・

[ユーザー情報]権限が設定されていない管理者でログインしている。(54 ページ参照)

[ユーザー情報]権限が設定されていない管理者でログインした場合、ユーザー情報の編集、削除はできません。[ユーザー情報]権限が設定された管理者でログインして操作を行ってください。

■ IC カード書き込みが行えない・・・

虹彩情報が登録されていない。(102 ページ参照)

[IC カード書込]ボタンは、虹彩撮影後に虹彩情報を登録し、ユーザー情報詳細画面の[登録]([更新])ボタンをクリックすると有効になります。

IC カードライターの設定が行われていない。(162 ページ参照)

環境設定画面の[IC カード設定]ボタンをクリックして、IC カード設定画面を表示します。ご使用のIC カードライターに合わせて設定を行った後、[IC カード書込]ボタンからIC カード書き込みを行ってください。

カードIDが設定されていない。(102 ページ参照)

IC カードにはカードIDが設定されていないユーザー情報を書き込むことはできません。ユーザー新規登録画面、またはユーザー情報詳細画面でカードIDを設定した後、[IC カード書込]ボタンからIC カード書き込みを行ってください。

カメラ操作／認証／虹彩情報配信／上位認証

■ カメラが起動しない・・・

カメラが起動時の初期化処理中。(41 ページ参照)

カメラの起動時に虹彩管理サーバーと通信を行い、カメラの設定情報や、認証に必要な虹彩情報を取得します。そのため、電源をオンにしてから約5分ほどは初期化処理のために認証動作を行うことはできません。

カメラが設定エラーになっている。(41 ページ参照)

カメラにオプションボードが接続されていないとき、本ソフトウェアで下記のいずれかの設定を行った状態です。それぞれの設定、またはカメラのオプションボードを確認してください。

- ・認証結果出力2(認証NG)：出力する
- ・カードリーダー接続：あり
- ・ドア制御ボックス情報の通信方式：Wiegand または RS-485
- ・ブザー信号：あり

カメラがダウンロード要になっている。(41 ページ参照)

カメラの品番がBM-ET330の場合、お買い上げ時の状態または、カメラの改ざん検出スイッチが作動してカメラソフトウェアが消去されると、カメラの状態はダウンロード要になります。カメラの状態を取得して、ダウンロード要の場合は、カメラソフトウェアのダウンロードを行ってください。

カメラと虹彩管理サーバー間のネットワーク設定が正しく設定されていない。

カメラは起動時に、虹彩管理サーバーと通信を行います。通信が正常に行われない場合は、カメラは初期化中のまま待機します。一定時間が経過してもカメラが初期化中の場合は、ネットワークの設定、LAN 環境の状態、LAN ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。

■ セキュリティレベルを「普通」に設定したのに、カメラが単体で起動しない・・・

カメラに配信された虹彩情報が0人の状態で起動しようとしている。(16 ページ参照)

セキュリティレベルを「普通」に設定した場合、カメラに配信された虹彩情報が0人の状態では起動できません。起動時に虹彩管理サーバーと接続する必要があります。虹彩管理サーバーと接続すると、虹彩情報の配信が行われ、その後カメラは認証動作を開始します。

■ 虹彩オンカードで設定したカメラが起動しない・・・

カメラのセキュリティレベルが「高」に設定されている。(16 ページ参照)

カメラのセキュリティレベルが「高」に設定されている場合は、虹彩情報の配信の必要が無い虹彩オンカードでの運用時にも、虹彩管理サーバーと通信する必要があります。

虹彩オンカードでの運用で、カメラのセキュリティレベルが「普通」の場合は、カメラは起動後に、認証動作を開始できます。

■ カメラのリセット処理が終了しない・・・

ネットワーク上に接続されていないカメラにリセットを行った。

ネットワーク上に接続されていないカメラ、情報を登録しただけの存在しないカメラにリセットを行うと、エラー終了するまでの時間がかかる場合があります。カメラのリセットは、ネットワーク上に接続されたカメラにのみ行ってください。

■ カメラで認証が開始されない・・・

カメラが認証動作を行えない状態になっている。(85 ページ参照)

カメラ状態が、リセット中、停止中、登録カメラ、設定エラー、ダウンロード要の場合は、認証を行うことができません。カメラの状態が「動作中」になるように設定を行ってください。

カードリーダー接続が「あり」になっている

カメラ情報詳細画面の[カードリーダー情報]画面で、[カードリーダー接続]が「あり」の場合、カードをカードリーダーにかざした後に、認証動作が開始されます。また、[カードリーダー接続時の認証]が「カード認証のみ(スルーモード)」の場合は、虹彩認証は行われません。

■ カメラで認証 OK にならない・・・

虹彩情報が配信されていない。(13、108 ページ参照)

認証を行うユーザーの虹彩情報がカメラに配信されるように設定して、虹彩情報配信を行ってください。また、ユーザー情報の認証方法が「有効(上位認証のみ)」、「無効」に設定されている場合は、虹彩情報の配信はされません。

虹彩情報が登録されていない。(122 ページ参照)

認証を行うユーザーの虹彩情報を登録してください。

虹彩情報を片目のみ登録している。

カメラは、認証時に片目の虹彩しか取得できなかった場合でも認証を行います。一致する虹彩情報があれば認証 OK になりますが、虹彩情報を片目のみ登録している状態では、認証時に登録した方の目の虹彩取得に失敗し、未登録の目の虹彩が取得できて認証が行われる場合があります。この場合は認証 OK になりません。何度か認証を行って認証 NG になるような場合は、虹彩情報を再撮影するか、両目の虹彩情報を登録してください。

ICカードのデータが破損している。

虹彩オンカード で認証を行って、何度も認証 NG になるような場合、ICカードを確認してください。ユーザー情報詳細画面の[ICカード確認]ボタンで内容を確認できます。

■ 認証時の音声、ユーザー情報で設定した[音声言語]の設定にならない・・・

カードリーダーなしで認証を行っている。(108 ページ参照)

ユーザー情報詳細画面の[音声言語]で設定した言語は、虹彩オンカードで使用する場合、またはカードタイプが標準かつカードリーダーありで使用する場合において、設定した言語で音声出力を行います。

カメラに虹彩情報が配信されていない。(15、77、108 ページ参照)

カメラ情報詳細画面の[運用情報]画面で、[上位認証]が「上位認証のみ」に設定されている場合、ユーザー情報詳細画面の[認証設定]が「有効(上位認証のみ)」に設定されている場合、または配信人数超過などのためにカメラに虹彩情報が配信されなかった場合は、カメラに設定された言語で音声出力を行います。

■ 上位認証ができない、上位認証で認証 OK にならない・・・

カメラ情報詳細画面の[運用情報]画面で、[上位認証]が「上位認証なし」に設定されている。(77 ページ参照)

カメラ情報詳細画面の[運用情報]画面で、[上位認証]が「上位認証なし」に設定されている場合、カメラは上位認証を行いません。[上位認証]を「上位認証あり」に設定してください。

ユーザー情報詳細画面で、[認証設定]が「無効」に設定されている。(108 ページ参照)

ユーザー情報詳細画面で、[認証設定]が「無効」に設定されている場合、そのユーザーはカメラで認証を受けることができません。上位認証も行われません。[認証設定]を「有効(カメラで認証)」、「有効(上位認証のみ)」に設定してください。カメラの設定が「上位認証なし」の場合は、カメラの設定が優先されます。この場合、上位認証は行われません。

配布グループが設定されていない。(95 ページ参照)

上位認証で認証を行うには、ユーザーに設定された配布グループに上位認証を行うカメラが登録されている必要があります。配布グループに登録されていないカメラで行った上位認証は認証 NG になります。

虹彩管理サーバーが上位認証を受け付けられない状態になっている。

自動リポートにより虹彩管理サーバーが再起動中、共有鍵交換中、虹彩情報配信中、カメラソフトウェアダウンロード中、音声ファイルダウンロード中、虹彩管理サーバーが動作していない場合(ハングアップ、休止状態など)は、カメラからの上位認証を受け付けることができません。

環境設定

■ 自動リポート後に上位認証ができない、ログ情報も記録されていない・・・

Windows®が起動していない。

自動リポートで虹彩管理サーバーを再起動した後に、Windows®のサービスが開始されない場合は、本ソフトウェアの機能を使用することはできません。以下の状態では、自動リポート後に正常に起動できない場合があります。

- ・フロッピーディスク、CD-ROM を挿入していたため、起動画面で入力待ちになっている。

- ・複数の OS がインストールされているため OS 選択画面で入力待ちになっている。
- ・設定などにより OS 起動前に何らかの操作が必要な場合。

■ バックアップファイルが出力できない・・・

ネットワーク上のドライブ、フォルダに出力しようとしている。(138 ページ参照)

本ソフトウェアから、ネットワーク経由でバックアップファイルの出力を行うことはできません。

■ 送信されたアラーム通知のメールが文字化けする・・・

メール送信設定画面の[メッセージの件名]に、半角カナ字を入力している。(136 ページ参照)

メールの[メッセージの件名]に入力した半角カナ字は、送信、受信側、または経由する SMTP サーバーによって文字化けする場合があります。テスト送信を行い、文字化けする場合は、[メッセージの件名]に半角カナ字を使用しないでください。

■ 自動バックアップ、共有鍵交換、自動リブートの設定でエラーが発生する・・・

Event Log、Task Scheduler のサービスが停止している。

Event Log、Task Scheduler のサービスがいずれかが停止している場合、自動バックアップ、共有鍵交換、自動リブートの設定を行うことができません。Windows®のコントロールパネルから、[管理ツール]→[サービス]を起動し、Event Log、Task Scheduler のサービスを起動させてください。

ログ情報／アラーム情報（情報表示ウィンドウ）

■ アクセスログが通知されない・・・

カメラ情報詳細画面の[運用情報]画面で、[アクセスログ]が「なし」に設定されている。(77 ページ参照)

カメラ情報詳細画面の[運用情報]画面で、[アクセスログ]が「なし」に設定されている場合、カメラからのアクセスログ通知は行われません。[アクセスログ]を「あり」に設定してください。

カメラと虹彩管理サーバー間で通信が行えない状態になっている。

アクセスログは、カメラで認証が行われる度に結果を虹彩管理サーバーに通知します。カメラと虹彩管理サーバー間で通信が行えない状態になっている場合は、ネットワークの設定、LAN 環境の状態、LAN ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。

その他 異常動作など

■ 正常に運用できない・・・

必要なシステム条件を満たしていない。(17 ページ参照)

虹彩管理サーバーが、本書で記述しているシステム条件に満たない場合、正常に動作しないことがあります。

虹彩管理サーバーの OS にサービスパックが適用されていない。(18 ページ参照)

虹彩管理サーバーの OS に本書で記述しているサービスパックが適用されていない、または正しく適用されていない場合、正常に動作しないことがあります。

本ソフトウェアをインストールしたフォルダ（¥IrisMngSrv）内のファイル構成を変更した。

本ソフトウェアをインストールしたフォルダ、^{△1} C:¥IrisMngSrv 内のファイルを削除したり、移動した場合、またはファイル名、フォルダ名を変更した場合は、本ソフトウェアは正常に動作しません。

^{△1} : C:に本ソフトウェアをインストールした場合を示します。

本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。
本製品を日本国外へ輸出する（非居住者に対する提供を含む）場合は、同法に基づく輸出
許可など必要な手続きをお取りください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	BM-ES200
	販売店名	電話（	）	—		

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410